JVC

非常業務放送設備

型名 **EM-K100 シリーズ**

設置説明書

本 [設置説明書] に記載されている機種は、正式な機種名ではなく下記のように [呼称] で記述しています。

商品名	機種名	呼称 1	呼称 2
壁掛型非常業務放送装置	EM-K100-10	EM-K100 シリーズ	本体
	EM-K100-15		
	EM-K100-20		
非常業務遠隔操作器	EM-C100-10	EM-C100 シリーズ	非常リモコン
	EM-C100-15		
	EM-C100-20		
デジタルパワーアンプユニット	EM-KA80D	EM-KA シリーズ	デジタルパワーアンプ
	EM-KA160D		
	EM-KA240D		
	EM-KA380D		
追加電源ユニットケース	EM-N103	追加電源ユニット	
ユニットケース	EM-R103	ユニットケース	
マルチリモートマイクロホン	PA-C620	マルチ業務リモコン	
リモートマイクロホン	PA-C50	PA-C50 シリーズ	業務リモコン
	PA-C51		
	PA-C52		
ニッケルカドミウム蓄電池	NB-165	ニッカド蓄電池	蓄電池
	NB-35B		
	NB-60		
ラックマウント金具	EM-U114	ラックマウント金具	

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「設置説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

本シリーズの壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100-10/EM-K100-15/EM-K100-20) および非常業務遠隔操作器 (EM-C100-10/EM-C100-15/EM-C100-20) は、従来の EM-K80D-10/EM-K80D-15/EM-K80D-20 および EM-C80D-10/EM-C80D-15/EM-C80D-20 と互換性がなく、組み合わせて使用することもできません。

デジタルパワーアンプユニット (EM-KA80D/EM-KA160D/EM-KA240D/EM-KA360D) は、従来のパワーアンプ (EM-KA80/EM-KA160/EM-KA240/EM-KA360) と互換性がなく、組み合わせて使用することもできません。設置工事前に確認をお願いいたします。

LST0962-001A

もくじ

はじめに

安全上のご注意 4
設置・設定時のご注意 4
システムの構成 5
システムの概要 6
非常放送 6
業務放送 6
緊急優先放送とは？ 7
緊急地震速報とは？ 9
各リモコンの接続台数 11
オーディオ系統図 12

接続・設置

設置・設定の手順 14
プログラムシートの作成 15
環境 / 非常放送設定プログラムシート 15
業務放送設定プログラムシート 16
放送階選択　同一階連動階設定プログラムシート . . . 17
ブロックスイッチ回線№設定プログラムシート 18
マルチ業務リモコン回線№プログラムシート 19
起動入力回線№設定プログラムシート 20
壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100 シリーズ) の設置 . . . 21
デジタルパワーアンプユニット (EM-KA シリーズ)
の組み込み 23
ユニットケース (EM-R103) の取り付け 24
ラジオチューナー (PA-F2-G) を組み込む 25
ワイヤレスチューナーユニット (WT-UD80) を
組み込む 26
光ワイヤレスチューナーユニット
(WT-UH51/WT-UH52) を組み込む 27
プログラマブルタイマー (PA-TU20) の組み込み
（報時チャイムとして使用する場合） 28
組み込んだユニットを使用する 29
ユニットの音量調節について 29
緊急地震速報インターフェイス (TZ-3649) の取り付け . . 29
追加電源ユニットケース (EM-N103) の取り付け 31
スピーカー回線の接続 33
スピーカー回路分割ユニット (EM-D2) について 33
自動火災報知設備との接続 34
RB 端子、非常時リレー端子への接続 37
スピーカー切換器 (PA-X13) の接続 38
マルチ業務リモコン (PA-C620) の接続 39
業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続 44
マイク・BGM 機器の接続（手動起動） 46
アナウンスユニット・BGM 機器の接続（タイマー起動） . . . 47
プログラムタイマー起動のデジタルボイスファイル
(PA-DR600) の接続 47
デジタルミュージックマシン (PA-DA600) の接続 . . . 48
電話ページング機器の接続 49
外部起動入力接続先表示シートの貼り付け 49
非常業務遠隔操作器 EM-C100 シリーズの設置 50
EM-K100 シリーズへの接続 51
外部入力に接続した機器から放送する 52
モニター音量の調節 52
常用電源（AC100 V）の接続 52
蓄電池の組み込み 54
設置完了後に機器を取りはずす場合 55
ラックマウント金具の取り付け 56
ネームカードについて 58

設定・調節

壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100 シリーズ) の設定 . . . 60
スイッチ設定と音量調節 60
追加電源ユニット (EM-N103) の設定 61
非常業務遠隔操作器 (EM-C100 シリーズ) の設定 62
マルチ業務リモコン (PA-C620) の設定 63
接続と動作の総合確認 64

システム設定

スイッチの名称とはたらき 66
メニュー一覧 67
設定値一覧 68
環境設定メニュー 68
非常設定メニュー 68
業務設定メニュー 69
回線設定メニュー 69
時計を合わせる 71
環境設定 72
設定画面の表示 72
緊急優先放送入力端子の設定 72
メンテナンス時刻の設定 73
LCD バックライトの設定 73
マルチ業務リモコン (PA-C620) および
業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続設定 74
非常放送設定 75
設定画面の表示 75
自動火災報知設備の動作設定 76
手動起動設定 76
発報連動停止の設定 77
発報火災切換の設定 77
発報放送形式の設定 78
火災移行時間の設定 78
一斉火災移行時間の設定 79
音声警報言語の設定 79
非常操作ガイドの設定 80
非常操作ガイドの音量設定 80

業務放送設定 81
設定画面の表示 81
チャイムの種類設定 82
チャイム音量の設定 83
メッセージスイッチの設定 84
BGM ミックスの設定 87
一斉放送の設定 88
放送の優先順位の設定 88
RB 制御の設定 89
回線設定 90
設定画面の表示 90
同一階の設定 91
連動階の設定 92
出火階情報の設定 94
ブロックスイッチの設定 98
起動入力の設定 101
マルチ業務リモコンの設定 104
設定データ管理 106
設定画面の表示 106
設定データの初期化 106
設定データの保存 107
CF カードの使い方 108
設定データの CF カードへの保存 109
設定データを CF カードから読み込む 110
CF カードから音源データをアップデートする 111

確認

確認の概要 114
システム点検モードによる確認 114
点検の概要 114
システム点検画面の表示 115
システム構成の確認 116
スピーカー回線の短絡点検 117
パワーアンプ点検 118
蓄電池点検 119
全項目点検 120
放送階選択・スピーカー回線の確認 121
システム動作の確認 - 非常放送動作の確認 122
手動起動時の確認 122
感知器起動時の確認 124
発信機起動時の確認 126
非常制御動作の確認 127
停電動作の確認 128
システム動作の確認 - 業務放送の動作確認 129
ブロックスイッチの確認 129
起動入力の確認 130
マルチ業務リモコンの確認 131
停電時の緊急優先一斉放送の確認 131
[コンピューター 入 / 切] スイッチ “ 切 ” 時の確認 . . . 132
動作点検モードによる確認 132
動作点検モードの機能と設定方法 132
動作点検モードによる確認 - 動作点検を行う 133
設定データの保存 134
非常放送用蓄電池点検 134
履歴情報の確認 135
履歴を CF カードに保存する 136
エラー表示について 136
履歴情報コード一覧 137
動作履歴 137
異常履歴 140
消防用設備の検査準備 141
非常用放送設備認定型式表示 141
蓄電池型式表示 141
「非常放送のしかた」操作説明図の掲示 141
絶縁抵抗試験 142
スピーカー回線短絡検出 / 表示の確認 143
スピーカー音圧レベルの測定 144

システム概要

エラー表示について 146
業務放送の優先関係について 148
停電時の業務放送について 149
状態出力について 149
非常放送用音声警報について 150
シグナル音とメッセージパターン 150
音声警報非常放送の動作 150
火災発生時の非常放送システム動作 151
動作の流れの補足 153
緊急時に機器が動作しなくなったときは 155
保守点検契約について 156

プログラムシート

付録シート 158
環境 / 非常放送設定プログラムシート 158
業務放送設定プログラムシート 159
放送階選択　同一階連動階設定シート 160
ブロックスイッチ回線 No. 設定シート 161
マルチ業務リモコン 回線 No. 設定シート 162
起動入力　回線 No. 設定シート 163

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　:　操作上の注意が書かれています。

メモ　:　機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　:　参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

● 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

● 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは省略してあります。

● 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

■ 万一、煙がでている、変なにおいがするなどの異常状態のときは、すぐに電源分電盤のブレーカーを切って、蓄電池のコネクターをはずしてください。

■ 落雷により不具合が発生した場合は、すみやかにビクターサービス窓口にご連絡ください。

■ 本機を壁面に取り付ける場合、機器の質量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付けてください。強度が足りない場合は、落下し、けがをすることがあります。

■ 本機をラックに設置して使用する場合、ラック自体の転倒・移動防止のために必ずアンカーボルトで床面に固定してください。倒れたり、動いたりしてけがの原因となることがあります。

■ 取り付けねじやナットで締め付ける箇所がある機器は、確実に締め付けてください。締め付けが不確実だと落下する恐れがあります。

■ 機器の上部や操作面の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、故障ややけどの原因となることがあります。

■ 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には設置しないでください。

■ 機器間の接続線に足などを引っかけないようご注意ください。つまずいてけがの原因になることがあります。

■ AC100V の接続には電気工事士の資格が必要です。機器への接続は十分注意してください。誤った配線・接続は火災や感電の原因となります。

■ オプション機器の組み込みや、端子台への接続は、本設置説明書に従って正しく行なってください。また、接続ワイヤーのかみ込みや配線のショートに十分注意してワイヤー処理を行なってください。

■ すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう一度、すべての結線・配線・コネクターが確実に接続できているか、また、極性間違いがないか確認してください。予期せぬ事故を未然に防げます。

■ 蓄電池は取り扱いを誤ると発熱や破裂して、火災、けがの原因となります。

- プラス（＋）とマイナス（－）の端子をショートさせない。
- 落としたり、ぶつけたりしない。
- 指定以外の蓄電池を使用しない。
- 変形したり、外装が痛んだ状態の物は使用しない。
- 蓄電池を搭載した状態でのオプション機器取り付けはしない。

設置・設定時のご注意

■ 設置作業は、けがや事故を防止するため、ヘルメット、安全靴や手袋など、設置に適した服装で行なってください。

■ 設置工事は、必ず電源を切り、蓄電池をはずした状態で行なってください。

■ 本システムの、各種設定スイッチの設定変更（システム設定モードにする場合）は、電源を入れた状態で行なってください。
各種設定スイッチを変更したあとは、EM-K100 シリーズの本体または非常業務遠隔操作器 (EM-C100 シリーズ) のフロントパネルのポケットカバー内にある [コンピューター入 / 切] スイッチを 3 秒以上 “ 切 ” 側にしたあと、“ 入 ” 側へ戻してください。各種設定スイッチの状態を機器内部の CPU が再度読み込んで設定を反映します。
設定した内容は、本体メモリーに保存せずに電源を切ると、消えてしまいます。

■ 本システムで蓄電池を接続している場合、停電状態になっても内部回路の保護動作のため、すぐにシステムの電源が切れないようになっています。システムの電源が切れるまで約 10 秒かかります。

■ CF カードは、各種設定データや、音声メッセージを保存しています。[CF 電源] 表示灯が点灯中は、抜き差しをしないでください。設定データが破損や消失する可能性があります。

■ 接続コード、コネクターの抜き差しをするときは、必ず蓄電池をはずし、商用電源を切ってから作業してください。

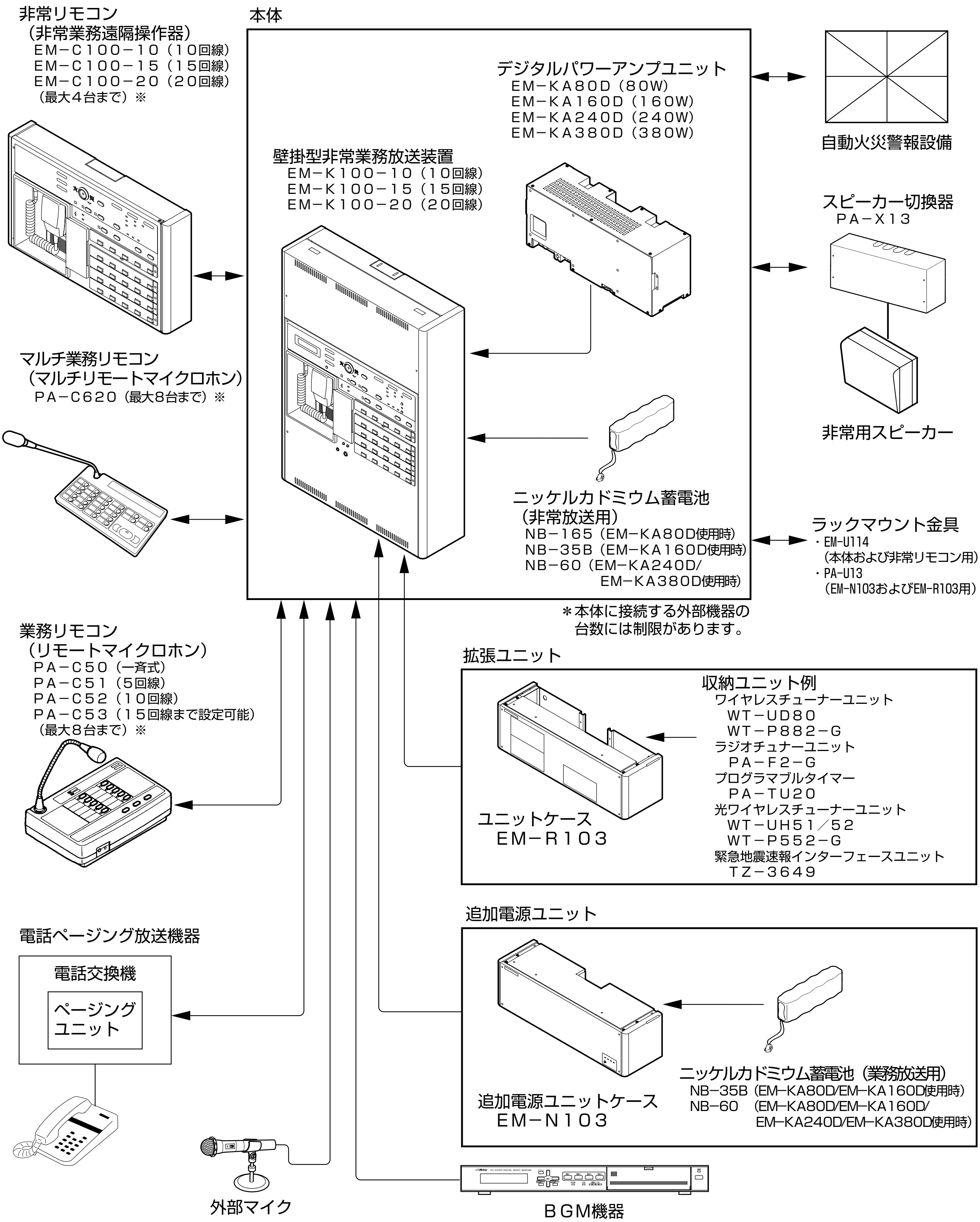
システム設定時の放送と操作に関する注意

■ 放送中、システム設定モードにすることはできません。

■ システム設定中は、プログラムタイマーなどの外部起動がかからないようにしてください。

■ システム設定中、本体での非常操作および非常リモコン、業務リモコンの操作はしないでください。

システムの構成



※各リモコンの接続台数については［各リモコンの接続台数］(☞ 11 ページ）をご覧ください。

システムの概要

非常業務放送設備 (EM-K100 シリーズ) は「設定スイッチ」と「液晶表示」による対話式の書き込みによって様々なシステムに対応できます。
設定によって非常放送、業務放送、緊急優先放送などが行えます。

メモ :
- システム設定モードでは、非常放送操作や自動火災報知設備からの起動を受け付けません。
  非常放送操作を行うには、通常モードに戻してから、非常放送操作を行なってください。システム設定モードから通常モードに切り換えるには、メインメニュー画面で [モード] スイッチを押します。[モード] スイッチを押すと、再起動して通常モードになります。

非常放送

自動火災報知設備からの階別火災信号によって自動的に非常放送を行うことや、手動操作によって非常放送を行うことができます。
システム設定で、非常放送時の動作や放送する場所を決定します。

■ 自動火災報知設備と連動動作について

連動階の設定は消防法およびその関連法規に基づいて、下記のように設定してください。

出火階	連動階	非常放送が行われる階
2 階以上の階	その直上階	出火階、その直上階
1 階	2 階・地階	出火階、その直上階および地階
地階	その他の地階、直上階	出火階、その他の地階および直上階

■ 同一階連動階と出火階情報

1 つの階に複数の放送階選択スイッチを設けた場合、同一階設定した放送階選択スイッチを同時に動作させることで、同じ階のすべてのスピーカーエリアに放送することができます。
また自動火災報知設備からの信号によって非常放送を行う場合は、連動階設定した放送階選択スイッチを同時に動作させ、出火階と連動階のスピーカーエリアに出火階情報をつけた音声警報メッセージを放送できます。

業務放送

EM-K100 シリーズ本体のブロックスイッチ操作やマルチ業務リモコン (PA-C620) からの放送、プログラムタイマーなどによる自動放送などを行うことができます。
システム設定で、優先順位、放送機器（放送グループ）や放送する場所を決定します。
業務放送の種類（放送グループ）と優先順位、音声入力との関係、また放送操作については下表をご覧ください。

放送グループ	優先順位	音声入力	放送操作	備考
緊急優先放送	1 位固定	アナウンスマイク	● [緊急優先一斉] スイッチ ➔ マイクスイッチ（アナウンスマイク） ● ブロックスイッチ（緊急優先放送設定）	アナウンスマイク優先 ➔ マイクスイッチ ON で他の入力 / 内蔵メッセージ停止
		ユニットケース CN108 （マイク）：専用コネクター	● [緊急優先一斉] スイッチ ● ブロックスイッチ（緊急優先放送設定） ● 起動入力（緊急優先放送設定）	入力は“ ユニットケース ”、“ アナウンスユニット ”、“ ユニット＋アナウンス ” のいずれかに設定可能です。 （☞ 72 ページ）
		ユニットケース CN109 （ライン）：専用コネクター		
		TB 基板：[アナウンス H/C] 端子		
		本体内蔵音声メッセージ	● [緊急優先一斉] スイッチ ➔[メッセージ 1/ メッセージ 2] スイッチ ● ブロックスイッチ（緊急優先放送設定） ● 起動入力（緊急優先放送設定）	—
本体放送	2 位～ 6 位で設定可能	アナウンスマイク	● 放送階選択スイッチ ● ブロックスイッチ（業務放送設定）	● アナウンスマイクは、他のマイクより優先 ● マイク連動による BGM 制御可
		[マイク 1]：フロントパネル		
		TB 基板：[マイク入力 2 H/C] 端子		
		ユニットケース CN108 （マイク）：専用コネクター		
		本体内蔵音声メッセージ	● 放送階選択スイッチ ➔[メッセージ 1/ メッセージ 2] スイッチ ● ブロックスイッチ（業務放送設定）	アナウンスマイク優先 ➔ マイクスイッチ ON でメッセージ停止

放送グループ	優先順位	音声入力	放送操作	備考
業務リモコン	2 位～ 6 位で設定可能	TB 基板：業務リモコン PA-C50 の [音声 H/C] 端子	リモコン操作（起動入力）	―
メッセージ		本体内蔵音声メッセージ	起動入力	―
電話ページング		TB 基板：[ページング H/C] 端子	起動入力	起動チャイム設定あり
アナウンスユニット		TB 基板：[アナウンス H/C] 端子		
報時チャイム		TB 基板：[報時チャイム H/C]：端子		
非常リモコン		TB 基板：非常リモコン EM-C100 の [音声 H/C] 端子	リモコン操作	―
マルチ業務リモコン 1 ～ 8		TB 基板：マルチ業務リモコン PA-C620 の [音声 H/C] 端子	リモコン操作	―
拡張ユニット		TB 基板：[アナウンス H/C] 端子	シリアル通信制御（特注品）	―
BGM 放送	6 位固定	フロントパネル：[ライン] 端子	ブロックスイッチ（BGM 放送設定）	放送階選択スイッチにてライン入力音声の送出は不可
		TB 基板：[ライン入力 H/C] 端子		
		ユニットケース CN109（ライン）：専用コネクター		
		TB 基板：[BGM 入力 H/C] 端子	起動入力	ブロックスイッチにて BGM 入力音声の送出は不可

■ ブロックスイッチ

1 つのブロックスイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアにメッセージや BGM 放送ができます。
業務放送時は使用できますが、非常放送時は使用できません。

メモ：

- ブロックスイッチでBGM放送を行う場合、音声入力はフロントパネルの[ライン]入力端子または、TB基板の[ライン入力H/C]端子に接続します。
- また、ユニットケース (EM-R103) 接続機器にて BGM 放送を行う場合は、EM-R103 からの音声出力 (3PIN コネクター：CN3) を EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上 [CN109（ライン）] コネクターに接続します。

■ 起動入力

起動入力ごとに以下の放送機器（放送グループ）を最大で 15 入力まで設定でき、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

- 業務リモコン
- メッセージ
- 電話ページング
- 報時チャイム
- 緊急優先放送
- BGM 放送
- アナウンスユニット

機器名をメッセージまたは緊急優先放送に設定した場合、メッセージ No. と再生モードも設定します。
業務放送時は使用できますが、非常放送時は使用できません。

■ マルチ業務リモコンのブロック選択

マルチ業務リモコンのブロック選択スイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

緊急優先放送とは？

業務放送の中で常に最優先される放送グループです。
[緊急優先一斉] スイッチ、ブロックスイッチ、外部起動端子から起動できます。

起動	音声入力	放送先	停電時の起動
[緊急優先一斉] スイッチ	● アナウンスマイク ● アナウンスユニット端子 ● ユニットケース ● メッセージ再生（手動、自動）	全回線	○
ブロックスイッチ		選択回線	×
外部起動		選択回線	○ （停電起動端子をメーク）

■ 緊急優先放送の動作について

- 緊急優先放送はアッテネータが無効となり、最大音量で放送されます。
- 緊急優先放送の優先順位は業務放送や BGM 放送より上位となりますが、非常放送よりは下位となります。
- いくつかの緊急優先放送が同時になされた場合、ミックスされた音声となります。
- 本体、非常リモコンからの業務放送中に、[緊急優先一斉] スイッチ、ブロックスイッチによって緊急優先放送を起動した場合、放送復旧するとすべての業務放送は停止し、直前の状態には戻りません。

システムの概要 (つづき)

緊急優先放送とは？ (つづき)

■ 接続機器について

緊急優先放送の音声入力は、ユニットケース（EM-R103：別売）に接続した機器、または EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の [アナウンス H]/[アナウンス C] 端子に接続した機器に設定可能です。

メモ :
- ユニットケース (EM-R103) の音声ラインの接続は [CN108（マイク）] または [CN109（ライン）] になりますが、PA-TU20 は [報時チャイム] 端子に接続、TZ-3649 は [アナウンス H]/[アナウンス C] 端子への接続となります。
- 光ワイヤレスチューナユニット (WT-UH51/WT-UH52) とワイヤレスチューナユニット (WT-UD80) の同時接続はできません。

ユニットケース (EM-R103) に接続できる機器の例	● ラジオチューナー (PA-F2-G) ● 光ワイヤレスチューナーユニット (WT-UH51/WT-UH52) ● 光ワイヤレスチューナーパネル (WT-P552-G) ● ワイヤレスチューナーユニット (WT-UD80) × 2 台 ● ワイヤレスチューナーパネル (WT-P882-G) ● 緊急地震速報インターフェースユニット (TZ-3649)
[アナウンス H]/[アナウンス C] 端子に接続する機器の例	● デジタルミュージックマシン (PA-DA600/PA-DA300) ● デジタルボイスファイル (PA-DR600) ● デジタルプログラムチャイム (PA-DT600)

■ 設定について

- システム設定のしかたは [緊急優先放送入力端子の設定] (☞ 72 ページ) をご覧ください。
- 緊急優先放送に PA-DR600 などの外部機器を使用する場合は､音声出力を EM-K100 シリーズ本体 TB 基板の [アナウンス H]/[アナウンス C] 端子に接続、起動制御を [起動入力 1 〜起動入力 15] 端子のいずれかに接続します。
(☞47 ページ〜 48 ページ)
また、緊急優先放送入力端子の設定で、放送機器を “ アナウンスユニット ” または “ ユニット + アナウンス ” に設定し、[起動入力の設定] (☞ 101 ページ) で接続機器を “ キンキュウユウセン ” に設定してください。
- ブロックスイッチへの割り当て方法は [ブロックスイッチの設定] (☞ 98 ページ) をご覧ください。

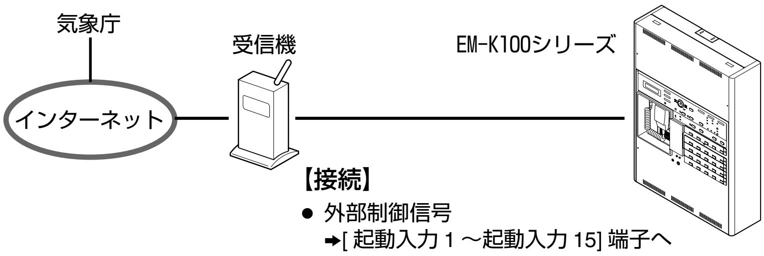
■ 緊急優先放送の停電対応について

- 停電時の緊急優先放送の電源は、追加電源ユニット（EM-N103：別売）に内蔵された蓄電池となります。停電時に緊急優先放送を行う場合、必ず蓄電池を内蔵した EM-N103 を接続し、EM-K100 シリーズ本体 TB 基板上の [業務バッテリ 無 / 有] スイッチを “ 有 ” に設定してください。（☞ 31 ページ）
- 停電時に外部起動（アナウンスユニットや緊急地震速報インターフェースユニット：TZ-3649）による緊急優先放送を行う場合は、本体の TB 基板の [停電起動] 端子と使用する起動入力端子（[起動入力 1 〜起動入力 15] 端子のいずれか）とを接続してください。（☞ 30 ページ）
- 停電時に外部起動を行う機器（アナウンスユニット）の電源は別途ご用意ください。EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の DC24V 端子に接続することはできません。
- 緊急地震速報インターフェースユニット (TZ-3649) の電源は停電対応のため､EM-K100 シリーズ本体の TB 基板の非常リモコン用 [+B(24V)] 端子に接続します。（☞ 30 ページ）ただし、この場合接続できるリモコン（非常リモコンまたはマルチ業務リモコン）の台数が制限されます。（☞ 11 ページ）
- 停電時の緊急優先放送は、本体／非常リモコンの [緊急優先一斉] スイッチによる放送と、外部起動（アナウンスユニット）による放送が有効となります。ブロックスイッチによる緊急起動はできません。
- 停電時にユニットケース (EM-R103) に接続された機器を使用する場合､はじめに [緊急優先一斉] スイッチを押してください。EM-K100 シリーズ本体が起動し、本体放送が可能となります。その後、EM-R103 接続機器の操作を行います。

緊急地震速報とは？

緊急地震速報受信機（別売）からの速報を受信した場合、他の放送（非常放送を除く）より優先して放送します。
接続する緊急地震速報受信機の外部制御信号の方式（パルス方式またはレベル方式）に合った機器を選択し、接続・設定を行なってください。

■外部制御信号の方式がレベル方式の場合



【接続】

- 外部制御信号
  ➡[起動入力 1 〜起動入力 15] 端子へ
- 音声出力信号
  ➡[アナウンス H]/[アナウンス C] 端子へ

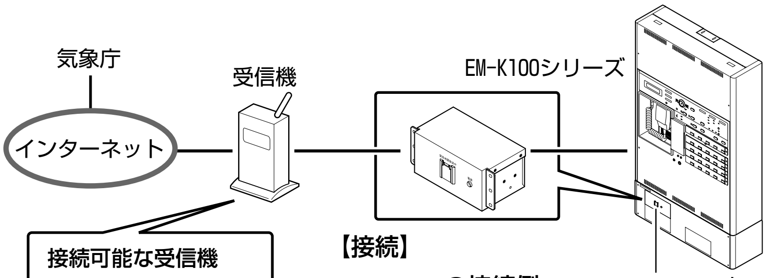
【設定】

- ［環境設定］➡［入力端子］➡“ アナウンスユニット ” または “ ユニット + アナウンス ” に設定
  (☞ 72 ページ [緊急優先放送入力端子の設定])
- ［回線設定］➡［起動入力］➡［起動入力］➡“ キンキュウユウセン ” に設定
  (☞ 101 ページ [起動入力の設定])

■外部制御信号の方式がパルス方式の場合

① 緊急地震速報インターフェース（TZ-3649）を使用する場合

※ 使用するメッセージ音源によって接続と設定が変わります。



接続可能な受信機

- 放送開始時、終了時にパルス信号を出力
- パルス幅 100msec 〜 249msec

【接続】

[TZ-3649 の接続例]
(☞ 30 ページ)

EM-R103 に TZ-3649 を組み込む（☞ 29 ページ）

【設定】

メッセージ音源	EM-K100 システム設定
緊急地震速報受信機	● ［環境設定］➡［入力端子］➡“ アナウンスユニット ” または “ ユニット + アナウンス ” に設定（☞ 72 ページ） ● ［回線設定］➡［起動入力］➡［起動入力］➡“ キンキュウユウセン ” に設定（☞ 101 ページ）
EM-K100 シリーズ 内蔵メッセージ	● ［環境設定］➡［入力端子］➡“ アナウンスユニット ” または “ ユニット + アナウンス ” に設定（☞ 72 ページ） ● ［回線設定］➡［起動入力］➡［起動入力］➡“ キンキュウユウセン ” に設定（☞ 101 ページ） ➡［メッセージ］➡“ アリ ” に設定➡［メッセージ No.］➡“M01” に設定（☞ 102 ページ）

※メッセージ音源が緊急地震速報受信機の場合、TZ-3649 の [緊急地震放送中] スイッチは無効となります。

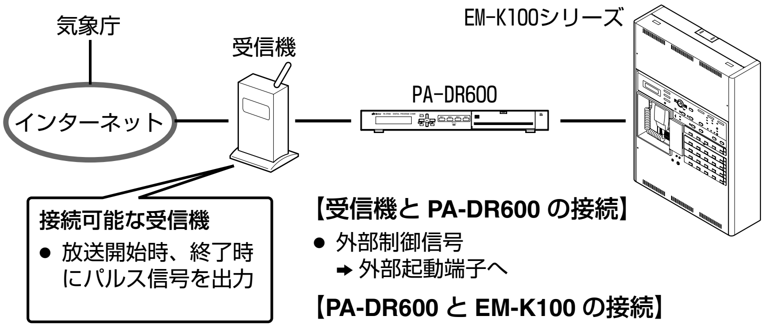
システムの概要 (つづき)

緊急地震速報とは？ (つづき)

■外部制御信号の方式がパルス方式の場合 (つづき)

② デジタルボイスファイル（PA-DR600）を使用する場合

※ PA-DR600 の制御方式は “ パルス方式 ” にしてください。設定の詳細は PA-DR600 の [取扱説明書] をご覧ください。



【受信機と PA-DR600 の接続】
- 外部制御信号
  ➡ 外部起動端子へ

【PA-DR600 と EM-K100 の接続】
- 制御出力（連動）
  ➡[起動入力 1 〜起動入力 15] 端子へ
- 音声出力
  ➡[アナウンス H]/[アナウンス C] 端子へ

【設定】
- ［環境設定］➡［入力端子］➡“ アナウンスユニット ” に設定
  (☞ 72 ページ [緊急優先放送入力端子の設定])
- ［回線設定］➡［起動入力］➡［起動入力］➡ “ キンキュウユウセン ” に設定
  (☞ 101 ページ [起動入力の設定])

各リモコンの接続台数

マルチ業務リモコン (PA-C620) および業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続台数は、非常リモコン (EM-C100 シリーズ) の接続台数や追加電源ユニットケース (EM-N103) の有無、PA-X13（スピーカ切換器）の有無などによって制限があります。

■ 追加電源ユニット (EM-N103) を接続しない場合

① ユニットケース (EM-R103) を接続しない場合

- 非常リモコンとマルチ業務リモコン合計 4 台と業務リモコン 4 台まで接続できます。
- マルチ業務リモコンを接続しない場合は、業務リモコンを 8 台まで接続できます。
  非常リモコンが 4 台のときは、業務リモコンは 4 台まで接続できます。

非常リモコン接続台数	マルチ業務リモコン接続台数	業務リモコン接続台数	PA-X13（スピーカー切換器）接続
4 台	0 台	4 台まで	※
3 台	1 台まで	4 台まで	※
	0 台	8 台まで	※
2 台	2 台まで	4 台まで	※
	0 台	8 台まで	2 台接続可
1 台	3 台まで	4 台まで	※
	0 台	8 台まで	2 台接続可
0 台	4 台まで	4 台まで	※
	0 台	8 台まで	2 台接続可

② ユニットケース (EM-R103) を接続する場合

非常リモコン接続台数	マルチ業務リモコン接続台数	業務リモコン接続台数	PA-X13（スピーカー切換器）接続
3 台	0 台	0 台	※
2 台	1 台	1 台まで	※
1 台	2 台	1 台まで	※
	1 台	4 台まで	※
	0 台	8 台まで	※
0 台	3 台	2 台まで	※
	2 台	4 台まで	※
	1 台	4 台まで	2 台接続可
	0 台	8 台まで	2 台接続可

※PA-X13 接続時は、接続リモコン台数を下記のように換算して減らしてください。

PA-X13 2 台＝非常リモコン (EM-C100 シリーズ)
　　　　またはマルチ業務リモコン (PA-C620) 1 台
PA-X13 1 台＝業務リモコン (PA-C50 シリーズ) 2 台

■ 追加電源ユニット (EM-N103) を接続する場合

非常リモコン接続台数	マルチ業務リモコン接続台数	業務リモコン接続台数	ユニットケース	PA-X13
4 台	4 台まで	4 台まで	接続可	2 台接続可
	0 台	8 台まで	接続可	2 台接続可
	8 台まで	0 台	接続可	2 台接続可

■ 緊急地震速報インターフェースユニット (TZ-3649) を接続する場合

EM-N103	非常リモコン接続台数	マルチ業務リモコン接続台数	業務リモコン接続台数	ユニットケース	PA-X13
無	2 台	0 台	0 台	必要	※1
	1 台	1 台	1 台まで		
	0 台	2 台	1 台まで		
	0 台	1 台	4 台まで		
	0 台	0 台	8 台まで		
有	4 台まで (※2)	4 台まで	4 台まで	必要	2 台接続可
		0 台	8 台まで		
		8 台まで	0 台		

※1 PA-X13 接続時は、接続リモコン台数を下記のように換算して減らしてください。

PA-X13 2 台＝非常リモコン (EM-C100 シリーズ)
　　　　またはマルチ業務リモコン (PA-C620) 1 台
PA-X13 1 台＝業務リモコン (PA-C50 シリーズ) 2 台

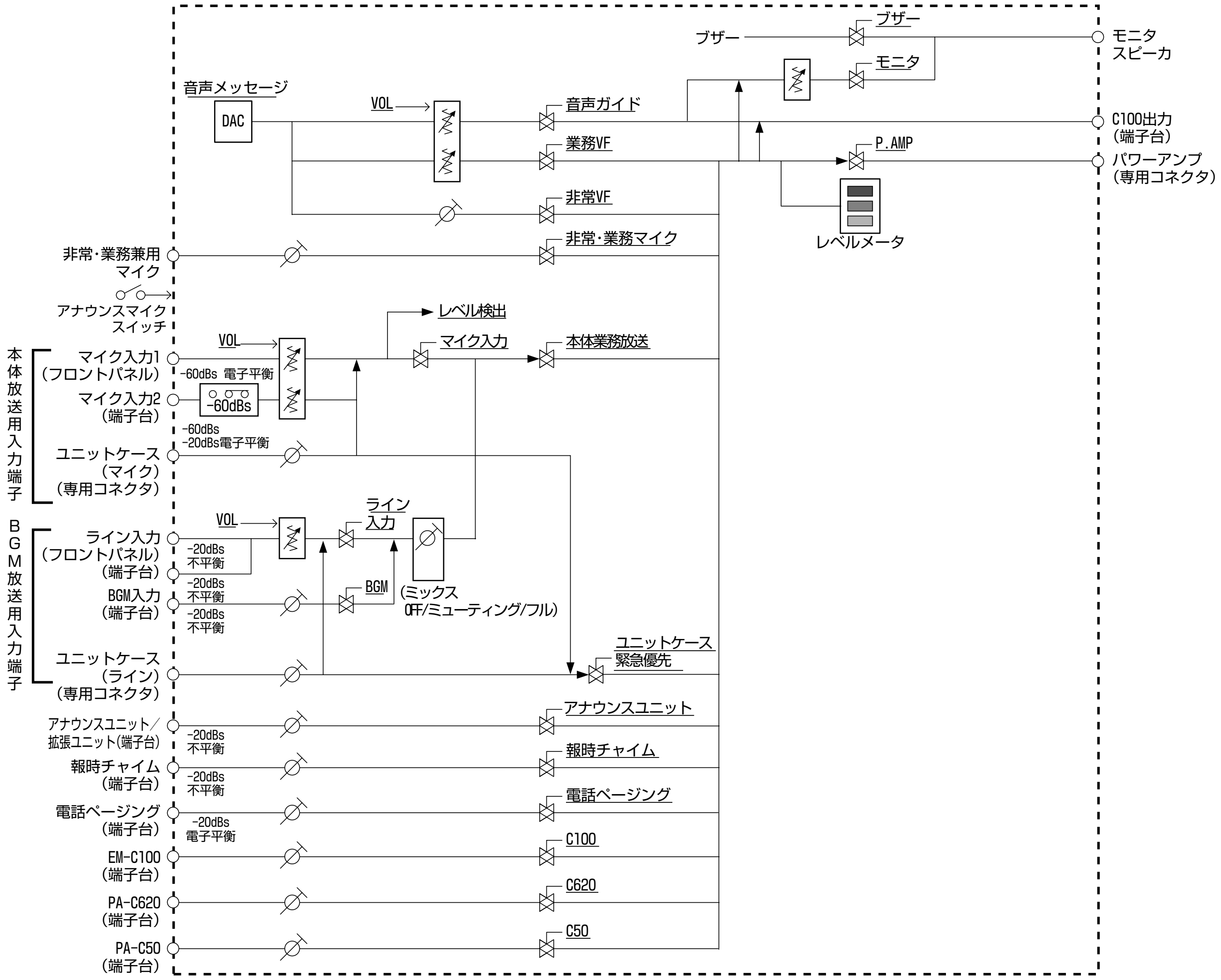
※2 パワーアンプが EM-KA80D の場合、蓄電池容量の制約で 3 台までしか接続できません。

システムの概要 (つづき)

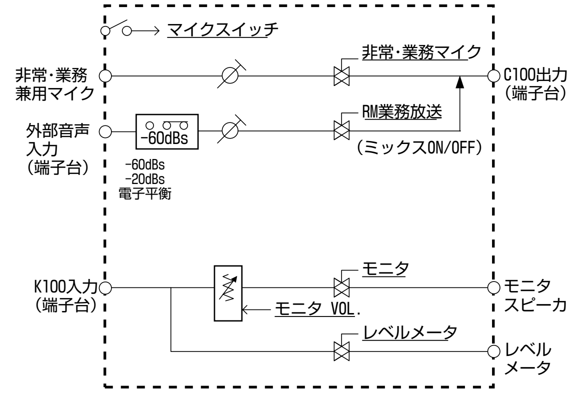
オーディオ系統図

電子ボリューム　半固定ボリューム　-60dBs 感度切替スイッチ　オーディオゲート

■EM-K100 シリーズ



■EM-C100 シリーズ



接続・設置

設置・設定の手順 14
プログラムシートの作成 15
壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100 シリーズ) の設置 21
デジタルパワーアンプユニット (EM-KA シリーズ) の組み込み 23
ユニットケース (EM-R103) の取り付け 24
緊急地震速報インターフェイス (TZ-3649) の取り付け 29
追加電源ユニットケース (EM-N103) の取り付け 31
スピーカー回線の接続 33
スピーカー回路分割ユニット (EM-D2) について 33
自動火災報知設備との接続 34
RB 端子、非常時リレー端子への接続 37
スピーカー切換器 (PA-X13) の接続 38
マルチ業務リモコン (PA-C620) の接続 39
業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続 44
マイク・BGM 機器の接続（手動起動）. 46
アナウンスユニット・BGM 機器の接続（タイマー起動）. 47
電話ページング機器の接続 49
外部起動入力接続先表示シートの貼り付け 49
非常業務遠隔操作器 EM-C100 シリーズの設置 50
常用電源（AC100 V）の接続 52
蓄電池の組み込み 54
設置完了後に機器を取りはずす場合 55
ラックマウント金具の取り付け 56
ネームカードについて 58

設置・設定の手順

下記は、設置工事の標準的な手順です。
Step1 〜 Step11 を参考に設置・設定を行なってください。

Step1　システムの確認とプログラムシートの作成（☞ 15 ページ）

設置工事前にシステムの確認を行い、使用ユニットをチェックしてください。
プログラムの入力を容易にするために下記シートをコピーし、記入してください。設置 / 設定作業を効率的に進められます。

- [環境 / 非常放送設定プログラムシート] (☞ 158 ページ)
- [業務放送設定プログラムシート] (☞ 159 ページ)
- [放送階選択　同一階連動階設定シート] (☞ 160ページ)
- [ブロックスイッチ回線No. 設定シート] (☞ 161 ページ)
- [マルチ業務リモコン 回線No. 設定シート](☞ 162 ページ)
- [起動入力　回線 No. 設定シート] (☞ 163 ページ)

▼

Step2　機材搬入

▼

Step3　EM-K100 シリーズ本体の設置・固定（☞ 21 ページ）

※ラックマウント金具を使用する場合、設置前にラックマウント金具の取り付けを行なってください。（☞ 56 ページ）

▼

Step4　EM-K100 シリーズ本体内部の接続と組み込みユニットの取り付け (☞23 ページ〜 58 ページ)

▼

Step5　外線の接続

外線の EM-K100 シリーズ本体への通線位置 / 方法およびラック内の引き回し場所については、ワイヤー接続点へ無理な力が掛からない方法、保守点検のしやすさなどを配慮してください。

①スピーカー回線の接続（☞ 33 ページ）
②マルチ業務リモコンの接続（☞ 39 ページ）
③業務リモコンの接続（☞ 44 ページ）
④本体外部起動機器との接続（☞ 47 ページ）
⑤常用電源（AC100V）の接続（☞ 52 ページ）
⑥蓄電池の組み込み（☞ 54 ページ）

▼

Step6　各ユニットの設定と調節（☞ 60 ページ）

▼

Step7　接続完了の確認（☞ 64 ページ）

システム設定作業に入るための最終確認です。

▼

Step8　絶縁抵抗試験を行う（☞ 142 ページ）

▼

Step9　システム設定を行う

システム制御を行うための設定データを入力します。
事前にプログラムシートを作成しておくと、効率的に設定作業を行うことができます。

環境設定を行う（☞ 72 ページ）
非常放送動作設定を行う（☞ 75 ページ）
業務放送動作設定を行う（☞ 81 ページ）
回線 No. 設定を行う（☞ 90 ページ）

- 放送階選択（☞ 91 ページ）
- ブロックスイッチ（☞ 98 ページ）
- 起動入力（☞ 101 ページ）
- マルチ業務リモコン（☞ 104 ページ）

▼

Step10　動作確認を行う（☞ 114 ページ）

通常モードに戻し、動作の確認を行なってください。

▼

Step11　設備引渡し

設置時に設定したプログラムの内容は、将来システム変更、増設時に必要となりますので、プログラムシートのコピーを「取扱説明書」と一緒にお客様に渡してください。

▼

作業完了

プログラムシートの作成

環境 / 非常放送設定プログラムシート

[環境 / 非常放送設定プログラムシート] (☞ 158 ページ) を使用します。

■ 環境設定

1 スピーカー回線数･････････ ☑10回線 ☐15回線 ☐20回線
2 緊急優先放送 入力端子････ ☑ユニットケース ☐アナウンスユニット ☐ユニットケース+アナウンスユニット ☐未使用
3 メンテナンス時刻･････････〔 23 〕時 〔 00 〕分 ②
4 LCDバックライト･････････ ☑点灯 ☐消灯 ☐キー連動
5 リモコン接続選択･･･････ ☑マルチ業務リモコン＋業務リモコン ☐マルチ業務リモコン（No1～No8）☐業務リモコン（No1～No8）
6 時計表示････････････････ ☐日付 ☑時刻 ☐表示なし

①

■ 非常放送動作設定

1 自火報起動時の動作･･････ ☑連動 ☐連動一斉
2 手動起動時の動作･････････ ☑階別 ☐連動
3 発報連動停止･････････････ ☐連動 ☑発報停止
4 発報火災切換･････････････ ☑発報 ☐火災
5 発報放送形式･････････････ ☑2回 ☐連続して繰り返し
☐15秒間隔で繰り返し ☐30秒間隔で繰り返し
6 火災放送移行時間･････････〔 5 〕分 〔 〕秒
7 一斉移行時間･････････････〔 5 〕分 〔 〕秒 ☐設定しない ④
8 音声警報の言語･･･････････ ☑日本語 ☐日本語＋英語
9 音声操作ガイド･･･････････ ☑あり ☐なし

③

10 音声操作ガイドの音量･････ 大きさ〔 5 〕 0~9 ⑤

[記入例]

■ 環境設定

① 1, 2, 4, 5, 6 の該当する項目の☐に “✓” を記入する

② 3 毎日のメンテナンス時刻を記入する

■ 非常放送設定

③ 1, 2, 3, 4, 5, 8, 9 の該当する項目の☐に “✓” を記入する

④ 6,7 各々の時間を 30 秒単位で記入する

⑤ 10 音声操作ガイドの音量を 0 ～ 9 の範囲で記入する

プログラムシートの作成 (つづき)

業務放送設定プログラムシート

[業務放送設定プログラムシート] (☞ 159 ページ) を使用します。

■ 業務放送設定

1 チャイムの種類

①チャイム1	☑4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□CO1	□CO2
②チャイム2	□4音アップ早い	☑4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□CO1	□CO2
③報時チャイム(起動時)	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□CO1	□CO2
④アナウンスユニット(起動時)	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□CO1	□CO2
⑤ページング(起動時)	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□CO1	□CO2

①

2 チャイム音量　大きさ〔 5 〕 0~9　②

3 メッセージスイッチ

①メッセージ1　□4音アップ早い　□4音ダウン早い　□4音アップ遅い　□4音ダウン遅い　□2音　□1音　□CO1　□CO2
☑サイレン □Wミンスター □M1 □M2 □M3 □M4 □M5 □M6 □M7 □M8 □M9 □M10 □M11 □M12
再生回数　□繰り返し　☑1回
音量　大きさ〔 5 〕 0~9

②メッセージ2　□4音アップ早い　□4音ダウン早い　□4音アップ遅い　□4音ダウン遅い　□2音　□1音　□CO1　□CO2
□サイレン □Wミンスター □M1 □M2 ☑M3 □M4 □M5 □M6 □M7 □M8 □M9 □M10 □M11 □M12
再生回数　□繰り返し　☑1回
音量　大きさ〔 5 〕 0~9

4 BGMミックス

①本体	☑オフ	□ミューティング	□フル
マイク連動	□あり	☑なし	
②非常リモコン	☑オフ	□ミューティング	□フル
③マルチ業務リモコン 1	□オフ	☑ミューティング	□フル
④マルチ業務リモコン 2	□オフ	☑ミューティング	□フル
⑤マルチ業務リモコン 3	□オフ	☑ミューティング	□フル
⑥マルチ業務リモコン 4	□オフ	☑ミューティング	□フル
⑦マルチ業務リモコン 5	□オフ	□ミューティング	□フル
⑧マルチ業務リモコン 6	□オフ	□ミューティング	□フル
⑨マルチ業務リモコン 7	□オフ	□ミューティング	□フル
⑩マルチ業務リモコン 8	□オフ	□ミューティング	□フル
⑪業務リモコン	□オフ	☑ミューティング	□フル
⑫ページング	□オフ	□ミューティング	□フル
⑬報時チャイム	□オフ	□ミューティング	□フル
⑭アナウンスユニット	□オフ	□ミューティング	□フル
⑮メッセージ	□オフ	□ミューティング	□フル
⑯拡張ユニット	□オフ	□ミューティング	□フル

5 一斉放送スイッチ　□通常　☑緊急

6 業務優先順位

緊急優先放送	1■（固定）				
①本体	2☑	3□	4□	5□	6□
②非常リモコン	2☑	3□	4□	5□	6□
③マルチ業務リモコン 1	2□	3☑	4□	5□	6□
④マルチ業務リモコン 2	2□	3☑	4□	5□	6□
⑤マルチ業務リモコン 3	2□	3☑	4□	5□	6□
⑥マルチ業務リモコン 4	2□	3☑	4□	5□	6□
⑦マルチ業務リモコン 5	2□	3□	4□	5□	6□
⑧マルチ業務リモコン 6	2□	3□	4□	5□	6□
⑨マルチ業務リモコン 7	2□	3□	4□	5□	6□
⑩マルチ業務リモコン 8	2□	3□	4□	5□	6□
⑪業務リモコン	2□	3☑	4□	5□	6□
⑫ページング	2□	3□	4□	5□	6□
⑬報時チャイム	2□	3□	4□	5□	6□
⑭アナウンスユニット	2□	3□	4□	5□	6□
⑮メッセージ	2□	3□	4□	5□	6□
⑯拡張ユニット	2□	3□	4□	5□	6□
BGM	6■（固定）				

7 緊急優先放送時のRB制御　□あり　☑なし

[記入例]

① 1, 3, 4, 5, 6, 7 の該当する項目の□に "✓" を記入する

② 各々、音量を 0 ～ 9 の範囲で記入する

放送階選択　同一階連動階設定プログラムシート

[放送階選択　同一階連動階設定シート] (☞ 160 ページ) を使用します。

①

放送エリア / 自火報エリア	出火階情報	放送エリア / 自火報エリア	1階A	1階B	1階C	2階A	2階B	2階C														
		放送階選択スイッチNo. / EL No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1階A	001	1	●	○	○	○	○	○														
1階B	001	2	○	●	○	○	○	○														
1階C	001	3	○	○	●	○	○	○														
2階A	002	4				●	○	○														
2階B	002	5				○	●	○														
2階C	002	6				○	○	●														
		7							●													
		8								●												
		9									●											
		10										●										
		11											●									
		12												●								
		13													●							
		14														●						
		15															●					
		16																●				
		17																	●			
		18																		●		
		19																			●	
		20																				●

② ③ ④

① 放送階選択スイッチ No./EL No.（スピーカー回線 No.）に対応するスピーカーエリア名、階を記入する
② ① と同様に、放送階選択スイッチ No./EL No.（スピーカー回線 No.）に対応するスピーカーエリア名、階を記入する
③ 出火階情報に対応する非常放送メッセージの No.（0 〜 130）を記入する（0: 階情報なし）
④ 同一階は “●” を、連動階は “○” を記入する

プログラムシートの作成 (つづき)

ブロックスイッチ回線No.設定プログラムシート

[ブロックスイッチ回線 No. 設定シート] (☞ 161 ページ) を使用します。

放送エリア ②	ブロックスイッチNo.	放送機器(放送グループ) ③	メッセージ ④	メッセージNo. ⑤	メッセージ再生回数 ⑥	メッセージ音量 ⑦	緊急指定 ⑧	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
スピーカーエリア ①								1階A	1階B	1階C	2階A	2階B	2階C														
全体	1	BGM						○	○	○	○	○	○														
全体	2	緊急					○	○	○	○	○	○	○														
全体	3	業務	○	12	1	5	○	○	○	○	○	○	○														
1階	4	業務						○	○	○																	
2階	5	業務									○	○	○														

(スピーカー回線No. 1～20 ⑨)

① スピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入する

② ブロックスイッチ No. に対応する放送エリアを記入する

③ 放送機器（放送グループ）を、緊急優先、業務、BGM の 3 種類から選び記入する

④ メッセージ（内蔵）を使用する場合は "○" を記入する（メッセージは緊急優先、業務の場合に設定できます。）

⑤ メッセージの番号を下記 1 ～ 22 で記入する（メッセージ内容の詳細 ☞ 86 ページ）

メッセージ番号	内容
1	4 音アップはやい
2	4 音ダウンはやい
3	4 音アップおそい
4	4 音ダウンおそい
5	2 音
6	1 音
7	サイレン
8	ウエストミンスターの鐘
9	M01：緊急地震速報
10	M02：緊急地震速報（訓練）
11	M03：緊急地震速報（誤報）
12	M04：防犯
13	M05：防犯（学校向け）
14	M06：放課後（学校向け）
15	M07：店舗の開店
16	M08：店舗の閉店
17	M09：省エネ
18	M10：避難訓練（発報メッセージ）
19	M11：避難訓練（火災メッセージ）
20	M12：火災防止
21	C01：ユーザーチャイム 1
22	C02：ユーザーチャイム 2

⑥ メッセージの再生回数を " 繰り返し "、"1 回のみ " の 2 種類から選び記入する

⑦ メッセージの再生音量を 0 ～ 9 で記入する

⑧ 緊急指定を行うブロックスイッチに "○" を記入する

⑨ ブロック放送を行うスピーカー回線 No. に "○" を記入する

マルチ業務リモコン回線No.プログラムシート

[マルチ業務リモコン 回線 No. 設定シート] (☞ 162 ページ) を使用します。

① ②

マルチ業務リモコン No[ ](1～8)

放送エリア	ブロックスイッチNo.	スピーカー回線No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		スピーカーエリア	1階A	1階B	1階C	2階A	2階B	2階C														
		緊急指定																				
全体	1	○	○	○	○	○	○	○														
1階	2		○	○	○																	
2階	3					○	○	○														
A室	4		○			○																
B室	5			○			○															
C室	6				○			○														
	7																					
	8																					
	9																					
	10																					
	11																					
	12																					
	13																					
	14																					
	15																					
	16																					
	17																					
	18																					
	19																					
	20																					

③ ④ ⑤

① 接続するリモコンの No. を記入する（1～8）

② スピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入する

③ マルチ業務リモコンのブロックスイッチ No. に対応する放送エリアを記入する

④ 緊急指定を行うブロックスイッチに “○” を記入する

⑤ マルチ業務リモコンで放送を行う回線 No. に “○” を記入する

プログラムシートの作成 (つづき)

起動入力回線No.設定プログラムシート

[起動入力　回線 No. 設定シート] (☞ 163 ページ) を使用します。

①

放送エリア	接続機器名	起動チャイム	放送機器(放送グループ)	メッセージ	メッセージNo.	メッセージ再生回数	メッセージ再生音量	起動入力No.	スピーカーエリア / スピーカー回線No. / 緊急指定	1 (1F テナント)	2 (2F テナント)	3 (1F 通路)	4 (2F 通路)	5 (B1 駐車場)	6 (1R ロビー)	7 (2F 休憩所)
テナント	受付 業務リモコン	○	業務リモコン					1	○	○	○					
共用	受付 業務リモコン	○	業務リモコン					2				○	○	○	○	○
開店 閉店	PA-DA600		報時チャイム					3		○	○	○	○	○	○	○
開店前 閉店後	PA-DA600		アナウンスユニット					4		○	○	○	○	○	○	○
30分毎 CM	PA-DA600		アナウンスユニット					5		○	○	○	○	○	○	○
緊急メッセージ	PA-DR600		緊急優先					6		○	○	○	○	○	○	○
防犯メッセージ	防犯システム		緊急優先	○	12	繰り返し	5	7		○	○	○	○	○	○	○

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

① スピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入する

② 起動入力に接続する機器と対応する放送エリアを記入する

③ 起動時のチャイム使用するときは、“○” を記入する。（放送機器（放送グループ）が、報時チャイム / アナウンスユニット / 電話ページングの場合）

④ 放送機器（放送グループ）を次の 7 種類から選択し、記入する
（業務リモコン、報時チャイム、アナウンスユニット、電話ページング、メッセージ、BGM、緊急優先）

⑤ メッセージ（内蔵）を使用する場合 “○” を記入する（メッセージは放送機器（放送グループ）が緊急優先の場合も使用可能）

⑥ メッセージの番号を下記 1 ～ 22 で記入する（メッセージ内容の詳細 ☞ 86 ページ）

メッセージ番号	内容
1	4 音アップはやい
2	4 音ダウンはやい
3	4 音アップおそい
4	4 音ダウンおそい
5	2 音
6	1 音
7	サイレン
8	ウエストミンスターの鐘
9	M01：緊急地震速報
10	M02：緊急地震速報（訓練）
11	M03：緊急地震速報（誤報）

メッセージ番号	内容
12	M04：防犯
13	M05：防犯（学校向け）
14	M06：放課後（学校向け）
15	M07：店舗の開店
16	M08：店舗の閉店
17	M09：省エネ
18	M10：避難訓練（発報メッセージ）
19	M11：避難訓練（火災メッセージ）
20	M12：火災防止
21	C01：ユーザーチャイム 1
22	C02：ユーザーチャイム 2

⑦ メッセージの再生回数を “ 繰り返し ”、“1 回のみ ” の 2 種類から選び記入する

⑧ メッセージの再生音量を 0 ～ 9 で記入する

⑨ 緊急指定を行う起動入力に “○” を記入する

⑩ 起動入力で放送を行う回線 No. に “○” を記入する

壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100 シリーズ) の設置

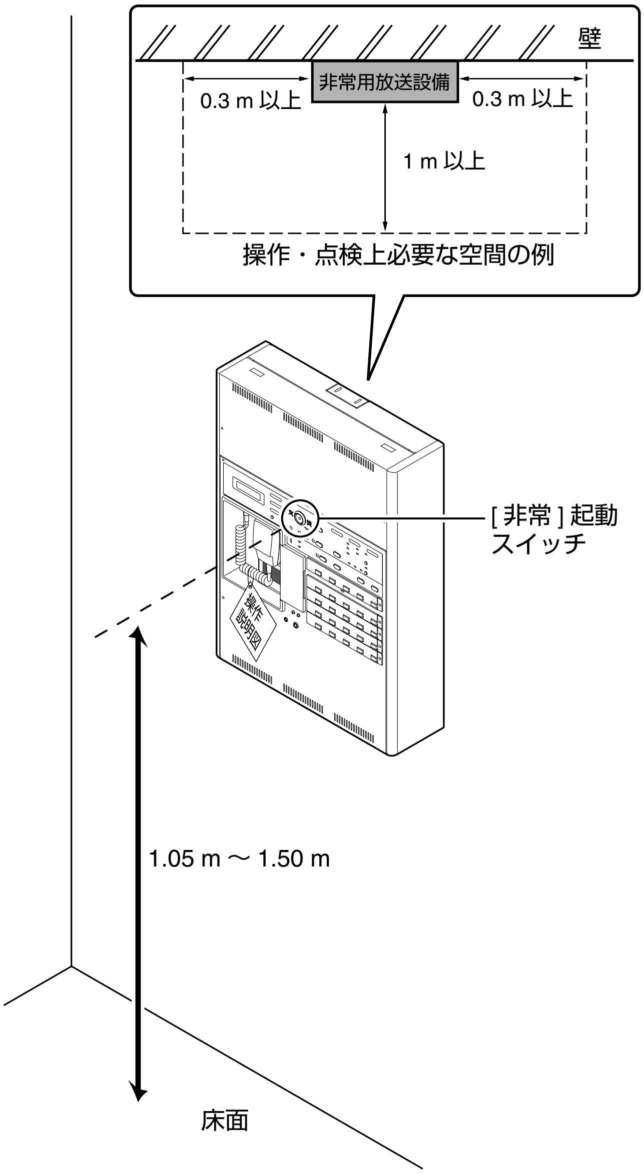
設置場所

消防法および関連法令などで規定されていますので、ご注意ください。

- 常時人のいる場所
- 防火上有効な処置を講じた場所
- 操作上支障となる障害物がない場所

取り付け位置

- [非常] 起動スイッチの位置が床面から 1.05 m ～ 1.50 m の高さになるように取り付けます。
- 添付の型紙幅から左右各々 0.3 m 以上の空間が確保できる壁面に取り付けます。



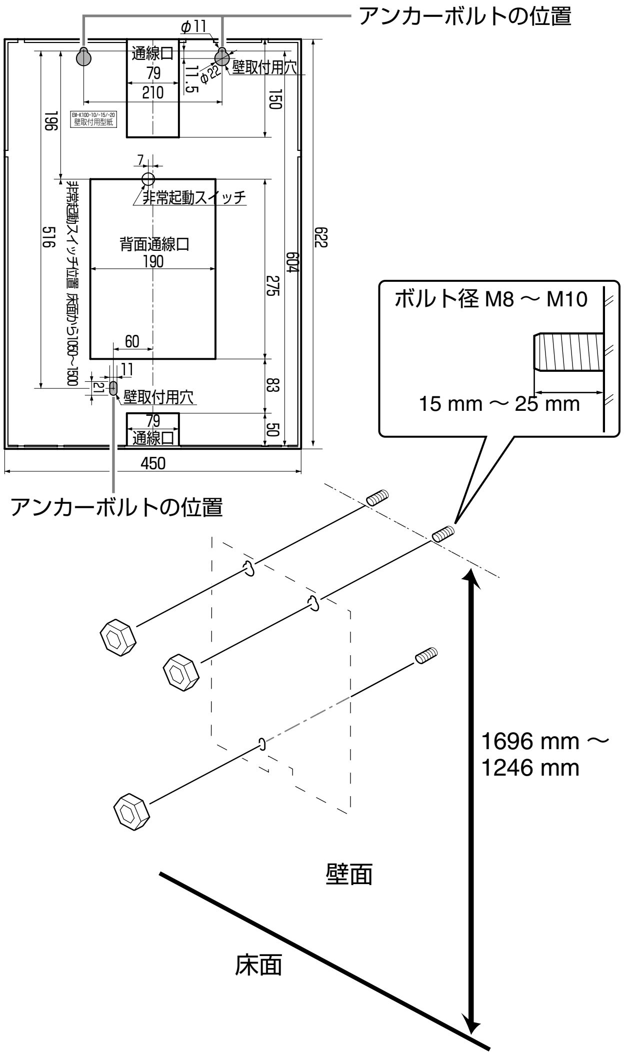
取り付け方法

ご注意 :

- 壁面への取り付けは垂直姿勢にしてください。傾斜のある壁面や、横向きに取り付けないでください。放熱が正常にできなくなり、内部の温度上昇によって、故障・発熱・発火の原因となります。

1 壁にアンカーボルトを打ち込む

- 添付の型紙の幅から左右各々 0.3 m 以上の空間が確保できる壁面に取り付けます。
- 型紙に合わせ、3 箇所の穴をあけ、アンカーボルトを打ち込みます。



メモ :

- 取り付け用ボルトの出っ張りは壁から 15 mm ～ 25 mm にしてください。
- 本機の総質量は下記となります。容易に落下しないよう、十分強度をもつ工事方法で取り付けを行なってください。

本機とパワーアンプ、蓄電池の組合せ	EM-KA80D NB-165	EM-KA160D NB-35B	EM-KA240D NB-60	EM-KA380D NB-60
総質量	17.2 kg	20.1 kg	22.8 kg	23.2 kg

- 本機の取り付け穴はシャーシベースの 3 箇所を使い、3 本のボルトを取り付けてください。

壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100 シリーズ) の設置 (つづき)

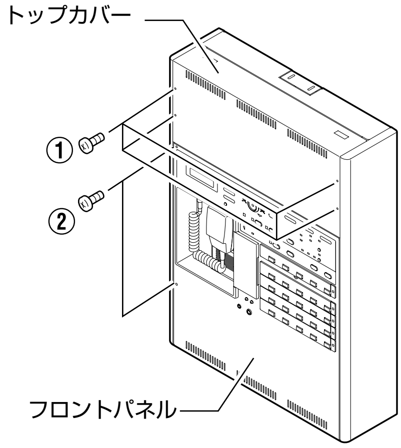
取り付け方法 (つづき)

2 本機を壁に固定する

① トップカバーのねじ（4 箇所）をゆるめ、トップカバーをはずします。

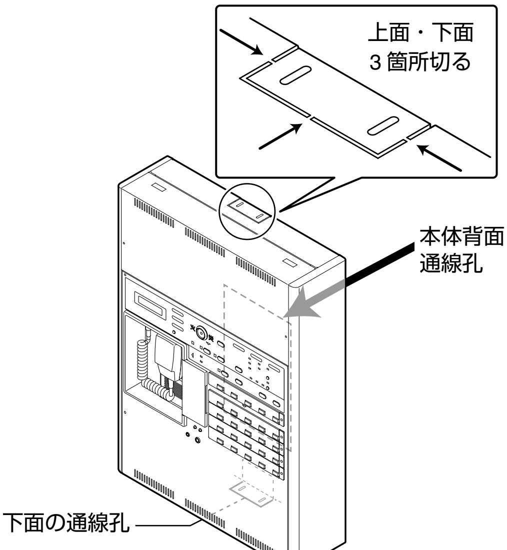
② フロントパネルのねじ（2 箇所）をゆるめ、フロントパネルをひらきます。

③ シャーシベースの取り付け穴にボルトを通し、ナットで固定します。



外部接続線の引き込み

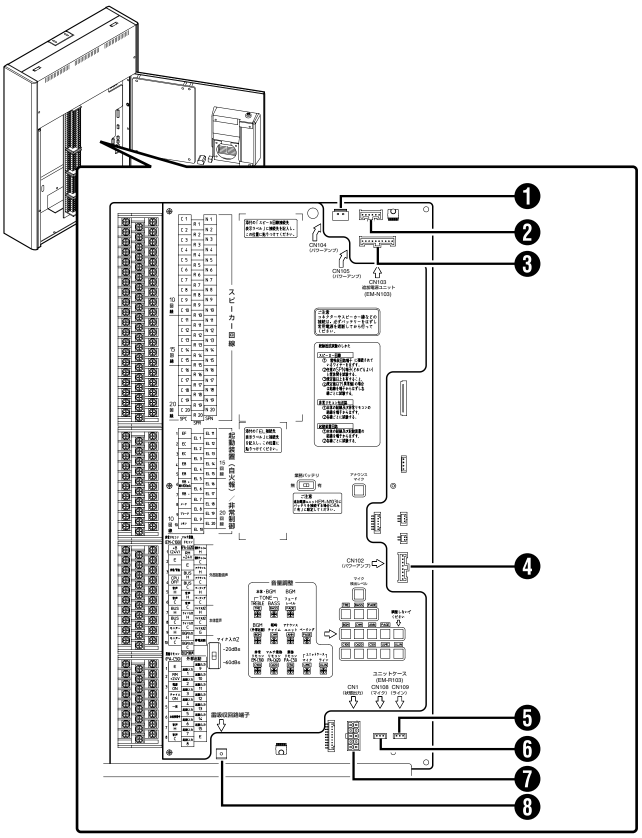
本機への外部接続線の引き込みは、上面、背面、下面の 3 箇所から行えます。



メモ :

- 上面と下面から引き込む場合、通線孔の金具をペンチやニッパーなどで切り取ってください。背面のシャーシベースには通線孔があいています。

TB 基板の接続



❶ **[CN104]**

デジタルパワーアンプからのワイヤー 2PIN（黄 / 白）を接続します。

❷ **[CN105]**

デジタルパワーアンプからのワイヤー 6PIN を接続します。

❸ **[CN103]**

追加電源ユニット (EM-N103) からのワイヤー 10PIN を接続します。

❹ **[CN102]**

デジタルパワーアンプからのワイヤー 8PIN を接続します。

❺ **[CN109（ライン）]**

ユニットケース (EM-R103) からのワイヤー 3PIN を接続します。

メモ :

- ラジオチューナーユニット(PA-F2-G)を使用する場合はここに接続します。

❻ **[CN108（マイク）]**

ユニットケース (EM-R103) からのワイヤー 3PIN を接続します。

メモ :

- ワイヤレスチューナーパネル（WT-P552-G/WT-P882-G）を使用する場合はここに接続します。

❼ **[CN1]**

動作状態信号を出力します。

❽ **[雷吸収回路端子]**

絶縁抵抗試験時にはずしてください。（☞ 142 ページ）

デジタルパワーアンプユニット (EM-KA シリーズ) の組み込み

デジタルパワーアンプは 4 機種あります。

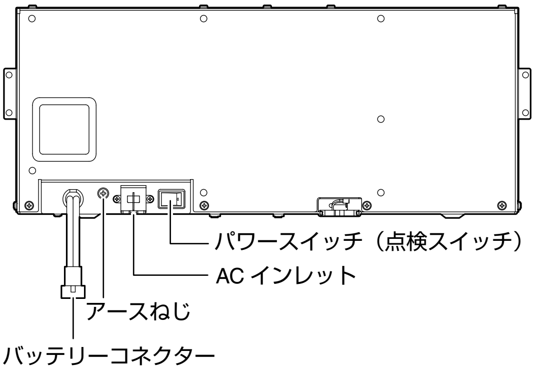
警告
全スピーカーの合計ワット数以上の定格出力をもつ機種を使用してください。発熱、発火、故障の原因となります。

型名	EM-KA80D	EM-KA160D	EM-KA240D	EM-KA380D
定格出力	80 W	160 W	240 W	380 W

ご注意 :

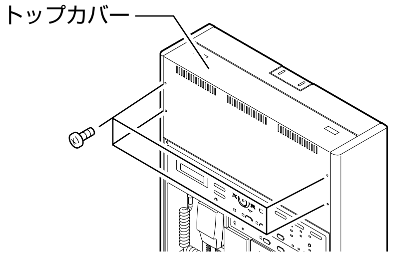
- デジタルパワーアンプユニット(EM-KA80D/EM-KA160D/EM-KA240D/EM-KA380D) は EM-K100 シリーズ専用であり、従来の EM-K80D シリーズのパワーアンプとは互換性がありません。
- デジタルパワーアンプユニット(EM-KA80D/EM-KA160D/EM-KA240D/EM-KA380D) では並列運転はできません。

各部の名称



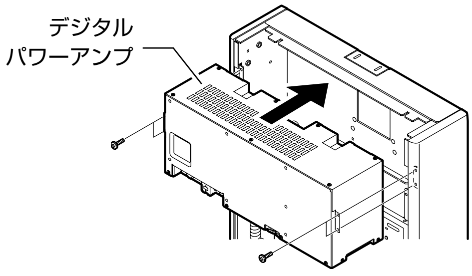
デジタルパワーアンプユニットの組み込み

1 EM-K100 シリーズ本体のトップカバーをはずす



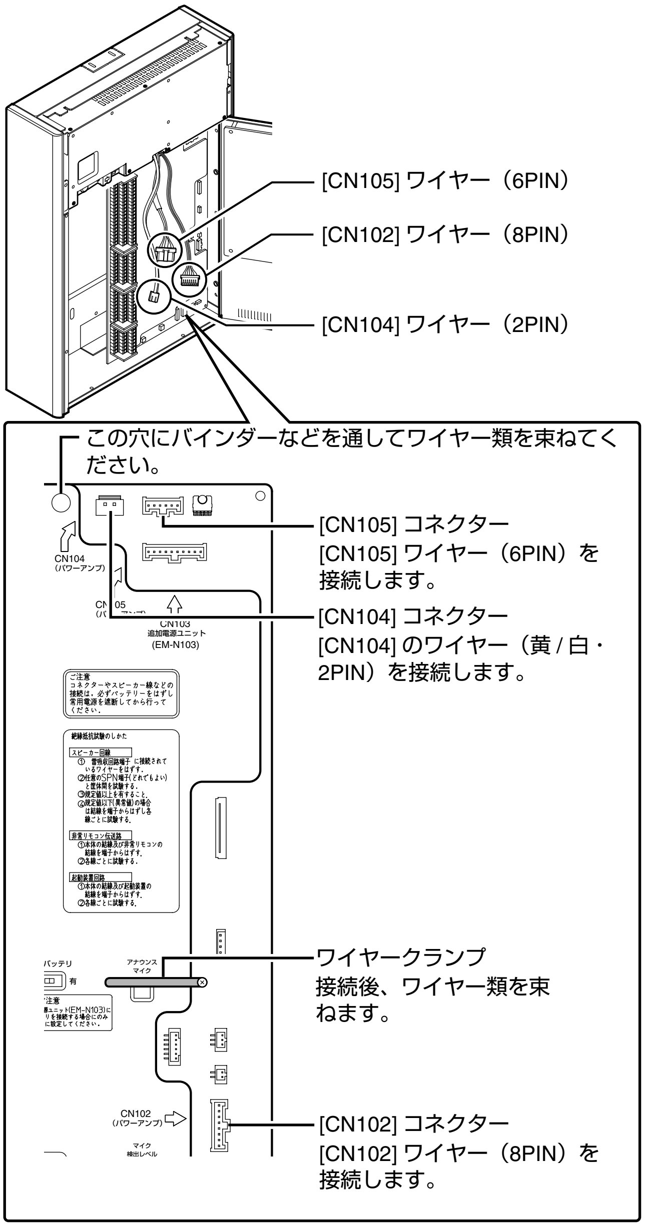
2 デジタルパワーアンプをEM-K100シリーズ本体に組み込む

デジタルパワーアンプを EM-K100 シリーズ本体にのせ、付属のねじ 4 本で固定します。



3 デジタルパワーアンプと EM-K100 シリーズ本体を接続する

デジタルパワーアンプのコネクターワイヤーを EM-K100 シリーズ本体の [CN104]（2PIN)、[CN105]（6PIN)、[CN102]（8PIN）コネクターにそれぞれ接続します。



ご注意 :

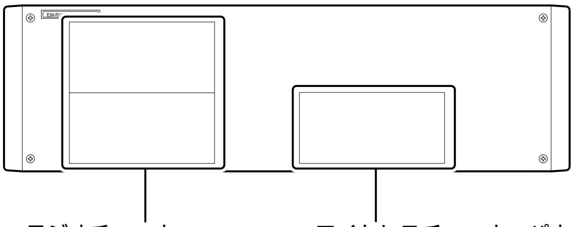
- ワイヤー類は接続後、EM-K100 シリーズ本体に装着されているワイヤークランプでとめてください。
- デジタルパワーアンプ下面のファン通風孔に、ワイヤーが入り込んだり、通風孔をふさがないようにワイヤーの配線に注意してください。

ユニットケース (EM-R103) の取り付け

ユニットケース (EM-R103) には下記の機器（別売）を収納することができます。

- ラジオチューナー (PA-F2-G)
- 光ワイヤレスチューナーパネル (WT-P552-G)
- 光ワイヤレスチューナーユニット（WT-UH51/WT-UH52）
- ワイヤレスチューナーパネル (WT-P882-G)
- ワイヤレスチューナーユニット（WT-UD80）×2 台
- プログラマブルタイマー (PA-TU20)
- 緊急地震速報インターフェースユニット (TZ-3649)

■ 各機器を組み込む場所は下記のように決まっています。



- ラジオチューナー (PA-F2-G)
- プログラマブルタイマー (PA-TU20) ※1
- 緊急地震速報インターフェースユニット (TZ-3649)

- ワイヤレスチューナーパネル(WT-P882-G)
- 光ワイヤレスチューナーパネル (WT-P552-G)
- プログラマブルタイマー (PA-TU20) ※1
- ワイヤレスチューナーユニット (WT-UD80) ※2
- 光ワイヤレスチューナーユニット (WT-UH51/WT-UH52) ※2

※ 1 左右どちらでも取り付け可能です。

※ 2 ユニットケース内部に収納します。

メモ :

- 工場出荷状態ではブランクパネルはフロントパネル右側と左下に取り付けられています。WT-P552-G または WT-P882-G のみを組み込む場合、ブランクパネルを左側に付け換えてください。

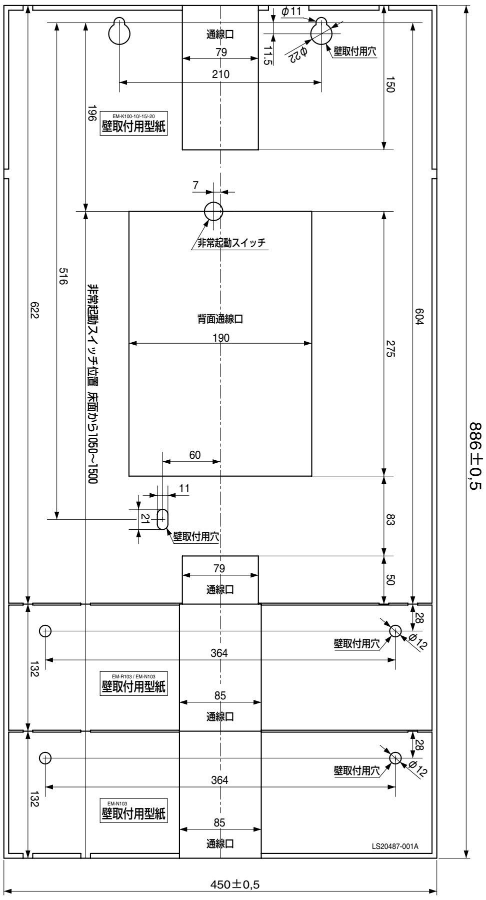
ユニットケース (EM-R103) を EM-K100 シリーズ本体に取り付ける

メモ :

- 各機器をユニットケース (EM-R103) に組み込んでから EM-K100 シリーズ本体に取り付け、壁に固定してください。

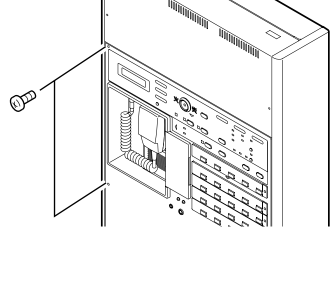
1 EM-R103 を壁に固定する

- 添付の型紙に合わせ、壁に 2 箇所の穴をあけ、アンカーボルトを打ち込みます。
- EM-R103 背面の 2 箇所の取り付け穴を使い、容易に脱落しないよう壁に固定してください。



2 EM-K100 シリーズ本体のフロントパネルをあける

フロントパネルのねじ（2 箇所）をゆるめ、フロントパネルをひらきます。



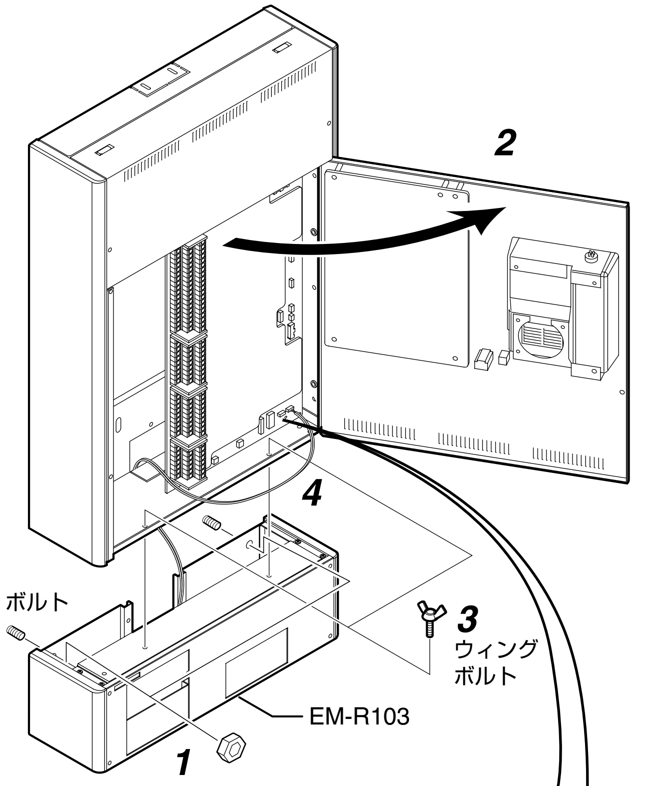
3 **ウイングボルト（EM-R103 に添付）で EM-R103 を EM-K100 シリーズ本体に取り付ける**

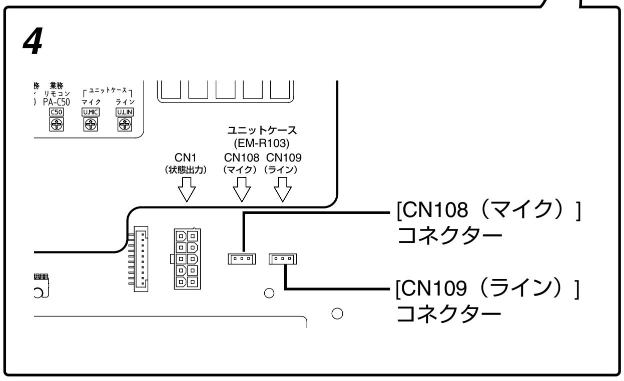
4 **EM-R103 と EM-K100 シリーズ本体を接続する**

3PIN-3PIN コネクター付きワイヤー（EM-R103 に添付）を EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の [CN108（マイク）] コネクターまたは、[CN109（ライン）] コネクターに接続します。

メモ：

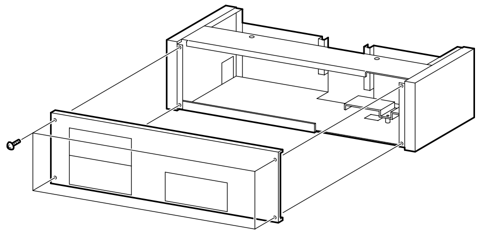
- EM-R103 接続機器にて BGM 放送（優先順位 6 位固定）を行う場合、3PIN-3PIN コネクター付きワイヤー（EM-R103 に添付）を [CN109（ライン）] コネクターに接続します。
- 本体放送（優先順位 2 位～ 6 位）を行う場合は、[CN108（マイク）] コネクターに接続します。
- [CN108（マイク）]、[CN109（ライン）] のどちらのコネクターに接続しても、設定によって緊急優先放送を行うことができます。





ラジオチューナー (PA-F2-G) を組み込む

1 **EM-R103 のフロントパネルをはずす**



2 **PA-F2-G をフロントパネルに取り付ける**

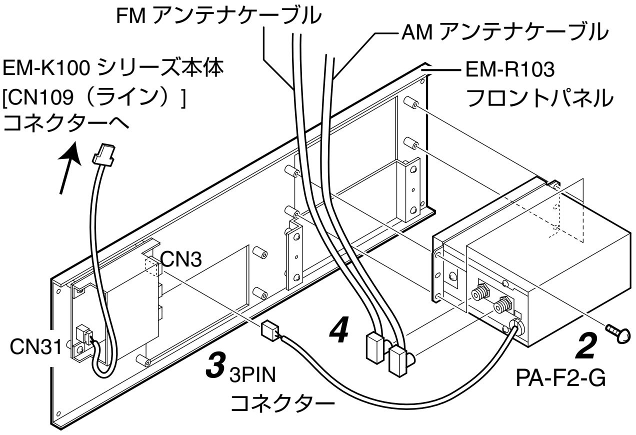
PA-F2-G をねじ 4 本（M3 × 6mm:PA-F2-G に添付）で EM-R103 のフロントパネルに取り付けます。

3 **PA-F2-G と EM-R103 を接続する**

PA-F2-G からでている 3PIN コネクターを EM-R103 内基板の [CN3] コネクターに差し込みます。

4 **アンテナケーブルを PA-F2-G のアンテナ端子に接続する**

F プラグを取り付けた FM および AM アンテナケーブルを、EM-K100 シリーズ本体下部の通線孔を通して PA-F2-G のアンテナ端子にそれぞれ接続します。



メモ：

- アンテナケーブルと F プラグの接続方法については、PA-F2-G の [取扱設置説明書] をご覧ください。

5 **EM-R103 を EM-K100 シリーズ本体に接続する**
(☞24 ページ , 手順 *1* ～ *4*）

EM-R103 に接続されている 3PIN コネクター（CN31）を、EM-K100 シリーズ本体のシャーシベース下の通線孔を通して EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上 [CN109（ライン）] コネクターに接続します。

6 **EM-R103 のフロントパネルを元の位置に取り付ける**

ユニットケース (EM-R103) の取り付け (つづき)

ワイヤレスチューナーユニット (WT-UD80) を組み込む

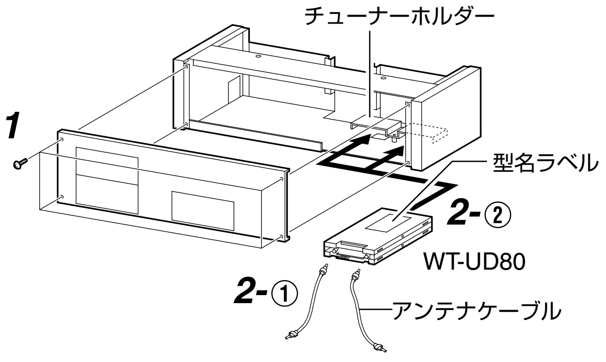
メモ :
- ワイヤレスチューナーユニット (WT-UD80) を組み込むには、チューナーパネル（WT-P882-G：別売）、アンテナ、ワイヤレスマイクが必要です。

1 **EM-R103 のフロントパネルをはずす**

2 **EM-R103 に WT-UD80 を取り付ける**

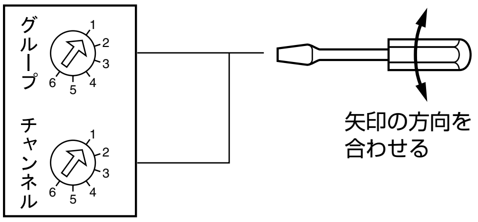
① アンテナケーブル 2 本（WT-UD80 に添付）を WT-UD80 のアンテナ端子に接続します。アンテナケーブルは根元までしっかり差し込んでください。

② WT-UD80 を EM-R103 内部のチューナーホルダーに差し込みます。



メモ :
- WT-UD80 は型名ラベルが上側になるよう取り付けます。
- WT-UD80 の信号端子およびアンテナ端子が EM-R103 のフロントパネル側にくるようにします。
- WT-UD80 がチューナーホルダーに差し込みづらいときは、チューナーホルダーの端を軽く持ち上げて差し込むと差し込みやすくなります。

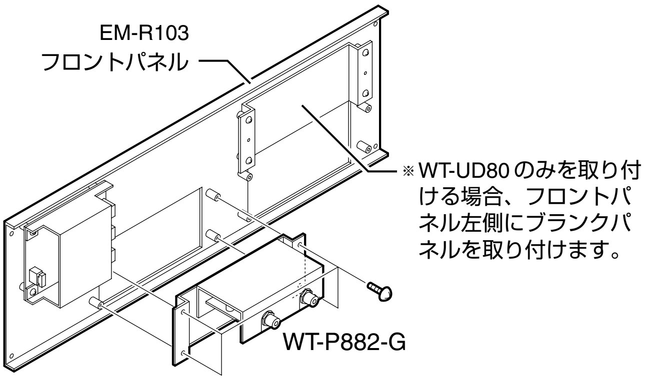
3 **WT-UD80 のグループとチャンネルをワイヤレスマイクに合わせる**



メモ :
- WT-UD80 を 2 台使用する場合は、2 台を同じグループ内の別チャンネルに合わせてください。
- チャンネルの合わせかたの詳細につきましては、それぞれの商品のに添付されている取扱説明書をご覧ください。

4 **EM-R103 に WT-P882-G を取り付ける**

ねじ 4 本（M3 × 6mm:WT-P882-G に添付）で WT-P882-G を EM-R103 のフロントパネルの右側に取り付けます。



5 **WT-P882-G の VR 基板と EM-R103 の基板を接続する**

3PIN-3PIN コネクタワイヤー（EM-R103 に添付）で WT-P882-G の VR 基板と EM-R103 の基板を接続します。

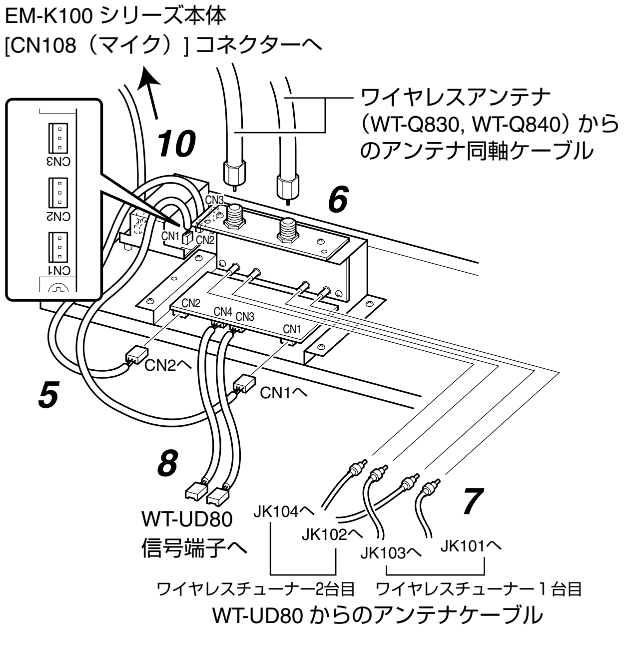
6 **ワイヤレスアンテナ（別売）2 台の同軸ケーブルをワイヤレスアンテナ端子に接続する**

ワイヤレスアンテナ（WT-Q830,WT-Q840）2 台の同軸ケーブルを EM-K100 シリーズ本体の通線孔 3 箇所（上部、下部、背面）のうちいずれかを通してチューナーパネル背面のワイヤレスアンテナ端子に接続します。

7 **手順 2-①で接続した WT-UD80 からのアンテナケーブルを WT-P882-G 分配基板に接続する**

メモ :
- ダイバーシティ効果を有効にするため、WT-P882-G 分配基板の JK101 と JK103 を 1 台のチューナーユニットに、JK102 と JK104 をもう 1 台のチューナーユニットに接続してください。

8 **4PIN コネクター（WT-P882-G に添付）を WT-UD80 の信号端子に接続する**



9 **EM-R103 のフロントパネルを元の位置に取り付ける**

10 **ユニットケース(EM-R103)をEM-K100シリーズ本体に組み込む (☞24 ページ , 手順 *1* ～ *4*)**

EM-R103 に添付されている 3PIN コネクター（CN31）を EM-K100 シリーズ本体のシャーシベース下の通線孔を通して EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上 [CN108（マイク）] コネクターに接続します。

光ワイヤレスチューナーユニット (WT-UH51/WT-UH52) を組み込む

メモ :

- 光ワイヤレスチューナーユニット (WT-UH51/WT-UH52) を組み込むにはチューナーパネル（WT-P552-G：別売）が必要です。

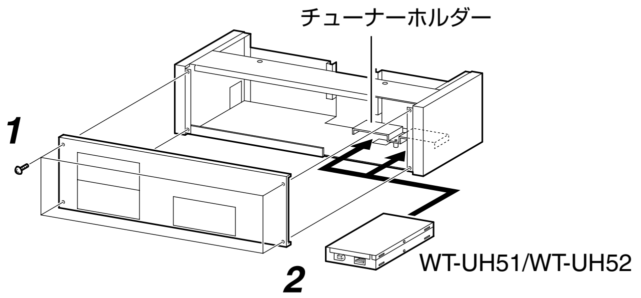
ご注意 :

- 光ワイヤレスチューナーユニット (WT-UH51/WT-UH52) は 2 台組み込むことができます。その場合、WT-UH51/ WT-UH52 をそれぞれ 1 台ずつ組み込むことになります。WT-UH51 を 2 台または、WT-UH52 を 2 台で組み込むことはできません。

1 **EM-R103 のフロントパネルをはずす**

2 **EM-R103 に WT-UH51/WT-UH52 を取り付ける**

WT-UH51/WT-UH52 を EM-R103 内部のチューナーホルダーに差し込みます。

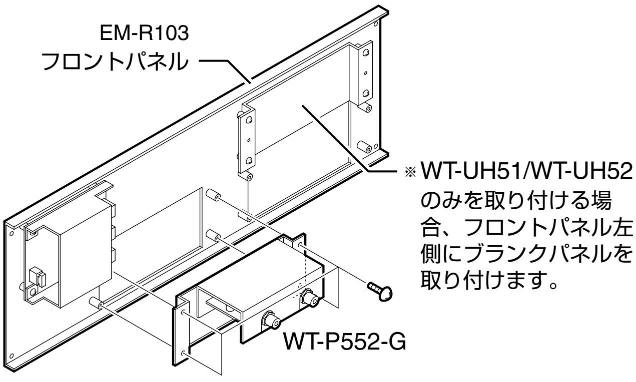


メモ :

- WT-UH51/WT-UH52 の型名ラベルが下側になるように取り付けます。
- WT-UH51/WT-UH52のコネクター部分がEM-R103のフロントパネル側にくるようにします。
- WT-UH51/WT-UH52 がチューナーホルダーに差し込みづらいときは、チューナーホルダーの端を軽く持ち上げて差し込むと差し込みやすくなります。

3 **EM-R103 に WT-P552-G を取り付ける**

ねじ 4 本（M3 × 6mm:WT-P552-G に添付）で WT-P552-G を EM-R103 のフロントパネルの右側に取り付けます。



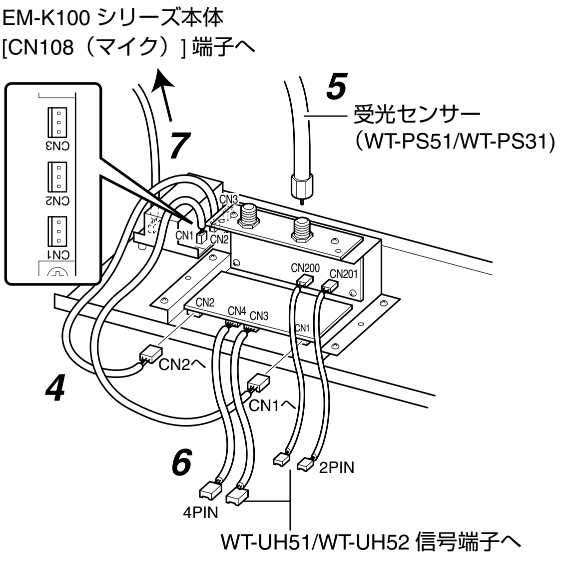
4 **WT-P552-G の VR 基板と EM-R103 の基板を接続する**

3PIN-3PIN コネクタワイヤー（EM-R103 に添付）で WT-P552-G の VR 基板と EM-R103 の基板を接続します。

5 **受光センサー（別売）からの同軸ケーブルを同軸ケーブル端子に接続する**

受光センサー（WT-PS51 または WT-PS31）からの同軸ケーブルを EM-K100 シリーズ本体の通線孔 3 箇所（上部、下部、背面）のうちいずれかを通してチューナーパネル背面の同軸ケーブル端子に接続します。

6 **4PIN および 2PIN コネクター（WT-P552-G に添付）を WT-UH51/WT-UH52 のコネクターに接続する**



7 **ユニットケース(EM-R103)をEM-K100シリーズ本体に接続する (☞24 ページ , 手順 *1* ～ *4*)**

EM-R103 に添付されている 3PIN コネクター（CN31）を EM-K100 シリーズ本体のシャーシベース下の通線孔を通して EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上 [CN108（マイク）] コネクターに接続します。

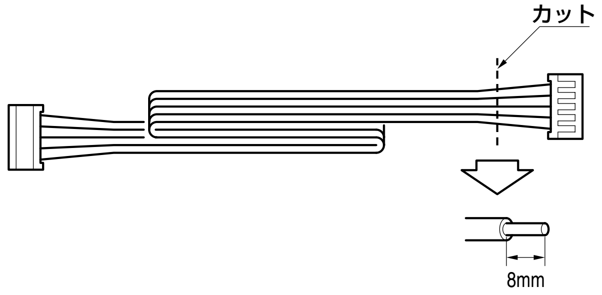
8 **EM-R103 のフロントパネルをねじ 4 本で元の位置に取り付ける**

ユニットケース (EM-R103) の取り付け (つづき)

プログラマブルタイマー (PA-TU20) の組み込み（報時チャイムとして使用する場合）

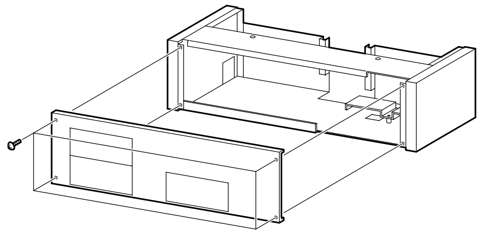
PA-TU20 は左右どちらでも取り付けることができます。

1 **PA-TU20 に添付の 5PIN コネクター（CN-T1）をカットし、被服をむきバラ線にする**

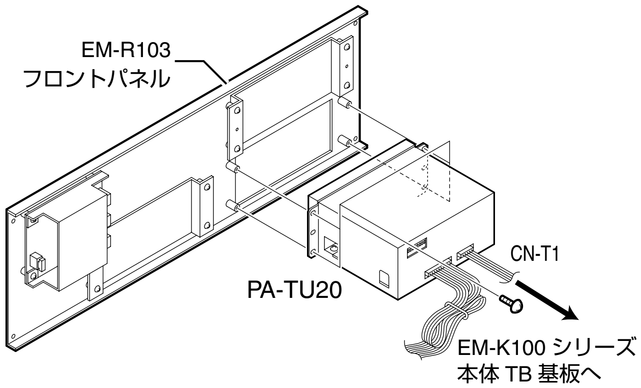


2 **5PIN コネクター（CN-T1）を PA-TU20 の [CN-T1] コネクターに接続する**

3 **EM-R103 のフロントパネルをはずす**



4 **ねじ 4 本**（M3 × 6mm:**PA-TU20** に添付）で **PA-TU20 を EM-R103 のフロントパネルに取り付ける**

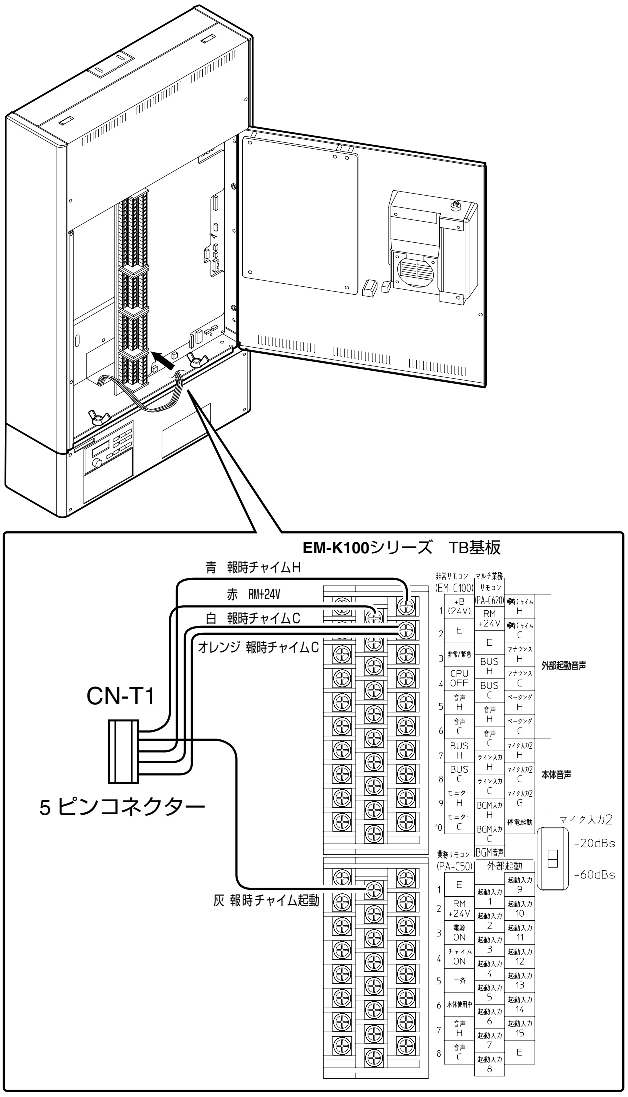


5 **ユニットケース (EM-R103) を EM-K100 シリーズ本体に接続する (☞24 ページ , 手順 *1* ～ *4*)**

6 **EM-R103 のフロントパネルを元の位置に取り付ける**

7 **PA-TU20 と EM-K100 シリーズ本体を接続する**

手順 1 で処理した 5PIN コネクター（CN-T1）を EM-K100 シリーズ本体のシャーシベース下の通線孔を通して EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上 [報時チャイム] 外部起動音声端子、[RM+24V] 端子および、[起動入力 1] 外部起動端子に接続します。



メモ :

- EM-K100 シリーズ本体に内蔵のメッセージをタイマーで起動する場合は、10P コネクター（CN-T2）を使用します。CN-T2 の片側をカットして TB 基板上の [外部起動] 端子に接続し、本放送システムを起動させます。CN-T2 の詳細については、PA-TU20 の「取扱説明書」をご覧ください。
- 起動入力の設定で放送機器（放送グループ）として " アナウンスユニット " を指定し、放送したいスピーカー回線 No. を設定します。詳細は [起動入力の設定] (☞ 101 ページ) をご覧ください。

組み込んだユニットを使用する

ラジオチューナーユニット (PA-F2-G)、ワイヤレスチューナーユニット (WT-UD80)、光ワイヤレスチューナーユニット (WT-UH51/WT-UH52) を操作し放送することができます。

1 放送先を選ぶ

放送階選択スイッチ、一斉放送スイッチ、ブロックスイッチなど、必要なスイッチを押します。
（電源も同時に入ります）

2 各ユニットを操作する

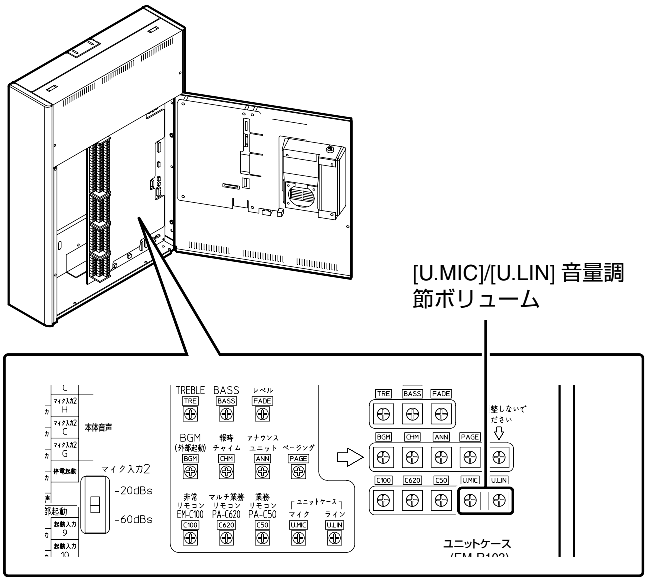
メモ：

- 操作方法の詳細については、各ユニットに添付されている [取扱説明書] をご覧ください。
- 手動操作時、ラジオチューナーユニット (PA-F2-G)、ワイヤレスチューナーユニット (WT-UD80)、光ワイヤレスチューナーユニット (WT-UH51/WT-UH52) の音声信号は、[CN108（マイク）] または [CN109（ライン）] を通り EM-K100 シリーズ本体のミキサー回路に入力されます。

ユニットの音量調節について

取り付けたユニット（PA-TU20 を除く）の音量は、EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の [U.MIC] 音量調節ボリュームまたは [U.LIN] 音量調節ボリュームで行います。

[U.MIC] ：EM-R103 に接続されたワイヤレスマイクの音量を調節します。
[U.LIN] ：EM-R103 に接続されたラジオチューナーユニット (PA-F2-G) の音量を調節します。

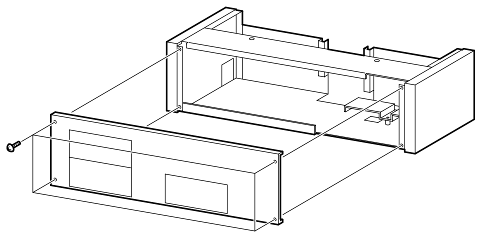


メモ：

- PA-TU20の音量調節は[報時チャイム]音量調節ボリュームで行います。(☞ 60 ページ [スイッチ設定と音量調節])

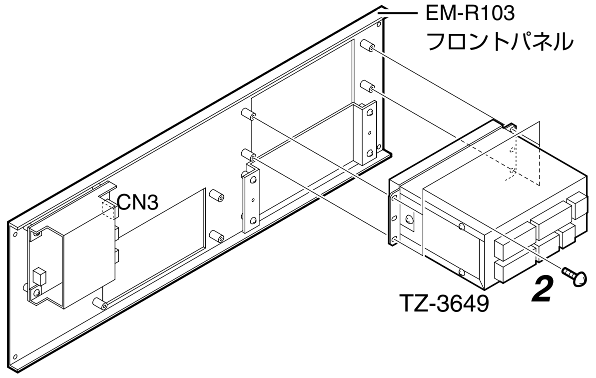
緊急地震速報インターフェイス (TZ-3649) の取り付け

1 EM-R103 のフロントパネルをはずす



2 TZ-3649 をフロントパネルに取り付ける

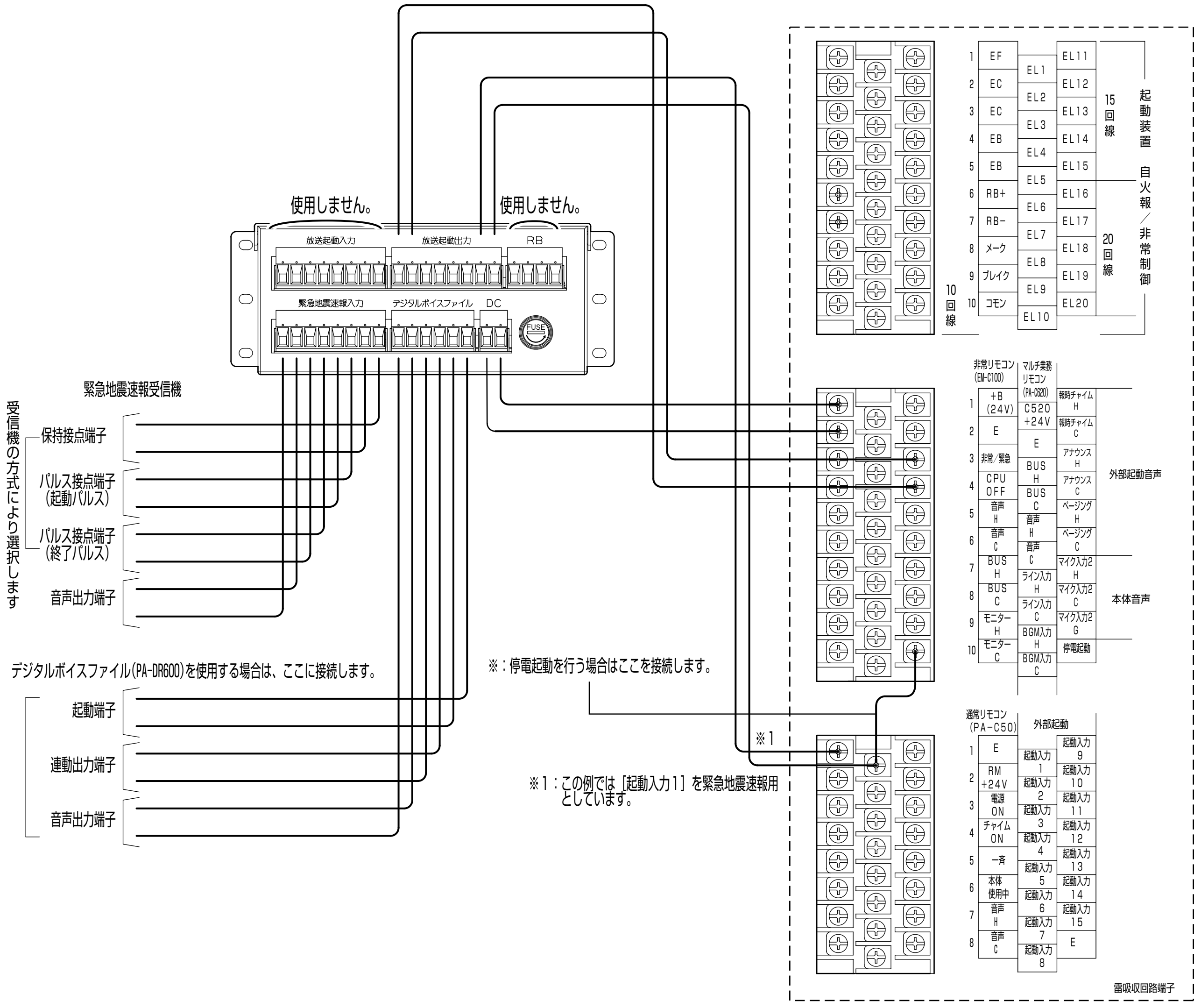
TZ-3649 をねじ 4 本（M3 × 6mm：TZ-3649 に添付）で EM-R103 のフロントパネルに取り付けます。



☞ 次ページへつづく

緊急地震速報インターフェイス (TZ-3649) の取り付け (つづき)

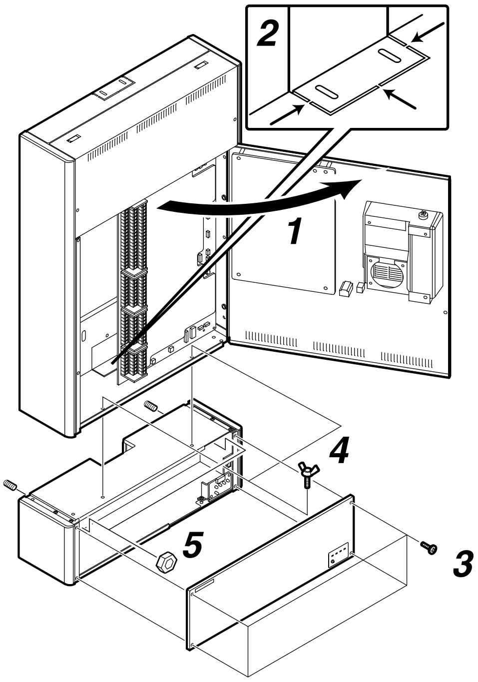
TZ-3649 の接続例



追加電源ユニットケース (EM-N103) の取り付け

追加電源ユニットケース (EM-N103) は EM-K100 シリーズ専用の業務放送用電源ユニットです。他の機器・用途に使用することはできません。
停電時、蓄電池からの電源供給によって、EM-K100 シリーズ本体から緊急優先放送を行うことができます。
また、非常リモコン (EM-C100 シリーズ)、業務リモコン (PA-C50 シリーズ)、マルチリモコン (PA-C620) の接続台数を増やすことが可能です。詳細については [各リモコンの接続台数] (☞ 11 ページ) をご覧ください。

EM-K100 シリーズ本体へ取り付ける



1 **EM-K100 シリーズ本体のフロントパネルをあける**

2 **通線孔ノックアウトのつなぎ部分を切り取る**

EM-K100 シリーズ本体のシャーシ底面の通線孔をあけ、通線孔ノックアウトのつなぎ部分をペンチなどで切り取ります。

ご注意 :
- 切り取り部分にバリが残っていると、ケーブルやワイヤーの被服が傷付きます。やすりなどで処置してください。

3 **EM-N103 のフロントパネルをはずす**

4 **ウイングボルト（EM-N103 に添付）で EM-N103 を EM-K100 シリーズ本体のシャーシ底面に取り付ける**

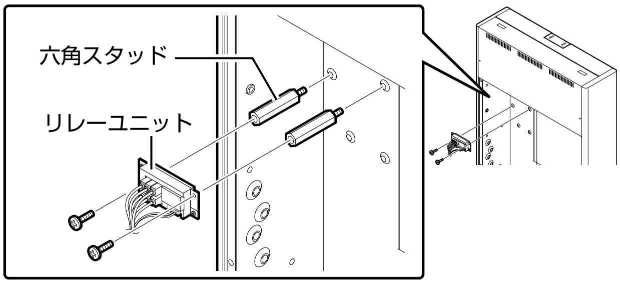
メモ :
- EM-R103 を使用する場合は、EM-N103 を EM-R103 のシャーシ底面に取り付けます。必ず EM-N103 が EM-R103 の下になるように取り付けてください。

5 **EM-N103 を壁にアンカーボルトで固定する**

- 添付の型紙に合わせ、壁に 2 箇所の穴をあけ、アンカーボルトを打ち込みます。
- EM-N103 背面の 2 箇所の取り付け穴を使い、容易に脱落しないよう壁に固定してください。

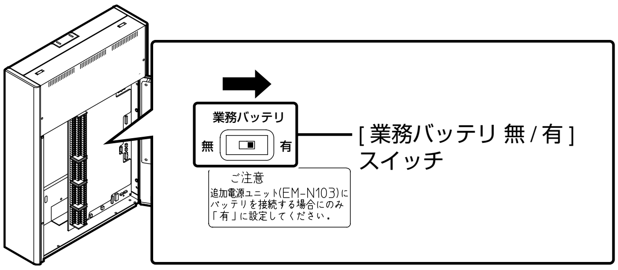
メモ :
- EM-N103 はシャーシ背面に 2 箇所穴があいています。落下しないよう、壁にナットで確実に固定します。

6 **六角スタッド（EM-N103 に付属）を EM-K100 シリーズ本体シャーシに取り付け、リレーユニット（EM-N103 に付属）を取り付ける**



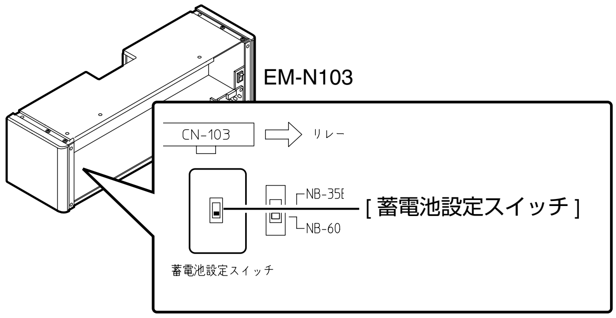
7 **[業務バッテリ 無 / 有] スイッチの設定をする**

追加電源ユニット (EM-N103) に蓄電池を接続する場合は、EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の [業務バッテリ 無 / 有] スイッチを “ 有 ” 切り換えます。



8 **[蓄電池設定スイッチ] を設定する**

追加電源ユニット (EM-N103) に蓄電池を接続する場合は、EM-N103 の基板上の [蓄電池設定スイッチ] を使用する蓄電池（NB-35B または NB-60）に応じて切り換えます。



メモ :
- 蓄電池は使用するデジタルパワーアンプに応じて選択します。（☞ 61 ページ）

警告
使用するパワーアンプに適合した専用の蓄電池を使用し、[蓄電池設定スイッチ] を設定してください。発熱、発火、破裂、故障、漏液の原因となります。

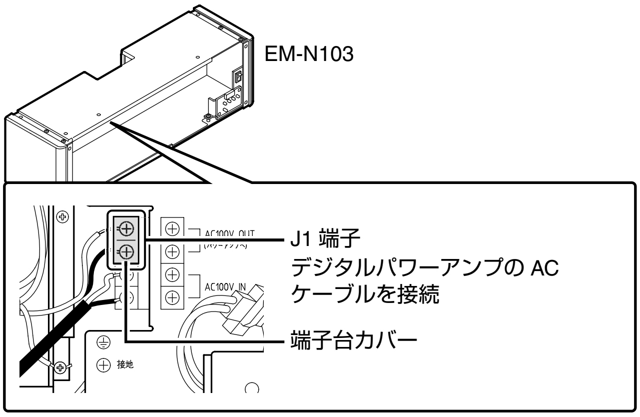
追加電源ユニットケース (EM-N103) の取り付け (つづき)

配線のしかた

1 デジタルパワーアンプの AC ケーブルを EM-N103 の端子台（J1）に接続する

AC ケーブルを EM-K100 シリーズ本体の通線口から EM-N103 背面通線口を通し、端子台（J1）にねじでとめます。

2 端子台（J1）のカバーを取り付ける



3 10PIN ワイヤー（EM-N103 に添付）を、EM-K100 シリーズ本体と EM-N103 に接続する

① 10PIN ワイヤー（EM-N103 に添付）を EM-K100 シリーズ本体 TB 基板の [CN103] コネクターに接続し、もう一方のコネクターを EM-K100 シリーズ本体の通線口から EM-N103 の背面通線口を通して手前に出します。

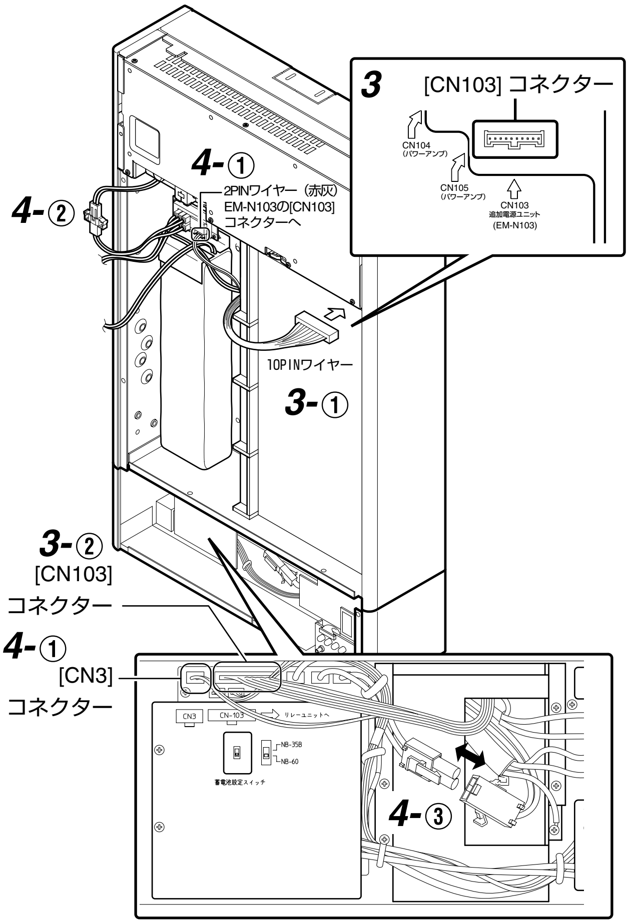
② 手前に出したコネクターを EM-N103 の MAIN 基板（左側）の [CN103] コネクターに接続します。

4 リレーユニットの配線を行う

① リレーユニットの 2PIN ワイヤー（赤灰）を EM-N103 の [CN3] コネクターに接続します。

② リレーユニットの 2PIN ワイヤー（オレンジ紫）をデジタルパワーアンプからの 2PIN ワイヤー（赤青）に接続します。

③ リレーユニットの 2PIN ワイヤー（茶黒）を EM-N103 の 2PIN ワイヤーコネクター（茶黒）に接続します。

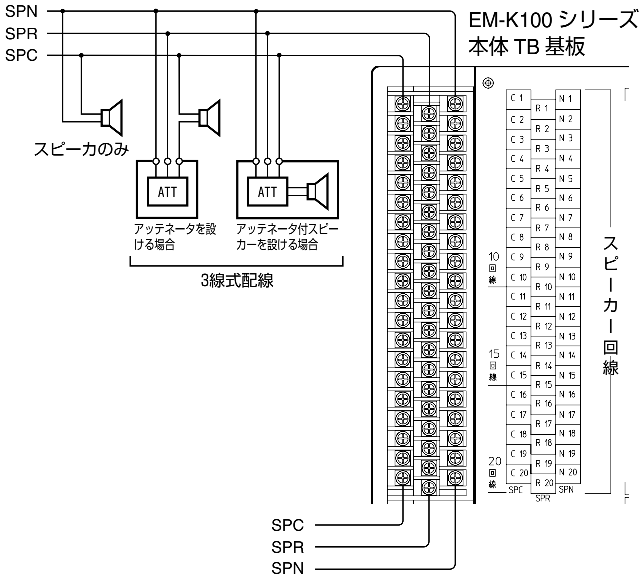


メモ：

- 配線はすべてEM-N103とEM-K100シリーズ本体の通線孔を通して行います。

スピーカー回線の接続

- 1 回線あたりのスピーカー負荷は最大 80 W までです。80 W を越えないように接続してください。
- スピーカーは日本消防検定協会で型式認定されているハイインピーダンスライン専用スピーカーを使用してください。
- 非常用放送設備として接続線は耐熱電線、または HIV 線（金属配管が必要）が義務づけられています。

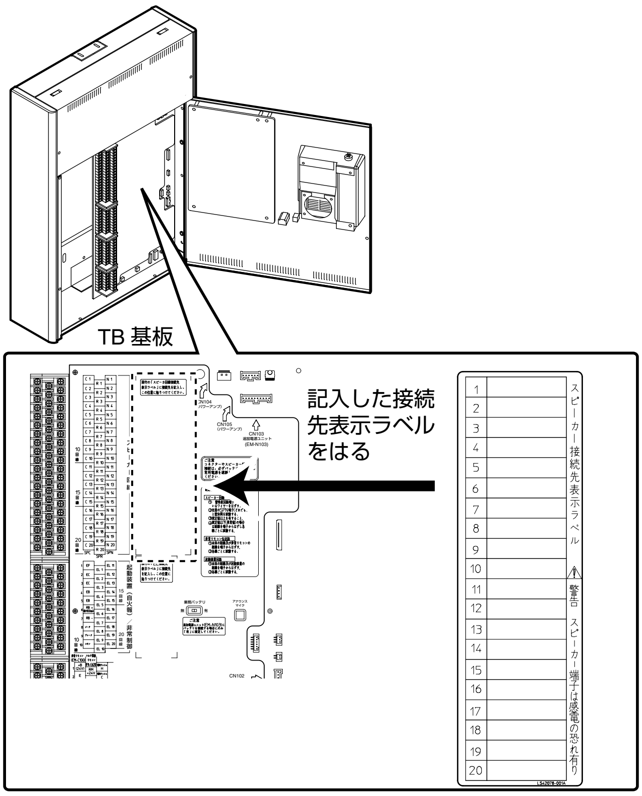


警告
音声出力時にスピーカー端子に触れると感電の恐れがあります。スピーカーの接続は必ず電源を切ってから行なってください。

ご注意：
- スピーカー線とほかの線（リモコン線、マイク線など）は絶対に同一配管としないでください。

接続先表示ラベルの貼り付けについて

添付のラベルに回線名（放送場所）を記入して指定位置に貼り付けてください。



スピーカー回路分割ユニット (EM-D2) について

EM-D2 のヒューズ容量は接続するスピーカーの負荷によって次のように設定します。

1 分割系統のスピーカーの負荷	ヒューズ容量
21 W 以下	0.3 A
35 W 以下	0.5 A

メモ：
- EM-D2 の取り付け方法・配線方法につきましては、EM-D2 の [設置説明書] をご覧ください。
- 設定が終わったら、EM-K100 シリーズの短絡検出回路の検出動作より素早く動作（溶断）することを確認してください。
- EM-K100 シリーズは 1 回線あたり 80W までスピーカー負荷を接続できます。

自動火災報知設備との接続

ご注意：

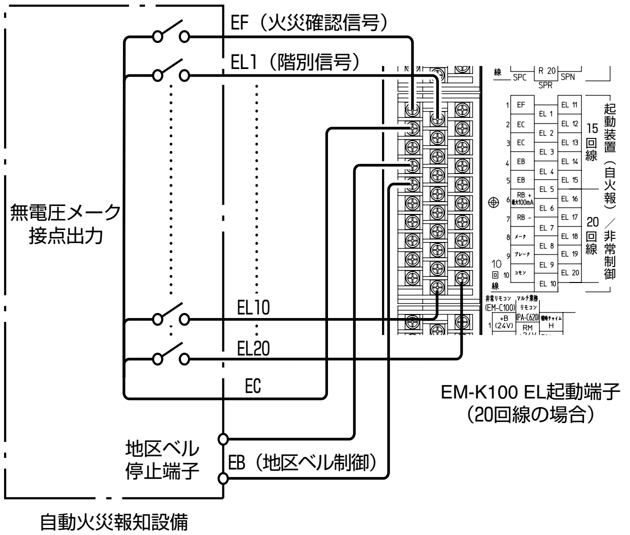
- 自動火災報知設備との接続は消防設備士の資格者でなければ施工できません。

メモ：

- EL起動端子とEF起動端子は無電圧メーク接点出力に適合します。線路抵抗は約 100 Ω 以下にしてください。
- EL No. は回線 No. と対応しています。下記のように接続してください。

EL No.	回線 No.
EL 1	回線 No.1
EL 2	回線 No.2
EL 3	回線 No.3
⋮	
EL 20	回線 No.20

- 出火階情報の設定につきましては [出火階情報の設定] (☞ 94 ページ) をご覧ください。



■ EL 入力端子感度

動作レベル　：1V 以下（対 EC 間インピーダンス 1kΩ 以下）
　　　　　　　0.5 秒以上（停電時 10 秒以上）

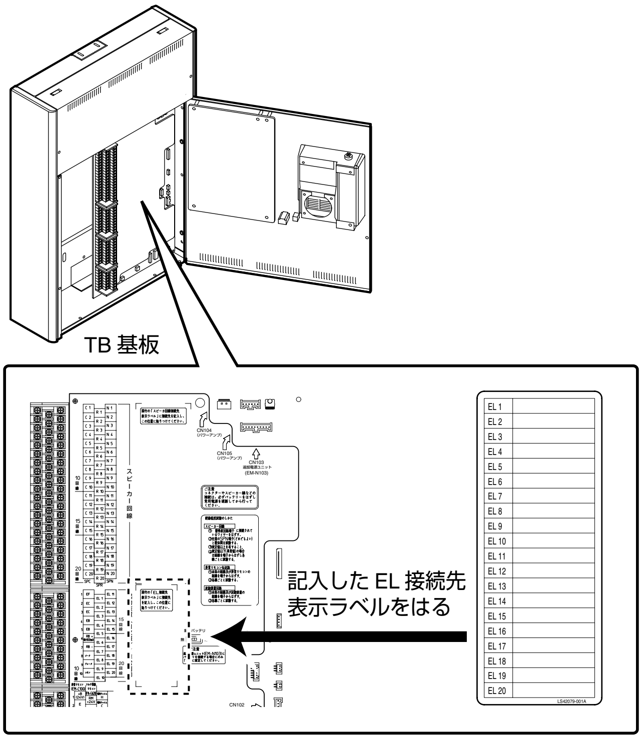
不動作レベル：5V 以上（対 EC 間インピーダンス 5kΩ 以上）
　　　　　　　0.3 秒以下

メモ：

- EB 端子は、非常放送時のマイクスイッチを押したとき、シグナル音 1 とメッセージ出力時（シグナル音 2 を除く）にメークし、地区ベルを停止させます。

起動装置区域名ラベルの貼り付けについて

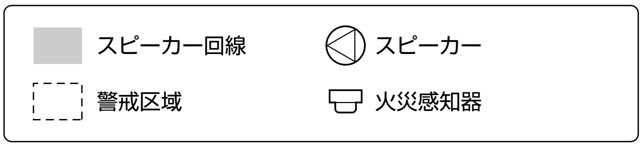
添付のラベルに起動装置区域名を記入して、指定位置に貼り付けてください。

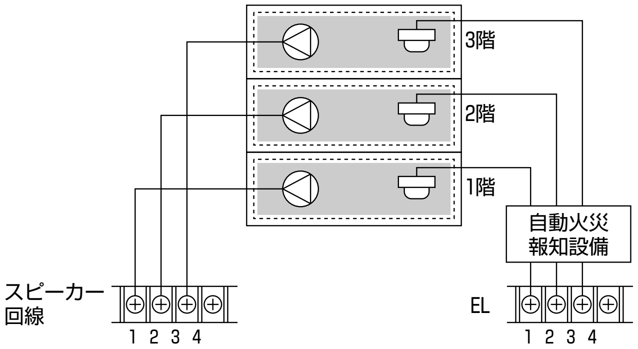


システム例 1

■1つの階が1スピーカー回線で各階ごとに1警戒区域のとき

非常放送設備	スピーカー回線	各階 1 回線
	放送階選択スイッチ	各階 1 回線（階別）
自動火災報知設備	警戒区域	各階別





● プログラムシートの書きかた

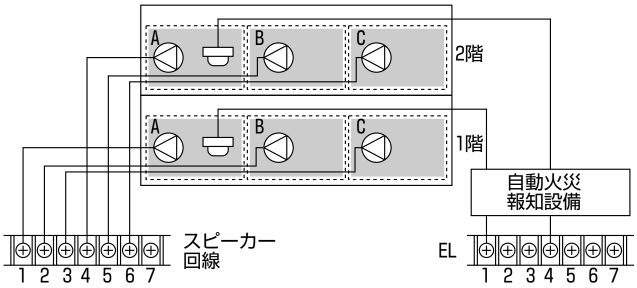
放送エリア / 自火報エリア	出火階情報	放送エリア / 自火報エリア	1階	2階	3階
		放送階選択スイッチNo. / EL No.	1	2	3
1階	001	1	●	○	
2階	002	2		●	○
3階	003	3			●

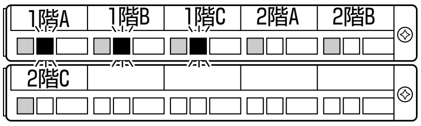
● 同一階　○ 連動階

システム例 2

■ 1 つの階に 1 つの警戒区域と複数の放送エリアがある場合

非常放送設備	スピーカー回線	各階 3 回線
	放送階選択スイッチ	各階 3 回路
自動火災報知設備	警戒区域	各階 1 区域





表示例　1 階 A（EL No.1）起動時

● プログラムシートの書きかた

放送エリア / 自火報エリア	出火階情報	放送エリア / 自火報エリア	1階A	1階B	1階C	2階A	2階B	2階C
		放送階選択スイッチNo. / EL No.	1	2	3	4	5	6
1階A	001	1	●	●	●	○	○	○
1階B	001	2	●	●	●	○	○	○
1階C	001	3	●	●	●	○	○	○
2階A	002	4				●	●	●
2階B	002	5				●	●	●
2階C	002	6				●	●	●

● 同一階　○ 連動階

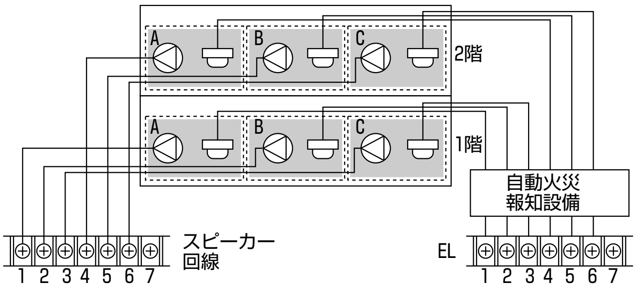
※同じ階の放送エリアをすべて同一階に設定します。

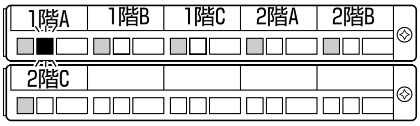
自動火災報知設備との接続 (つづき)

システム例 3

■ 1 つの階に複数の警戒区域と複数の放送エリアがある場合

非常放送設備	スピーカー回線	各階 3 回線
	放送階選択スイッチ	各階 3 回路
自動火災報知設備	警戒区域	各階 3 区域





表示例　1 階 A（EL No.1）起動時

● プログラムシートの書きかた

放送エリア / 自火報エリア	出火階情報	放送エリア / 自火報エリア	1階A	1階B	1階C	2階A	2階B	2階C
		放送階選択スイッチNo. / EL No.	1	2	3	4	5	6
1階A	001	1	●	○	○	○	○	○
1階B	001	2	○	●	○	○	○	○
1階C	001	3	○	○	●	○	○	○
2階A	002	4				●	○	○
2階B	002	5				○	●	○
2階C	002	6				○	○	●

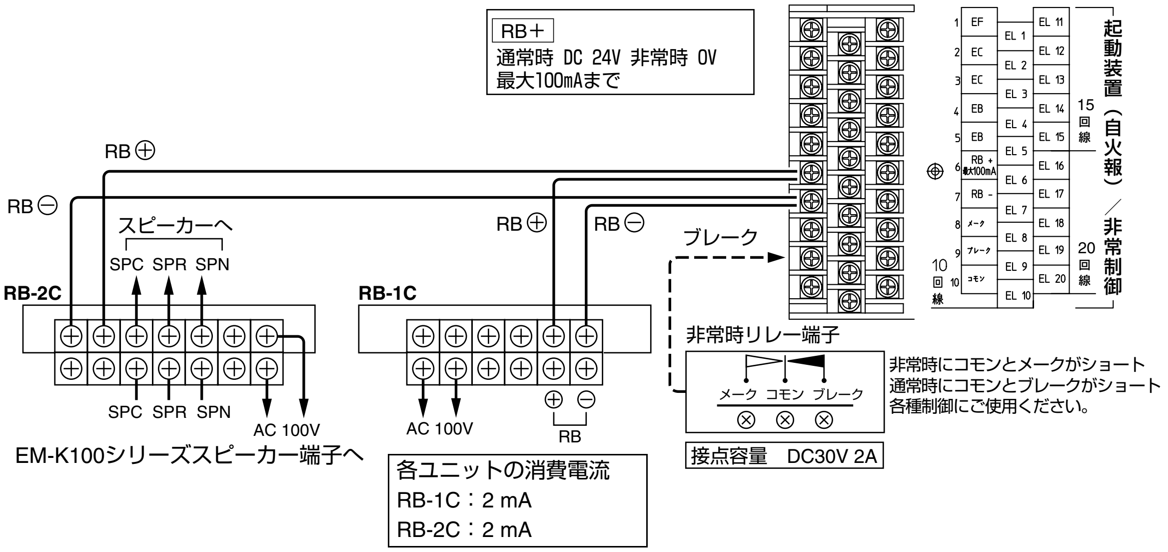
● 同一階　○ 連動階

※同じ階の他の放送エリアは、同一階に設定せず連動階に設定します。

RB 端子、非常時リレー端子への接続

■電源遮断ユニット (RB-1C)/ スピーカー制御ユニット (RB-2C) の接続

EM-K100 シリーズ本体の TB 基板　[RB+] 端子から供給できる電流は最大で 100mA までです。[RB+] 端子に接続する機器の制御電流の合計値は 100mA 以下となるようにしてください。



ご注意 :
- RB+ 端子と RB- 端子に AC100 V を接続すると故障します。RB 配線と AC100 V 配線の接続に十分注意してください。

■その他の機器の接続

接続機器の制御電流（参考）

機種名		制御電流
PS-P32-B	パワーコントローラー	20mA
PS-P32-H		
PA-904	システムアンプ	10mA
PA-908		
PA-916		

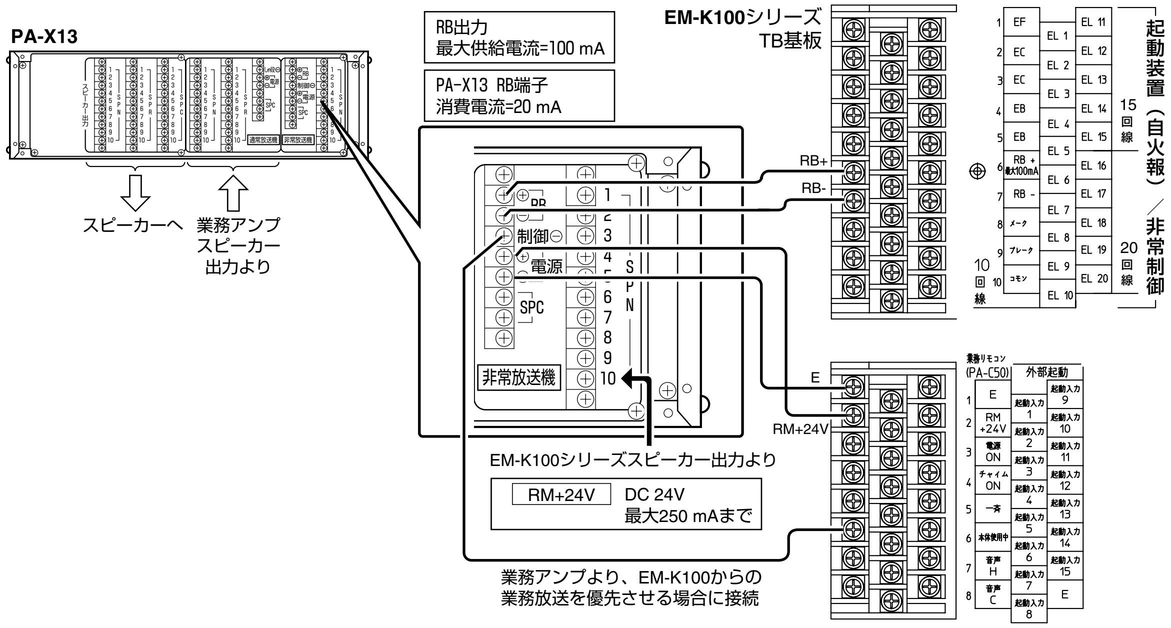
スピーカー切換器 (PA-X13) の接続

メモ：

- PA-X13 を接続すると、EM-K100 シリーズからの通常放送もアッテネーターの効かない放送となります。通常放送時にアッテネーターを効かせたい場合は、PA-X13 を２台使用するか PA-X13 の改造が必要となります。詳細はお買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- PA-X13 の接続可能台数については、[各リモコンの接続台数] (☞ 11 ページ) をご覧ください。

ご注意：

- EM-K100 本体の TB 基板上の [RB+] 端子から供給できる電流は最大で 100mA までです。[RB+] 端子に接続する機器の制御電流の合計値は 100mA 以下となるようにしてください。PA-X13 の消費電流は 20mA です。



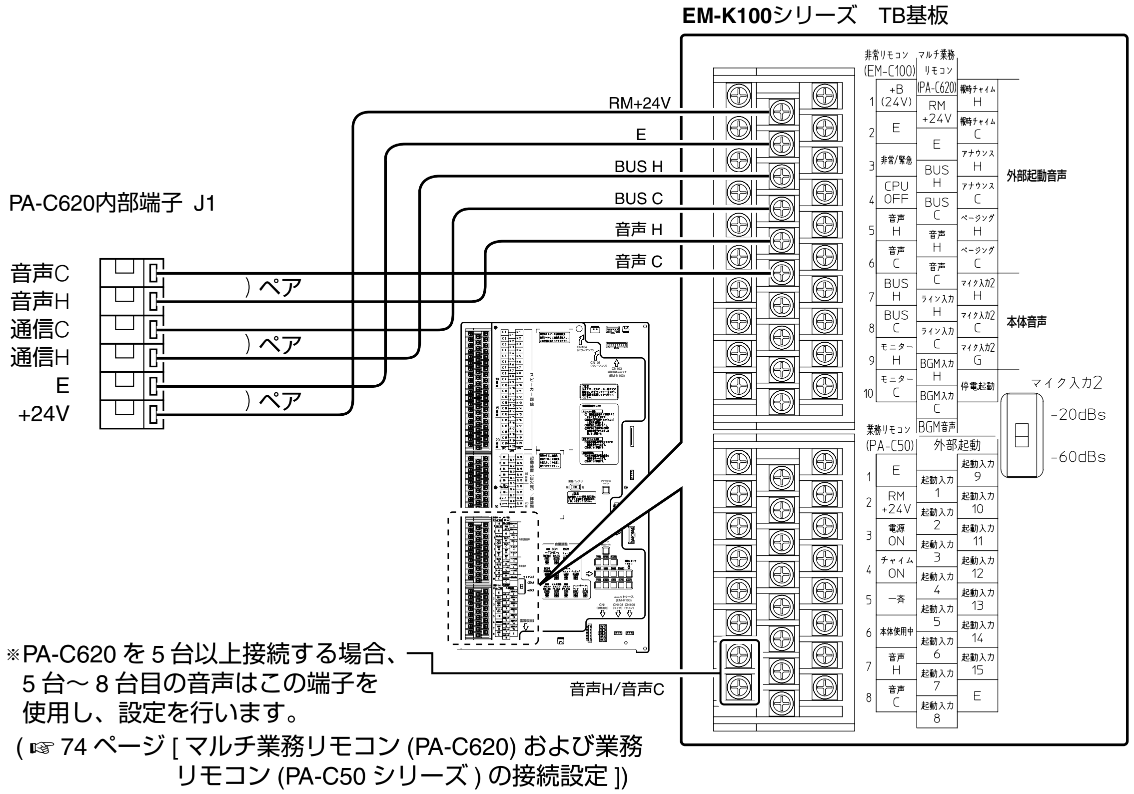
マルチ業務リモコン (PA-C620) の接続

接続

- PA-C620 を最大 8 台まで接続できます。接続台数については、[各リモコンの接続台数] (☞ 11 ページ) をご覧ください。

メモ :
- 複数台数使用するときは、音声信号入力を並列接続します。並列接続した業務リモコンが「ON」のときには音声信号レベルが低下しますので、動作試験・調整時にレベル調整を行なってください。

- PA-C620 を複数台接続するときは、EM-K100 の端子台から各 PA-C620 へ直接接続してください。（スター配線）
- 対撚りケーブルの各ペアー線を、RM+24V/E、マルチ RM BUS H/C、マルチ RM 音声 H/C に使用してください。
- 使用ケーブルの 1 線あたりの線路抵抗は、5 Ω 以下としてください。または、+24V、E のみ 5 Ω 以下とし、通信と音声は 10 Ω 以下としてください。
- PA-C620を5台以上接続する場合、5台目から8台目までの音声は業務リモコン(PA-C50シリーズ)用の[音声H]端子/[音声C]端子をご使用ください。



■対撚り 3P ケーブル使用時の最大配線距離（5Ω）

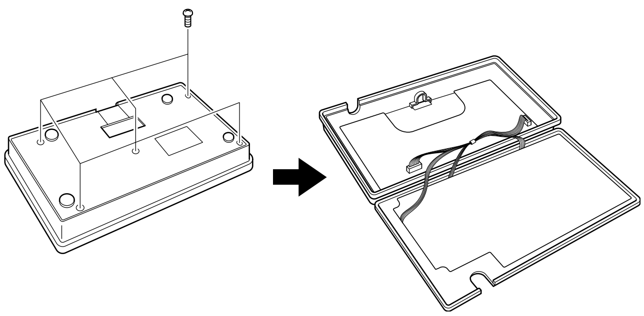
ケーブル径	距離
0.65 mm	90 m
0.9 mm	170 m
1.2 mm	300 m

マルチ業務リモコン (PA-C620) の接続 (つづき)

設置手順

1 フロントカバーをはずす

PA-C620 を裏返し、下図のねじ 5 本をはずします。

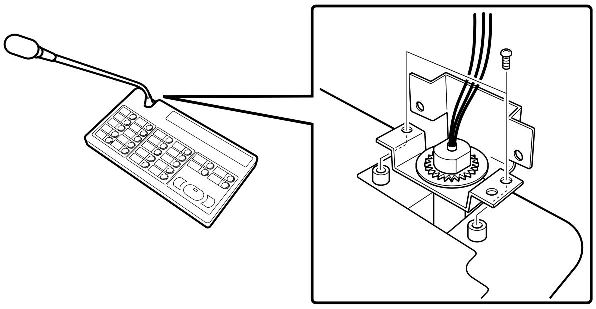


2 フレキシブルマイクを取り付ける

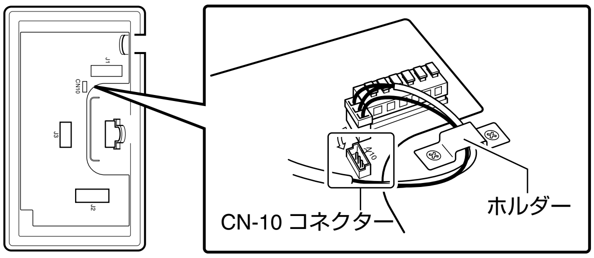
フレキシブルマイクは設置状態によって、2 方向に取り付けることができます。
設置状態にあわせて取り付けてください。

■ 机上に設置する場合

①フレキシブルマイクを図の位置に取り付けます。

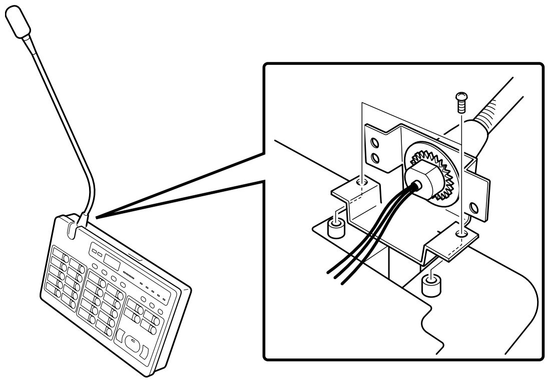


②フレキシブルマイクからのワイヤーをホルダーに通し、CN-10 コネクターに接続します。

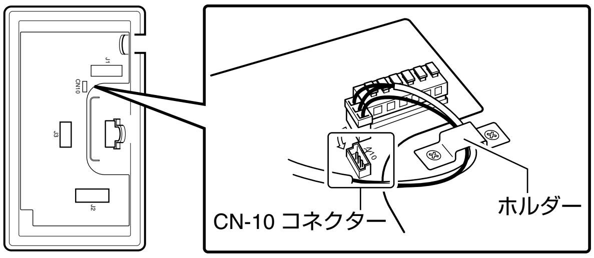


■ 壁面に設置する場合

①フレキシブルマイクを図の位置に取り付けます。



②フレキシブルマイクからのワイヤーをホルダーに通し、CN-10 コネクターに接続します。



ご注意 :

- フレキシブルマイクを PA-C620 に取り付ける場合、取り付けねじの締めすぎによって、ねじ山をつぶさないようにしてください。
- フレキシブルマイクの金具は、パネルに押し付け、すき間ができないように取り付けてください。
- フロントカバーを取り付けるとき、マイクのケーブルをカバーにはさみ込まないように取り付けてください。
- 壁面に設置する場合、設置状況に応じて、フレキシブルマイク（アーム短）PA-ZC620MJ（あっせん品）を使用してください。

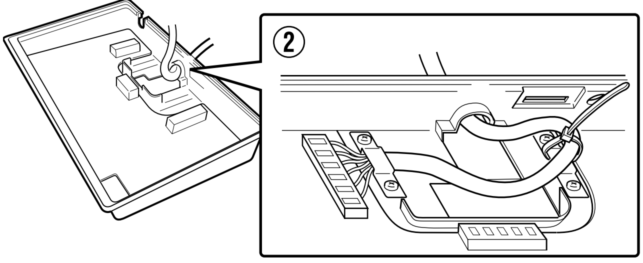
3 ケーブルを引き込む

■ 机上に設置する場合

①通線穴からケーブルを引き込み結線します。

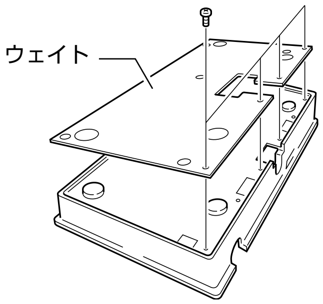
②ケーブルをボトムカバーのホルダーに固定します。

①

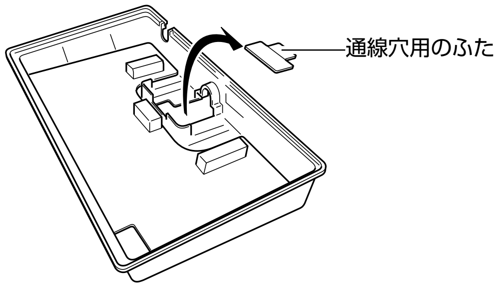


■ 壁面に設置する場合

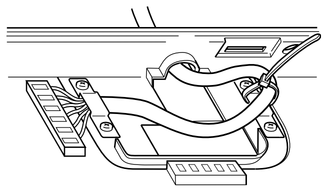
①底面のウェイトをはずします。



②ボトムカバーの通線穴用のふたをはずします。



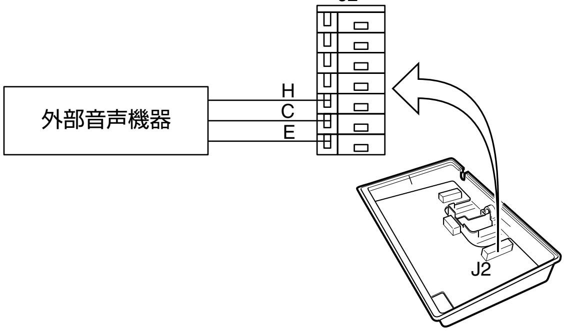
③手順 ② ではずした通線穴からケーブルを引き込み、結線し、ケーブルをボトムカバーのホルダーに固定します。



マルチ業務リモコン (PA-C620) のその他の端子について

■外部音声入力

- CD プレーヤーなどの外部機器を接続して、放送を行う場合、AUDIO PWB ASS'Y 上の J2（外部入力音声端子）に接続します。（-20 dBs、電子平衡）
- 外部音声機器の音声出力が不平衡の場合、H と C に接続し、C と E を接続してください。

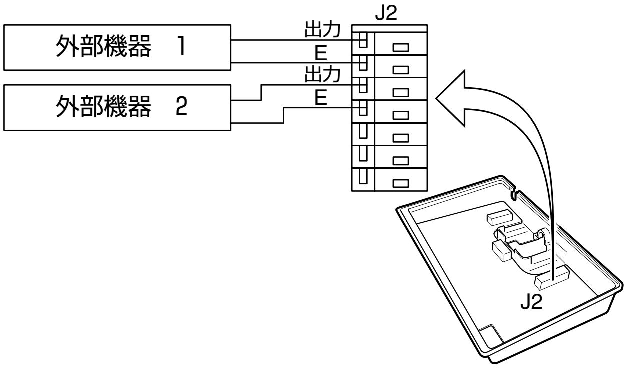


■制御出力

制御 1、制御 2 スイッチを押した場合、AUDIOPWB ASS'Y 上の J2（制御出力端子）を使って接続機器の入 / 切などを行うことができます。

外部制御出力は DC24 V、10 mA の負論理オープンコレクター出力です。

PA-C620 リアパネルのモード設定スイッチにより、接続機器に適した制御スイッチの動作を切り換えます。



マルチ業務リモコン (PA-C620) の接続 (つづき)

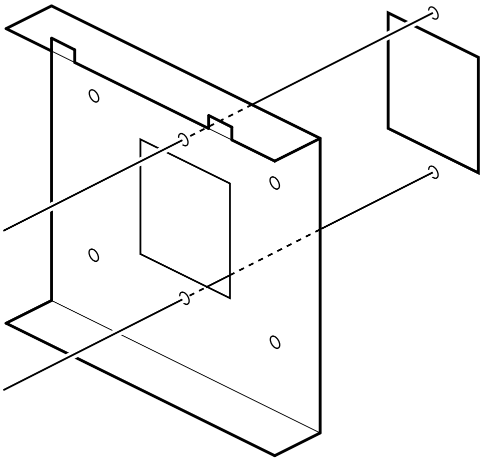
PA-C620 壁掛け用金具（PA-ZC620KJ：あっせん品）の設置

PA-C620 を壁面に取り付けるためには専用の壁掛け用金具（PA-ZC620KJ：あっせん品）が必要です。
手順に従い、正しく取り付けてください。

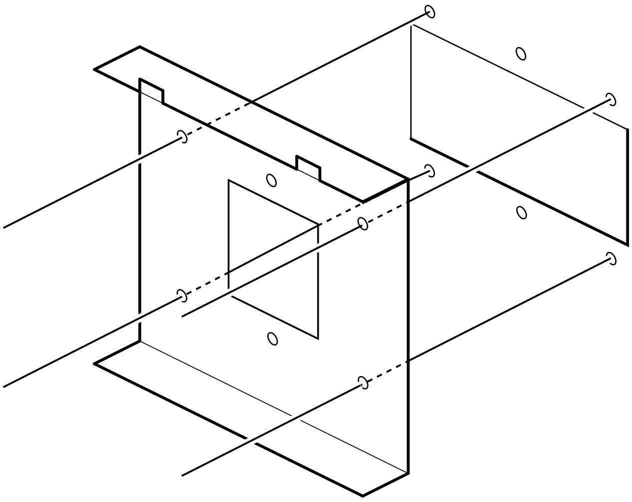
※寸法（☞ 43 ページ）

1 壁掛け用金具を壁に取り付ける

■ 1 個口用ボックスへの取り付け

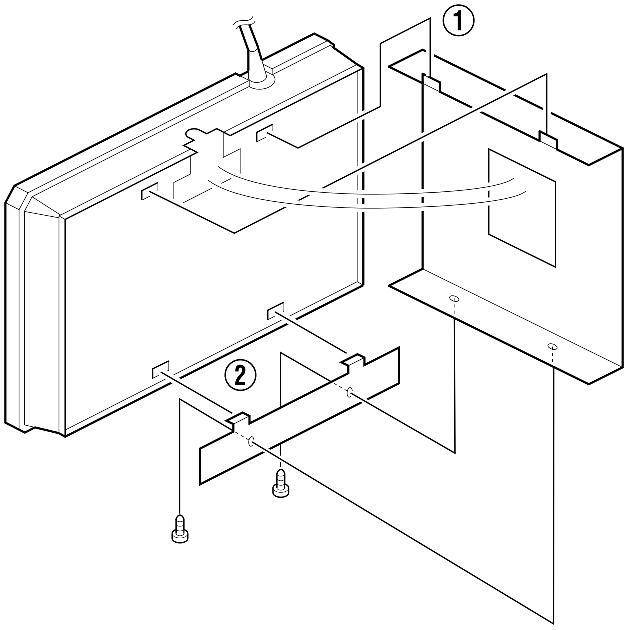


■ 2 個口用ボックスへの取り付け

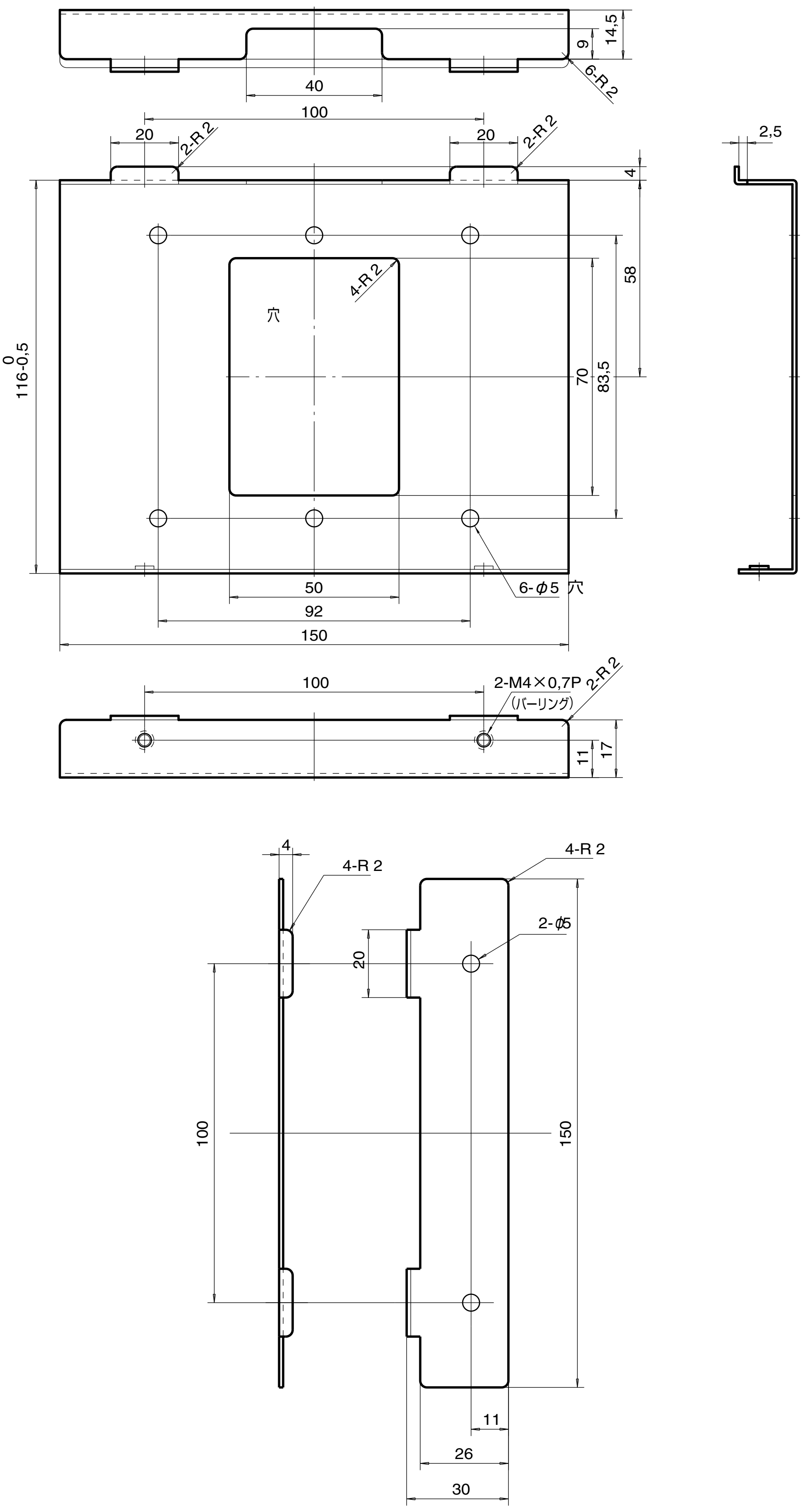


2 壁掛け用金具に PA-C620 を取り付ける

①金具のつめを PA-C620 の上側の穴に引っかけます。
②下側の穴に金具を引っかけて付属のねじで固定します。



PA-C620 壁掛け用金具（PA-ZC620KJ：あっせん品）の寸法



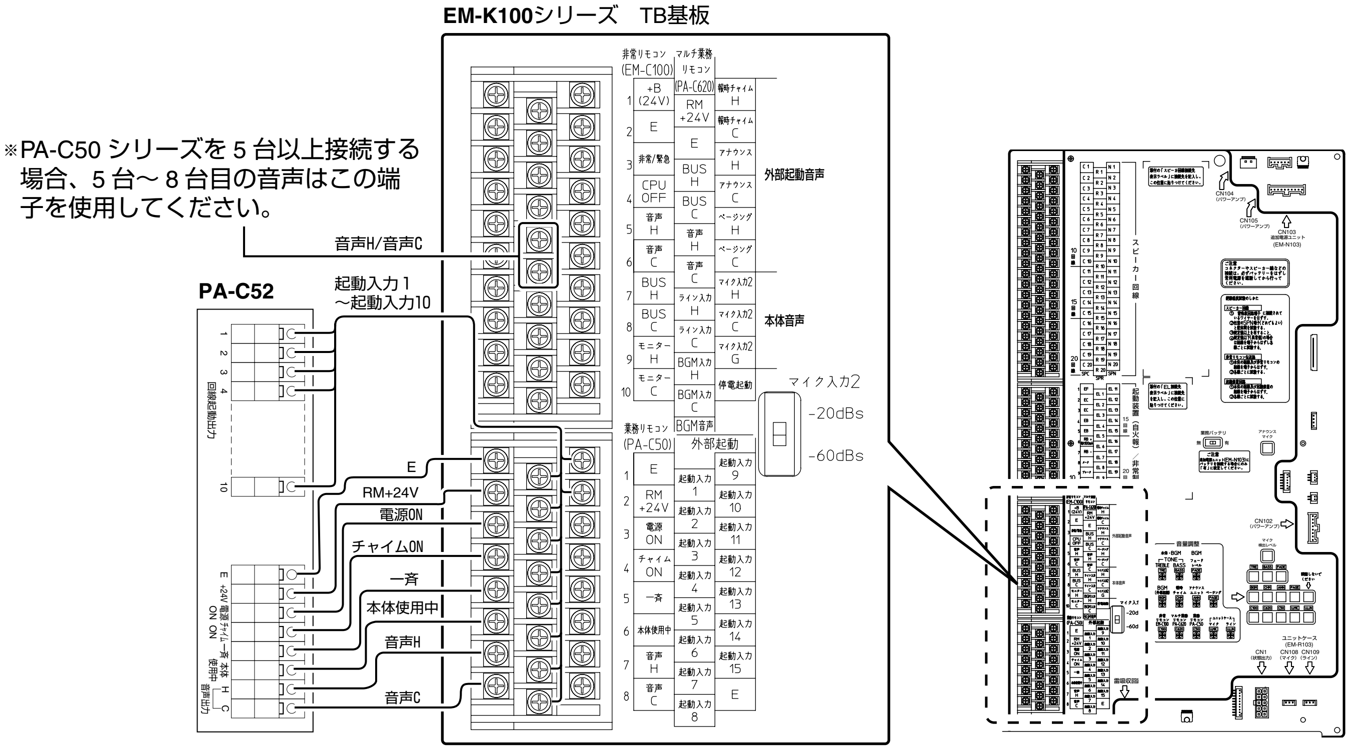
業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続

- 業務リモコンのスピーカー回線選択数と機種は次のとおりです。
  PA-C50：全回線一斉
  PA-C51：5 回線
  PA-C52：10 回線
  PA-C53：15 回線（PA-C53 は、20 回線の起動出力を有していますが、下記制限により 15 回線となります。
- 業務リモコンの回線選択は、起動入力信号として接続されます。起動入力は、システム設定で入力ごとにスピーカー回線を任意に複数回線で 15 種類まで設定できます。
- 業務リモコンは最大 8 台まで接続できます。(☞ 11 ページ [各リモコンの接続台数])

メモ：
- 複数台数使用するときは、音声信号入力を並列接続します。並列接続した業務リモコンが「ON」のときには音声信号レベルが低下しますので、動作試験・調整時にレベル調整を行なってください。

- 接続線は、CPEV0.65 ケーブルなどを使用しますが、1 回線あたりの線路抵抗は 10Ω 以下としてください。
- PA-C50シリーズを5台以上接続する場合､5台目から8台目までの音声はマルチ業務リモコン(PA-C620)用の[音声H]端子/[音声 C] 端子をご使用ください。また、設定が必要となります。(☞ 74 ページ [マルチ業務リモコン (PA-C620) および業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続設定])

■回線別業務リモコン (PA-C52) の接続例



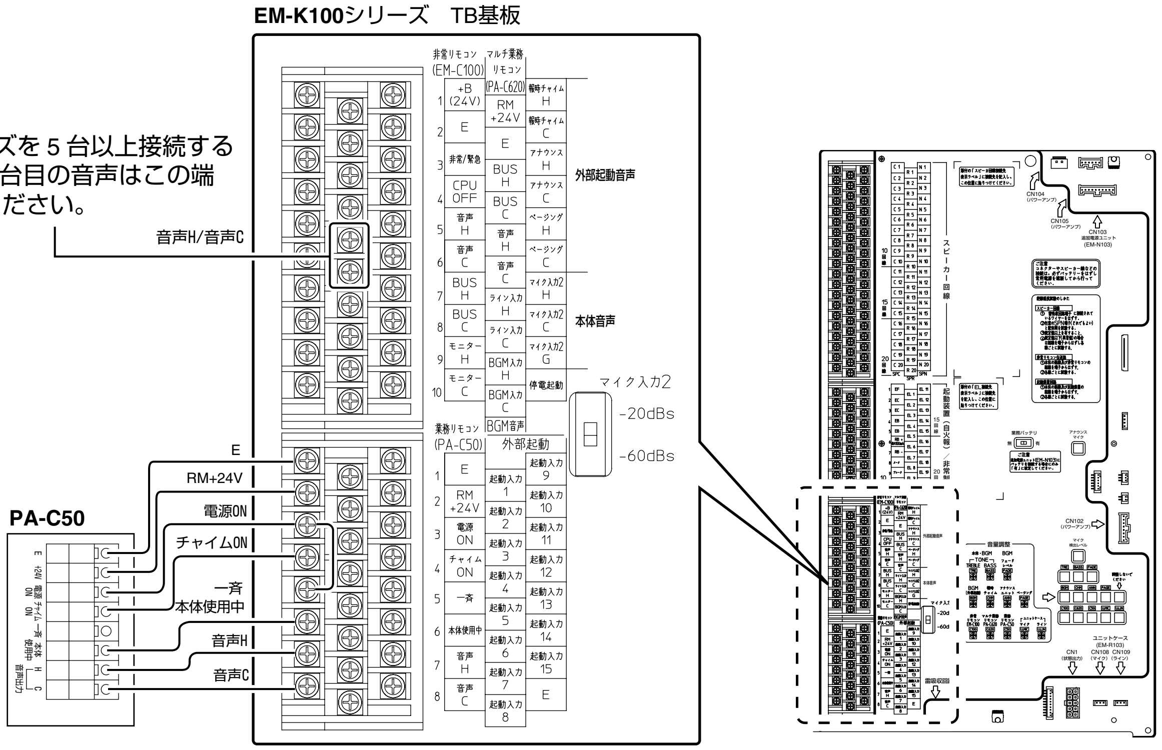
■使用ケーブルと業務用リモコンの最大延長距離（10 Ω）

ケーブル径	距離
0.65 mm	150 m
0.9 mm	300 m
1.2 mm	500 m

※接続例は起動入力 1 ～起動入力 10 を使用しています。

■一斉式業務リモコン (PA-C50) の接続例

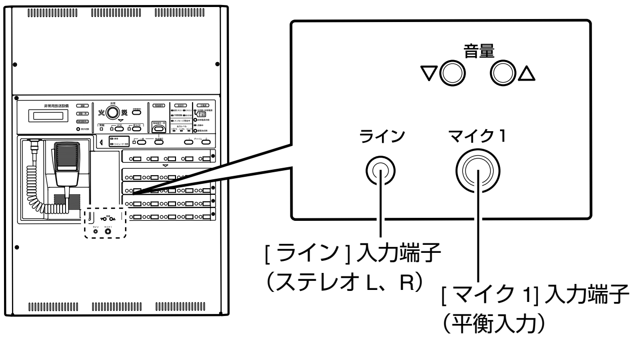
※PA-C50 シリーズを 5 台以上接続する場合、5 台～ 8 台目の音声はこの端子を使用してください。



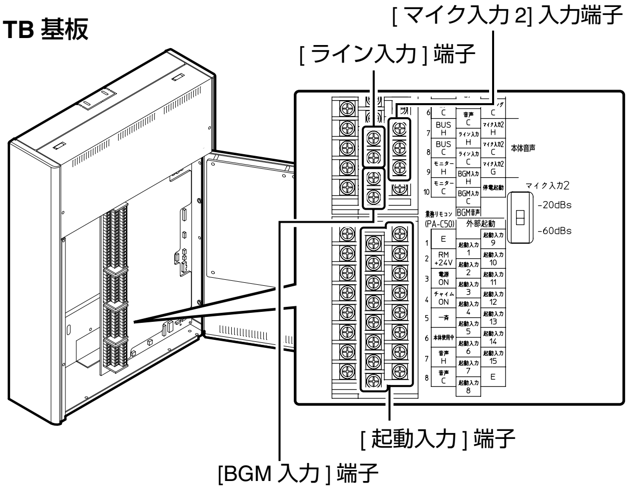
マイク・BGM 機器の接続（手動起動）

■入力端子

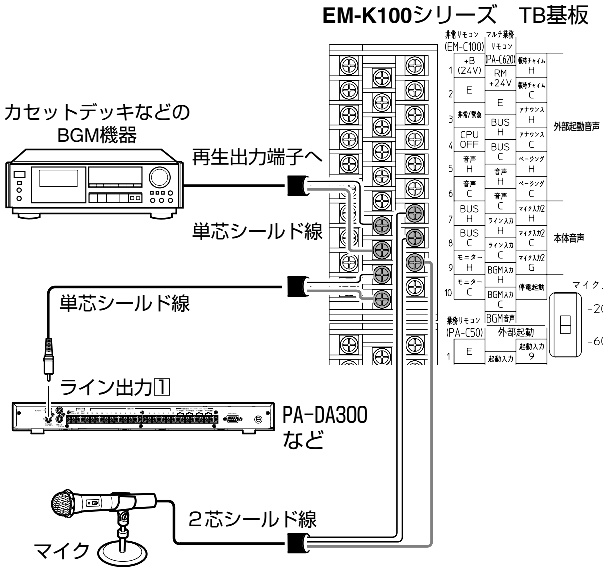
フロントパネル



TB 基板



■接続例



マイクの接続

外部マイクを接続し、手動で放送を行います。フロントパネルの [マイク 1] 入力端子、TB 基板上の [マイク入力 2] 端子に接続します。

メモ：

- [マイク1]端子への入力レベルは -60 dBsです。音量の調節はフロントパネルのマイク 1 音量調節スイッチで行います。
- [マイク入力 2] 端子への入力レベルは、TB 基板上の [マイク入力 2] 切換スイッチで "-20 dBs" または "-60 dBs" に設定することができます。

BGM 機器の接続

CD プレーヤー、MD プレーヤー、MP3 プレーヤーなど外部機器を接続し、手動で BGM 放送を行います。

フロントパネルの [ライン] 入力端子、TB 基板上の [ライン入力] 端子・[BGM 入力] 端子に接続します。なお、[BGM 入力] 端子を使用する場合、[起動入力] 端子への接続と起動入力のシステム設定が必要です。（☞ 101 ページ）

メモ：

- [ライン] 入力端子へおよび、TB 基板上の [BGM 入力] 端子の入力レベルは -20 dBs です。
- フロントパネルの [ライン] 入力端子の L、R の音声はミックスされます。
- フロントパネルの[ライン]入力端子とTB基板上の[ライン入力] 端子の両方を使用した場合、音声はミックスされます。

アナウンスマイクと他の入力の優先関係

■ アナウンスマイク＞ [マイク 1]/[マイク入力 2] 入力（音声カット）

[マイク 1]/[マイク入力 2] 端子に接続された機器の放送中にアナウンスマイクのマイクスイッチを押すと、[マイク 1]/[マイク入力 2] 端子からの音声はカットされてアナウンスマイクの放送となります。

■ アナウンスマイク /[マイク 1]/[マイク入力 2] ＞ [ライン]/[ライン入力]/[BGM 入力]（音声カットまたはミックス）

[ライン]/[ライン入力]/[BGM 入力] 端子に接続された機器の放送中にアナウンスマイクのマイクスイッチを押す、もしくは [マイク 1]/[マイク入力 2] 端子からの音声入力があると、[ライン]/[ライン入力]/[BGM 入力] 端子からの音声は設定された音量（ミューティングレベル）までさがり、アナウンスマイク /[マイク 1]/[マイク入力 2] の放送とミキシングされます。

■ [BGM 入力] ＞ [ライン]/[ライン入力]（音声カット）

[ライン]/[ライン入力] 端子に接続された機器の放送中に、[BGM 入力] 端子からの放送を行うと、[ライン]/[ライン入力] 端子からの音声はカットされます。

メモ：

- BGM 放送中に本体放送を行うと BGM 放送はカットされます。また、システム設定によって、アナウンスマイクのマイクスイッチや [マイク 1]/[マイク入力 2] 端子の音声入力に連動させることや、ミックス放送もできます。（☞ 87 ページ）

アナウンスユニット・BGM 機器の接続（タイマー起動）

プログラムタイマー起動のデジタルボイスファイル (PA-DR600) の接続

デジタルボイスファイル (PA-DR600) に録音された 5 種類のメッセージを、プログラムタイマーで異なった時間に放送するシステムの例です。

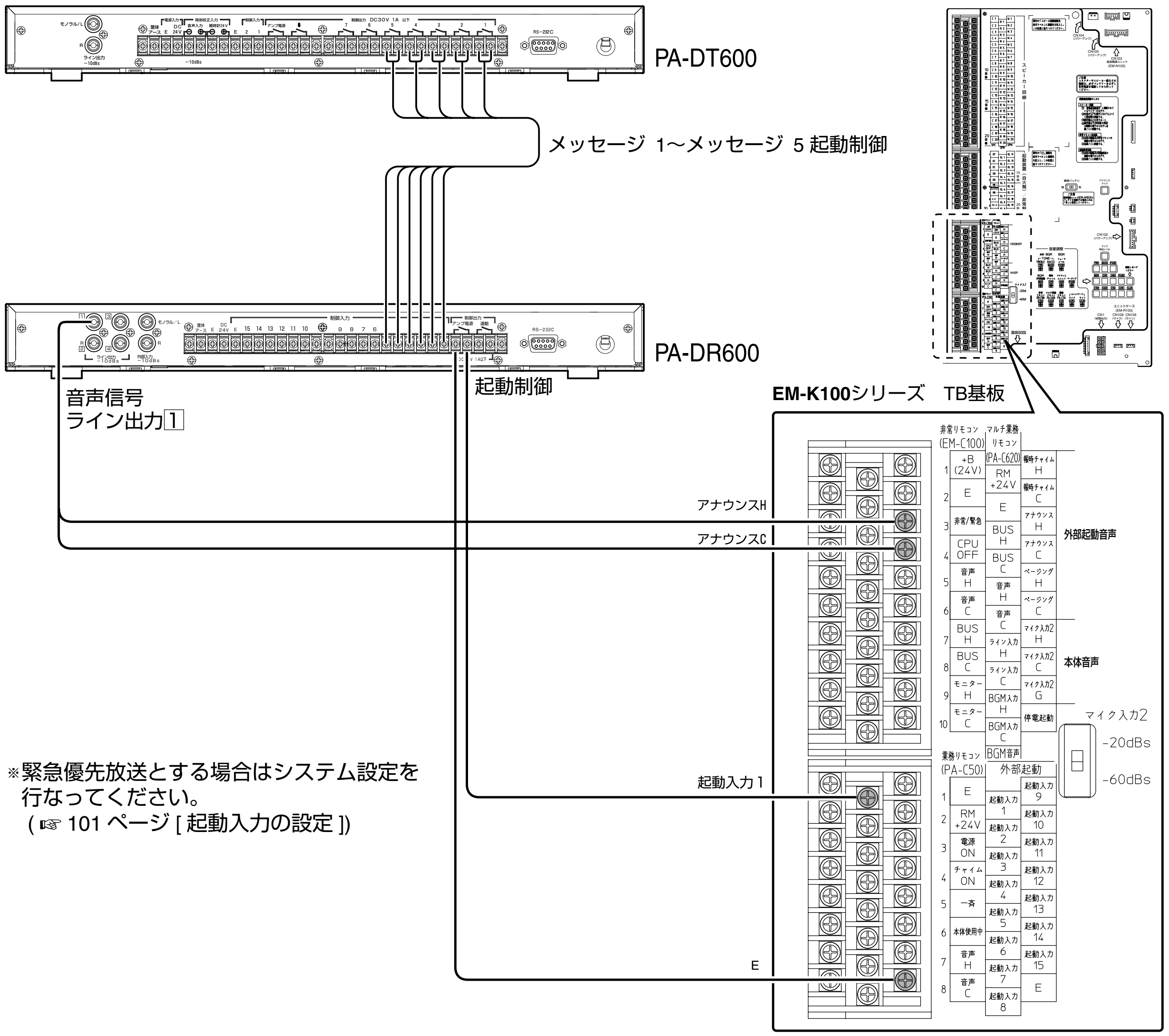
- デジタルプログラムチャイム (PA-DT600) のタイマー起動信号でデジタルボイスファイル (PA-DR600) のファイル番号を指定起動します。PA-DR600 のアンプ電源信号を、TB 基板上の [外部起動] 端子に接続して、本放送システムを起動させます。
- 起動入力の設定で放送機器（放送グループ）として「アナウンスユニット」を指定し、放送したいスピーカー回線 No. を設定します。詳細は [起動入力の設定] (☞ 101 ページ) をご覧ください。

ご注意 :

- 本システムは、起動信号を受信してから、システムが完全に動作するのに約 2 秒（停電時は約 3.5 秒）かかります。放送内容によっては、起動時間が重要となる場合がありますので、設置工事後、必ずシステム全体の動作を確認してください。

メモ :

- [BGM 入力] 端子の入力レベルは -20 dBs です。（半固定 VR 付き）



※緊急優先放送とする場合はシステム設定を行なってください。
(☞ 101 ページ [起動入力の設定])

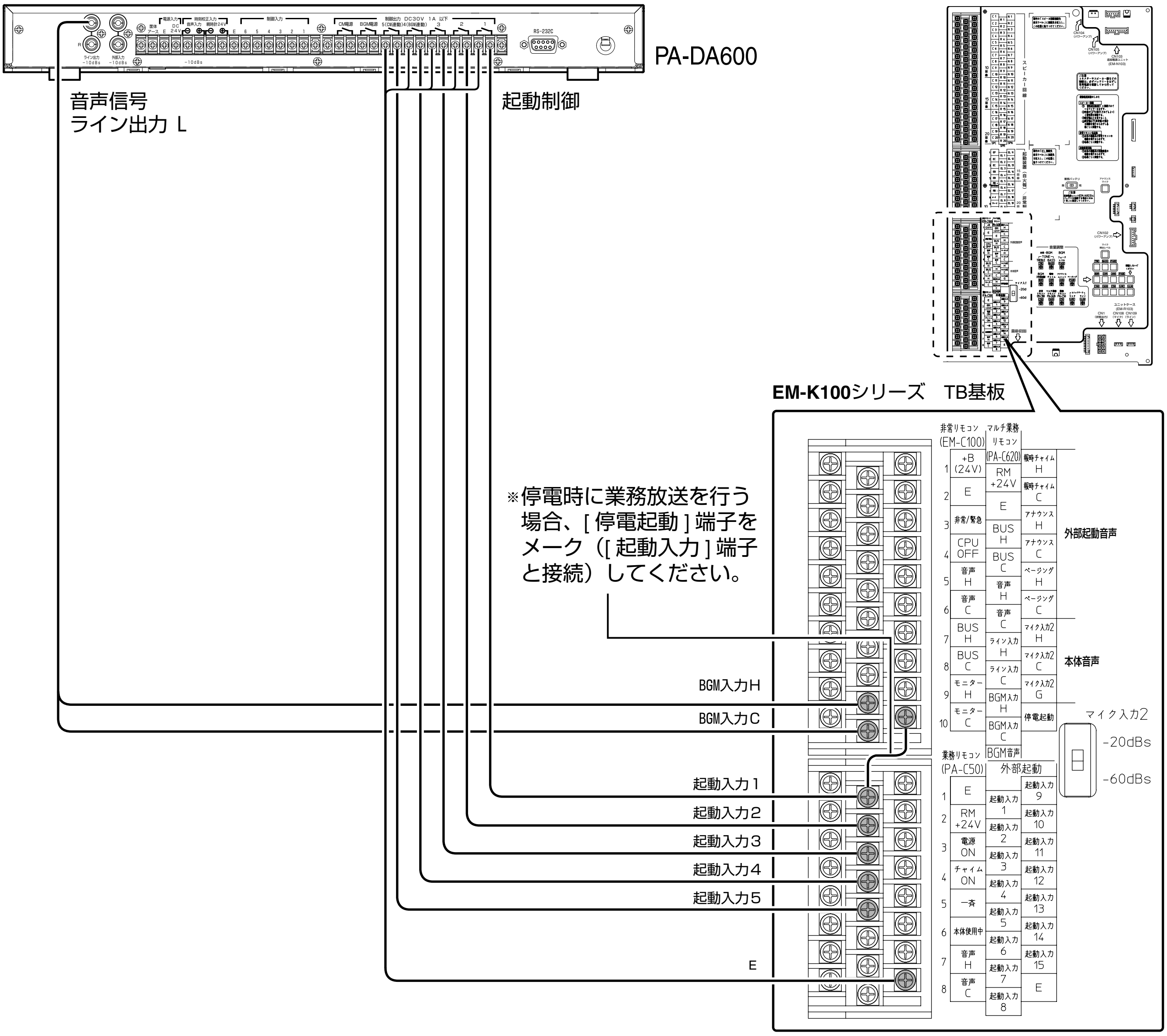
アナウンスユニット・BGM 機器の接続（タイマー起動）(つづき)

デジタルミュージックマシン (PA-DA600) の接続

デジタルミュージックマシン (PA-DA600) に記録された CM や BGM をタイマーで異なった時間に放送するシステムの例です。

- PA-DA600のCMアンプ電源信号およびBGMアンプ電源信号を、TB基板上の[外部起動]端子に接続して、本放送システムを起動させます。
- 起動入力の設定で放送機器（放送グループ）として「アナウンスユニット」または「BGM」を指定し、放送したいスピーカー回線 No. を設定します。詳細は [起動入力の設定] (☞ 101 ページ) をご覧ください。
- 下記接続例では、PA-DA600 で CM アンプ電源信号・BGM アンプ電源信号のかわりに制御出力を使用することで、CM や BGM、放送ブロック設定を含め 5 種類の起動入力による放送が可能です。
- [BGM 入力] 端子の入力レベルは -20 dBs です。（半固定 VR 付き）

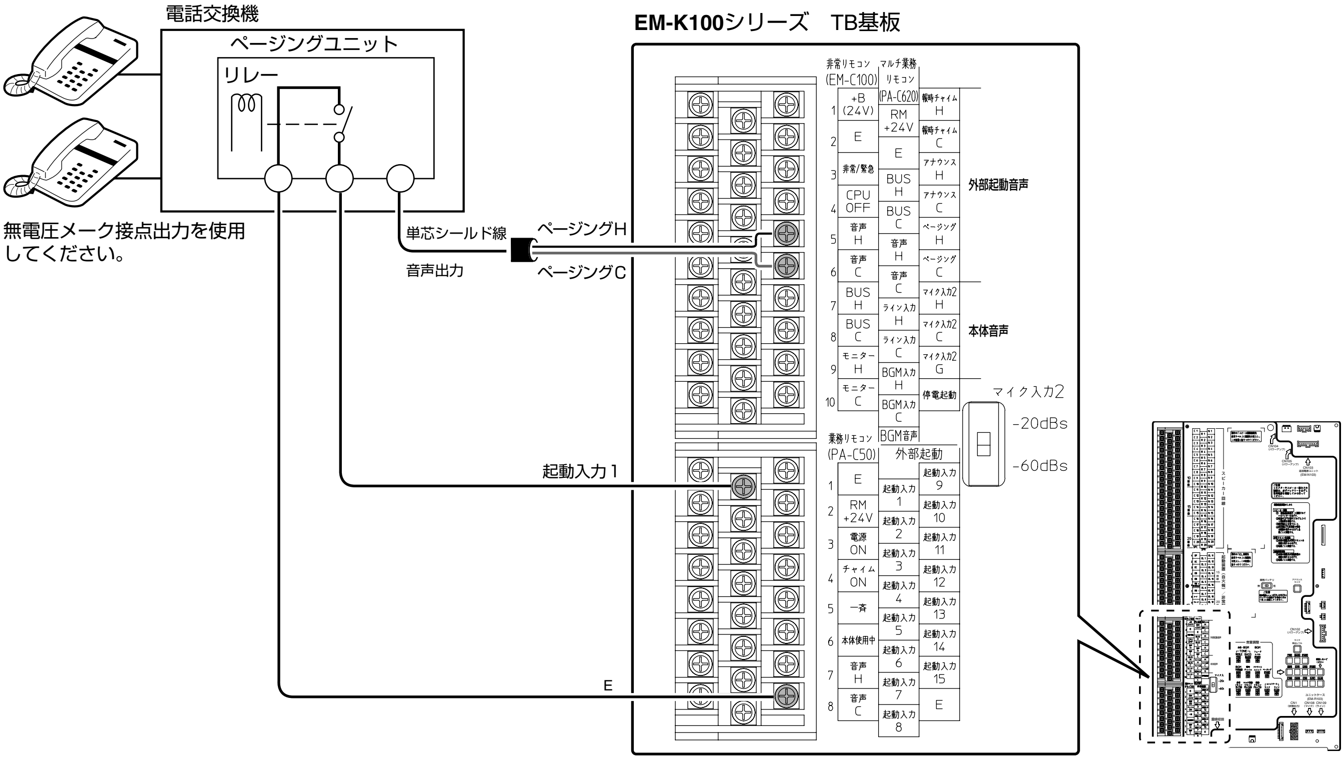
■ 放送機器（放送グループ）を「BGM」とする場合の接続例



電話ページング機器の接続

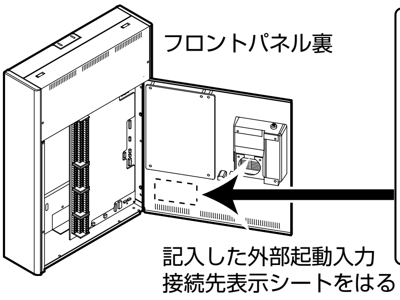
構内電話からページングトランク（ページング指定内線番号）経由で本システムを起動します。

- 起動信号は TB 基板上の [外部起動] 端子に接続します。
- 起動入力設定で、放送機器（放送グループ）として「ページング」を指定し、放送したいスピーカー回線 No. を設定します。詳しくは [起動入力の設定] (☞ 101 ページ) をご覧ください。
- 接続例は [起動入力 1] 端子を使用しています。
- [ページング入力] 端子の入力レベルは -20 dBs です。（半固定 VR 付き）



外部起動入力接続先表示シートの貼り付け

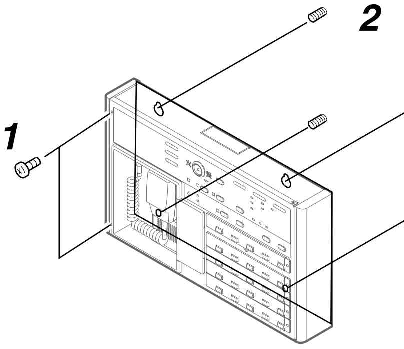
添付のシートに外部起動入力接続機器名を記入して、フロントパネル裏、図の位置に貼り付けてください。

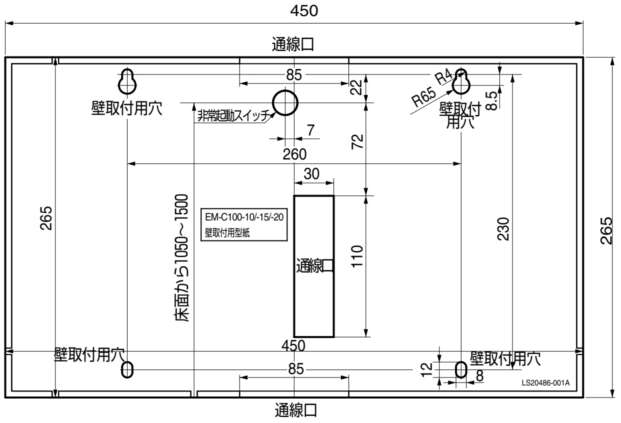


外部起動入力 接続先表示シート（フロントパネル裏に貼り付けてください）

起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア	起動入力No.	放送機器	接続機器	放送エリア
1				9			
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8							

非常業務遠隔操作器
EM-C100 シリーズの設置



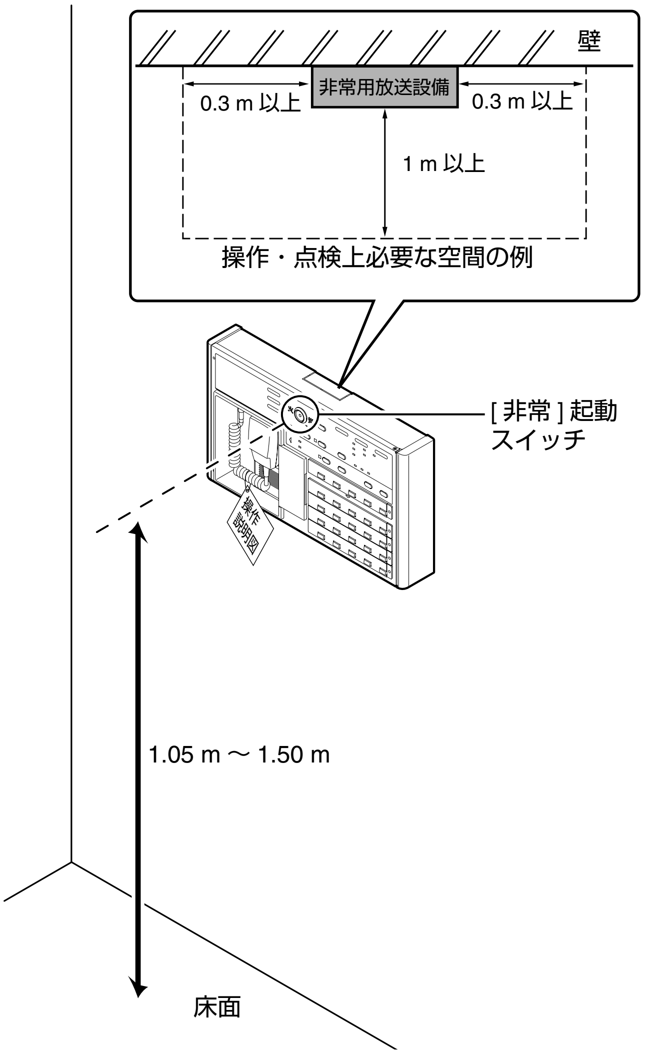


<取付寸法図>

設置場所

消防法および関連法令などで規定されていますので、ご注意ください。

- 常時人のいる場所
- 防火上有効な処置を講じた場所
- 操作上支障となる障害物がない場所



ご注意 :

- 容易に落下しないよう、十分強度をもつ工事方法で取り付けを行なってください。

取り付け

1 **フロントパネルのねじ（2 箇所）をゆるめ、パネルをひらく**

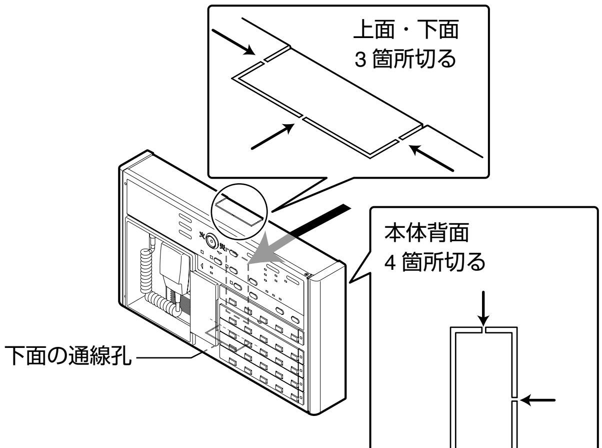
2 **ボトムカバーをアンカーボルトで固定する**

- 非常起動スイッチの位置が床面から1.05 m〜1.50 mの高さになるように取り付けます。
- 添付の型紙の幅から左右各々 0.3 m 以上の空間が確保できる壁面に取り付けます。
- 型紙に合わせ、4 箇所の穴をあけアンカーボルトを打ち込み固定します。

外部接続線の引き込み

本機への外部接続線の引き込みは、上面、背面、下面の 3 箇所から行えます。

通線孔の金具をペンチやニッパーなどで切り取ってください。

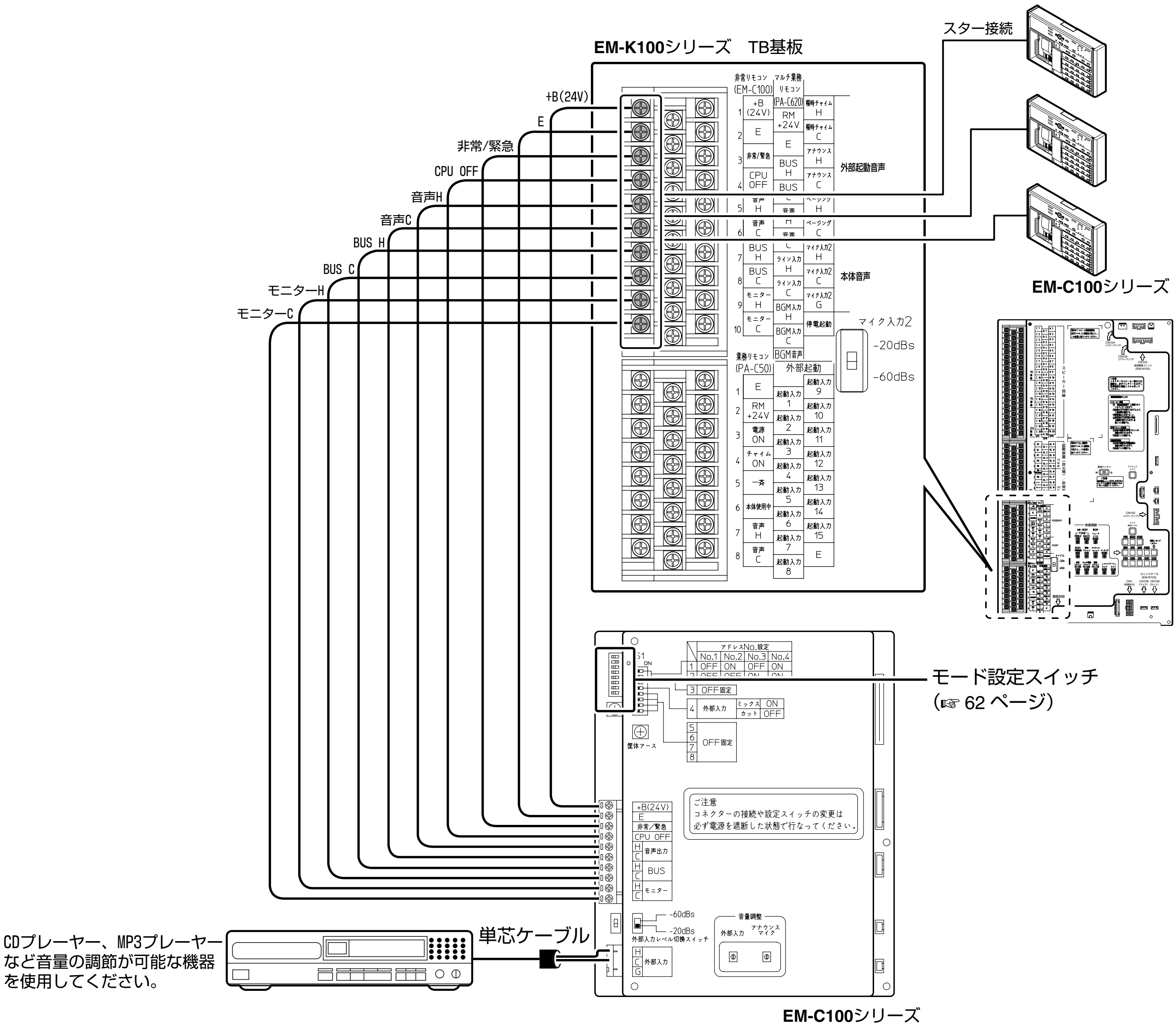


EM-K100 シリーズへの接続

- 複数台（最大 4 台まで）接続する場合、それぞれ、同じ信号線を直接 EM-K100 シリーズの端子台にスター接続してください。決して順送り接続にはしないでください。
- 非常リモコン (EM-C100 シリーズ)、マルチリモコン (PA-C620)、業務リモコン (PA-C50 シリーズ) 合わせて接続できる台数につきましては、[各リモコンの接続台数] (☞ 11 ページ) をご覧ください。
- 複数台接続するときは、EM-C100 シリーズ本体のモード設定スイッチ 1、2 でアドレス No. を設定する必要があります。(☞ 62 ページ)
- 接続線は導体外径 0.65 mm 以上の耐熱対撚りケーブル（5P または 5 ペア）をご使用ください。
- 24 V（+B,E）は 1 線あたりの線路抵抗が 2 Ω 以下、その他は 20 Ω 以下となるようにしてください。（下表参照）

ケーブル径	距離
0.65 mm	30 m
0.9 mm	60 m
1.2 mm	120 m

- 線路抵抗を満足しないときは 5PIN 以上の耐熱対撚りケーブルを使用し、余り線を並列接続して指定の線路抵抗となるようにしてください。



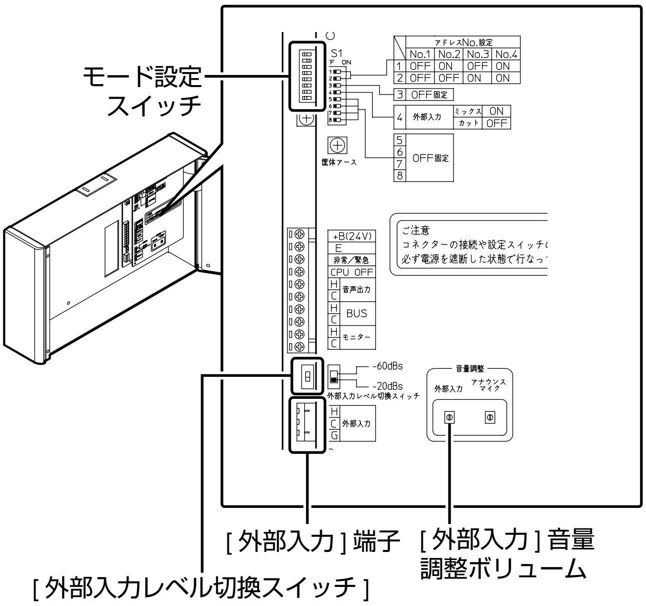
ご注意：
- 接続線はスピーカー線や AC100 V 線と同一配管にしないでください。

非常業務遠隔操作器 EM-C100 シリーズの設置 (つづき)

外部入力に接続した機器から放送する

放送階選択スイッチ、[一斉] 放送スイッチまたはブロックスイッチを押すと、[外部入力] 端子に接続した機器から放送することができます。

- アナウンスマイクのスイッチを押すと、[外部入力] 端子からの放送は止まり、マイク放送に切り換わります。
  モード設定スイッチ４の設定によって、外部入力をミックス放送することもできます。
- アナウンスマイクのスイッチを離すと、[外部入力] 端子からの放送に戻ります。
- 外部入力音量は、EM-C100 シリーズ本体の CPU 基板の [外部入力] 音量調整ボリュームで調節します。

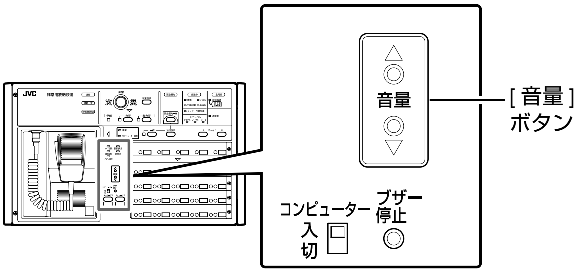


メモ :

- 接続する外部機器の入力レベルに合わせて、
  [外部入力レベル切換スイッチ] を設定してください。

モニター音量の調節

モニター音量はフロントパネルのポケットカバー内の [音量] ボタンで調節します。



常用電源（AC100 V）の接続

警告
● 常用電源（AC100 V）の接続は電気工事士の有資格者が行なってください。 ● EM-N103 の端子台（J1/J2）は、電源ブレーカーおよびデジタルパワーアンプ電源専用です。他の機器を接続しないでください。

本機専用電源ブレーカー（NFB）に接続します。

メモ :

- 設置作業中はブレーカーをオフにし、配線終了後オンにしてください。
- 配線およびブレーカーの容量は、デジタルパワーアンプが EM-KA380D の場合 15 A 以上、その他の場合は 10 A 以上必要です。

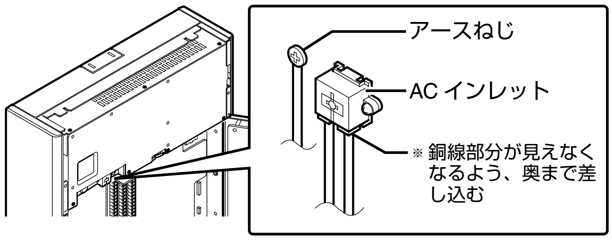
1 AC ケーブルをデジタルパワーアンプに接続する

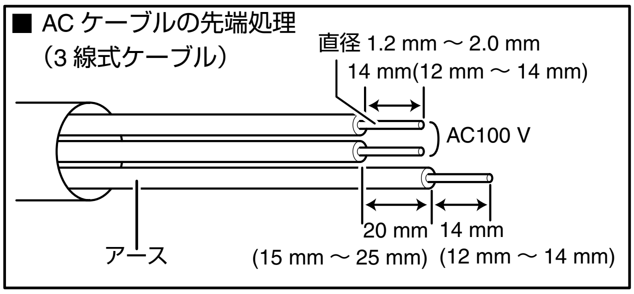
AC ケーブルのケーブル被服を約 14 mm むき、デジタルパワーアンプの AC インレット（直径 1.2 mm ～ 2.0 mm) に差し込みます。

ご注意 :

- ショート防止のため、ケーブルの銅線部分が AC インレットの外から見えなくなるよう、奥まで差し込んでください。

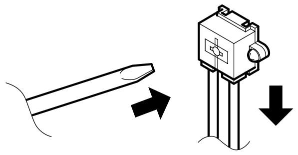
2 アース線の被服をむき、デジタルパワーアンプのアースねじで取り付ける



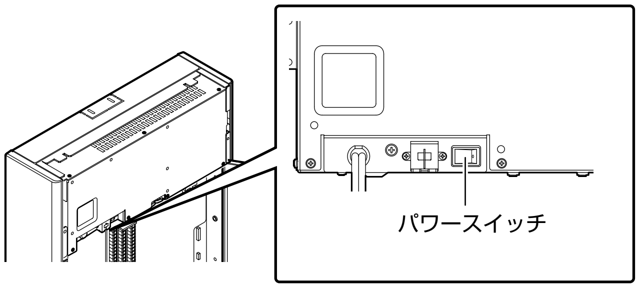


メモ :

- AC インレットからケーブルを抜く場合、AC インレットの溝をマイナスドライバーなどで強く押しながら、ケーブルを引っ張ります。

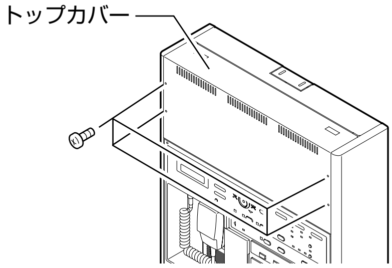


3 デジタルパワーアンプへの常用電源の配線が終了したあと、パワースイッチをオンにする

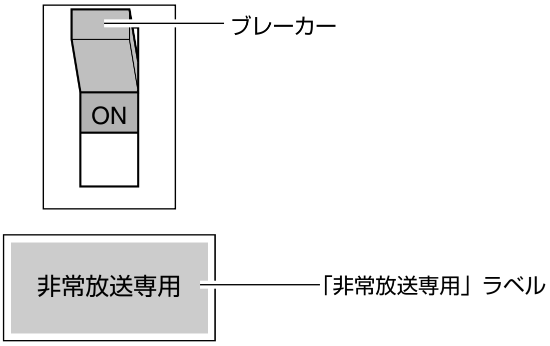


4 EM-K100 シリーズ本体にトップカバーを取り付ける

カバーを取り付け、ねじでとめます。



5 デジタルパワーアンプに添付の「非常放送専用」ラベルをブレーカーにはる



EM-N103 を使用する場合の常用電源（AC100 V）の接続

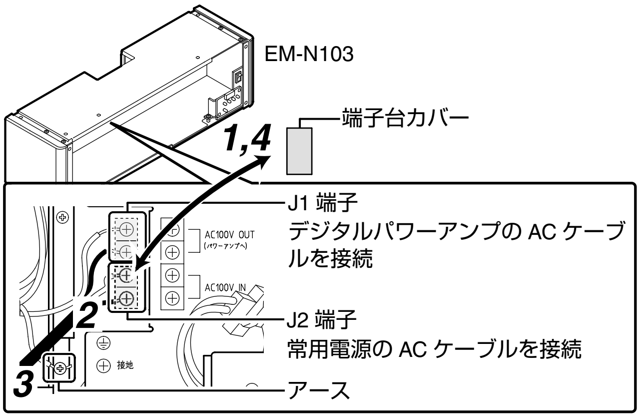
メモ：
- 本機専用電源ブレーカー（NFB）に接続してください。
- 設置作業中はブレーカーをオフにし、配線終了後オンにしてください。
- デジタルパワーアンプ EM-KA380D を使用している場合、配線およびブレーカーの容量は 15 A 以上、その他の場合は 10 A 以上必要です。

1 EM-N103 の端子台（J2）のカバーをはずす

2 AC ケーブルの被服をむき、EM-N103 の端子台 (J2) にねじでとめる

3 アース線の被服をむき、EM-N103 のアースねじでとめる

4 手順 *1* ではずした端子台（J2）のカバーを取り付ける



警告
常用電源（AC100V）を J2 に接続後、端子台（J1、J2）のカバーを元通り取り付けてください。

5 必要に応じて蓄電池を組み込む

- EM-N103 に蓄電池を組み込む場合は、[蓄電池の組み込み] (☞ 54 ページ) をご覧ください。
- EM-N103 に蓄電池を組み込まずに使用する場合は、55 ページの手順 **6** 〜手順 **9** をご覧ください。

蓄電池の組み込み

使用する蓄電池はパワーアンプに合わせてえらんでください。

パワーアンプ	EM-KA80D	EM-KA160D	EM-KA240D	EM-KA380D
蓄電池	NB-165	NB-35B	NB-60	NB-60

1 EM-K100 シリーズ本体に固定してある蓄電池固定金具をはずす

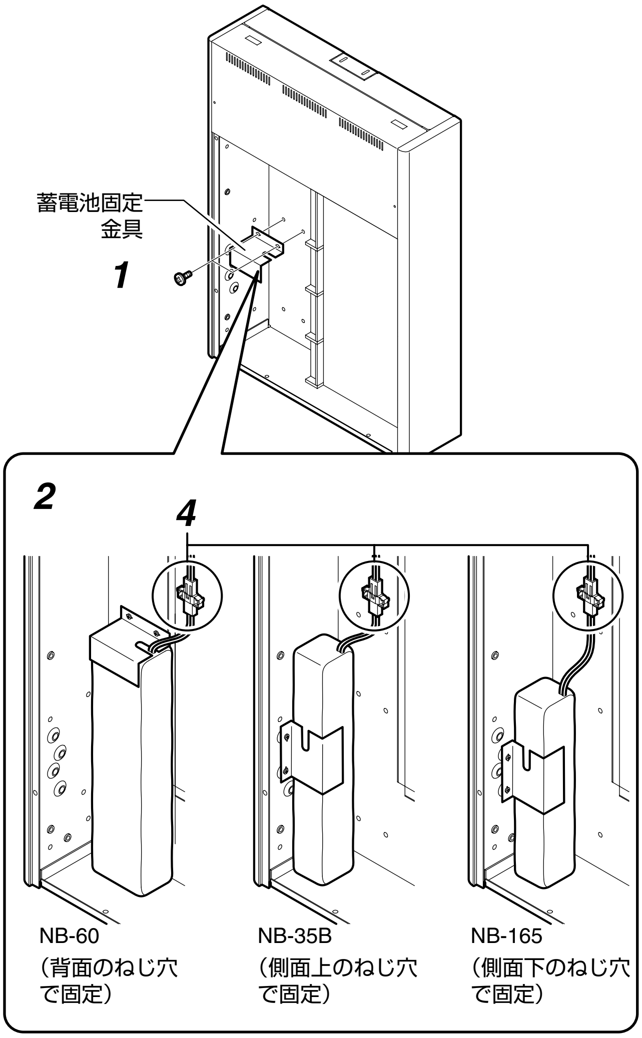
2 蓄電池を EM-K100 シリーズ本体に取り付け、固定金具で固定する

蓄電池の種類によって固定金具の取り付け位置が変わります。

3 電源分電盤のブレーカーおよびデジタルパワーアンプのパワースイッチをオンにする

4 バッテリーコネクターを接続する

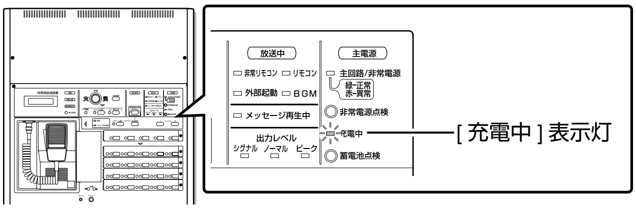
デジタルパワーアンプの [CN104] ワイヤー（2PIN）と蓄電池のワイヤーを接続します。



ご注意：
- 本機が通電中でない状態でバッテリーコネクターを接続すると、コネクター部で火花が出ることがありますが、異常ではありません。
- 長期間使わない場合、蓄電池の放電を防ぐため、バッテリーコネクターをはずしてください。

5 EM-K100 シリーズ本体の充電中表示灯が点灯していることを確認する

正常な蓄電池は、約 40 時間で充電完了となります。



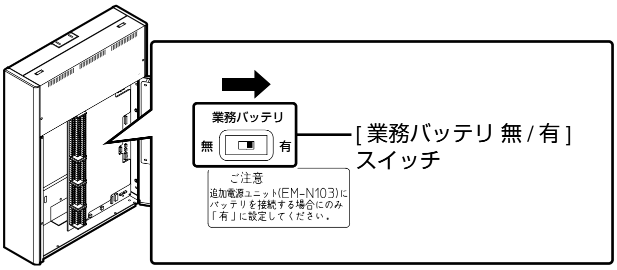
■ 専用バッテリーのリサイクルについて

Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。

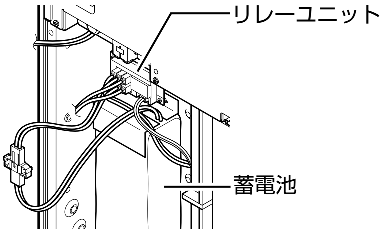
EM-N103 に蓄電池を取り付ける場合

1 EM-K100シリーズ本体内部の[業務バッテリ 無/有]スイッチを “ 有 ” に設定する



2 デジタルパワーアンプの電源を入れる

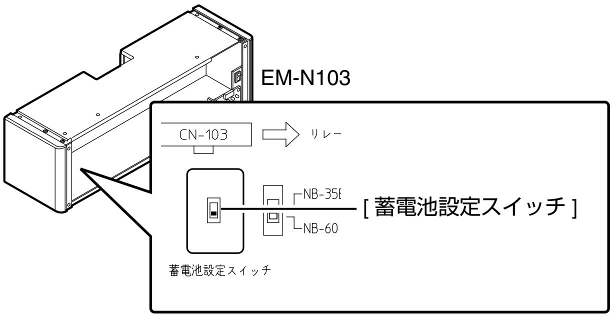
3 リレーユニットの 2PIN ワイヤー（赤青）と EM-K100 シリーズ本体内の蓄電池のコネクター（赤青）を接続する



ご注意：
- 蓄電池を接続するときは、デジタルパワーアンプの電源を必ず ON にした状態で行なってください。
火花が発生することや、デジタルパワーアンプまたは EM-N103 のヒューズが切れることがあります。

4 [蓄電池設定スイッチ] を設定する

追加電源ユニット (EM-N103) に蓄電池を接続する場合は、EM-N103 の基板上の [蓄電池設定スイッチ] を使用する蓄電池（NB-35B または NB-60）に応じて切り換えてください。



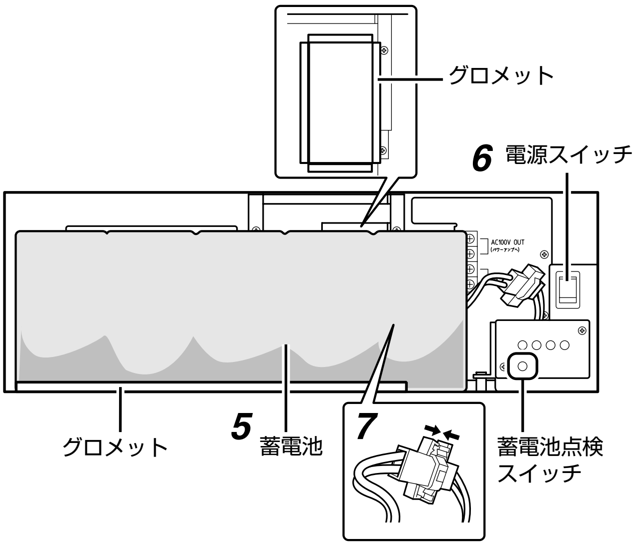
メモ :
- 蓄電池は使用するデジタルパワーアンプに応じて選択してください。(☞ 61 ページ)

5 蓄電池を EM-N103 に入れる

ご注意 :
- 蓄電池を EM-N103 に入れるとき、蓄電池の外装被覆を EM-N103 の板金エッジなどで傷つけないように十分注意してください。
- EM-N103 のシャーシ底面手前の板金エッジに取り付けられたグロメットは、蓄電池の外装被覆を保護するためのものです。また、シャーシ奥中央の板金エッジに取り付けられたグロメットは、ワイヤーを保護するためのものです。取りはずさないでください。

6 EM-N103 の電源を入れる

7 EM-N103 の 2PIN ワイヤーコネクター（赤青）と蓄電池 (NB-35B/NB-60) のワイヤーコネクター（赤青）を接続する

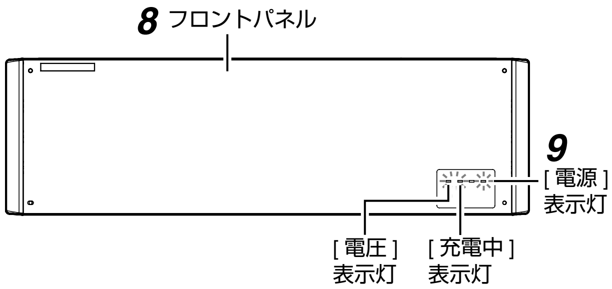


8 EM-N103 のフロントパネルを取り付ける

ご注意 :
- フロントパネルを取り付けるとき、フロントパネルが蓄電池点検スイッチに接触し、スイッチが押された状態にならないようにしてください。保護回路（ヒューズ内蔵抵抗）がはたらき、蓄電池点検回路が動作しなくなります。

9 接続を確認する

[電源] 表示灯、[充電中] 表示灯（蓄電池接続時のみ）、[電圧] 表示灯が緑色に点灯していれば正しく接続できています。



設置完了後に機器を取りはずす場合

EM-K100 シリーズのシステムを設置したあとに機器を取りはずす場合、必ず下記の順番で行なってください。

1 電源が入った状態で蓄電池を取りはずす

デジタルパワーアンプおよび追加電源ユニット (EM-N103) の電源が入っている状態で、EM-K100 シリーズ本体と追加電源ユニット (EM-N103) 内の蓄電池を取りはずします。

2 デジタルパワーアンプおよび、追加電源ユニット (EM-N103) の電源を切る

3 EM-K100 シリーズのシステム専用電源ブレーカーを切る

4 機器を取りはずす

ラックマウント金具の取り付け

EM-U114 には、EM-K100 シリーズ用と EM-C100 シリーズ用の 2 種類のラックマウント金具が同梱されています。各々の長さは下記になります。

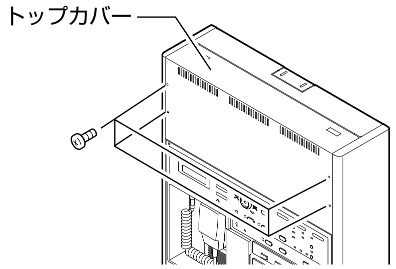
- EM-K100 シリーズ用：622 mm（大）
- EM-C100 シリーズ用：266 mm（小）

EM-K100 シリーズ本体へ取り付ける

■ EM-U114（大）を取り付ける

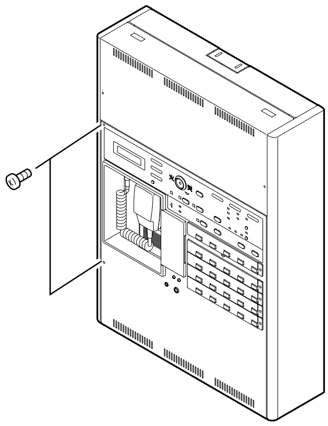
1 本体 EM-K100 シリーズ本体のトップカバーをはずす

トップカバーのねじ（4 箇所）をはずします。



2 EM-K100 シリーズ本体のフロントパネルをあける

フロントパネルのねじ（2 箇所）をゆるめ、フロントパネルをひらきます。

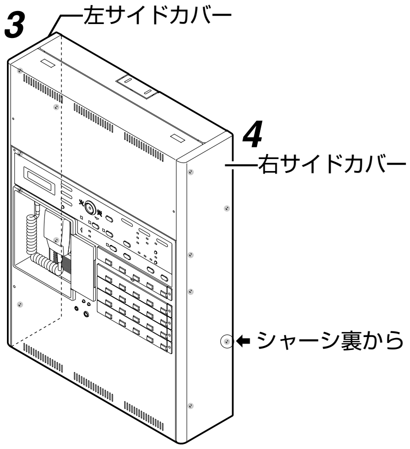


3 左サイドカバーをはずす

EM-K100 シリーズ本体内部からねじ（6 箇所）をはずします。

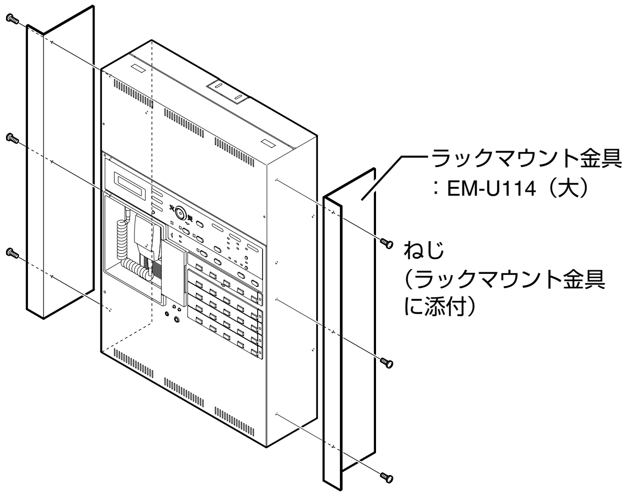
4 右サイドカバーをはずす

EM-K100 シリーズ本体内部からねじ（5 箇所）をはずします。1 箇所はシャーシ裏からドライバーを挿し込みはずします。



5 ラックマウント金具を取り付ける

ラックマウント金具に添付のねじ（M4 × 10 mm タッピンねじ：左右 3 個ずつ）を使い、外側から取り付けます。



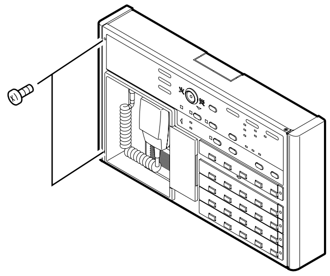
6 EM-K100 シリーズ本体をラックに取り付ける

EM-C100 シリーズ本体へ取り付ける

■ EM-U114（小）を取り付ける

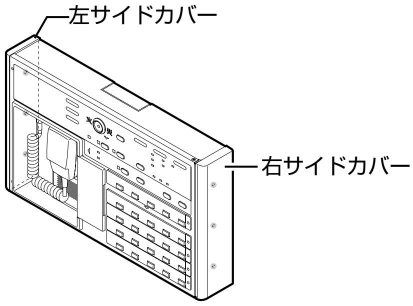
1 EM-C100 シリーズ本体のフロントパネルをあける

フロントパネルのねじ（2 箇所）をゆるめ、フロントパネルをひらきます。



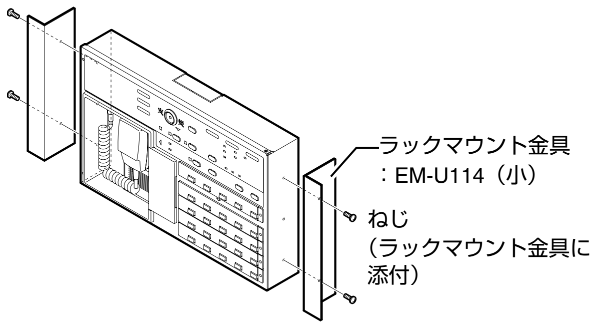
2 サイドカバーをはずす

EM-C100 シリーズ本体内部からねじ（6 箇所）をはずします。



3 ラックマウント金具を取り付ける

ラックマウント金具に添付のねじ（M4 × 10 mm タッピンねじ：左右 2 個ずつ）を使い、外側から取り付けます。



4 EM-C100 シリーズ本体をラックに取り付ける

EM-R103/EM-N103 へ取り付ける

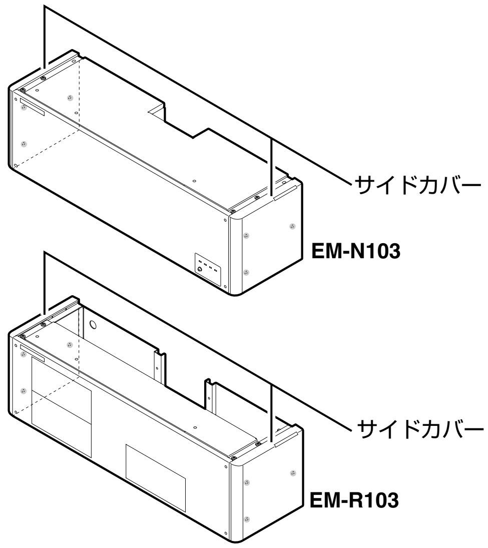
■ PA-U13 を取り付ける

ご注意：

- EM-N103 に蓄電池を収納した状態でラックマウント金具のねじを締め付けないでください。蓄電池を傷つける場合があります。
- 添付のねじ（M4 × 10 mm タッピンねじ）を紛失してしまった場合、必ず 10 mm 以下のねじを使用してください。

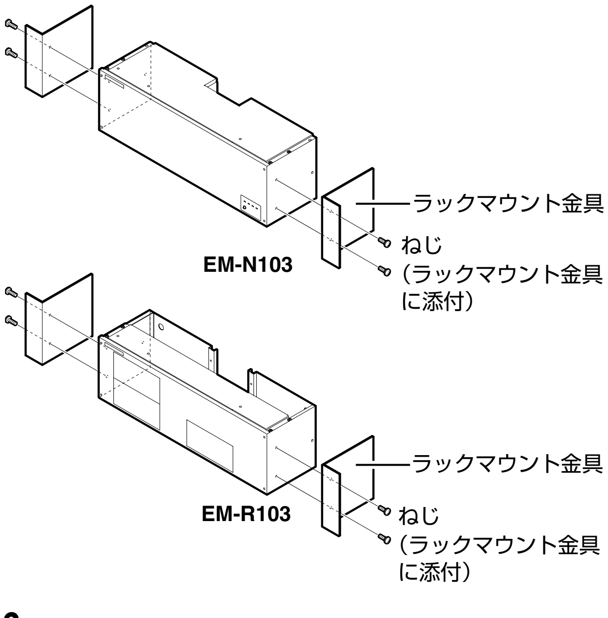
1 サイドカバーをはずす

EM-R103/EM-N103 内部からねじ（6 箇所）をはずします。



2 ラックマウント金具を取り付ける

ラックマウント金具に添付のねじ（M4 × 10 mm タッピンねじ：左右 2 個ずつ）を使い、外側から取り付けます。



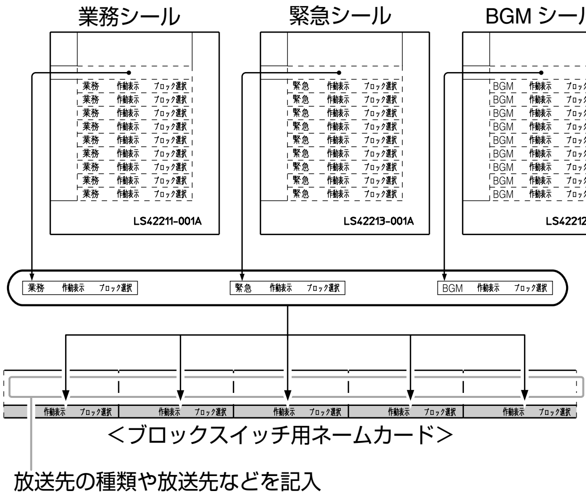
3 EM-R103/EM-N103 をラックに取り付ける

ネームカードについて

付属のネームカード（LS31365-001A）に放送先の名称を記入し、切り離してご使用ください。

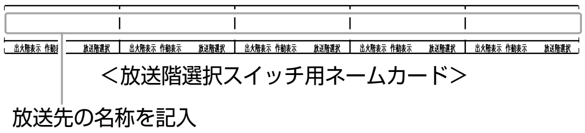
ネームカードの記入

ブロックスイッチ用のネームカードにはその設定によりBGMまたは緊急または業務のシールを [ ] の位置に貼り付けます。



<ブロックスイッチ用ネームカード>

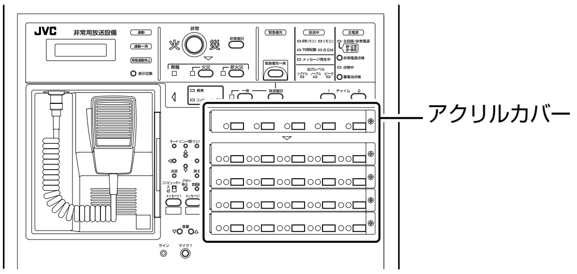
■ 放送階選択スイッチ用のネームカードには、放送先の名称を記入してください。



<放送階選択スイッチ用ネームカード>

ネームカードの取り付け

付属のネームカードに放送先の名称を記入し、切り離してご使用ください。
記入を終えたネームカードは下記の手順に従ってアクリルカバーの凹部へはめたあと、ねじで固定します。



1 アクリルカバーをはずす

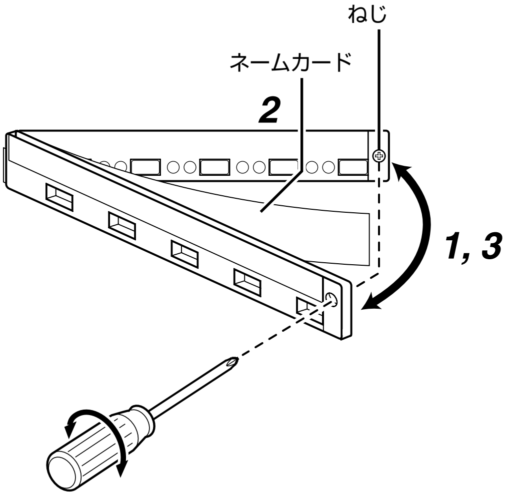
アクリルカバーをとめているねじをはずします。

2 ネームカードを差し込む

記入を終えたネームカードをアクリルカバーの内側にはめ込みます。

3 アクリルカバーを固定する

ネームカードがずれないようにアクリルカバーを元の位置に戻し、ねじで締めて固定します。

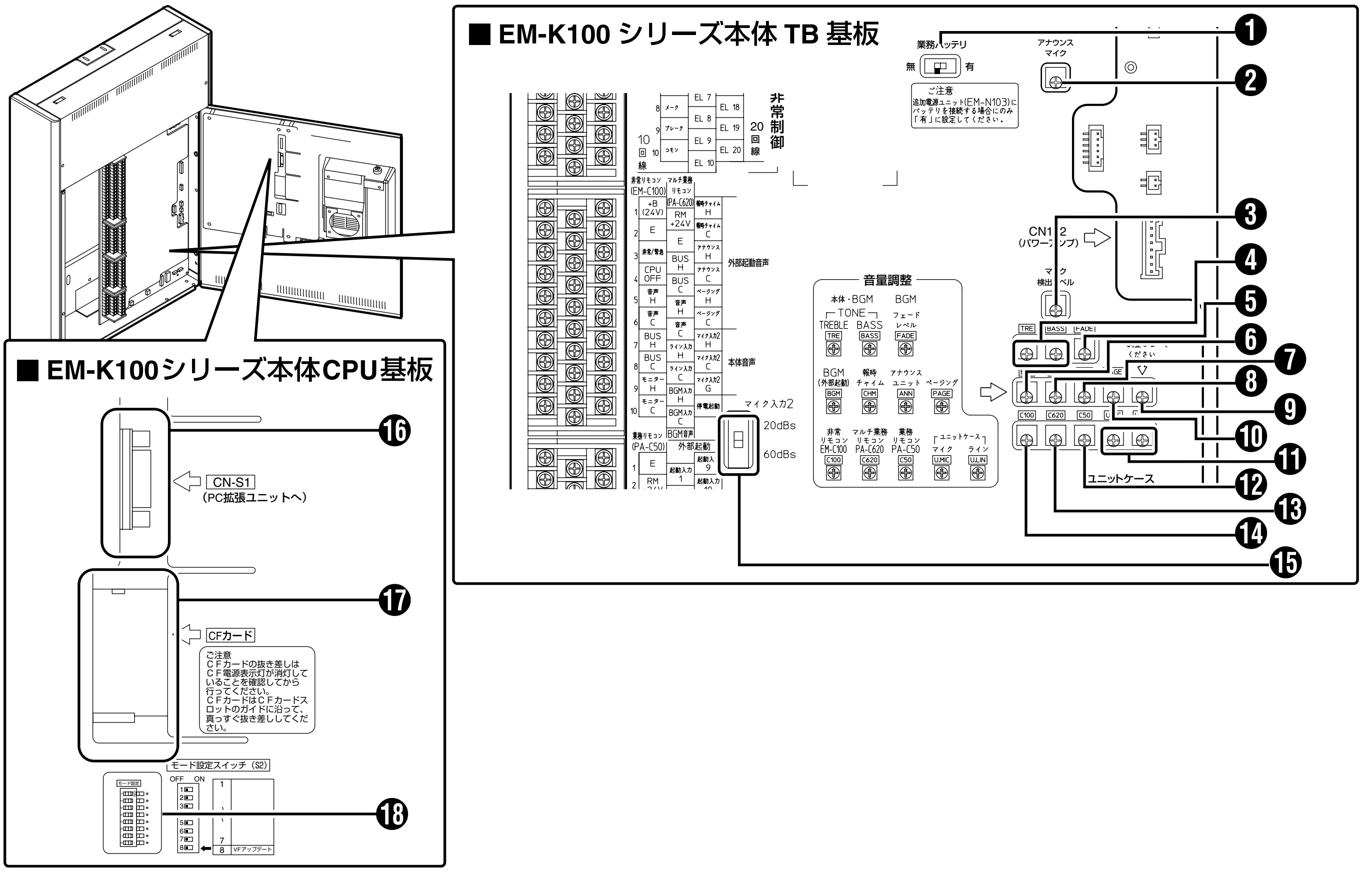


設定・調節

壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100 シリーズ) の設定 60
追加電源ユニット (EM-N103) の設定 61
非常業務遠隔操作器 (EM-C100 シリーズ) の設定 62
マルチ業務リモコン (PA-C620) の設定 63
接続と動作の総合確認 64

壁掛型非常業務放送装置 (EM-K100 シリーズ) の設定

スイッチ設定と音量調節



❶ **[業務バッテリ 無 / 有] 切換スイッチ**

追加電源ユニット (EM-N103) を使用する場合に設定します。追加電源ユニット (EM-N103) 内に蓄電池を収納し、使用する場合 " 有 " **に設定します。**（☞ 31 ページ）

❷ **[アナウンスマイク] 音量調節ボリューム**

フロントパネルのアナウンスマイクの音量を調節します。

❸ **[マイク入力検出レベル] 調節ボリューム**

マイク連動設定によって BGM 制御（カット / ミューティング / フル）を行う場合に、フロントパネルの [マイク 1] 端子、TB 基板上の [マイク入力 2] 端子、およびワイヤレスマイク（EM-R103 使用）からの入力検出レベルを調節します。

❹ **[本体・BGM/TONE] 調節ボリューム**

EM-K100 シリーズ本体および、BGM の音質を調節します。

[TRE]　：高音のレベルを調節します。センター位置から右に回すと高音が強調されます。

[BASS] ：低音のレベルを調節します。センター位置から右に回すと低音が強調されます。

❺ **[BGM フェードレベル] 調節ボリューム**

BGM ミックス設定によって BGM のミューティングを行う場合に、BGM のレベルを調節します。
右に回すと BGM の音が大きくなります。

❻ **[BGM（外部起動）] 音量調節ボリューム**

端子台の BGM 入力の音量を調節します。

❼ **[報時チャイム] 音量調節ボリューム**

端子台の報時チャイム入力の音量を調節します。

❽ **[アナウンスユニット /ANN] 音量調節ボリューム**

端子台のアナウンスユニット入力の音量を調節します。

❾ **非常放送音量調節ボリューム**

このボリュームは工場出荷時に調節されているので、通常は回さないでください。設置後の音声確認にて、非常放送のシグナル音のひずみが気になる場合は、ボリュームに貼ってあるテープを一度はがし、微調整を行なってください。左に回すと音量が下がります。

ご注意 :

- 音量の調整後は必ず出力音圧レベルを測定し、消防法施工規則、技術基準の規定音圧レベル以上であることを確認してください。（☞ 144 ページ）

⑩ [ページング /PAGE] 音量調節ボリューム

端子台の電話ページング入力の音量を調節します。

⑪ [ユニットケース マイク / ライン] 音量調節ボリューム

ユニットケース (EM-R103) 使用時の音量を調調節します。

[U.MIC] ：EM-K100 シリーズ本体 TB 基板の [CN108（マイク）] 端子に接続した場合の音量を調節します。
[U.LIN] ：EM-K100 シリーズ本体 TB 基板の [CN109（ライン）] 端子に接続した場合の音量を調節します。

⑫ [業務リモコン PA-C50] 音量調節ボリューム

端子台に接続された業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の入力音量を調節します。

⑬ [マルチ業務リモコン PA-C620] 音量調節ボリューム

端子台に接続されたマルチ業務リモコン (PA-C620) の入力音量を調節します。

⑭ [非常リモコン EM-C100] 音量調節ボリューム

端子台に接続された非常リモコン (EM-C100 シリーズ) の入力音量を調節します。

⑮ [マイク入力 2 -20dBs/-60dBs] レベル切換スイッチ

端子台のマイク入力２の入力レベルに応じて
“-20 dBs” または “-60 dBs” に設定します。

⑯ [CN-S1]

拡張用ポートです。通常使用しません。

⑰ CF カードスロット

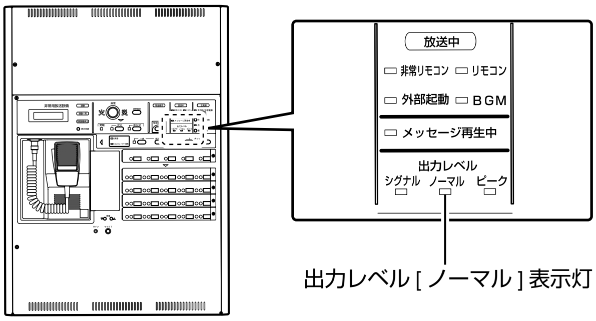
EM-K100 シリーズ本体の設定データや履歴、メッセージデータなどを CF カードを使用して保存 / 本体への書き込みができます。
CF カードは別売りです。使用可能な CF カードにつきましては [CF カードの使い方] (☞ 108 ページ) をご覧ください。

⑱ [モード設定スイッチ]

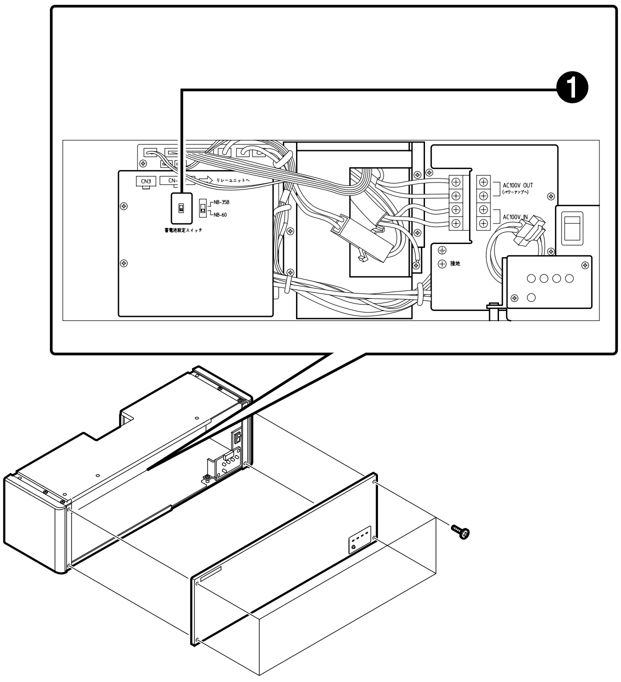
CF カードを使って、音声メッセージを EM-K100 シリーズ本体に読み込ませる場合、8 番スイッチを “ON” に設定します。出荷時はすべて “OFF” に設定されています。
(☞ 111 ページ）

音量調節時のご注意

音量を上げ過ぎると、過大入力がパワーアンプユニットに入り、出力がクリップ（飽和）し、歪みの原因になります。また、それによってパワーアンプ異常のアラームが発生することがあります。
歪みのない最大音量のめやすは、EM-K100 シリーズ本体の出力レベル [ノーマル] 表示灯がうっすらと点灯する音量が適切なレベルです。出荷時、各ボリュームはセンター位置になっています。



追加電源ユニット (EM-N103) の設定



❶ [蓄電池設定スイッチ]

EM-N103 に搭載する蓄電池の種類に合わせて切り換えます。
EM-N103 に搭載できる蓄電池は “NB-35B” または “NB-60” です。EM-K100 シリーズ本体のデジタルパワーアンプの種類によって蓄電池を選択します。

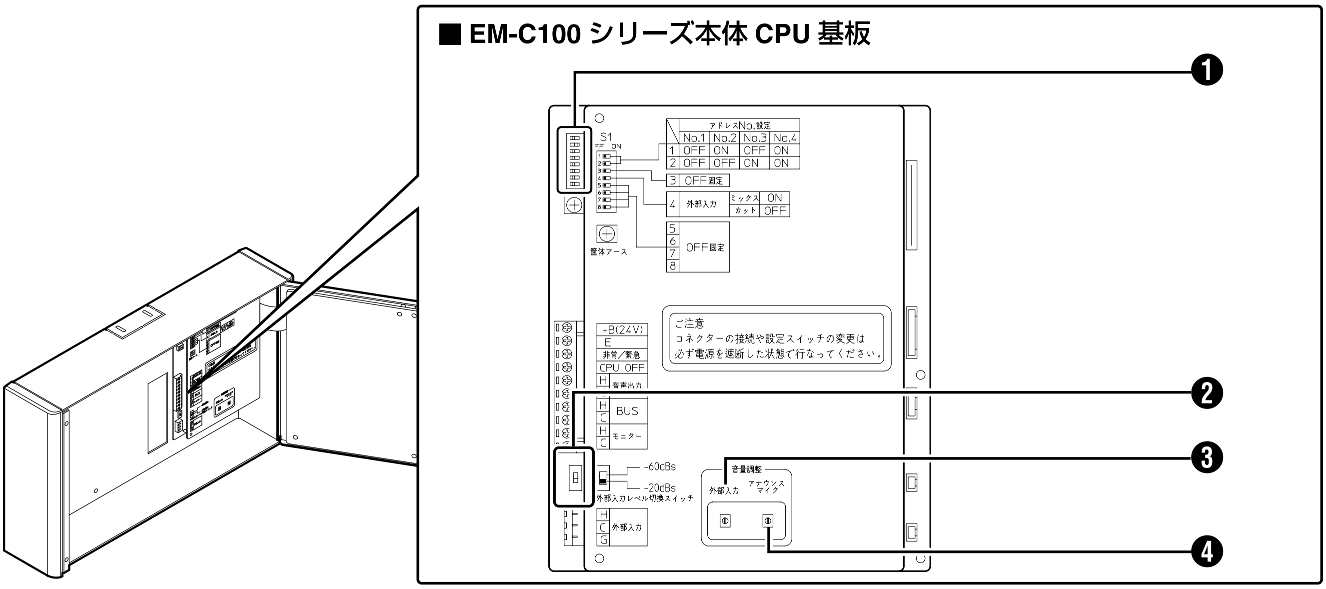
デジタルパワーアンプ ／ 蓄電池	EM-KA80D (80 W)	EM-KA160D (160 W)	EM-KA240D (240 W)	EM-KA380D (380 W)
NB-35B	○	○	使用不可	使用不可
NB-60	○	○	○	○

メモ :

- EM-N103 に蓄電池を搭載する場合は、EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の [業務バッテリ 無 / 有] 切換スイッチを “ 有 ” に設定してください。また、蓄電池を搭載しない場合は、[業務バッテリ 無 / 有] 切換スイッチを “ 無 ” に設定してください。

非常業務遠隔操作器 (EM-C100 シリーズ) の設定

モード設定スイッチの設定と音量調節



❶ モード設定スイッチ（1 ～ 8）

各種モードの設定スイッチです。

スイッチ No.	内容
1 2	：アドレス No. 設定スイッチ 非常リモコンを複数台使用する場合、各非常リモコンにアドレス No. を設定する必要があります。非常リモコンは最大 4 台まで接続できます。アドレス No. が重複すると正しく動作しません。（工場出荷値：OFF）
3	：“OFF” 固定
4	：外部入力ミックス設定 非常リモコンの外部入力放送時にアナウンスマイクを使用した場合、外部入力の音声をカットする場合は “OFF”、ミックスする場合は “ON” に設定します。 （工場出荷値：OFF）
5 ～ 8	：“OFF” 固定

（スイッチ No. 1・2 の表）

	アドレスNo.設定			
	No.1	No.2	No.3	No.4
1	OFF	ON	OFF	ON
2	OFF	OFF	ON	ON

❷ [外部入力レベル切換スイッチ]

非常リモコンの [外部入力] 端子に接続された機器の入力レベルに応じて “-20 dBs” または “-60 dBs” に設定します。

❸ [外部入力] 音量調節ボリューム

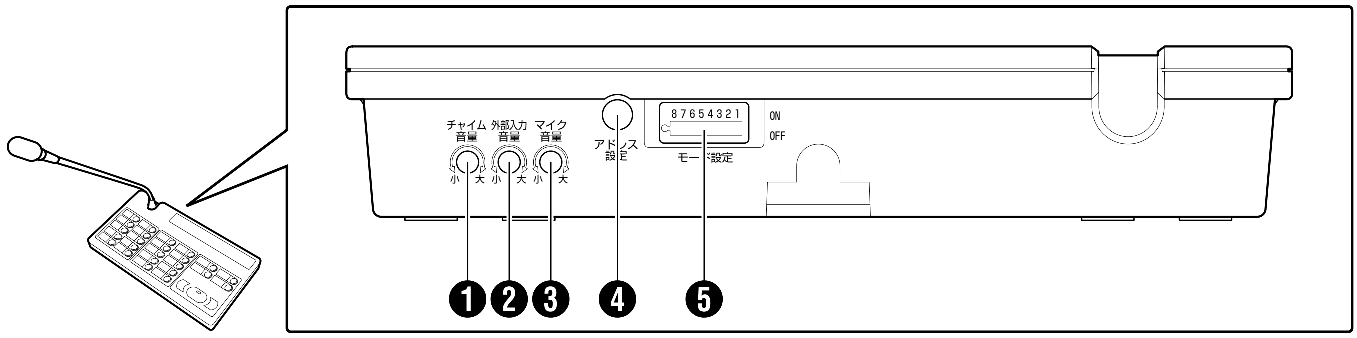
非常リモコンの [外部入力] 端子に接続された機器の音量を調節します。

❹ [アナウンスマイク] 音量調節ボリューム

非常リモコンのアナウンスマイクの音量を調節します。

マルチ業務リモコン (PA-C620) の設定

音量調節と設定



❶ [チャイム音量] 調節ボリューム

本機から出力されるチャイムの音量を調節します。

❷ [外部入力音量] 調節ボリューム

[外部入力] 端子に入力された音量を調節します。

❸ [マイク音量] 調節ボリューム

フレキシブルマイクの音量を調節します。

❹ [アドレス設定] スイッチ

- 本機のアドレス No. を設定します。
- 本機は最大 8 台まで接続できます。ドライバーで回転させて 1 ～ 8 の数字にあわせます。（複数台接続する場合は、異なった No. を割り当ててください。）

※ 0 と 9 は使用しません。

❺ モード設定スイッチ

PA-C620 の動作を設定します。
（工場出荷時：すべて “OFF”）

■ スイッチ 1,2：制御 1,2 スイッチ動作設定

PA-C620 の制御出力（EM-K100 シリーズの制御出力）の動作を選択します。接続する機器に合わせてロック動作かノンロック動作を選択します。

OFF ： 制御出力の動作をロック動作します。
制御 1/ 制御 2 スイッチを押すと制御出力が ON（メーク）します。もう一度、制御 1/ 制御 2 スイッチを押すと OFF（ブレーク）します。

ON ： 制御出力の動作をノンロック動作します。
制御 1/ 制御 2 スイッチを押したときだけ、制御出力が 3 秒間 ON（メーク）します。

■ スイッチ 3：外部入力スイッチ動作設定

OFF ： 外部入力スイッチ点灯時に外部入力端子に入力した音声とマイクからの音声をミキシングして出力します。

ON ： 外部入力スイッチ点灯時にマイクからの音声を出力せず、外部入力端子に入力した音声のみを出力します。

■ スイッチ 4：自動復旧機能設定

OFF ： 放送している時に 2 分間音声の無い状態が続くと自動的に放送を切ります。

ON ： 自動復旧機能が動作しないようにします。
お客様からの指定がないときは OFF（工場出荷設定）の設定にしてください。

■ スイッチ 5：チャイム自動送出機能設定

放送／復旧スイッチを押すとチャイムスイッチを押さなくても、放送開始時にはアップチャイムが鳴り、放送終了時にはダウンチャイムが鳴るように設定することができます。

OFF ： チャイムの自動送出を行いません。チャイムを送出するときはチャイムスイッチを押します。

ON ： チャイム自動送出を行います。チャイムスイッチは無効になります。

■ スイッチ 6：チャイム鳴動速度設定

OFF ： チャイムの鳴動速度を早くします。

ON ： チャイムの鳴動速度を遅くします。

■ スイッチ 7：PC 接続設定

OFF ： PA-C620 の PC 接続端子を使用しないときに設定します。

ON ： PA-C620 の PC 接続端子を使用するときに設定します。

■ スイッチ 8：放送オン / オフ時間設定

OFF ： 放送スイッチを押すと放送ランプが点滅し、1.5 秒経過すると点灯状態になり放送が可能になります。

ON ： 放送スイッチを押すと放送ランプが点滅し、3.0 秒経過すると点灯状態になり放送が可能になります。

接続と動作の総合確認

確認の手順とチェックポイント

機器の取り付け・接続などが完了したら、電源を投入し、各種システム設定、動作確認作業を開始します。
電源投入前に接続ミス・設定もれなどがないか、再度確認してください。

Step1	**機器の取り付け位置は適正か確認する** **(☞21 ページ , 50 ページ)** 放送設備としての操作上、点検上必要な空間などを確認してください。

▼

Step2	**作成したプログラムシートとシステムに違いがないか確認する**

▼

Step3	**接続と設定を確認する (☞60 ページ～ 63 ページ)** 下記の機器の接続や設定が正しく行われているかを確認してください。 ● 本体 (EM-K100 シリーズ) ● 非常リモコン (EM-C100 シリーズ) ● マルチ業務リモコン (PA-C620) ● 業務リモコン (PA-C50 シリーズ) ● EM-N103 ● PA-D シリーズ **メモ :** ● コネクターが確実に接続されていることを確認します。 ● 外線ケーブルの接続端子ねじにゆるみがないか確認します。

▼

Step4	**EM-K100 シリーズ本体および、EM-N103 の蓄電池収納状態を確認する** **(☞54 ページ～ 55 ページ)** 蓄電池の容量と収納位置、充電電流設定スイッチと収納電池型名などを確認してください。

▼

Step5	**その他の確認** ラックケース、リモコンケースなどの内部に、ケーブルの切断破片や配線材料の取り残し、工具などの置き忘れなどがないことを確認してください。

▼

確認終了

システム設定と総合動作確認

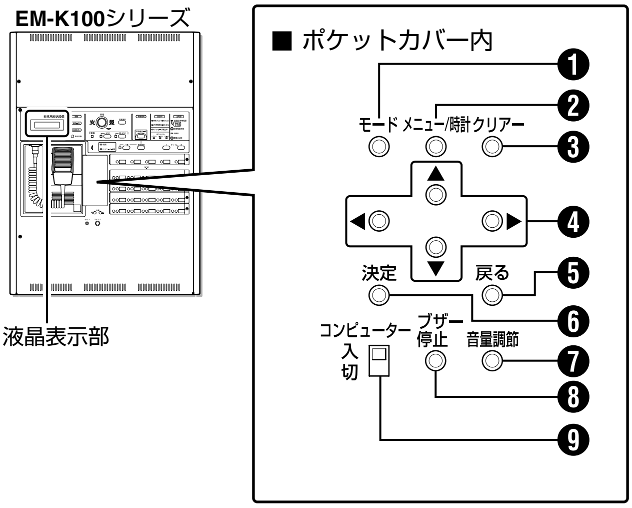
- 各種の機能を内部 CPU に設定する作業を行います。
- 具体的な動作確認内容については、[確認] (☞ 113 ページ) をご覧ください。

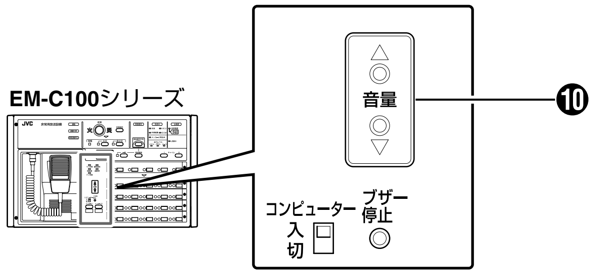
システム設定

スイッチの名称とはたらき 66
メニュー一覧 67
設定値一覧 68
時計を合わせる 71
環境設定 72
非常放送設定 75
業務放送設定 81
回線設定 90
設定データ管理 106

スイッチの名称とはたらき

システム設定は、EM-K100 シリーズ本体コントロールパネルのポケットカバー内にある、設定スイッチで行います。
ポケットカバーは手前にひらきます。
フロントパネルのその他のスイッチや各部の名称とはたらきについて、詳細は [取扱説明書] をご覧ください。





❶ **[モード] スイッチ**

約 3 秒以上長押しすると、通常モードからシステム設定モードとなり、液晶表示部にメインメニューが表示されます。
メニュー画面が表示されている場合に押すと、システム設定モードから通常モードに戻ります。

メモ :

- 放送中は押しても、システム設定モードに移れません。

❷ **[メニュー / 時計] スイッチ**

メニュー画面を一つ前の画面に戻します。
時計設定時に使用します。（☞ 71 ページ）

❸ **[クリアー] スイッチ**

入力した数値を削除します。
回線設定時は、すべてのスピーカー回線 No. を削除します。

❹ **選択・変更スイッチ**

▲▼ ： 設定項目を選択します。
◀▶ 　 設定項目の内容を変更します。

❺ **[戻る] スイッチ**

内容を設定せずにひとつ前の画面に戻ります。

❻ **[決定] スイッチ**

設定内容を確定します。

❼ **[音量調節] スイッチ**

モニター音量、ライン入力、マイク入力２のレベルを調節します。設定値の変更は設定・変更スイッチ ❹ の ▲▼ スイッチで行います。設定値は液晶表示部に表示されます。

❽ **[ブザー停止] スイッチ**

異常発生時のブザー音を停止させます。

❾ **[コンピューター 入 / 切] スイッチ**

通常は “ 入 ” にしてください。
(☞ 155 ページ [緊急時に機器が動作しなくなったときは])

❿ **[音量] 調節スイッチ（非常リモコンのみ）**

モニター用スピーカーの音量を調節するときに押します。
▲ を押すと音量が大きくなり、▼ を押すと音量が小さくなります。

メニュー一覧

本システムでは、設定時に必要な情報がコントロールパネルの液晶表示部に表示されます。
下記はシステム設定に使用するメニュー階層です。

通常状態（表示なし）

メインメニュー

1.システムセッテイ
2.リレキカクニン
3.システムテンケン
4.ドウサテンケン

システム設定メニュー（☞ 68 ページ）

1-1．カンキョウセッテイ
1-2．ヒジョウセッテイ
1-3．ギョウムセッテイ
1-4．カイセンセッテイ
1-5．セッテイデータカンリ

環境設定メニュー（☞ 72 ページ）

1-1-1．ニュウリョクタンシ
1-1-2．メンテナンスジコク
1-1-3．ＬＣＤバックライト
1-1-4．マルチRMセツゾク

非常設定メニュー（☞ 75 ページ）

1-2-1．ジカホウドウサ
1-2-2．シュドウキドウ
1-2-3．ハッポウレンドウ
1-2-4．ハッポウカサイ
1-2-5．ハッポウケイシキ
1-2-6．カサイジカン
1-2-7．イッセイジカン
1-2-8．ケイホウゲンゴ
1-2-9．ソウサガイド
1-2-10．ガイドオオキサ

業務設定メニュー（☞ 81 ページ）

1-3-1．チャイムシュルイ
1-3-2．チャイムオオキサ
1-3-3．メッセージスイッチ
1-3-4．ＢＧＭミックス
1-3-5．イッセイスイッチ
1-3-6．ギョウムユウセン
1-3-7．ＲＢセイギョ

回線設定メニュー（☞ 90 ページ）

1-4-1．ドウイツカイ
1-4-2．レンドウカイ
1-4-3．シュッカカイ
1-4-4．ブロックスイッチ
1-4-5．キドウニュウリョク
1-4-6．ＲＭ/カクチョウ

設定データ管理メニュー
（☞ 106 ページ）

1-5-1．データショキカ
1-5-2．データホゾン
1-5-3．ＣＦニホゾン
1-5-4．ＣＦカラヨミコミ

履歴確認メニュー（☞ 135 ページ）

2-1．ドウサリレキ
2-2．イジョウリレキ
2-3．リレキホゾン

システム点検メニュー
（☞ 114 ページ）

3-1．システムコウセイカクニン
3-2．カイセンタンラクテンケン
3-3．パワーアンプテンケン
3-4．チクデンチテンケン
3-5．ゼンコウモクテンケン

メモ：

- システム設定モードから通常モードに切り換えるには、メインメニュー画面でモードスイッチを押します。モードスイッチを押すと、再起動して通常モードになります。
- 設定データが変更されている場合、“ セッテイデータホゾン ハイ / イイエ ” と液晶表示部に表示されます。
  設定を保存する場合は “ ハイ ”、保存しない場合は “ イイエ ” を ◀ ▶ スイッチで選択します。“ ハイ ” を選択して [決定] スイッチを押すと、設定データを本体メモリーに保存してシステムを再起動します。
- 設定データ保存中、液晶表示部に “ ホゾンシテイマス・・・” と表示され、しばらくするとシステムが再起動されます。
- システム設定中は放送できません。

システム設定

設定値一覧

環境設定メニュー

（● 工場出荷値）

メニュー項目	詳細項目	設定値	備考
1-1-1. ニュウリョクタンシ ニュウリョクタンシ	—	● **ユニットケース、** ミシヨウ、ユニット＋アナウンス、 アナウンスユニット	緊急優先放送に対応させる入力端子を設定します。
1-1-2. メンテナンスジコク メンテナンスジコク	—	00:00 〜 23:59 （● 01:00）	蓄電池点検、履歴データの保存時刻を設定します。
1-1-3.LCD バックライト **LCD** バックライト	—	● **テントウ、** キーレンドウ、ショウトウ	液晶表示部のバックライトの点灯について設定します。
1-1-4. マルチ **RM** セツゾク リモコンセツゾク	—	● **マルチ RM+ ギョウム RM、** マルチ RM(1-8)、ギョウム RM(1-8)	接続するリモコンを選択します。

非常設定メニュー

（● 工場出荷値）

メニュー項目	詳細項目	設定値	備考
1-2-1. ジカホウドウサ ジドウカサイホウチキドウサ	—	● **レンドウ** イッセイ	自動火災報知設備からの信号によって、出火階と連動階へ非常放送を行う（連動）か、全回線に非常放送を行う（連動一斉）かを選択します。
1-2-2. シュドウキドウ シュドウキドウドウサ	—	● **カイベツ** レンドウ	[非常] 起動スイッチを押しての非常放送時に、放送階選択スイッチを押し、その階だけに放送を行う（階別）か、その連動階にも放送を行う（連動）かを選択します。
1-2-3. ハッポウレンドウ ハッポウレンドウテイシ	—	● **レンドウ** テイシ	階別信号のみを受信したとき、発報放送する（連動）か、火災音信号を鳴動させる（連動停止）かを選択します。
1-2-4. ハッポウカサイ ハッポウカサイキリカエ	—	● **ハッポウ** カサイ	階別信号と火災確認信号を同時に受信し、または手動起動時に発報放送を放送してから火災放送を行うか（発報）、ただちに火災放送を行うか（火災）を選択します。
1-2-5. ハッポウケイシキ ハッポウホウソウケイシキ	—	● **2 カイ、** レンゾク、15 ビョウ、30 ビョウ	発報放送の繰り返しを選択します。
1-2-6. カサイジカン カサイホウソウイコウジカン	—	02 フン 00 ビョウ〜 39 フン 30 ビョウ （● 02 フン 00 ビョウ）	火災放送移行タイマーのスタートからタイムアップまでの時間を”分、秒”で設定します。
1-2-7. イッセイジカン イッセイイコウジカン	—	00 フン 00 ビョウ〜 39 フン 30 ビョウ、 -- フン -- ビョウ（OFF） （● 05 フン 00 ビョウ）	一斉移行タイマーのスタートからタイムアップまでの時間を“分，秒”で設定します。
1-2-8. ケイホウゲンゴ オンセイケイホウゲンゴ	—	● **ニホンゴ** ニホンゴ＋エイゴ	音声警報メッセージを放送する言語を選択します。
1-2-9. ソウサガイド ヒジョウソウサガイド	—	● **アリ** ナシ	非常放送時に操作方法の音声ガイドを行うか設定します。
1-2-10. ガイドオオキサ ヒジョウソウサガイドオオキサ	—	0 〜 9 （● 5）	音声操作ガイドの音量を設定します。

業務設定メニュー

（● 工場出荷値）

メニュー項目	詳細項目	設定値	備考
1-3-1. チャイムシュルイ	—		
チャイム	1	● **4 オン - アップハヤイ、** 4 オン - ダウンハヤイ、4 オン - アップオソイ、 4 オン - ダウンオソイ、2 オン、1 オン、C01、C02	チャイム 1 の種類を設定します。
	2	● **4 オン - ダウンハヤイ、** 4 オン - アップオソイ、4 オン - ダウンオソイ、 2 オン、1 オン、C01、C02、4 オン - アップハヤイ	チャイム 2 の種類を設定します。
	キドウ ホウジチャイム ページング アナウンスユニット	● **4 オン - アップハヤイ、** 4 オン - ダウンハヤイ、4 オン - アップオソイ、 4 オン - ダウンオソイ、2 オン、1 オン、C01、C02	外部機器起動時のチャイムの種類を設定します。
1-3-2. チャイムオオキサ **チャイムオオキサ**	—	0 ～ 9 （● 5）	チャイムの音量を設定します。
1-3-3. メッセージスイッチ	—		
メッセージスイッチ	メッセージスイッチ	メッセージ 1 、メッセージ 2	設定するメッセージスイッチを選択します。
	メッセージ	M01 ～ M12、C01、C02、4 オン - アップハヤイ、 4 オン - ダウンハヤイ、4 オン - アップオソイ、 4 オン - ダウンオソイ、2 オン、1 オン、 サイレン、W ミンスター （●M04：メッセージスイッチ 1） （●M11：メッセージスイッチ 2）	スイッチ項目で選択したメッセージスイッチの種類を選択します。
	サイセイカイスウ	クリカエシ ● **1 カイ**	スイッチ項目で選択したメッセージスイッチの再生回数を設定します。
	サイセイオンリョウ	0 ～ 9 （● 5）	スイッチ項目で選択したメッセージスイッチの再生音量を設定します。
1-3-4.BGM ミックス	—		
BGM ミックス	ミックスホウソウ	ホンタイ、ヒジョウリモコン、マルチギョウム 1 ～ マルチギョウム 8、ギョウムリモコン、ページング、 ホウジチャイム、アナウンスユニット、 メッセージ、カクチョウユニット	
	マイクレンドウ	アリ ● **ナシ**	[ミックスホウソウ] で“ ホンタイ ”を選択した場合の表示されます。 アナウンスマイクのスイッチまたはマイク 1、2 の音声に連動して BGM ミックスを行うかどうかを設定します。
	ミックス	● **オフ、** ミューティング、フル	BGM 放送中に、他の放送の起動がかかった場合に BGM 放送をカットする (オフ) か、BGM 放送ボリュームを下げミキシング (ミューティング) するか、BGM 放送ボリュームはそのままでミキシング (フル) するかを設定します。
1-3-5. イッセイスイッチ	イッセイスイッチ	ツウジョウ ● **キンキュウ**	一斉放送時に、最大音量で放送する (緊急一斉) か、設定された音量で放送する (通常一斉) かを設定します。
1-3-6. ギョウムユウセン **ホウソウユウセンジュンイ**	—	ホンタイ、ヒジョウリモコン、マルチギョウム RM1 ～マルチギョウム RM8、ギョウム RM、ページング、ホウジチャイム、アナウンスユニット、メッセージ、カクチョウユニット	業務放送の優先順位を設定します。同一順位の場合、あとで入った放送が優先です。
1-3-7.RB セイギョ **キンキュウユウセン RB セイギョ**	—	アリ ● **ナシ**	緊急優先放送時に RB の ON/OFF 制御を行うかどうかを設定します。

回線設定メニュー

メニュー項目	詳細項目	設定値	備考
1-4-1. ドウイツカイ **ドウイツカイセッテイスル**	—	1 ～ 20(EM-K100-20) 1 ～ 15(EM-K100-15) 1 ～ 10(EM-K100-10)	同一階を設定します。
1-4-2. レンドウカイ **レンドウカイ**	—		連動階を設定します。
1-4-3. シュッカカイ	**ELNo センタク**		出火階を設定します。
	シュッカカイ	000 ～ 150 （● 000）	出火階情報を設定します。（☞ 96 ページ）

設定値一覧 (つづき)

回線設定メニュー (つづき)

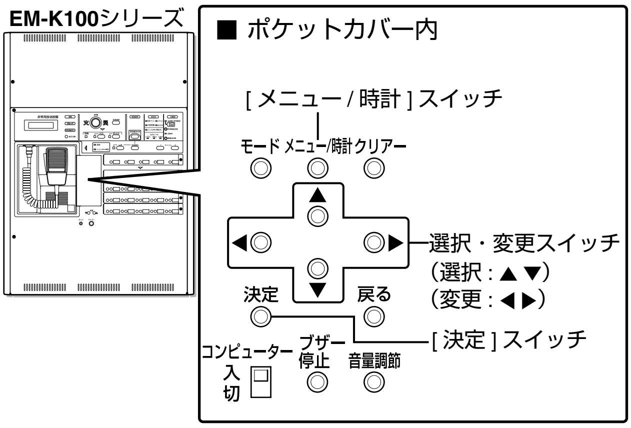
（● 工場出荷値）

メニュー項目	詳細項目	設定値	備考
1-4-4. ブロックスイッチ	—		ブロックスイッチを選択します。
ブロックスイッチ No		1 ～ 5	
	ホウソウメイ	ギョウム、キンキュウユウセン **● BGM**	放送機器 (放送グループ）を選択します。
	カイセンセンタク	1 ～ 20(EM-K100-20) 1 ～ 15(EM-K100-15) 1 ～ 10(EM-K100-10)	ブロック放送を行う回線を設定します。
	キンキュウシテイ	**● ツウジョウ** キンキュウ	“ キンキュウ ” に設定すると放送される室内のアッテネーターを “ 切 ” にしたエリアにも放送されます。
	メッセージ	アリ **● ナシ**	本体内蔵のメッセージを使用する場合は “ アリ ” を選択します。
	メッセージ	**● 4 オン - アップハヤイ、** 4 オン - ダウンハヤイ、4 オン - アップオソイ、4 オン - ダウンオソイ、2 オン、1 オン、サイレン、W ミンスター、M01 ～ M12、C01、C02、	本体内蔵のメッセージを選択します。
	サイセイ	クリカエシ **● 1 カイ**	メッセージの再生回数を選択します。
	サイセイオンリョウ	0 ～ 9 (● 5)	メッセージの再生音量を設定します。
1-4-5. キドウニュウリョク	—		EM-K100 シリーズ本体 TB 基板上の [起動入力] 端子 No. を設定します。
キドウニュウリョク		01 ～ 15	
	キドウニュウリョク	**● ギョウムリモコン、** キンキュウユウセン、メッセージ、BGM、ページング、アナウンスユニット、ホウジチャイム	外部起動を行う放送機器 (放送グループ）を選択します。
	カイセンセンタク	1 ～ 20(EM-K100-20) 1 ～ 15(EM-K100-15) 1 ～ 10(EM-K100-10)	ブロック放送を行う回線を設定します。
	キンキュウシテイ	**● ツウジョウ** キンキュウ	“ キンキュウ ” に設定するとアッテネーターを “ 切 ” にしたエリアにも放送されます。
	キドウチャイム	アリ **● ナシ**	外部起動でチャイムを使用する場合は “ アリ ” を選択します。
	メッセージ	アリ **● ナシ**	外部起動で本体内蔵のメッセージを使用する場合は “ アリ ” を選択します。
	メッセージ	**● 4 オン - アップハヤイ、** 4 オン - ダウンハヤイ、4 オン - アップオソイ、4 オン - ダウンオソイ、2 オン、1 オン、サイレン、W ミンスター、M01 ～ M12、C01、C02、	本体内蔵のメッセージを選択します。
	サイセイ	クリカエシ **● 1 カイ**	メッセージの再生回数を選択します。
	サイセイオンリョウ	0 ～ 9 (● 5)	メッセージの再生音量を設定します。
1-4-6. RM/ カクチョウ			外部起動をマルチ業務リモコンで行う場合は 1 ～ 8 を選択、拡張ユニットで行う場合は 9 を選択します。
マルチ RM No. **カクチョウユニット**		1 ～ 9	
マルチ RM ブロック No. **カクチョウユニットブロック No.**	—	01 ～ 20	外部起動でブロック放送を行う回線を設定します。マルチ業務リモコンを使用する場合、1 台につき、20 種類までのブロック放送エリアを設定できます。
キンキュウシテイ		**● ツウジョウ** キンキュウ	“ キンキュウ ” に設定するとアッテネーターを “ 切 ” にしたエリアにも放送されます。

時計を合わせる

EM-K100 シリーズ本体に内蔵されている時計を合わせます。

メモ：
- EM-K100 シリーズ本体の時計は機器のメンテナンス用に使用します。メンテナンス用のため精度が高くありません。（月差 ±2 分）



1 **[メニュー / 時計] スイッチを押し、時計設定画面を表示させる**

```
10/01/21 20:40
ﾋｮｳｼﾞ:ﾅｼ
```

2 **年月日、時刻、LCD 表示を設定する**

- 時計設定画面で、変更スイッチ（◀ ▶）を押し、年・月・日・時・分・[ヒョウジ] の表示項目を選択します。
- 選択している項目に、カーソル（＿）が表示されます。
- 選択した項目の値を、選択スイッチ（▲ ▼）で選択し、時報などに合わせて [決定] スイッチを押します。

年　月　日　時　分

```
10/01/21 20:40
ﾋｮｳｼﾞ:ﾅｼ
```

● **[ヒョウジ] の選択肢**

ナシ	：	表示なし（通常はこの設定にします）
ヒヅケ	：	月／日
ジコク	：	時：分

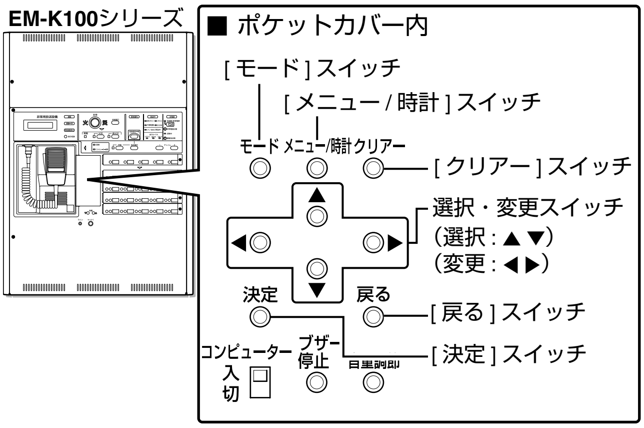
メモ：
- しばらく操作しないと、自動的に時計設定が終了となります。このとき、設定値の変更は反映されません。

ご注意：
- 時計は停電時でも蓄電池が接続されていれば動作しますが、接続されていない場合は動作しません。

環境設定

設定画面の表示

メインメニューから環境設定画面を表示させます。
環境設定画面の表示、入力端子、メンテナンス時刻の設定などの各メニュー画面を表示し、設定を行うために必要な共通手順を下記に示します。



メモ :
- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押します。

1 メインメニュー画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させます。

メインメニュー
1 . システムセッテイ

2 システム設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1. システムセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

1 . システムセッテイ
1-1 . カンキョウセッテイ

3 環境設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-1. カンキョウセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

1-1 . カンキョウセッテイ
1-1-1 . ニュウリョクタンシ

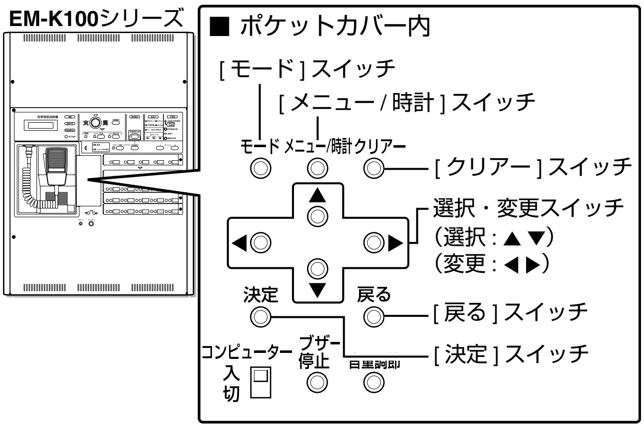
■ 環境設定画面では、以下の設定項目を選択し、それぞれ設定を行なってください。

- [緊急優先放送入力端子の設定] (☞ 72 ページ)
- [メンテナンス時刻の設定] (☞ 73 ページ)
- [LCD バックライトの設定] (☞ 73 ページ)
- [マルチ業務リモコン (PA-C620) および業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続設定] (☞ 74 ページ)

緊急優先放送入力端子の設定

緊急優先放送を行なう場合に、EM-K100 シリーズ本体の音声入力端子に接続する放送機器（放送グループ）を選択します。

メモ :
- 緊急優先放送を行わない場合、放送機器（放送グループ）を “ ミシヨウ ” に設定します。



1 環境設定画面を表示させる（☞ 72 ページ）

1-1 . カンキョウセッテイ
1-1-1 . ニュウリョクタンシ

2 放送機器（放送グループ）選択画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-1-1. ニュウリョクタンシ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

キンキュウユウセン　ニュウリョク
センタク : ユニットケース

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

3 放送機器（放送グループ）を選択する

① 選択スイッチ（▲ ▼）で放送機器（放送グループ）を選択します。

② [決定] スイッチを押すと、入力端子選択画面が表示されます。

キンキュウユウセン　ニュウリョク
センタク : ユニットケース

放送機器（放送グループ）	接続する機器
ユニットケース	ユニットケース (EM-R103)（業務放送 / 一斉放送）
アナウンスユニット	PA-DR600 など（起動入力）
ユニット + アナウンス	ユニットケース (EM-R103) とアナウンスユニットを両方接続
ミシヨウ	接続機器がない場合

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-1. カンキョウセッテイ] 画面に戻ります。

メンテナンス時刻の設定

履歴データの保存、蓄電池の点検（蓄電池が接続してある場合のみ）などを行う時刻を設定します。

メモ :

- システムの電源が常時入電ではない場合、必ず入電している時刻を設定してください。
- メンテナンス時刻の設定は、夜間などシステムの稼働が少ない時刻をおすすめします。
- システム設定、システム点検中にメンテナンス時刻となった場合、メンテナンスは行われません。

1 環境設定画面を表示させる（☞ 72 ページ）

```
1-1.カンキョウセッテイ
1-1-1.ニュウリョクタンシ
```

2 メンテナンス時刻設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-1-2. メンテナンスジコク ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、メンテナンス時刻設定画面が表示されます。

```
1-1.カンキョウセッテイ
1-1-2.メンテナンスジコク
```

▼

```
メンテナンスジコク
01:00
```

3 メンテナンス時刻を設定する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で時 / 分を選択し、選択スイッチ（▲▼）で時刻を設定します。（24 時間制）
[設定値：00：00 〜 23:59]

```
メンテナンスジコク
02:00
```

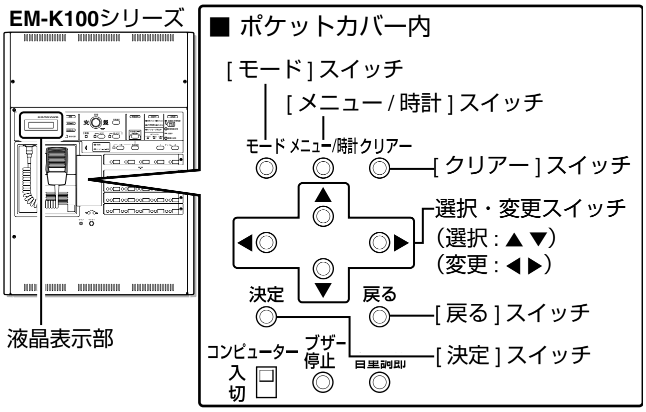
② [決定] スイッチを押すと、メンテナンス時刻が確定され、[1-1. カンキョウセッテイ] 画面に戻ります。

メモ :

- [クリアー] スイッチを押すと、カーソル（_）がある側の数字が “00” となります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-1. カンキョウセッテイ] 画面に戻ります。

LCD バックライトの設定

EM-K100 シリーズ本体の液晶表示部のバックライトの点灯モードを設定します。



1 環境設定画面を表示させる（☞ 72 ページ）

```
1-1.カンキョウセッテイ
1-1-1.ニュウリョクタンシ
```

2 LCD バックライト設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-1-3.LCD バックライト ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、LCD バックライト設定画面が表示されます。

```
1-1.カンキョウセッテイ
1-1-3.LCDバックライト
```

▼

```
LCDバックライト
センタク:テントウ
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

3 点灯モードを選択する

① 選択スイッチ（▲▼）で点灯モードを選択します。

設定値	動作内容
テントウ（点灯）	常に点灯します。
キーレンドウ（キー連動）	スイッチ操作してから約 60 秒間点灯します。
ショウトウ（消灯）	常に消灯します。

```
LCDバックライト
センタク:ショウトウ
```

② [決定] スイッチを押すと、点灯モードが確定され、[1-1. カンキョウセッテイ] 画面に戻ります。

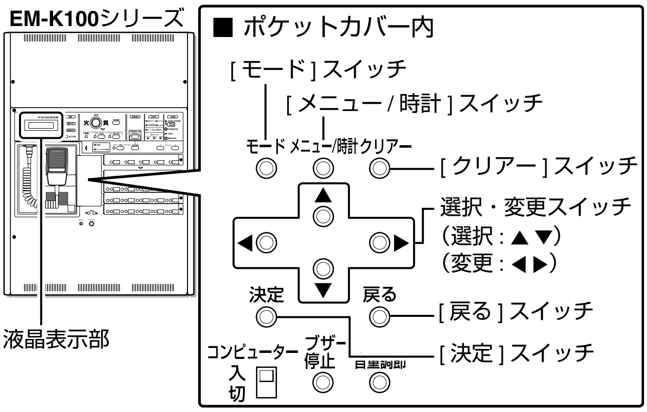
メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-1. カンキョウセッテイ] 画面に戻ります。
- 点灯モードを “ ショウトウ ” に設定した場合も、メニュー設定時、火災放送時には点灯します。

環境設定 (つづき)

マルチ業務リモコン (PA-C620) および業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続設定

マルチ業務リモコン (PA-C620) および業務リモコン (PA-C50 シリーズ) の接続台数に応じて以下の設定を行います。



1 環境設定画面を表示させる（☞ 72 ページ）

```
1-1. カンキョウセッテイ
1-1-1. ニュウリョクタンシ
```

2 マルチ業務リモコン接続設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-1-4. マルチ RM セツゾク ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、マルチ業務リモコン接続設定画面が表示されます。

```
1-1. カンキョウセッテイ
1-1-4. マルチRMセツソ゛ク
```

▼

```
リモコンセツソ゛ク センタク
:マルチRM+キ゛ョウムRM
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

3 接続モードを選択する

① 選択スイッチ（▲▼）で接続モードを選択します。

```
リモコンセツソ゛ク センタク
:マルチRM (1-8)
```

マルチ業務リモコン接続台数	業務リモコン接続台数	接続モード
4 台まで	4 台まで	マルチ RM ＋ギョウム RM
0 台	5 台〜 8 台	ギョウム RM
5 台〜 8 台	0 台	マルチ RM（1-8）

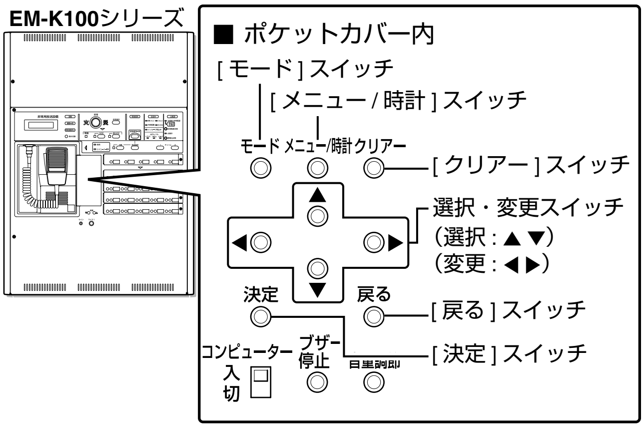
② [決定] スイッチを押すと、接続モードが確定され、[1-1. カンキョウセッテイ] 画面に戻ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

非常放送設定

設定画面の表示

メインメニューから非常放送設定画面を表示させます。
非常放送設定画面の表示、自火報動作、手動起動の設定などの各メニュー画面を表示し、設定を行います。



メモ :
- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押します。

1 メインメニュー画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させます。

メインメニュー
1.システムセッテイ

2 システム設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1. システムセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

1.システムセッテイ
1-1.カンキョウセッテイ

3 非常放送設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-2. ヒジョウセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

1-2.ヒシ゛ョウセッテイ
1-2-1.シ゛カホウト゛ウサ

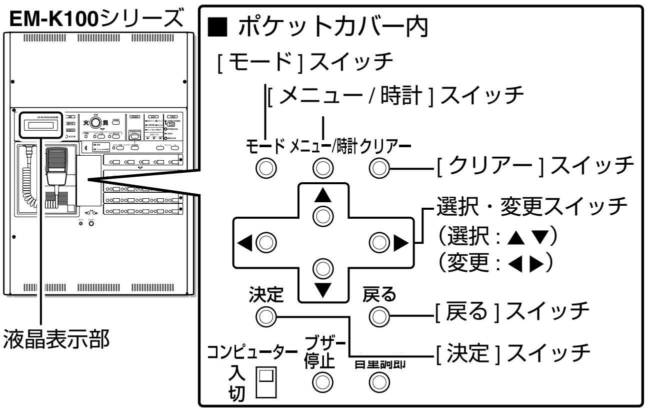
■ 非常放送設定画面では、以下の設定項目を選択し、それぞれ設定を行なってください。

- [自動火災報知設備の動作設定] (☞ 76 ページ)
- [手動起動設定] (☞ 76 ページ)
- [発報連動停止の設定] (☞ 77 ページ)
- [発報火災切換の設定] (☞ 77 ページ)
- [発報放送形式の設定] (☞ 78 ページ)
- [火災移行時間の設定] (☞ 78 ページ)
- [一斉火災移行時間の設定] (☞ 79 ページ)
- [音声警報言語の設定] (☞ 79 ページ)
- [非常操作ガイドの設定] (☞ 80 ページ)
- [非常操作ガイドの音量設定] (☞ 80 ページ)

非常放送設定 (つづき)

自動火災報知設備の動作設定

自動火災報知設備（自火報）起動時の動作モードを設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2.ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-1.ｼﾞｶﾎｳﾄﾞｳｻ
```

2 自火報動作設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-2-1. ジカホウドウサ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、自火報動作設定画面が表示されます。

```
1-2.ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-1.ｼﾞｶﾎｳﾄﾞｳｻ
```

▼

```
ｼﾞﾄﾞｳｶｻｲﾎｳﾁｷﾄﾞｳｻ
ﾚﾝﾄﾞｳ/ｲｯｾｲ
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 動作モードを選択する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で動作モードを選択します。

設定値	動作内容
レンドウ（連動）	自動火災報知設備からの信号によって、出火階と連動階へ非常放送を行います。
イッセイ（一斉）	自動火災報知設備からの信号によって、全回線へ非常放送を行います。

```
ｼﾞﾄﾞｳｶｻｲﾎｳﾁｷﾄﾞｳｻ
ﾚﾝﾄﾞｳ/ｲｯｾｲ
```

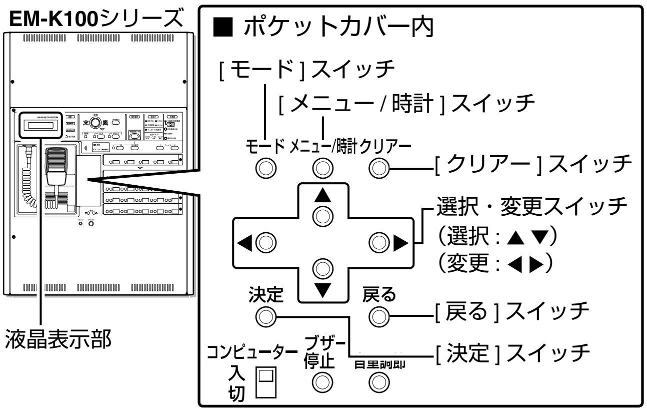
② [決定] スイッチを押すと、動作モードが確定され、[1-2-1. ジカホウドウサ] 画面に戻ります。

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-1. ジカホウドウサ] 画面に戻ります。

手動起動設定

手動起動時の放送階連動の動作モードを設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2.ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-1.ｼﾞｶﾎｳﾄﾞｳｻ
```

2 手動起動設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-2-2. シュドウキドウ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、手動起動設定画面が表示されます。

```
1-2.ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-2.ｼｭﾄﾞｳｷﾄﾞｳ
```

▼

```
ｼｭﾄﾞｳｷﾄﾞｳﾄﾞｳｻ
ｶｲﾍﾞﾂ/ﾚﾝﾄﾞｳ
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 動作モードを選択する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で動作モードを選択します。

設定値	動作内容
カイベツ（階別）	押した放送階選択スイッチの階のスピーカー回線のみが動作します。
レンドウ（連動）	押した放送階選択スイッチの階とその連動階のスピーカー回線が動作します。

```
ｼｭﾄﾞｳｷﾄﾞｳﾄﾞｳｻ
ｶｲﾍﾞﾂ/ﾚﾝﾄﾞｳ
```

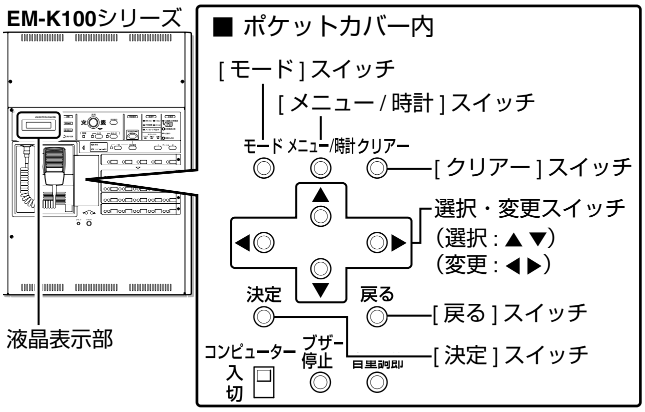
② [決定] スイッチを押すと、動作モードが確定され、[1-2-2. シュドウキドウ] 画面に戻ります。

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-2. シュドウキドウ] 画面に戻ります。

発報連動停止の設定

発報連動停止の動作モードを設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

1−2．ヒシ゛ョウセッテイ
1−2−1．シ゛カホウト゛ウサ

2 発報連動停止設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-2-3. ハッポウレンドウ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、発報連動停止設定画面が表示されます。

1−2．ヒシ゛ョウセッテイ
1−2−3．ハッポウレント゛ウ

▼

ハッポウレント゛ウテイシ
レント゛ウ/テイシ

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 動作モードを選択する

① 変更スイッチ（◀▶）で動作モードを選択します。

設定値	動作内容
レンドウ（連動）	階別信号（EL）のみを受信した場合、スピーカーから発報放送を行います。
テイシ（停止）	階別信号（EL）のみを受信した場合、スピーカーから放送を行わず、ブザー音（火災音信号）を鳴らします。

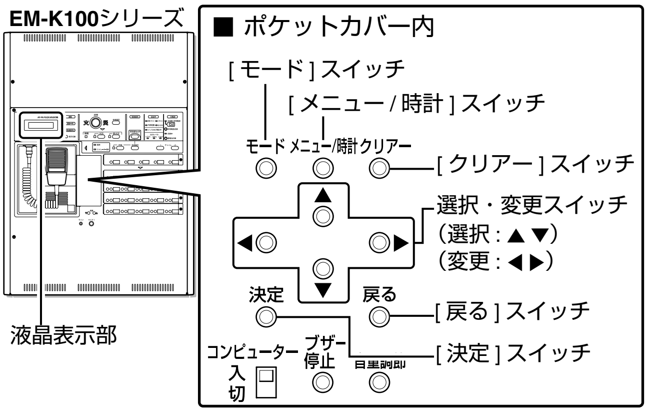
ハッポ゜ウカサイキリカエ
ハッポ゜ウ/カサイ

② [決定] スイッチを押すと、動作モードが確定され、[1-2-3. ハッポウレンドウ] 画面に戻ります。

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-3. ハッポウレンドウ] 画面に戻ります。

発報火災切換の設定

発報火災切換モードの設定をします。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

1−2．ヒシ゛ョウセッテイ
1−2−1．シ゛カホウト゛ウサ

2 発報火災切換設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-2-4. ハッポウカサイ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、発報火災切換設定画面が表示されます。

1−2．ヒシ゛ョウセッテイ
1−2−4．ハッホ゜ウカサイ

▼

ハッホ゜ウカサイキリカエ
ハッホ゜ウ/カサイ

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 発報火災切換モードを選択する

① 変更スイッチ（◀▶）で発報火災切換モードを選択します。

設定値	動作内容
ハッポウ（発報）	階別信号（EL）と火災確認信号（EF）を同時に受信した場合、または手動起動時に発報放送、火災放送を行います。
カサイ（火災）	階別信号（EL）と火災確認信号（EF）を同時に受信した場合、または手動起動時すぐに火災放送を行います。

ハッホ゜ウカサイキリカエ
ハッホ゜ウ/カサイ

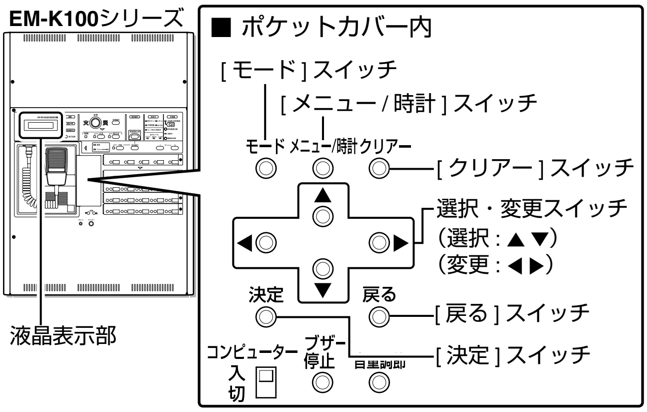
② [決定] スイッチを押すと、動作モードが確定され、[1-2-4. ハッポウカサイ] 画面に戻ります。

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-4. ハッポウカサイ] 画面に戻ります。

非常放送設定 (つづき)

発報放送形式の設定

発報放送形式を設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-1. ｼﾞｶﾎｳﾄﾞｳｻ
```

2 発報放送形式設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-2-5. ハッポウケイシキ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、発報放送形式設定画面が表示されます。

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-5. ﾊｯﾎﾟｳｹｲｼｷ
```
▼
```
ﾊｯﾎﾟｳﾎｳｿｳｹｲｼｷ
ｾﾝﾀｸ: 2ｶｲ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 発報放送形式を選択する

① 選択スイッチ（▼ ▲）で発報放送形式を選択します。

設定値	動作内容
2 カイ（2 回）	2 回のみ放送します。
レンゾク（連続）	連続で放送します。
15 ビョウ（15 秒）	約 15 秒間隔で 2 回の放送を繰り返します。
30 ビョウ（30 秒）	約 30 秒間隔で 2 回の放送を繰り返します。

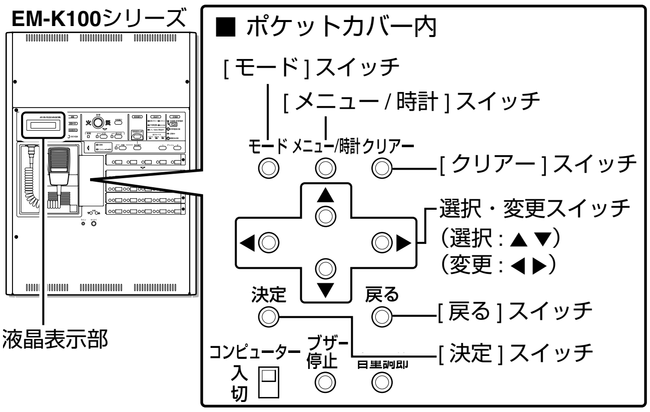
```
ﾊｯﾎﾟｳﾎｳｿｳｹｲｼｷ
ｾﾝﾀｸ: 2ｶｲ
```

② [決定] スイッチを押すと、動作モードが確定され、[1-2-5. ハッポウケイシキ] 画面に戻ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-5. ハッポウケイシキ] 画面に戻ります。

火災移行時間の設定

火災移行時間を設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-1. ｼﾞｶﾎｳﾄﾞｳｻ
```

2 火災移行時間設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-2-6. カサイジカン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、火災移行時間設定画面が表示されます。

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-6. ｶｻｲｼﾞｶﾝ
```
▼
```
ｶｻｲﾎｳｿｳ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
15ﾌﾝ00ﾋﾞｮｳ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 火災移行時間を設定する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で分 / 秒を選択します。
② 選択スイッチ（▼ ▲）で値を変更します。
[設定範囲：2 フン〜 39 フン 30 ビョウ]

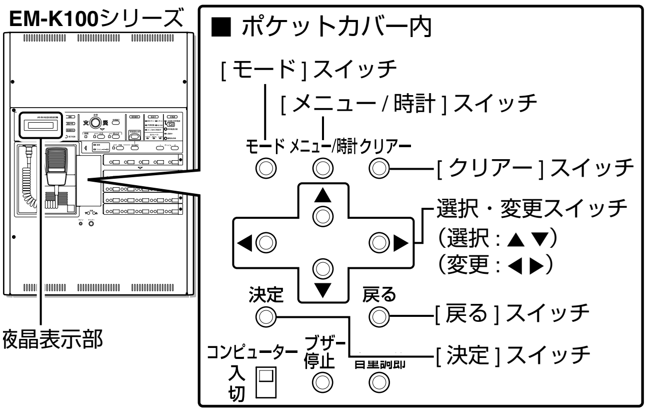
```
ｶｻｲﾎｳｿｳ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
15ﾌﾝ00ﾋﾞｮｳ
```

③ [決定] スイッチを押すと、火災移行時間が確定され、[1-2-6. カサイジカン] 画面に戻ります。

メモ :
- ビョウ（秒）の設定は 30 秒ごと、フン（分）の設定は 1 分ごととなります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-6. カサイジカン] 画面に戻ります。

一斉火災移行時間の設定

一斉火災移行時間を設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-1. ｼﾞｶﾎｳﾄﾞｳｻ
```

2 一斉火災移行時間設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-2-7. イッセイジカン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、一斉火災移行時間設定画面が表示されます。

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-7. ｲｯｾｲｼﾞｶﾝ
```

▼

```
ｲｯｾｲ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
15ﾌﾝ00ﾋﾞｮｳ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 一斉火災移行時間を設定する

① 変更スイッチ（◀▶）で分 / 秒を選択します。

② 選択スイッチ（▼▲）で値を変更します。
[設定範囲　: -- フン -- ビョウ（OFF）、
0 フン〜 39 フン 30 ビョウ]

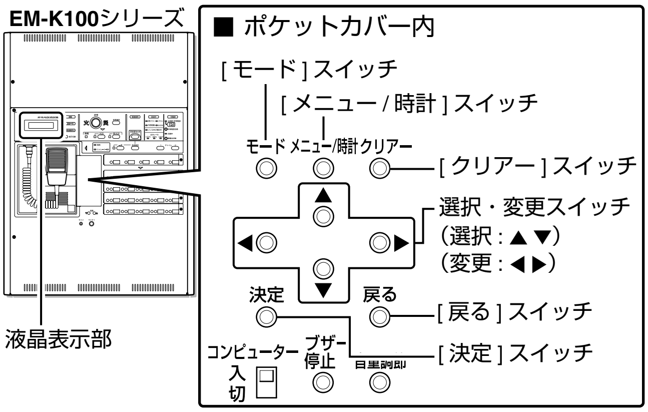
```
ｲｯｾｲ ｲｺｳｼﾞｶﾝ
15ﾌﾝ00ﾋﾞｮｳ
```

③ [決定] スイッチを押すと、一斉火災移行時間が確定され、[1-2-7. イッセイジカン] 画面に戻ります。

メモ :
- ビョウ（秒）の設定は 30 秒ごと、フン（分）の設定は 1 分ごととなります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-7. イッセイジカン] 画面に戻ります。

音声警報言語の設定

音声警報言語を設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-1. ｼﾞｶﾎｳﾄﾞｳｻ
```

2 音声警報言語設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-2-8. ケイホウゲンゴ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、音声警報言語設定画面が表示されます。

```
1-2. ﾋｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
1-2-8. ｹｲﾎｳｹﾞﾝｺﾞ
```

▼

```
ｵﾝｾｲｹｲﾎｳｹﾞﾝｺﾞ
ﾆﾎﾝｺﾞ/ﾆﾎﾝｺﾞ+ｴｲｺﾞ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 音声警報言語を選択する

① 変更スイッチ（◀▶）警報言語を選択します。

設定値	動作内容
ニホンゴ（日本語）	日本語の音声警報メッセージを放送します。
ニホンゴ + エイゴ（日本語 + 英語）	日本語の音声警報メッセージのあとに、英語の音声警報メッセージを放送します。

```
ｵﾝｾｲｹｲﾎｳｹﾞﾝｺﾞ
ﾆﾎﾝｺﾞ/ﾆﾎﾝｺﾞ+ｴｲｺﾞ
```

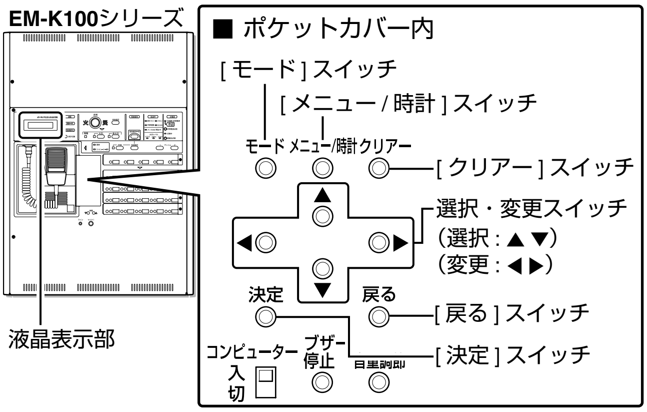
② [決定] スイッチを押すと、警報言語が確定され、[1-2-8. ケイホウゲンゴ] 画面に戻ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-8. ケイホウゲンゴ] 画面に戻ります。

非常放送設定 (つづき)

非常操作ガイドの設定

非常操作ガイドの有無を設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2. ヒジョウセッテイ
1-2-1. ジカホウドウサ
```

2 非常操作ガイド設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-2-9. ソウサガイド ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、非常操作ガイド設定画面が表示されます。

```
1-2. ヒジョウセッテイ
1-2-9. ソウサガイド
```

▼

```
ヒジョウソウサガイド
アリ/ナシ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 非常操作ガイドの有無を選択する

① 変更スイッチ（◀▶）で非常操作ガイドの有無を選択します。

設定値	動作内容
アリ（有り）	非常起動された場合、モニタースピーカーから音声ガイドで非常用放送設備の操作を案内します。慌てることなく非常誘導放送を行えます。
ナシ（無し）	音声による操作ガイドを行いません。防災センターなど訓練された専門の担当者が配置されている防火対象設備の場合にのみ設定してください。

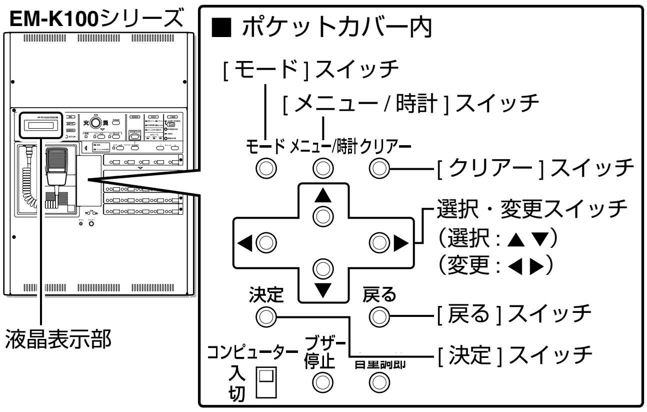
```
ヒジョウソウサガイド
アリ/ナシ
```

② [決定] スイッチを押すと、非常操作ガイドの有無が確定され、[1-2-9. ソウサガイド] 画面に戻ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-9. ソウサガイド] 画面に戻ります。

非常操作ガイドの音量設定

非常操作ガイドの音量を設定します。



1 非常放送設定画面を表示させる（☞ 75 ページ）

```
1-2. ヒジョウセッテイ
1-2-1. ジカホウドウサ
```

2 非常操作ガイド音量設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-2-10. ガイドオオキサ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、非常操作ガイド音量設定画面が表示されます。

```
1-2. ヒジョウセッテイ
1-2-10. ガイドオオキサ
```

▼

```
ヒジョウソウサガイド
オオキサ: 5
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2. ヒジョウセッテイ] 画面に戻ります。

3 非常操作ガイドの音量を設定する

① 選択スイッチ（▼▲）で非常操作ガイドの音量を設定します。[設定範囲 : 0 ～ 9]

```
ヒジョウソウサガイド
オオキサ: 5
```

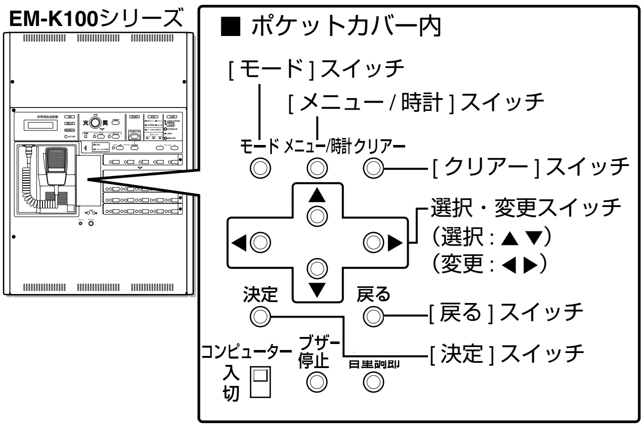
② [決定] スイッチを押すと、非常操作ガイドの音量が確定され、[1-2-10. ガイドオオキサ] 画面に戻ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-2-10. ガイドオオキサ] 画面に戻ります。

業務放送設定

設定画面の表示

メインメニューから業務放送設定画面を表示させます。
業務放送設定画面の表示、チャイム種類、メッセージスイッチの設定などの各メニュー画面を表示し、設定を行うために必要な共通手順を下記に示します。



メモ：
- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押します。

1 メインメニュー画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させます。

```
メインメニュー
 1.システムセッテイ
```

2 システム設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1. システムセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
1.システムセッテイ
1-1.カンキョウセッテイ
```

3 業務放送設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-3. ギョウムセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
1-3.ギョウムセッテイ
1-3-1.チャイムシュルイ
```

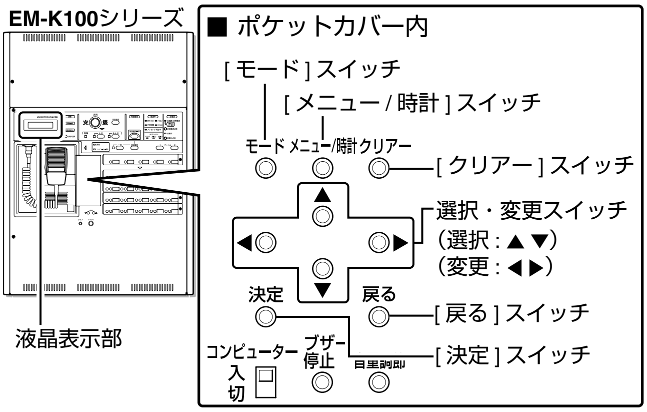
■ 業務放送設定画面では、以下の設定項目を選択し、それぞれ設定を行なってください。

- [チャイムの種類設定] (☞ 82 ページ)
- [チャイム音量の設定] (☞ 83 ページ)
- [メッセージスイッチの設定] (☞ 84 ページ)
- [BGM ミックスの設定] (☞ 87 ページ)
- [一斉放送の設定] (☞ 88 ページ)
- [放送の優先順位の設定] (☞ 88 ページ)
- [RB 制御の設定] (☞ 89 ページ)

業務放送設定 (つづき)

チャイムの種類設定

チャイムの種類を設定します。



1 業務放送設定画面を表示させる（☞ 81 ページ）

```
1-3. ギョウムセッテイ
1-3-1. チャイムシュルイ
```

2 チャイム種類設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“ 1-3-1. チャイムシュルイ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、チャイム種類設定画面が表示されます。

```
1-3. ギョウムセッテイ
1-3-1. チャイムシュルイ
```

▼

```
チャイムシュルイ
1/2/キドウ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3. ギョウムセッテイ] 画面に戻ります。

3 チャイムの種類を選択する

① 変更スイッチ（◀ ▶）でチャイムの種類を選択します。

```
チャイムシュルイ
1/2/キドウ
```

設定値	動作内容
1	[チャイム 1] スイッチのチャイムを設定します。
2	[チャイム 2] スイッチのチャイムを設定します。
キドウ	外部起動によるチャイム（起動チャイム）を設定します。

② [決定] スイッチを押すと、チャイムの種類が確定され、チャイム選択画面（手順 ***5***）に移ります。
ただし、“ キドウ ” を選択した場合は、起動チャイムの放送機器（放送グループ）選択画面（手順 ***4***）となります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3-1. チャイムシュルイ] 画面に戻ります。

4 起動チャイムの放送機器（放送グループ）を選択する（手順 *3* で “ キドウ ” を選択した場合のみ）

① 選択スイッチ（▼ ▲）で放送機器（放送グループ）を選択します。

設定値	放送機器
ホウジチャイム	PA-DT600/PA-DA600 など
ページング	電話ページングトランク
アナウンスユニット	PA-DR600 など

```
キドウチャイム
センタク:ホウジチャイム
```

② [決定] スイッチを押すと、起動チャイムの放送機器（放送グループ）が確定され、チャイム選択画面（手順 ***5***）に移ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3-1. チャイムシュルイ] 画面に戻ります。

5 チャイムを選択する

① 選択スイッチ（▼ ▲）でチャイムを選択します。

```
キドウホウジチャイム
センタク:4オン-オソイアップ
```

設定値	動作内容
4 オンーアップハヤイ	鳴動時間が約 2 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（アップ / ダウンとも）です。
4 オンーダウンハヤイ	
4 オンーアップオソイ	鳴動時間が約 4 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（アップ / ダウンとも）です。
4 オンーダウンオソイ	
2 オン	2 音のチャイムです。
1 オン	1 音のチャイムです。
C01	ユーザー設定のチャイムです。CF カードを使用して登録します。
C02	

② [決定] スイッチを押すと、チャイムが確定され、試聴選択画面（手順 ***6***）に移ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、チャイムの種類によって下記のように動作します
  - “1” または “2” を選択している場合、チャイム種類選択画面（手順 ***3***）に戻ります。
  - “ キドウ ” を選択している場合、放送機器（放送グループ）選択画面（手順 ***4***）に戻ります。

6 チャイムを試聴する

① チャイム試聴画面が表示されたら、変更スイッチ（◀ ▶）で “ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
シチョウシマスカ?
ハイ/イイエ
```

② 選択したチャイムが再生されます。

メモ :
- “ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、チャイム種類選択画面（手順 ***3***）に戻ります。

7 チャイムを保存する

チャイムを試聴し、問題なければ設定を保存します。

① 変更スイッチ(◀▶)で“ ホゾン ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
チャイムサイセイ
ホゾン/モドル
```

② チャイムが確定され、チャイム種類選択画面（手順 **3**）に戻ります。

メモ :
- “ モドル ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、チャイム選択画面（手順 **5**）に戻ります。

■ エラー発生時

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- ハードウェアの異常時

```
サイセイテ゛キマセン D
モドル
```

- メッセージ異常時

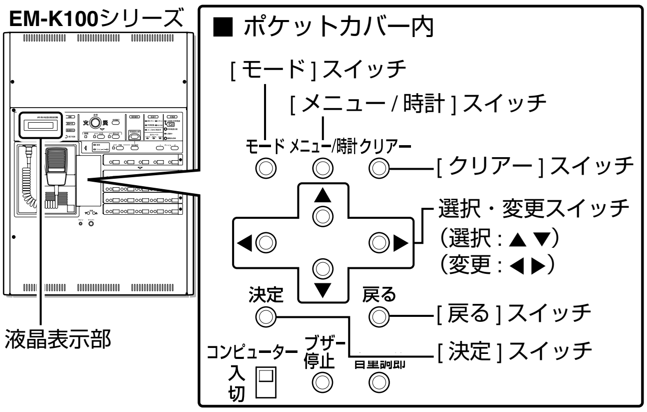
```
サイセイテ゛キマセン P
モドル
```

下記スイッチどれかを押すと、チャイム選択画面（手順 **5**）に戻ります。

- [決定] スイッチ
- [メニュー / 時計] スイッチ
- [戻る] スイッチ

チャイム音量の設定

チャイムの音量を設定します。



1 業務放送設定画面を表示させる（☞ 81 ページ）

```
1-3.キ゛ョウムセッテイ
1-3-1.チャイムシュルイ
```

2 チャイム音量設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-3-2. チャイムオオキサ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、チャイム音量設定画面が表示されます。

```
1-3.キ゛ョウムセッテイ
1-3-2.チャイムオオキサ
```

▼

```
チャイムオオキサ
オオキサ:9
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3. ギョウムセッテイ] 画面に戻ります。

3 チャイムの音量を選択する

① 選択スイッチ（▼▲）でチャイムの音量を選択します。
[設定範囲：0 ～ 9]

```
チャイムオオキサ
オオキサ:9
```

② [決定] スイッチを押すと、チャイムの音量が確定され、[1-3-2. チャイムオオキサ] 画面に戻ります。

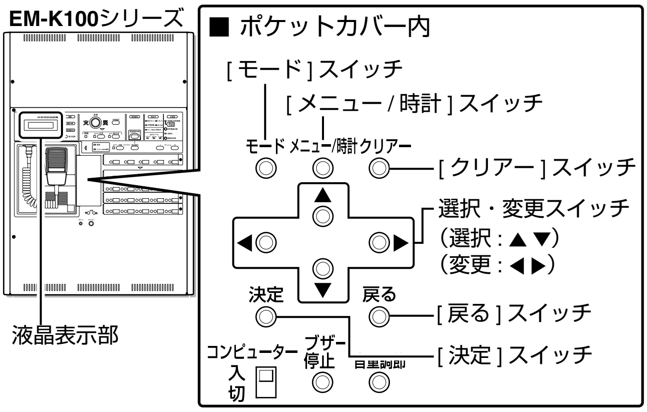
メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3-2. チャイムオオキサ] 画面に戻ります。

業務放送設定 (つづき)

メッセージスイッチの設定

メッセージスイッチの設定をします。

EM-K100シリーズ



1 業務放送設定画面を表示させる（☞ **81** ページ）

```
1-3．ｷﾞｮｳﾑｾｯﾃｲ
1-3-1．ﾁｬｲﾑｼｭﾙｲ
```

2 メッセージスイッチ設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-3-3. メッセージスイッチ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、メッセージスイッチ設定画面が表示されます。

```
1-3．ｷﾞｮｳﾑｾｯﾃｲ
1-3-3．ﾒｯｾｰｼﾞｽｲｯﾁ
```

▼

```
ﾒｯｾｰｼﾞｽｲｯﾁ
ｾﾝﾀｸ：ﾒｯｾｰｼﾞ1
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3. ギョウムセッテイ] 画面に戻ります。

3 メッセージスイッチを選択する

① 選択スイッチ（▼▲）でメッセージの設定を行うメッセージスイッチを選択します。

設定値	動作内容
メッセージ 1	[メッセージ 1] スイッチを押すと流れるメッセージの設定をします。
メッセージ 2	[メッセージ 2] スイッチを押すと流れるメッセージの設定をします。

```
ﾒｯｾｰｼﾞｽｲｯﾁ
ｾﾝﾀｸ：ﾒｯｾｰｼﾞ1
```

② [決定] スイッチを押すと、メッセージの設定を行うメッセージスイッチが選択され、メッセージ No. 選択画面（手順 **4**）に移ります。

4 メッセージ No. を選択する

① 選択スイッチ（▼▲）で、メッセージスイッチを押すと流れるメッセージを選択します。

設定値	動作内容
4 オンーアップハヤイ 4 オンーダウンハヤイ	鳴動時間が約 2 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（アップ / ダウンとも）です。
4 オンーアップオソイ 4 オンーダウンオソイ	鳴動時間が約 4 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（アップ / ダウンとも）です。
2 オン	2 音のチャイムです。
1 オン	1 音のチャイムです。
サイレン	電子式サイレン音です。
W ミンスター	1964 年製造の打棒式チャイム（ウエストミンスターの鐘）の音です。
M01 ～ M12	メッセージ No. と放送内容の詳細は [メッセージ一覧（工場出荷時）] (☞ 86 ページ) をご覧ください。
C01 C02	ユーザー設定のチャイムです。

② [決定] スイッチを押すと、チャイムの音量が確定され、再生回数選択画面（手順 **5**）に移ります。

メモ :
- [クリアー] スイッチを押すと、“4 オンーアップハヤイ ” が選択されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、メッセージスイッチ選択画面（手順 **3**）に戻ります。

5 メッセージの再生回数を選択する

① 変更スイッチ（◀▶）で、メッセージの再生回数を選択します。

設定値	動作内容
クリカエシ（繰り返し）	繰り返し再生します。
1 カイ（1 回）	1 回のみ再生します。

```
ｻｲｾｲｶｲｽｳ
ｻｲｾｲ：ｸﾘｶｴｼ／1ｶｲ
```

② [決定] スイッチを押すと、再生回数が確定され、音量設定画面（手順 **6**）に移ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、メッセージ No. 選択画面（手順 **4**）に戻ります。

6 メッセージの再生音量を設定する

① 選択スイッチ（▼▲）で、メッセージの再生音量を選択します。
[設定範囲：0 ～ 9]

```
サイセイオンリョウ
オオキサ：5
```

② [決定] スイッチを押すと、再生回数が確定され、試聴選択画面（手順 **7**）に移ります。

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、再生回数選択画面（手順 **5**）に戻ります。

7 メッセージを試聴する

① メッセージ試聴画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で " ハイ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
シチョウシマスカ?
ハイ／イイエ
```

② 選択したメッセージが再生されます。

メモ：
- " イイエ " を選択し、[決定] スイッチを押すと、メッセージスイッチ選択画面（手順 **3**）に戻ります。

■ エラー発生時

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- ハードウェアの異常時

```
サイセイデキマセン D
モドル
```

- メッセージ異常時

```
サイセイデキマセン P
モドル
```

下記スイッチどれかを押すと、メッセージ No. 選択画面（手順 **4**）に戻ります。

- [決定] スイッチ
- [メニュー / 時計] スイッチ
- [戻る] スイッチ

8 メッセージを保存する

メッセージを試聴し、問題なければ設定を保存します。

① 変更スイッチ(◀▶)で " ホゾン " を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
メッセージサイセイ
ホゾン／モドル
```

② メッセージが確定され、メッセージスイッチ選択画面（手順 **3**）に戻ります。

メモ：
- " モドル " を選択し、[決定] スイッチを押すと、メッセージ No. 選択画面（手順 **4**）に戻ります。

業務放送設定 (つづき)

メッセージスイッチの設定 (つづき)

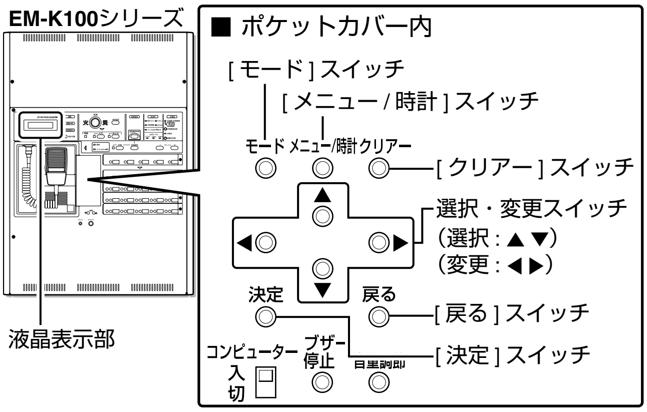
■メッセージ一覧（工場出荷時）

メッセージ No.	項目	音声	メッセージ内容
M01	緊急地震速報	女性	シグナル音（NHK） 「緊急地震速報です。地震が発生しました。落ち着いて行動してください。 緊急地震速報です。地震が発生しました。落ち着いて行動してください。」
M02	緊急地震速報（訓練）	女性	シグナル音（NHK） 「ただいまから、緊急地震速報の伝達訓練を行います。 これは訓練です。緊急地震速報です。地震が発生しました。落ち着いて行動してください。 これは訓練です。緊急地震速報です。地震が発生しました。落ち着いて行動してください。」
M03	緊急地震速報（誤報）	女性	シグナル音（NHK） 「先ほどの緊急地震速報は誤りでした。ご安心ください。 先ほどの緊急地震速報は誤りでした。ご安心ください。」
M04	防犯	女性	シグナル音（日本防犯設備協会） 「ただいま緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従って、落ち着いて避難してください。」
M05	防犯（学校向け）	女性	シグナル音（日本防犯設備協会） 「ただいま緊急事態が発生しました。先生の指示に従って、落ち着いて避難してください。」
M06	放課後（学校向け）	女性	下校の時間になりました。車や自転車に気をつけて帰りましょう。
M07	開店	女性	4 音チャイム（上り） 「本日はご来店いただきまことにありがとうございます。 ただいま開店いたしました。いらっしゃいませ。」 4 音チャイム（下り）
M08	閉店	女性	4 音チャイム（上り） 「ご来店のお客様にお知らせいたします。 本日の営業時間は、まもなく終了いたします。またのご来店をお待ちしております。」 4 音チャイム（下り）
M09	省エネ	女性	4 音チャイム（上り） 「不要な照明や、使用していない機器の電源をオフにして、省エネルギーにご協力をお願いいたします。」 4 音チャイム（下り）
M10	避難訓練 (非常放送の発報メッセージを使用)	女性	「ただいまから避難訓練を行います。」 第 1 シグナル（1 回） 「ただいま、火災感知器が作動しました。係員が確認していますので次の放送にご注意ください。ただいまから避難訓練を行います。」 第 1 シグナル（1 回） 「ただいま、火災感知器が作動しました。係員が確認していますので次の放送にご注意ください。」
M11	避難訓練 (非常放送の火災メッセージを使用)	男性	「これは訓練放送です。」 第 1 シグナル（1 回） 「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。 これは訓練放送です。」 第 1 シグナル（1 回） 「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」 第 2 シグナル（3 回） （上記を 2 回繰り返し放送します。）
M12	火災防止	女性	4 音チャイム（上り） 「火災防止のお願いです。 たばこの火の始末、電気の切り忘れ、ガスの元栓など、火の元の確認をお願いいたします。」 4 音チャイム（下り）

メモ :
- M01 ～ M12 は CF カードを使用して書き換えることができます。詳細はお買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

BGM ミックスの設定

BGM 放送と他の放送が重なった場合、BGM の音声をどうするかを設定をします。



1 業務放送設定画面を表示させる（☞ 81 ページ）

```
1-3.ギョウムセッテイ
1-3-1.チャイムシュルイ
```

2 BGM ミックス設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“ 1-3-4.BGM ミックス ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、BGM 設定画面が表示されます。

```
1-3.ギョウムセッテイ
1-3-4.BGMミックス
```

▼

```
ミックスホウソウ
センタク:ホンタイ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3. ギョウムセッテイ] 画面に戻ります。

3 放送機器（放送グループ）を選択する

① 選択スイッチ（▼ ▲）で放送機器（放送グループ）を選択します。

```
ミックスホウソウ
センタク:ホンタイ
```

設定値	動作内容
ホンタイ	ブロックスイッチ、一斉スイッチ
ヒジョウリモコン	非常リモコン (EM-C100 シリーズ)
マルチギョウム (1-8)	マルチ業務リモコン (PA-C620)
ギョウムリモコン	業務リモコン (PA-C50 シリーズ)
ページング	電話ページングトランク
ホウジチャイム	PA-DT600/PA-TU20 など
アナウンスユニット	PA-DR600 など
メッセージ	EM-K100 シリーズ本体内蔵の業務メッセージ
カクチョウユニット	パソコンの音声など

② [決定] スイッチを押すと、放送機器（放送グループ）が確定され、ミキシング選択画面（手順 **5**）に移ります。ただし、“ ホンタイ ” を選択した場合は、マイク連動設定画面（手順 **4**）となります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3-4.BGM ミックス] 画面に戻ります。

4 マイク連動設定を行う

（手順 3 で “ ホンタイ ” を選択した場合のみ）

① 変更スイッチ（◀ ▶）で、マイク連動の有無を選択します。

設定値	動作内容
アリ（有り）	アナウンスマイクのマイクスイッチを押す、マイク入力1、2、または EM-R103 のワイヤレスマイクから音声が入った場合、BGM ミックスのモード設定に応じて、BGM の音量を変化させます。
ナシ（無し）	ブロックスイッチなどによって本体放送を行なった場合、BGM ミックスのモード設定に応じて、BGM の音量を変化させます。

```
ホンタイーマイクレンドウ
センタク:アリ/ナシ
```

② [決定] スイッチを押すと、マイク連動の有無が確定され、ミキシング選択画面（手順 **5**）に移ります。

メモ :
- [メニュー/ 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと、放送機器（放送グループ）選択画面（手順 **3**）に戻ります。

5 BGM ミックスのモードを選択する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で、BGM ミックスのモードを選択します。

設定値	動作内容
オフ	アナウンスマイクなど本体放送がある場合、BGM の音をカットします。
ミューティング	アナウンスマイクなど本体放送がある場合、BGM の音を減衰させます。
フル	アナウンスマイクなど本体放送があった場合も、BGM の音量を変えずそのままミックスします。

```
ホンタイ BGMミックス
オフ/ミューティング/フル
```

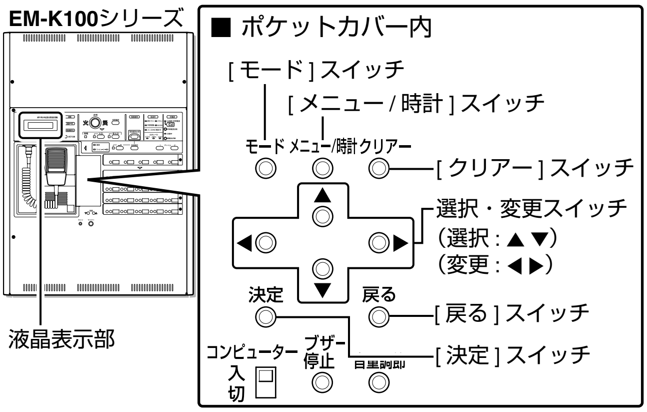
② [決定] スイッチを押すと、BGM ミックスのモードが確定され、放送機器（放送グループ）選択画面（手順 **3**）に戻ります。
設定を繰り返すことにより複数機器の BGM ミックスが可能です。

メモ :
- BGMミックスのモードを“ ミューティング ”に設定した場合、EM-K100 シリーズ本体 TB 基板上の [BGM フェードレベル] 調整ボリュームで BGM のレベルを調節します。右に回すと BGM の音が大きくなります。
- [メニュー/ 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと、放送機器（放送グループ）選択画面（手順 **3**）に戻ります。

業務放送設定 (つづき)

一斉放送の設定

EM-K100 シリーズ本体、非常リモコン (EM-K100 シリーズ)、業務リモコン (PA-C50 シリーズ) または、マルチ業務リモコン (PA-C620) による一斉放送時の緊急指定の設定をします。



1 業務放送設定画面を表示させる（☞ 81 ページ）

1-3.ギョウムセッテイ
1-3-1.チャイムシュルイ

2 一斉放送設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-3-5. イッセイスイッチ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、一斉放送設定画面が表示されます。

1-3.ギョウムセッテイ
1-3-5.イッセイスイッチ

▼

イッセイスイッチ
ツウジョウ/キンキュウ

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3. ギョウムセッテイ] 画面に戻ります。

3 緊急指定を選択する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で緊急指定を選択します。

イッセイスイッチ
ツウジョウ/キンキュウ

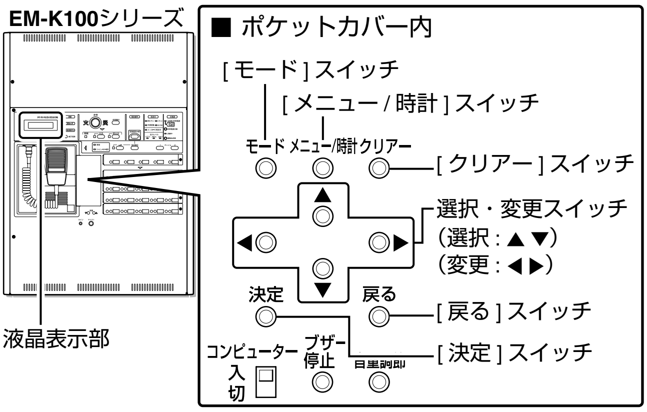
設定値	動作内容
ツウジョウ （通常）	通常放送となります。 （アッテネーター有効、音量調節可能）
キンキュウ （緊急）	緊急指定となります。 （アッテネーター無効、音量調節不可） 工場出荷時は “ キンキュウ ”

② [決定] スイッチを押すと、緊急指定が確定され、[1-3-5. イッセイスイッチ] 画面に戻ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3-5. イッセイスイッチ] 画面に戻ります。

放送の優先順位の設定

放送機器（放送グループ）ごとに放送の優先順位を設定します。



1 業務放送設定画面を表示させる（☞ 81 ページ）

1-3.ギョウムセッテイ
1-3-1.チャイムシュルイ

2 放送の優先順位設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-3-6. ギョウムユウセン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、放送の優先順位設定画面が表示されます。

1-3.ギョウムセッテイ
1-3-6.ギョウムユウセン

▼

ホウソウジュンイ
センタク:ホンタイ

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3. ギョウムセッテイ] 画面に戻ります。

3 **放送機器（放送グループ）を選択する**

① 選択スイッチ（▼ ▲）で放送機器（放送グループ）を選択します。

```
ホウソウシ゛ュンイ
センタク:ホンタイ
```

設定値	放送機器（放送グループ）
ホンタイ	本体 (EM-K100 シリーズ)
ヒジョウリモコン	非常リモコン (EM-C100 シリーズ)
マルチギョウム RM (1-8)	マルチ業務リモコン (PA-C620)
ギョウム RM	業務リモコン (PA-C50 シリーズ)
ページング	電話ページングトランク
ホウジチャイム	PA-DT600/PA-TU20 など
アナウンスユニット	PA-DR600 など
メッセージ	EM-K100 シリーズ本体内蔵の業務メッセージ
カクチョウユニット	パソコンの音声など

② [決定] スイッチを押すと、放送機器（放送グループ）が確定され、優先順位変更設定画面（手順 **4**）に移ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3-6. ギョウムユウセン] 画面に戻ります。

4 **優先順位を変更する**

① 選択スイッチ（▼ ▲）で優先順位を選択します。
[設定範囲：2 〜 6]

```
ホンタイ
シ゛ュンイ:2
```

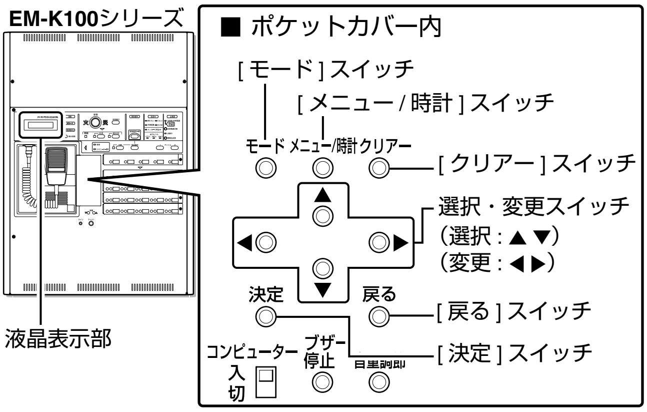
② [決定] スイッチを押すと、優先順位が確定され、放送機器（放送グループ）選択画面（手順 **3**）に戻ります。

メモ :
- “1” は緊急優先放送のみが設定されています。
- BGM の優先順位は 6 位に固定されており、変更することはできません。
- [クリアー] スイッチを押すと、“2” が選択されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、放送機器（放送グループ）選択画面（手順 **3**）画面に戻ります。

5 **手順 3, 4 を繰り返し各放送グループの優先順位を設定する**

RB 制御の設定

緊急優先放送時の RB 制御の有無を設定します。



1 **業務放送設定画面を表示させる（☞ 81 ページ）**

```
1-3.ギ゛ョウムセッテイ
1-3-1.チャイムシュルイ
```

2 **RB 制御設定画面を表示させる**

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-3-7. RB セイギョ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、RB 制御設定画面が表示されます。

```
1-3.ギ゛ョウムセッテイ
1-3-7.RBセイギ゛ョ
```

▼

```
キンキュウユウセン
RBセイギ゛ョ:アリ/ナシ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3. ギョウムセッテイ] 画面に戻ります。

3 **RB 制御の有無を選択する**

① 変更スイッチ（◀ ▶）で RB 制御の有無を選択します。

```
キンキュウユウセン
RBセイギ゛ョ:アリ/ナシ
```

設定値	動作内容
アリ（有り）	緊急優先放送時に EM-K100 シリーズ本体の [RB] 端子（TB 基板上）が、DC24 V から無電圧に変化することによって非常制御信号を出力します。
ナシ（無し）	非常制御信号を出力しません。

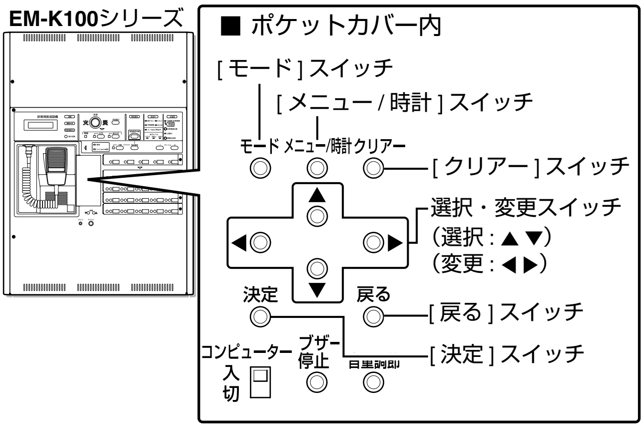
② [決定] スイッチを押すと、RB 制御の有無が確定され、[1-3-7. RB セイギョ] 画面に戻ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-3-7. RB セイギョ] 画面に戻ります。

回線設定

設定画面の表示

メインメニューから回線設定画面を表示させせます。
回線設定画面から、緊急優先ブロックの設定などの各メニュー画面を表示し、設定を行うために必要な共通手順を下記に示します。



メモ :
- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押します。

1 メインメニュー画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させせます。

```
メインメニュー
 1.システムセッテイ
```

2 システム設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1. システムセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
 1.システムセッテイ
 1-1.カンキョウセッテイ
```

3 回線設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-4. カイセンセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

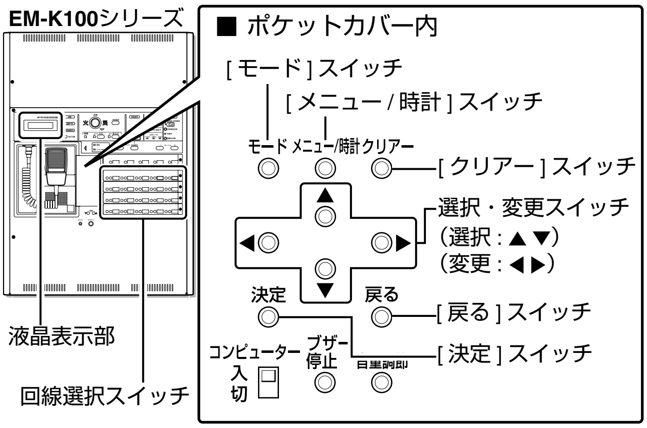
```
 1-4. カイセンセッテイ
 1-4-1. ドウイツカイ
```

■ 回線設定画面では、以下の設定項目を選択し、それぞれ設定を行なってください。

- [同一階の設定] (☞ 91 ページ)
- [連動階の設定] (☞ 92 ページ)
- [出火階情報の設定] (☞ 94 ページ)
- [ブロックスイッチの設定] (☞ 98 ページ)
- [起動入力の設定] (☞ 101 ページ)
- [マルチ業務リモコンの設定] (☞ 104 ページ)

同一階の設定

同じ階で使用しているスピーカーを同一階として登録します。
同じ階に設置してあるスピーカー回線が 3 である場合、
1 つの回線（どれでも可）を基準にして、他 2 つの回線を同一階に設定します。



1 回線設定画面を表示させる（☞ 90 ページ）

```
1-4. カイセンセッテイ
1-4-1. ト゛ウイツカイ
```

2 同一階設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-4-1. ドウイツカイ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、同一階設定画面が表示されます。

```
1-4. カイセンセッテイ
1-4-1. ト゛ウイツカイ
```

▼

```
ト゛ウイツカイセッテイスル
ホウソウカイスイッチヲ オス
```

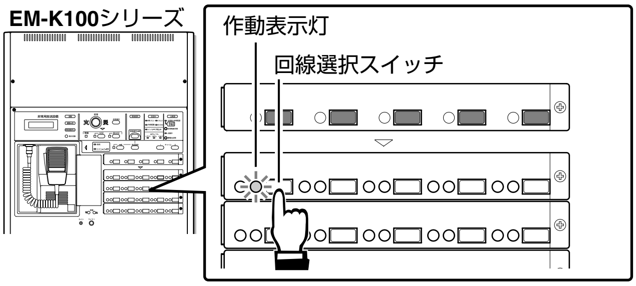
メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4. カイセンセッテイ] 画面に戻ります。

3 基準となる回線を 1 つ選択する

回線選択スイッチで基準となる回線を 1 つ選択します。

- 選択した放送階の作動表示灯が緑色に点灯し、同一階選択画面（手順 *4*）に移ります。
- 選択した回線が基準となり、同じ階にある他の回線を同一階として設定していきます。



メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4-1. ドウイツカイ] 画面に戻ります。

4 同一階の回線を選択する

① 手順 *3* で選択した回線（基準）と同じ階にある回線の回線選択スイッチを押し、選択します。（複数選択可）

- 選択した回線の作動表示灯が緑色に点灯します。
- 再度、回線選択スイッチを押すと作動表示灯が消灯し、選択が解除されます。

```
ノコリノホウソウカイヲ センタク
ホソ゛ンハ [ケッテイ]
```

② [決定] スイッチを押すと、同一階の回線が確定され、同一階設定継続選択画面（手順 *5*）に移ります。

メモ :

- [一斉] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチが選択（点灯）されます。
- [クリアー] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチの選択が解除（消灯）されます。
- [メニュー/ 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと、設定を保存せず放送階選択画面（手順 *3*）画面に戻ります。

5 同一階の回線設定を続ける

① 同一階設定継続選択画面が表示されたら、変更スイッチ（◀ ▶）で “ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
カイセンセッテイヲ ツツ゛ケル?
ハイ/イイエ
```

▼

```
ト゛ウイツカイセッテイスル
ホウソウカイスイッチヲ オス
```

② 基準となる回線選択画面（手順 *3*）に戻るので、手順 *3*、*4* を繰り返し同一階の設定を行ないます。

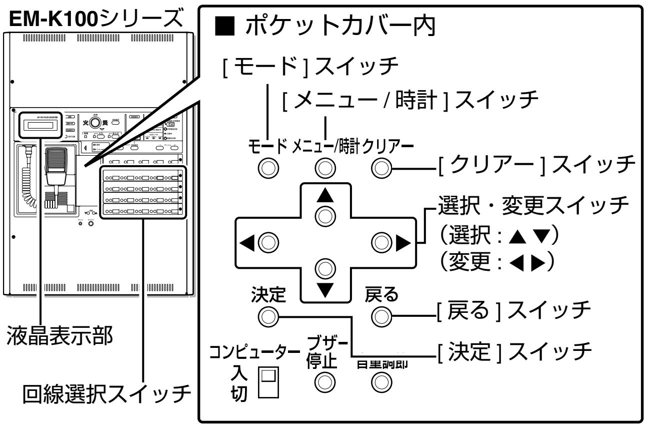
メモ :

- “ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、同一階設定画面（手順 *2*）に戻ります。

回線設定 (つづき)

連動階の設定

火災が発生した場合に、出火した階に連動した階として登録する回線を選択します。
連動する回線は、同一階の設定（☞ 91 ページ）に関係なく、１回線づつ登録する必要があります。



1 回線設定画面を表示させる（☞ 90 ページ）

1-4．カイセンセッテイ
1-4-1．ドウイツカイ

2 出火階選択画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-4-2. レンドウカイ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、出火階選択画面が表示されます。

1-4．カイセンセッテイ
1-4-2．レンドウカイ

▼

シュッカカイ
ホウソウカイスイッチヲ　オス

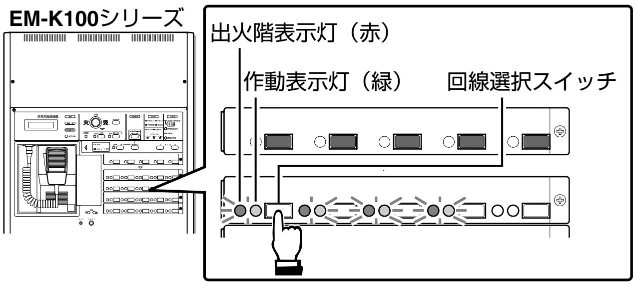
メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4. カイセンセッテイ] 画面に戻ります。

3 基準となる階（出火階）を選択する

回線選択スイッチで基準となる階（出火階）を選択します。

- 同一階の設定（☞ 91 ページ）がされている場合、選択した回線の同一階回線すべてが選択されます。
- 選択した出火階の出火階表示灯が赤色に、作動表示灯が緑色に点灯し、同一階選択画面（手順 ***4***）に移ります。



メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4-2. レンドウカイ] 画面に戻ります。

4 出火階に連動する回線を選択する

手順 ***3*** で選択した出火階（基準）と連動させる回線の回線選択スイッチを押し、選択します。（複数選択可）

- 選択した回線の作動表示灯が緑色に点灯します。
- 再度、回線選択スイッチを押すと作動表示灯が消灯し、選択が解除されます。
- 同一階の設定（☞ 91 ページ）がされていても、連動階は 1 回線ずつ選択する必要があります。

レンドウグループノ
ホウソウカイスイッチヲ　オス

メモ :

- [一斉] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチが選択（点灯）されます。
- [クリアー] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチの選択が解除（消灯）されます。
- [メニュー/ 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと、設定を保存せず放送階選択画面（手順 ***3***）画面に戻ります。

5 連動階を決定する

[決定] スイッチを押すと、連動階の回線が確定され、連動階設定継続選択画面（手順 ***6***）に移ります。

ノコリノホウソウカイヲ　センタク
ホゾンハ　[ケッテイ]

6 連動階の回線設定を続ける

① 連動階設定継続選択画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で“ ハイ ”を選択し、[決定] スイッチを押します。

② 連動階選択画面（手順 ***4***）に戻るので、手順 ***4***、***5*** を繰り返し連動階の設定を行ないます。

```
ｶｲｾﾝｾｯﾃｲｦ ﾂﾂﾞｹﾙ?
ﾊｲ/ｲｲｴ
```

▼

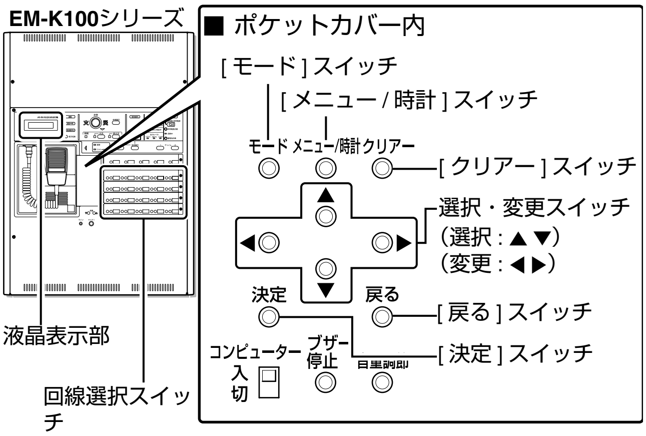
```
ﾚﾝﾄﾞｳｸﾞﾙｰﾌﾟﾉ
ﾎｳｿｳｶｲｽｲｯﾁｦ ｵｽ
```

メモ：
- “ イイエ ”を選択し、[決定] スイッチを押すと出火階選択画面（手順 **2**）に戻ります。

回線設定 (つづき)

出火階情報の設定

火災が発生した場合に、出火した階は何階かを放送することができます。選択した回線のスピーカーが何階にあるか正確に設定します。



1 回線設定画面を表示させる（☞ 90 ページ）

1-4. カイセンセッテイ
1-4-1. ドウイツカイ

2 出火階情報設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-4-3. シュッカカイ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、出火階情報設定画面が表示されます。

1-4. カイセンセッテイ
1-4-3. シュッカカイ

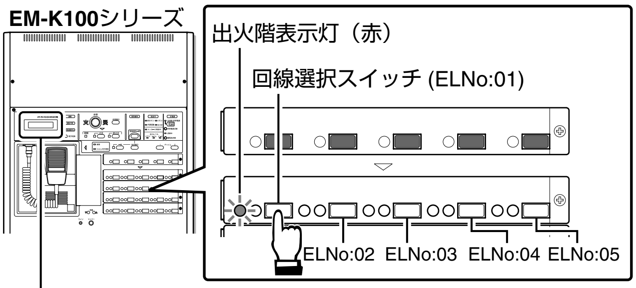
▼

ELNo センタク
センタク (1-20): 01

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4. カイセンセッテイ] 画面に戻ります。

3 出火階の情報を設定する ELNo（回線選択スイッチの番号）を選択する

① 選択スイッチ（▲▼）で ELNo を選択します。回線選択スイッチを押して、選択することもできます。
[選択範囲：EM-K100-10：01 ～ 10
EM-K100-15：01 ～ 15
EM-K100-20：01 ～ 20]



ELNo センタク
センタク (1-20): 01

② 選択した回線選択スイッチの出火階表示灯が赤色に点灯し、出火階 No 選択画面（手順 **4**）に移ります。

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4-3. シュッカカイ] 画面に戻ります。
- [クリアー] スイッチを押すと、“01” が選択されます。

4 出火階情報の No を選択する

① 選択スイッチ（▼▲）で、手順 **3** で選択した ELNo の回線がある場所で火災が発生した場合に、放送する出火階情報の番号を選択します。
出火階情報 No. と放送内容の詳細は [出火階情報の放送内容] (☞ 95 ページ)/[出火階情報] (☞ 96 ページ) をご覧ください。
[選択範囲：000 ～ 150]

ELNo. 01
シュッカカイ: 001

② [決定] スイッチを押すと、出火階情報 No が確定され、試聴選択画面（手順 **5**）に移ります。

メモ :
- [クリアー] スイッチを押すと、“000” が選択されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、ELNo 選択画面（手順 **3**）に戻ります。

5 出火階情報を試聴する

① 試聴選択画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で “ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

シチョウシマスカ?
ハイ/イイエ

② 選択した出火階情報が再生されます。

メモ :
- “ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、設定が保存され、設定継続選択画面（手順 **7**）に移ります。

6 出火階情報を保存する

出火階情報を試聴し、問題なければ設定を保存します。

① 変更スイッチ(◀▶)で " ホゾン " を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
シュッカカイシ゛ョウホウサイセイ
ホソ゛ン/モト゛ル
```

② 出火階情報が確定され、設定継続選択画面（手順 **7**）に移ります。

メモ：
- " モドル " を選択し、[決定] スイッチを押すと、出火階 No. 選択画面（手順 **4**）に戻ります。

7 出火階情報の設定を続ける

① 出火階情報設定継続選択画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で " ハイ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

② ELNo 選択画面 (手順 **3**) に戻るので、手順 **3** ～ **6** を繰り返し出火階情報の設定を行ないます。

```
カイセンセッテイヲ　ツツ゛ケル?
ハイ/イイエ
```

▼

```
ELNo センタク
センタク (1-20): 01
```

メモ：
- " イイエ " を選択し、[決定] スイッチを押すと出火階情報選択画面（手順 **2**）に戻ります。

■ エラー発生時

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- ハードウェアの異常時

```
サイセイテ゛キマセン D
モト゛ル
```

- メッセージ異常時

```
サイセイテ゛キマセン P
モト゛ル
```

下記スイッチどれかを押すと、出火階 No. 選択画面（手順 **4**）に戻ります。

- [決定] スイッチ
- [メニュー / 時計] スイッチ
- [戻る] スイッチ

■出火階情報の放送内容

音声警報メッセージの設定で音声警報言語を " ニホンゴ + エイゴ "（日本語 + 英語）に設定した場合、日本語の放送のあと、英語での放送が流れます。
" ニホンゴ "（日本語）に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。（☞ 79 ページ）
※○○○ には出火階情報が入ります。（☞ 96 ページ）

メッセージの種類	放送内容（日本語）	放送内容（英語）
発報放送メッセージ	ただいま ○○○ の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm ○○○ has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送メッセージ	火事です。火事です。○○○ で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started ○○○. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm have been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

回線設定 (つづき)

出火階情報の設定 (つづき)

■出火階情報

No.	放送内容（日本語）	放送内容（英語）
000	(出火階情報なし)	(出火階情報なし)
001	1 階	on the 1st floor
002	2 階	on the 2nd floor
003	3 階	on the 3rd floor
004	4 階	on the 4th floor
005	5 階	on the 5th floor
006	6 階	on the 6th floor
007	7 階	on the 7th floor
008	8 階	on the 8th floor
009	9 階	on the 9th floor
010	10 階	on the 10th floor
011	11 階	on the 11th floor
012	12 階	on the 12th floor
013	13 階	on the 13th floor
014	14 階	on the 14th floor
015	15 階	on the 15th floor
016	16 階	on the 16th floor
017	17 階	on the 17th floor
018	18 階	on the 18th floor
019	19 階	on the 19th floor
020	20 階	on the 20th floor
021	中 2 階	on the mezzanine
022	屋上	on the roof floor
023	塔屋	in the penthouse
024	地下階	in the basement
025	地下 1 階	in the 1st basement
026	地下 2 階	in the 2nd basement
027	地下 3 階	in the 3rd basement
028	地下 4 階	in the 4th basement
029	地下 5 階	in the 5th basement
030	階段	in the staircase
031	東階段	in the east staircase
032	西階段	in the west staircase
033	南階段	in the south staircase
034	北階段	in the north staircase
035	中央階段	in the central staircase
036	ピット階	in the pit floor
037	地下ピット	in the basement pit
038	機械室	in the machine room
039	エレベーター	in the elevator
040	エレベーターシャフト	in the elevator shaft
041	エレベーター機械室	in the elevator's machine room
042	エスカレーター	at the escalator
043	駐車場	in the parking
044	屋上駐車場	in the roof top parking
045	地下駐車場	in the basement parking
046	立体駐車場	in the multistory parking

No.	放送内容（日本語）	放送内容（英語）
047	体育館	in the gymnasium
048	体育館 1 階	on the 1st floor of the gymnasium
049	体育館 2 階	on the 2nd floor of the gymnasium
050	体育館地下 1 階	in the 1st basement of the gymnasium
051	屋内運動場	in the indoor athletic center
052	講堂	in the auditorium
053	武道館	in the martial arts gymnasium
054	プール	at the swimming pool
055	食堂	in the cafeteria
056	給食室	in the school lunch room
057	ダムウェーター	in the dumbwaiter
058	校舎 1 階	on the 1st floor of the school building
059	校舎 2 階	on the 2nd floor of the school building
060	校舎 3 階	on the 3rd floor of the school building
061	校舎 4 階	on the 4th floor of the school building
062	校舎 5 階	on the 5th floor of the school building
063	校舎階段	in the staircase of the school building
064	校舎エレベーター	in the elevator of the school building
065	特別教室棟 1 階	on the 1st floor of the special classroom building
066	特別教室棟 2 階	on the 2nd floor of the special classroom building
067	特別教室棟 3 階	on the 3rd floor of the special classroom building
068	特別教室棟 4 階	on the 4th floor of the special classroom building
069	特別教室棟階段	in the staircase of the special classroom building
070	普通教室棟 1 階	on the 1st floor of the standard classroom building
071	普通教室棟 2 階	on the 2nd floor of the standard classroom building
072	普通教室棟 3 階	on the 3rd floor of the standard classroom building
073	普通教室棟 4 階	on the 4th floor of the standard classroom building
074	普通教室棟階段	in the staircase of the standard classroom building
075	東校舎 1 階	on the 1st floor of the east school building
076	東校舎 2 階	on the 2nd floor of the east school building
077	東校舎 3 階	on the 3rd floor of the east school building
078	東校舎 4 階	on the 4th floor of the east school building
079	東校舎階段	in the staircase of the east school building
080	東校舎エレベーター	in the elevator of the east school building
081	西校舎 1 階	on the 1st floor of the west school building
082	西校舎 2 階	on the 2nd floor of the west school building
083	西校舎 3 階	on the 3rd floor of the west school building
084	西校舎 4 階	on the 4th floor of the west school building
085	西校舎階段	in the staircase of the west school building
086	西校舎エレベーター	in the elevator of the west school building
087	南校舎 1 階	on the 1st floor of the south school building
088	南校舎 2 階	on the 2nd floor of the south school building
089	南校舎 3 階	on the 3rd floor of the south school building
090	南校舎 4 階	on the 4th floor of the south school building
091	南校舎階段	in the staircase of the south school building
092	南校舎エレベーター	in the elevator of the south school building

No.	放送内容（日本語）	放送内容（英語）
093	北校舎 1 階	on the 1st floor of the north school building
094	北校舎 2 階	on the 2nd floor of the north school building
095	北校舎 3 階	on the 3rd floor of the north school building
096	北校舎 4 階	on the 4th floor of the north school building
097	北校舎階段	in the staircase of the north school building
098	北校舎エレベーター	in the elevator of the north school building
099	中央校舎 1 階	on the 1st floor of the central school building
100	中央校舎 2 階	on the 2nd floor of the central school building
101	中央校舎 3 階	on the 3rd floor of the central school building
102	中央校舎 4 階	on the 4th floor of the central school building
103	中央校舎階段	in the staircase of the central school building
104	中央校舎エレベーター	in the elevator of the central school building
105	管理棟 1 階	on the 1st floor of the administration building
106	管理棟 2 階	on the 2nd floor of the administration building
107	管理棟 3 階	on the 3rd floor of the administration building
108	管理棟 4 階	on the 4th floor of the administration building
109	管理棟 5 階	on the 5th floor of the administration building
110	管理棟 6 階	on the 6th floor of the administration building
111	管理棟階段	in the staircase of the administration building
112	管理棟エレベーター	in the elevator of the administration building
113	本館 1 階	on the 1st floor of the main building
114	本館 2 階	on the 2nd floor of the main building
115	本館 3 階	on the 3rd floor of the main building
116	本館 4 階	on the 4th floor of the main building
117	本館 5 階	on the 5th floor of the main building
118	本館 6 階	on the 6th floor of the main building
119	本館階段	in the staircase of the main building
120	本館エレベーター	in the elevator of the main building
121	新館 1 階	on the 1st floor of the new building
122	新館 2 階	on the 2nd floor of the new building
123	新館 3 階	on the 3rd floor of the new building
124	新館 4 階	on the 4th floor of the new building
125	新館 5 階	on the 5th floor of the new building
126	新館 6 階	on the 6th floor of the new building
127	新館階段	in the staircase of the new building
128	新館エレベーター	in the elevator of the new building

No.	放送内容（日本語）	放送内容（英語）
129	病棟	in the hospital building
130	この近所	in this vicinity
131 ・ ・ ・ 150	(出火階情報なし) ※	(出火階情報なし) ※

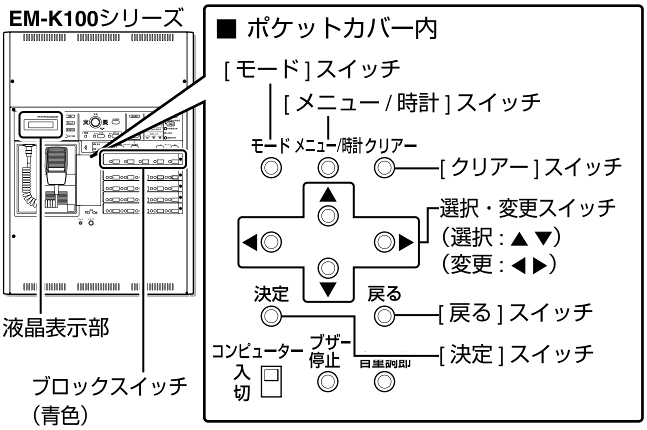
※No131~No150 は特注メッセージ用です。
No000 〜 No130 のメッセージに合致する出火階情報がない場合、特注メッセージの制作をいたします。詳細はビクター営業窓口までご相談ください。

回線設定 (つづき)

ブロックスイッチの設定

EM-K100 シリーズ本体や非常リモコンによる放送、BGM 放送など、用途別に任意のスピーカー回線を 1 グループにまとめて放送を行うブロック放送が可能です。

- ブロックスイッチ（青色）は 5 つあり、押すとあらかじめ設定されたブロック放送が行われます。
- アナウンスマイクによる放送のほか、本体内蔵の音声メッセージや、BGM を放送することができます。
- ブロックスイッチによる放送中に[チャイム1]/[チャイム2]スイッチや [メッセージ 1]/[メッセージ 2] スイッチを使うことができます。
- 5 つのブロックスイッチは、緊急優先、業務、BGM の 3 種類の放送機器（放送グループ）に設定できます。
- ブロックスイッチの優先順位は放送機器（放送グループ）の設定に従います。
  優先順位が同じブロックスイッチをあとから押した場合、その放送ブロックが追加され、続けて放送を行うことができます。
  優先順位が上位のブロックスイッチをあとから押した場合、先に放送中のスピーカー回線は OFF となり、上位の放送ブロックのみ放送されます。
- 工場出荷時、ブロックスイッチの設定は BGM に設定されているため、[放送復旧] スイッチで OFF（消灯）にすることはできません。再度ブロックスイッチを押すと OFF にすることができます。なお、システム設定メニューで、業務または緊急優先に設定されている場合、[放送復旧] スイッチで OFF にすることができます。



1 回線設定画面を表示させる（☞ 90 ページ）

```
1-4. カイセンセッテイ
1-4-1. ドウイツカイ
```

2 ブロックスイッチ設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-4-4. ブロックスイッチ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、ブロックスイッチ設定画面が表示されます。

```
1-4. カイセンセッテイ
1-4-4. ブロックスイッチ
```

▼

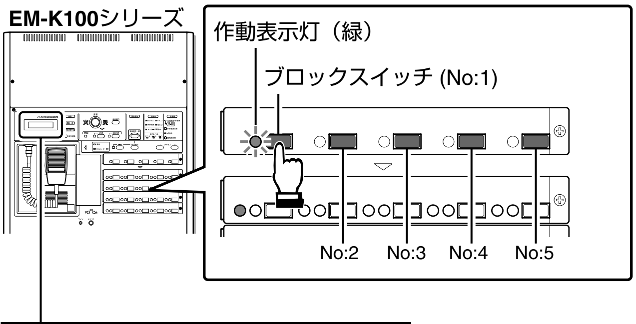
```
ブロックスイッチNo
センタク (1-5) : 1
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4. カイセンセッテイ] 画面に戻ります。

3 設定を行うブロックスイッチの No を選択する

① 選択スイッチ（▲ ▼）でブロックスイッチ No を選択します。ブロックスイッチを押して、選択することもできます。選択したブロックスイッチの作動表示灯が緑色に点灯します
[選択範囲 : 1 ～ 5]




```
ブロックスイッチNo
センタク (1-5) : 1
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4-4. ブロックスイッチ] 選択画面に戻ります。

② [決定]スイッチを押すと、ブロックスイッチの No. が確定され、放送機器（放送グループ）選択画面（手順 ***4***）に移ります。

4 選択したブロックスイッチの放送機器（放送グループ）を選択する

① 選択スイッチ（▼ ▲）で放送機器（放送グループ）を選択します。

設定値	内容
BGM	BGM 放送となります。 優先順位は 6 位に固定となります。(一番下) 工場出荷時は “BGM” に設定されています。
ギョウム （業務）	業務放送となります。 優先順位は 2 位～ 6 位です。
キンキュウユウセン （緊急優先）	緊急優先放送となります。 優先順位は 1 位に固定となります。

```
ブロックスイッチ1
センタク:ギョウム
```

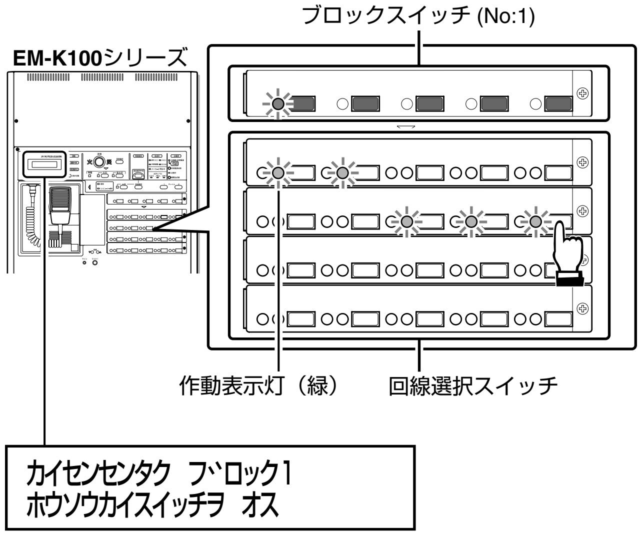
メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、ブロックスイッチ No 選択画面（手順 ***3***）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、ブロックスイッチの放送機器（放送グループ）が確定され、回線 No 選択画面（手順 *5*）に移ります。

5 ブロックスイッチに割り付ける回線 No（グループ）を選択する

① ブロック放送を行なう場合に選択される回線を回線選択スイッチで選択します。
- 選択した回線の作動表示灯が緑色に点灯します。
- 再度、回線選択スイッチを押すと作動表示灯が消灯し、選択が解除されます。



メモ：
- [一斉] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチが選択（点灯）されます。
- [クリアー] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチの選択が解除（消灯）されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと放送機器（放送グループ）選択画面（手順 *4*）に戻ります。

② [決定]スイッチを押すと、ブロック放送を行う回線 No が確定され、手順 *4* の設定によって下記のようになります。
- “BGM” を選択した場合、手順 *13* へ移ります。
- “ ギョウム ” を選択した場合、手順 *6* へ移ります。
- “ キンキュウユウセン ” を選択した場合、手順 *7* へ移ります。

6 緊急指定の設定を行う
（手順 *4* で “ ギョウム ” を選択した場合のみ）

放送時に各回線のアッテネーターの設定を無効にし、最大音量で放送する緊急指定の設定を行います。

① 変更スイッチ（◀ ▶）で緊急指定の設定を選択します。

設定値	内容
ツウジョウ （通常）	通常放送となります。 （アッテネーター有効、音量調節可能） ※工場出荷時は “ ツウジョウ ”
キンキュウ （緊急）	緊急指定となります。 （アッテネーター無効、音量調節不可）

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと回線 No 選択画面（手順 *5*）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、緊急指定が確定され、メッセージの有無選択画面（手順 *7*）に移ります。

7 メッセージの有無を設定する
（手順 *3* で “ ギョウム ” または “ キンキュウユウセン ” を選択した場合のみ）

① 変更スイッチ（◀ ▶）で、メッセージの有無を選択します。

```
ﾌﾞﾛｯｸｽｲｯﾁ1
ﾒｯｾｰｼﾞ:ｱﾘ/ﾅｼ
```

② “アリ”を選択し[決定]スイッチを押すと、メッセージ No 選択画面（手順 *8*）に移ります。

メモ：
- “ ナシ ” を選択し、[決定] スイッチを押すとブロックスイッチ設定継続選択画面（手順 *13*）に移ります。

8 メッセージ No. を選択する
（手順 *7* で “ アリ ” を選択した場合のみ）

① 選択スイッチ（▼ ▲）で、ブロックスイッチを押した場合に流れるメッセージを選択します。

設定値	動作内容
4 オンーアップハヤイ 4 オンーダウンハヤイ 4 オンーアップオソイ 4 オンーダウンオソイ	ハヤイ（早い）： 鳴動時間が約 2 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（UP/DOWN とも）です。 オソイ（遅い）： 鳴動時間が約 4 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（UP/DOWN とも）です。
2 オン	2 音のチャイムです。
1 オン	1 音のチャイムです。
サイレン	電子式サイレン音です。
W ミンスター	1964 年製造の打棒式チャイム（ウエストミンスターの鐘）の音です。
M01 ～ M12	メッセージ No. と放送内容の詳細は [メッセージ一覧（工場出荷時）] (☞ 86 ページ) をご覧ください。
C01 C02	ユーザー設定のチャイムです。

メモ：
- [クリアー]スイッチを押すと、“4 オンーアップハヤイ ” が選択されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、メッセージの有無選択画面（手順 *7*）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、メッセージ No が確定され、再生回数選択画面（手順 *9*）に移ります。
(☞ 100 ページ)

☞ 次ページへつづく

システム設定

回線設定 (つづき)

ブロックスイッチの設定 (つづき)

9 メッセージの再生回数を選択する
（手順 7 で " アリ " を選択した場合のみ）

① 変更スイッチ（◀▶）で、メッセージの再生回数を選択します。

設定値	動作内容
クリカエシ（繰り返し）	繰り返し再生します。
1カイ（1 回）	1 回のみ再生します。

```
ブ゛ロックスイッチ1
サイセイ：クリカエシ／1カイ
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、メッセージ No. 選択画面（手順 8）に戻ります。（☞ 99 ページ）

② [決定] スイッチを押すと、再生回数が確定され、音量設定画面（手順 10）に移ります。

10 再生音量を設定する

① 選択スイッチ（▼▲）で、再生音量を選択します。
[設定範囲：0 ～ 9]

```
サイセイオンリョウ
オオキサ：5
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、再生回数選択画面（手順 9）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、再生音量が確定され、試聴選択画面（手順 11）に移ります。

11 メッセージを試聴する

① メッセージ試聴画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で " ハイ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
シチョウシマスカ?
ハイ／イイエ
```

② 選択したメッセージが再生され、設定保存選択画面（手順 12）に移ります。

メモ：
- " イイエ " を選択し、[決定] スイッチを押すと、ブロックスイッチ設定継続選択画面（手順 13）に移ります。（☞ 98 ページ）

■ エラー発生時

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- ハードウェアの異常時

```
サイセイテ゛キマセン D
モト゛ル
```

- メッセージ異常時

```
サイセイテ゛キマセン P
モト゛ル
```

下記スイッチどれかを押すと、メッセージ No. 選択画面（手順 8）に戻ります。
- [決定] スイッチ
- [メニュー / 時計] スイッチ
- [戻る] スイッチ

12 ブロックスイッチの設定を保存する

メッセージを試聴し、問題なければ設定を保存します。

① 変更スイッチ(◀▶)で " ホゾン " を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
メッセーシ゛サイセイ
ホソ゛ン／モト゛ル
```

② ブロックスイッチの設定が確定され、ブロックスイッチ設定継続選択画面（手順 13）に移ります。

メモ：
- " モドル " を選択し、[決定] スイッチを押すと、メッセージ No 選択画面（手順 8）に戻ります。（☞ 99 ページ）

13 ブロックスイッチの設定を続ける

① ブロックスイッチ設定継続選択画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で " ハイ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

② ブロックスイッチ No 選択画面（手順 3）に戻るので、手順 3 ～ 12 を繰り返しブロックスイッチの設定を行ないます。

```
カイセンセッテイヲ ツツ゛ケル?
ハイ／イイエ
```

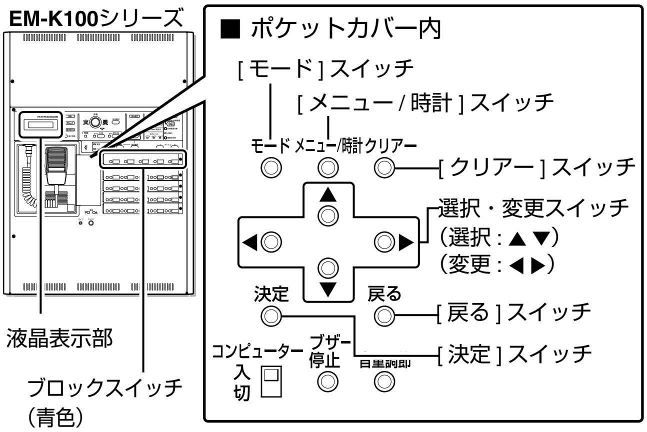
▼

```
ブ゛ロックスイッチNo
センタク（1−5）：2
```

メモ：
- " イイエ " を選択し、[決定] スイッチを押すとブロックスイッチ設定画面（手順 2）に戻ります。（☞ 98 ページ）

起動入力の設定

EM-K100 シリーズ本体の起動入力端子に接続された機器について設定します。



1 回線設定画面を表示させる（☞ **90** ページ）

```
1-4．カイセンセッテイ
1-4-1．ト゛ウイツカイ
```

2 起動入力設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-4-5. キドウニュウリョク ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、起動入力 No 選択画面が表示されます。

```
1-4．カイセンセッテイ
1-4-5．キト゛ウニュウリョク
```

▼

```
キト゛ウニュウリョク
センタク：01
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4. カイセンセッテイ] 画面に戻ります。

3 設定を行う起動入力端子の No を選択する

① 選択スイッチ（▲ ▼）で起動入力端子の No を選択します。
[選択範囲：1 ～ 15]

```
キト゛ウニュウリョク
センタク：01
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4-5. キドウニュウリョク] 画面に戻ります。
- [クリアー] スイッチを押すと、“01” が選択されます。

② [決定] スイッチを押すと、起動入力端子 No が確定され、起動入力機器選択画面（手順 **4**）に移ります。

4 選択した起動入力 No（起動入力端子）に接続する機器を選択する

① 選択スイッチ（▼ ▲）で接続する機器を選択します。

設定値	起動入力端子に接続する機器
ギョウムリモコン（業務リモコン）	業務リモコン (PA-C50 シリーズ) を接続します。
キンキュウユウセン（緊急優先）	緊急優先放送を行う機器を接続します。
メッセージ	EM-K100 シリーズ本体に内蔵のメッセージを放送します。
BGM	PA-DA600/PA-DA300 などの BGM 放送機器を接続します。
ページング	電話ページングトランクを接続します。
アナウンスユニット	PA-DR600 などを接続します。
ホウジチャイム（報時チャイム）	PA-DT600/PA-DA600 などを接続します。

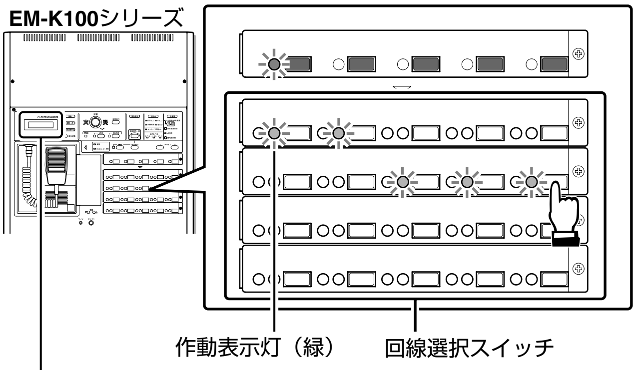
```
キト゛ウニュウリョク
センタク：ヘ゜ーシ゛ンク゛
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、起動入力 No 選択画面（手順 **3**）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、起動入力機器が確定され、回線 No 選択画面（手順 **5**）に移ります。

5 回線 No を選択する

① 回線選択スイッチで回線 No を選択します。
- 選択した回線の作動表示灯が緑色に点灯します。
- 再度、回線選択スイッチを押すと作動表示灯が消灯し、選択が解除されます。




```
カイセンセンタク　キト゛ウ01
ホウソウカイスイッチヲ　オス
```

メモ：
- [一斉] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチが選択（点灯）されます。
- [クリアー] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチの選択が解除（消灯）されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと接続機器 選択画面（手順 **4**）に戻ります。

☞ 次ページへつづく

システム設定

回線設定 (つづき)

起動入力の設定 (つづき)

② [決定] スイッチを押すと､回線 No が確定され､手順 ***4*** の設定によって下記のようになります。

- " ギョウムリモコン "、" メッセージ "、" ページング "、" アナウンスユニット "、" ホウジチャイム " を選択した場合、手順 ***6*** へ移ります。
- " キンキュウユウセン " を選択した場合､手順***8***へ移ります。"BGM" を選択した場合、手順 ***14*** へ移ります。

6 緊急指定の設定を行う

外部入力起動時に各回線のアッテネーターの設定を無効にし、最大音量で放送する緊急指定の設定を行います。

① 変更スイッチ（◀ ▶）で緊急指定の設定を選択します。

設定値	内容
ツウジョウ （通常）	通常放送となります。 （アッテネーター有効、音量調節可能） ※工場出荷時は " ツウジョウ "
キンキュウ （緊急）	緊急指定となります。 （アッテネーター無効、音量調節不可）

```
キトﾞウニュウリョク01
ツウシﾞョウ/キンキュウ
```

メモ :
- [メニュー/時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと回線 No 選択画面（手順 ***5***）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、緊急指定が確定されます。手順 ***4*** の設定によって、下記のように変わります。

- " ページング "､" アナウンスユニット "､" ホウジチャイム " を選択した場合、起動入力時チャイムの有無選択画面（手順 ***7***）に移ります。
- " メッセージ " を選択した場合､メッセージ No の選択画面（手順 ***9***）に移ります。
- " ギョウムリモコン " を選択した場合、設定の継続選択画面（手順 ***14***）に移ります。

7 起動時チャイムの有無を設定する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で、起動時チャイムの有無を選択します。

```
キトﾞウチャイム
アリ/ナシ
```

メモ :
- [メニュー/時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと緊急指定選択画面（手順 ***6***）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、設定の継続画面（手順 ***14***）に移ります。

8 メッセージの有無を設定する

（手順 *4* で " キンキュウユウセン " を選択した場合のみ）

① 変更スイッチ（◀ ▶）で、メッセージの有無を選択します。

```
キトﾞウニュウリョク01
メッセーシﾞ: アリ/ナシ
```

② " アリ " を選択し [決定] スイッチを押すと､メッセージ No 選択画面に移ります。

メモ :
- " ナシ " を選択し､[決定] スイッチを押すと設定の継続画面（手順 ***14***）に移ります。

9 メッセージ No. を選択する

（手順 *8* で " アリ " を選択、または手順 *4* で " メッセージ " を選択した場合）

① 選択スイッチ（▼ ▲）で、起動入力時に流れるメッセージを選択します。

設定値	動作内容
4 オンーアップハヤイ 4 オンーダウンハヤイ 4 オンーアップオソイ 4 オンーダウンオソイ	ハヤイ（早い）: 鳴動時間が約 2 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（アップ / ダウンとも）です。 オソイ（遅い）: 鳴動時間が約 4 秒のスピードに設定されている 4 音チャイム（アップ / ダウンとも）です。
2 オン	2 音のチャイムです。
1 オン	1 音のチャイムです。
サイレン	電子式サイレン音です。
W ミンスター	1964 年製造の打棒式チャイム（ウエストミンスターの鐘）の音です。
M01 ～ M12	メッセージ No. と放送内容の詳細は [メッセージ一覧（工場出荷時）] (☞ 86 ページ) をご覧ください。
C01 C02	ユーザー設定のチャイムです。

メモ :
- [クリアー] スイッチを押すと､"4 オンーアップハヤイ " が選択されます。
- 手順 ***4*** での選択肢によって､[メニュー/ 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと下記画面に移動します。
  - " キンキュウユウセン " を選択時、メッセージの有無選択画面（手順 ***8***）に戻ります。
  - " メッセージ " を選択時、緊急指定の選択画面（手順 ***6***）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと､メッセージ No が確定され､再生回数選択画面（手順 ***10***）に移ります。
(☞ 103 ページ)

10 メッセージの再生回数を選択する

① 変更スイッチ（◀▶）で、メッセージの再生回数を選択します。

設定値	動作内容
クリカエシ（繰り返し）	繰り返し再生します。
1カイ（1回）	1回のみ再生します。

```
キト゛ウニュウリョク
サイセイ：クリカエシ／1カイ
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、メッセージ No. 選択画面（手順 **9**）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、再生回数が確定され、音量設定画面（手順 ***11***）に移ります。

11 再生音量を設定する

① 選択スイッチ（▼▲）で、再生音量を選択します。
[設定範囲：0 〜 9]

```
サイセイオンリョウ
オオキサ：5
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、再生回数選択画面（手順 ***10***）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、再生音量が確定され、試聴選択画面（手順 ***12***）に移ります。

12 メッセージを試聴する

① メッセージ試聴画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で“ ハイ ”を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
シチョウシマスカ？
ハイ／イイエ
```

② 選択したメッセージが再生され設定保存選択画面（手順 ***13***）に移ります。

メモ：
- “ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、起動入力設定の継続選択画面（手順 ***14***）に移ります。

■ エラー発生時

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- ハードウェアの異常時

```
サイセイテ゛キマセン D
モト゛ル
```

- メッセージ異常時

```
サイセイテ゛キマセン P
モト゛ル
```

下記スイッチどれかを押すと、メッセージ No. 選択画面（手順 **9**）に戻ります。
- [決定] スイッチ
- [メニュー / 時計] スイッチ
- [戻る] スイッチ

13 起動入力の設定を保存する

メッセージを試聴し、問題なければ設定を保存します。

① 変更スイッチ(◀▶)で“ ホゾン ”を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
メッセーシ゛サイセイ
ホソ゛ン／モト゛ル
```

② 起動入力の設定が確定され、起動入力設定継続選択画面（手順 ***14***）に移ります。

メモ：
- “ モドル ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、メッセージ No 選択画面（手順 **9**）に戻ります。

14 起動入力の設定を続ける

① 起動入力設定継続選択画面が表示されたら、変更スイッチ（◀▶）で“ ハイ ”を選択し、[決定] スイッチを押します。

② 起動入力 No 選択画面(手順 **3**)に戻るので、手順 **3** 〜 ***14*** を繰り返し起動入力の設定を行ないます。
(☞ 101 ページ)

```
カイセンセッテイヲ ツツ゛ケル？
ハイ／イイエ
```

▼

```
キト゛ウニュウリョク
センタク：01
```

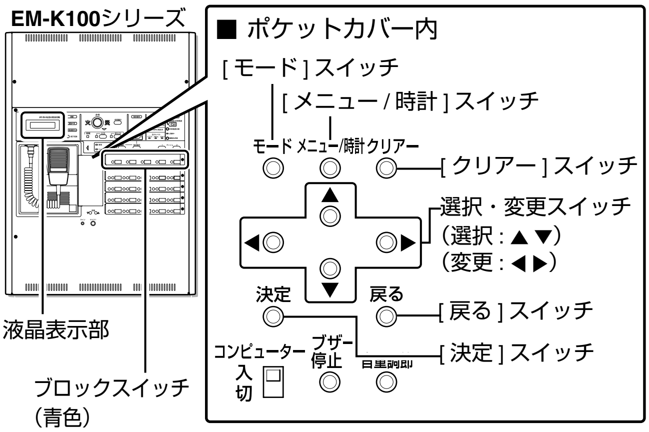
メモ：
- “ イイエ ”を選択し、[決定]スイッチを押すと起動入力設定画面（手順 **2**）に戻ります。(☞ 101 ページ)

システム設定

回線設定 (つづき)

マルチ業務リモコンの設定

マルチ業務リモコン (PA-C620) から EM-K100 シリーズ本体を操作することができます。
リモコンから操作する場合に、ブロックスイッチに割り当てる回線を設定します。



1 回線設定画面を表示させる（☞ 90 ページ）

```
1-4. カイセンセッテイ
1-4-1. ト゛ウイツカイ
```

2 マルチ業務リモコン設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-4-6.RM/ カクチョウ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、マルチ業務リモコン設定画面が表示されます。

```
1-4. カイセンセッテイ
1-4-6. RM/カクチョウ
```

▼

```
マルチRM No
センタク: 1
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4. カイセンセッテイ] 画面に戻ります。

3 今から設定を行うマルチ業務リモコンの番号を選択する

① 選択スイッチ（▲ ▼）でマルチ業務リモコンの番号を選択します。[選択範囲: 1 〜 9]

※ “9” を選択すると、液晶の表示が下記のようになります。

```
カクチョウユニット
センタク: 9
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-4-6.RM/ カクチョウ] 画面に戻ります。

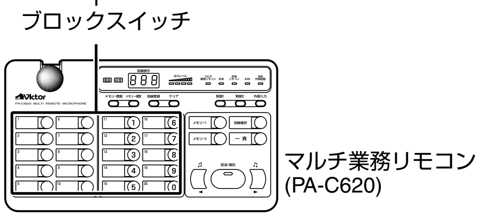
② [決定] スイッチを押すと、マルチ業務リモコンが確定され、放送ブロック選択画面（手順 ***4***）に移ります。

4 放送ブロックスイッチ No を選択する

マルチ業務リモコンのブロックスイッチ１〜２０を押したときに放送する回線を選択していきます。
まず、回線を割り付けるマルチ業務リモコンのブロックスイッチの番号を選択します。

① 選択スイッチ（▼ ▲）でマルチ業務リモコンの放送ブロック No を選択します。
[選択範囲:01 〜 20]

```
マルチRM1フ゛ロックNo
センタク (1-20) :01
```



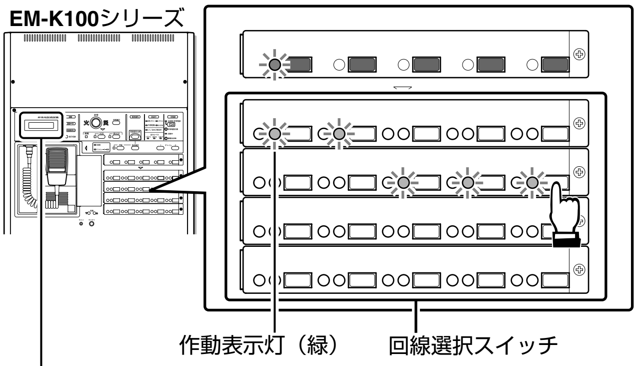
メモ :
- [クリアー] スイッチを押すと、“01” が選択されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、業務リモコン No 選択画面（手順 **3**）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、ブロックスイッチの番号が確定され、回線 No 選択画面（手順 ***5***）に移ります。

5 回線 No を選択する

手順 **4** で選択したマルチ業務リモコンのブロックスイッチを押した場合に放送される EM-K100 シリーズ本体の回線を選択します。

① 回線選択スイッチで回線 No を選択します。
- 選択した回線の作動表示灯が緑色に点灯します。
- 再度、回線選択スイッチを押すと作動表示灯が消灯し、選択が解除されます。




```
カイセンセンタク ブロック01
ホウソウカイスイッチヲ オス
```

メモ：
- [一斉] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチが選択（点灯）されます。
- [クリアー] スイッチを押すと、すべての放送階選択スイッチの選択が解除（消灯）されます。
- [メニュー/時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと放送ブロック No 選択画面（手順 **4**）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、回線 No が確定され、緊急指定選択画面（手順 **6**）に移ります。

6 緊急指定の設定を行う

マルチ業務リモコンからの放送時に各回線のアッテネーターの設定を無効にし、最大音量で放送する緊急指定の設定を行います。

① 変更スイッチ（◀ ▶）で緊急指定の設定を選択します。

設定値	内容
ツウジョウ （通常）	通常放送となります。 （アッテネーター有効、音量調節可能） ※工場出荷時は " ツウジョウ "
キンキュウ （緊急）	緊急指定となります。 （アッテネーター無効、音量調節不可）

```
マルチRM1
ツウシ゛ョウ/キンキュウ
```

```
カクチョウユニット
ツウシ゛ョウ/キンキュウ
```

メモ：
- [メニュー/時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押すと回線 No 選択画面（手順 **5**）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、緊急指定が確定され、設定の継続選択画面（手順 **7**）に移ります。

7 マルチ業務リモコンの設定を続ける

① マルチ業務リモコン設定継続選択画面が表示されたら、変更スイッチ（◀ ▶）で " ハイ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

② マルチ業務リモコン No 選択画面（手順 **3**）に戻るので、手順 **3** ～ **7** を繰り返し起動入力の設定を行ないます。

```
カイセンセッテイヲ ツツ゛ケル?
ハイ/イイエ
```

▼

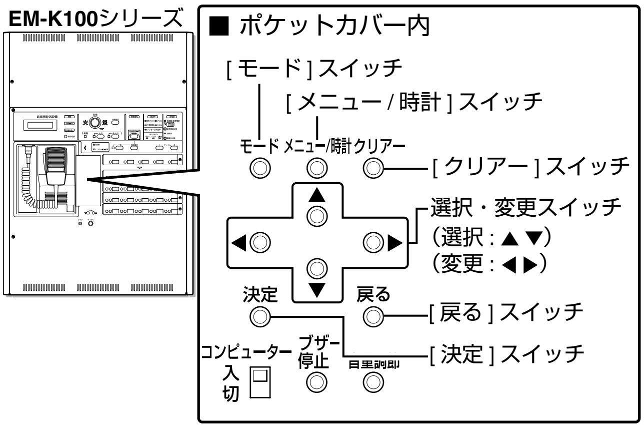
```
マルチRM No
センタク: 1
```

メモ：
- " イイエ " を選択し、[決定] スイッチを押すとマルチ業務リモコン設定画面（手順 **2**）に戻ります。

設定データ管理

設定画面の表示

メインメニューから設定データ管理画面を表示させます。設定データ管理画面から、設定データの初期化、データの保存、CF カードへの保存などを行います。



メモ :

- 設定データの保存場所は EM-K100 シリーズの本体メモリー（本機の基板上のフラッシュメモリー）となります。
- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押します。

1 メインメニュー画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させます。

```
メインメニュー
1.システムセッテイ
```

2 システム設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1. システムセッテイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
1.システムセッテイ
1-1.カンキョウセッテイ
```

3 回線設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-5. セッテイデータカンリ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

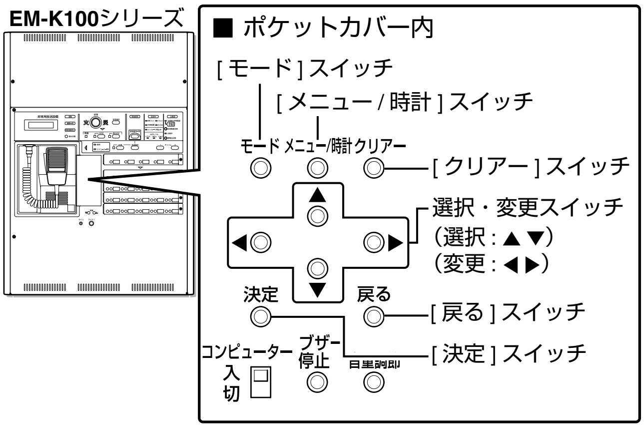
```
1.システムセッテイ
1-5.セッテイデ゛ータカンリ
```

■ 設定データ管理画面では、下記操作が行えます。

- [設定データの初期化] (☞ 106 ページ)
- [設定データの保存] (☞ 107 ページ)
- [設定データの CF カードへの保存] (☞ 109 ページ)
- [設定データをCFカードから読み込む] (☞ 110ページ)

設定データの初期化

EM-K100 シリーズ本体メモリーの設定データをすべて消去し、初期設定（工場出荷時）に戻します。



1 設定データ管理画面を表示させる（☞ 106 ページ）

```
1.システムセッテイ
1-5.セッテイデ゛ータカンリ
```

2 設定データ初期化画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“1-5-1. データショキカ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、設定データ初期化画面が表示されます。

```
1-5.セッテイデ゛ータカンリ
1-5-1.デ゛ータショキカ
```

▼

```
セッテイデ゛ータショキカ
ハイ/イイエ
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

3 設定データを初期化する

① 変更スイッチ（◀ ▶）で “ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

② 設定データがすべて消去され、システムが再起動します。初期化中は “ ショキカシテイマス…” と表示されます。

```
セッテイデ゛ータショキカ
ハイ/イイエ
```

▼

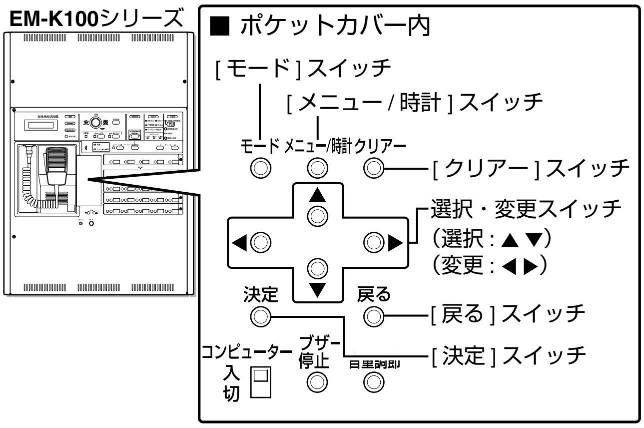
```
ショキカシテイマス・・・
```

メモ：
- 時計は初期化されません。時計表示の設定は " ナシ " になります。
- 履歴情報はすべて削除されます。
- " イイエ " を選択し、[決定] スイッチを押すと、初期化はキャンセルされ、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。

ご注意：
- 初期化したデータは復元することができません。
設定データの初期化を行うときは、設置支援アプリケーションソフト (EM-ZS100) で設定のバックアップを行うか、現在のデータをプログラムシートに記入してから初期化することをおすすめします。

設定データの保存

設定したデータを EM-K100 シリーズ本体のメモリーに保存できます。
1 日 1 回のメンテナンス時刻には自動的に設定データの保存が行われます。



1 設定データ管理画面を表示させる（☞ 106 ページ）

```
1.システムセッテイ
1-5.セッテイデ゛ータカンリ
```

2 設定データ保存画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、" 1-5-2. データホゾン " を選択し、[決定] スイッチを押すと、設定データ保存画面が表示されます。

```
1-5.セッテイデ゛ータカンリ
1-5-2.デ゛ータホゾ゛ン
```

▼

```
セッテイデ゛ータホゾ゛ン
ハイ/イイエ
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

3 設定データを保存する

① 変更スイッチ（◀▶）で " ハイ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

② 設定データが EM-K100 シリーズの本体メモリーに保存され、システムが再起動します。
データ保存中は " ホゾンシテイマス・・・" と表示されます。

```
セッテイデ゛ータホゾ゛ン
ハイ/イイエ
```

▼

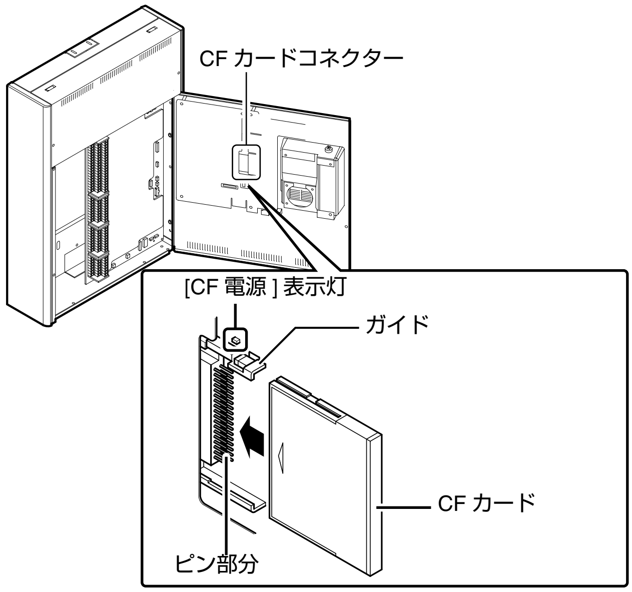
```
ホゾ゛ンシテイマス・・・
```

メモ：
- モニター音量と動作履歴は保存されません。
- " イイエ " を選択し、[決定] スイッチを押すと、データは保存されず、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。

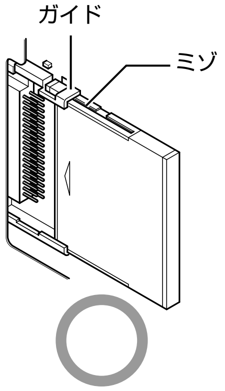
設定データ管理 (つづき)

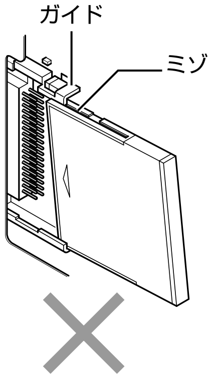
CF カードの使い方

EM-K100 シリーズ本体の設定データやメッセージデータなどを CF カードに保存できます。
CF カードを使用する場合、EM-K100 シリーズ本体の CPU 基板上にある CF カードスロットに CF カード（デジタルメモリーカード）を差し込んでください。



ご注意 :
- EM-K100シリーズ本体のCPU基板上にある[CF電源]表示灯は CF カードの通信時に点灯します。点灯時に CF カードの抜き差しを行うとデータが壊れます。
  CF カードの抜き差しは [CF 電源] 表示灯が消灯するのを待って行なってください。
- CF カードを CF カードスロットに挿入するとき、CF カードのミゾが CF カードスロットのガイド部分にはまった状態（CF カードが斜めの状態）で差し込まないでください。CF カードが CF カードスロットのガイド部分の奥に収まった状態でガイドに沿って真っすぐに差し込んでください。また、カードスロットのピン部分に触れたり、押して曲げたりしないでください。





■推奨 CF カード（デジタルメモリーカード）

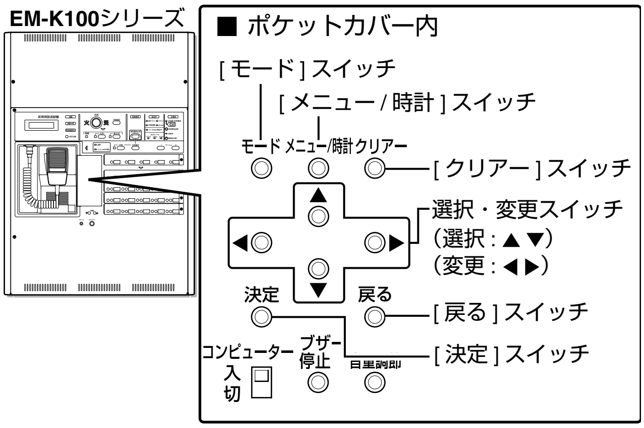
品番　：QAM0961-001(128M)
　　　：QAM0961-002(512M)

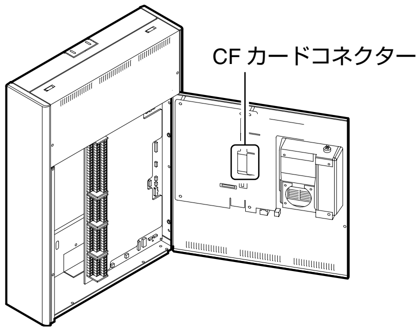
メモ :
- 購入についてはビクターサービス窓口へお問い合わせください。

設定データの CF カードへの保存

EM-K100 シリーズ本体の設定データや履歴、メッセージデータなどを CF カードに保存できます。CF カードコネクターは EM-K100 シリーズ本体の CPU 基板上にあります。CF カード（デジタルメモリーカード）を挿入してください。

(☞ 108 ページ [CF カードの使い方])





1 設定データ管理画面を表示させる（☞ 106 ページ）

```
1．システムセッテイ
1-5．セッテイデ゛ータカンリ
```

2 設定データ CF 保存画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“ 1-5-3.CF ニホゾン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、設定データ CF 保存画面が表示されます。

```
1-5．セッテイデ゛ータカンリ
1-5-3．CFニ ホゾ゛ン
```

▼

```
セッテイデ゛ータ CFホゾ゛ン
カキコミマスカ? ハイ/イイエ
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

3 設定データを CF カードに書き込む

① 変更スイッチ（◀ ▶）で “ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

② 設定データが CF カードに書き込まれます。
データ書き込み中は “ カキコミチュウ・・・” と表示され、正常に書き込みが終了したら “ カキコミ カンリョウ ” と表示されます。

```
セッテイデ゛ータ CFホゾ゛ン
カキコミマスカ? ハイ/イイエ
```

▼

```
セッテイデ゛ータ カキコミ
カキコミチュウ・・・
```

▼

```
セッテイデ゛ータ カキコミ
カキコミ カンリョウ
```

メモ :

- モニター音量は保存されません。
- “ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、データを書き込まず、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、データを書き込まず、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。

■ エラー表示について

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- CF カードがない場合

```
CFカ゛アリマセン
カート゛ヲ イレテ クタ゛サイ
```

- 正常に書き込めなかった場合

```
イシ゛ョウ ハッセイ
CFカクニン
```

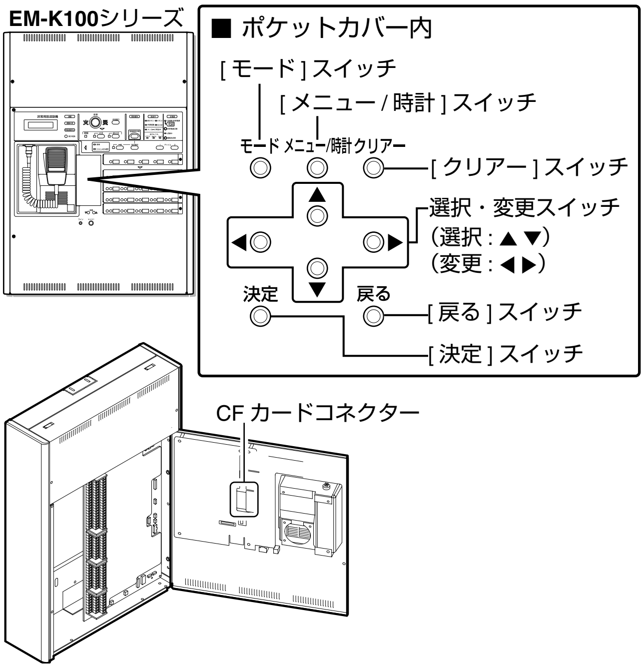
- CF カードがきちんと挿入されていない場合

```
CFマウントシッハ゜イ
CFカクニン
```

設定データ管理 (つづき)

設定データを CF カードから読み込む

CF カードに保存した設定データや履歴、メッセージデータなどを EM-K100 シリーズ本体のメモリーに読み込むことができます。
CF カードコネクターは EM-K100 シリーズ本体の CPU 基板上にあります。CF カード（デジタルメモリーカード）を挿入してください。
(☞ 108 ページ [CF カードの使い方])



1 設定データ管理画面を表示させる（☞ 106 ページ）

```
1.システムセッテイ
1-5.セッテイデ゛ータカンリ
```

2 設定データ CF から読み込み画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“1-5-4.CF カラ ヨミコミ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、設定データ CF から読み込み画面が表示されます。

```
1-5.セッテイデ゛ータカンリ
1-5-4.CFカラ ヨミコミ
```

▼

```
セッテイデ゛ータ CFヨミコミ
ヨミコミマスカ? ハイ/イイエ
```

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[1. システムセッテイ] 画面に戻ります。

3 設定データを CF カードから読み込む

① 変更スイッチ（◀▶）で “ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

② 設定データがCFカードからEM-K100シリーズ本体のメモリーに読み込まれ、システムが再起動します。
データ読み込み中は “ ヨミコミチュウ・・・” と表示されます。

```
セッテイデ゛ータ CFヨミコミ
ヨミコミマスカ? ハイ/イイエ
```

▼

```
セッテイデ゛ータ ヨミコミ
ヨミコミチュウ・・・
```

メモ :
- モニター音量は読み込まれません。
- “ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、データを読み込まず、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、データを読み込まず、[1-5. セッテイデータカンリ] 画面に戻ります。

■ エラー表示について

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- CF カードがない場合

```
CFカ゛アリマセン
カート゛ヲ イレテ クタ゛サイ
```

- CF カードにデータがない場合、またはデータが正常に読み込めなかった場合

```
イシ゛ョウ ハッセイ
CFカクニン
```

- CF カードにファイルがない場合

```
ファイルカ゛ アリマセン!
CFカクニン
```

- CF カードから読み込んだファイルにエラーがある場合

```
ファイルデ゛ータ イシ゛ョウ!
CFカクニン
```

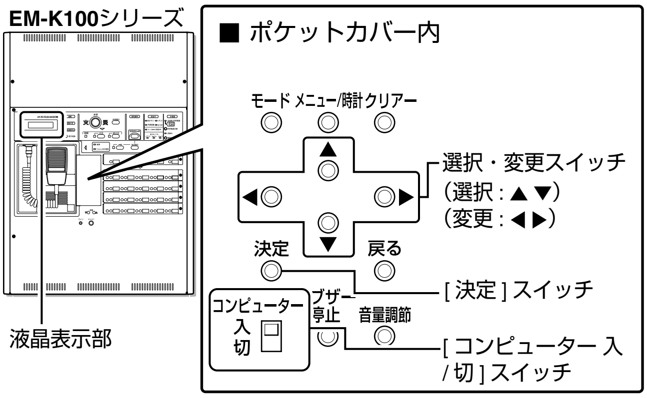
- 回線数の異なる機種のデータを読み込もうとした場合

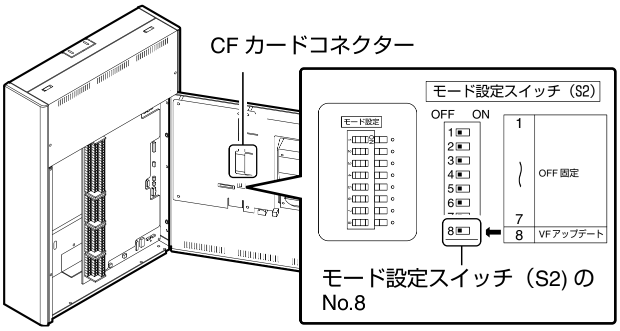
```
カイセンチカ゛イ
CFカクニン
```

- CF カードがきちんと挿入されていない場合

```
CFマウントシッハ゜イ
CFカクニン
```

CF カードから音源データをアップデートする





■業務放送用音源のアップデート

音源作成アプリケーションソフトウェア（EM-ZS100V）によって以下の業務放送用ユーザー音源を作成し、CF カードに音源データをアップデートすることができます。

- M01 〜 M12 の 12 種類のユーザーメッセージ
- C01、C02 の 2 種類のユーザーチャイム

ユーザーメッセージおよびユーザーチャイムは合計で約 10 分登録可能です。ただし、工場出荷時点で約 2 分登録済みとなっています。

1 **CF カードを CF スロットに差し込む**

2 **デジタルパワーアンプの電源を切る**

3 **EM-K100 シリーズ CPU 基板上のモード設定スイッチ (S2) の No.8 を "ON" にする**

4 **デジタルパワーアンプの電源を入れる**

数秒経過すると [コンピューター異常] 表示灯が点灯しますが、異常ではありません。

5 **液晶表示部に下記初期画面が表示**

① 変更スイッチ（◀▶）で " ユーザ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
VF UPDATE MODE
ユーザ゛/キ゛ョウム/ヒシ゛ョウ
```

② 変更スイッチ（◀▶）で YES を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
VF UPDATE MODE
ユーザ゛update? Y/N
```

③ アップデート開始（バックライト消灯）

```
VF UPDATE MODE
updating!
```

④ アップデート完了（バックライト点灯）

```
VF UPDATE MODE
complete!
```

メモ :

- CF カードが差し込まれていない場合は下記表示となりますので、CF カードを差し込んでください。

```
VF UPDATE MODE
Please insert CF
```

6 **デジタルパワーアンプの電源を切る**

7 **EM-K100 シリーズ CPU 基板上のモード設定スイッチ (S2) の No.8 を "OFF" にする**

8 **デジタルパワーアンプの電源を入れる**

メモ :

- アップデートの時間は 1 分〜 2 分です。
- CPU 基板上のモード設定スイッチのモード設定を切り換える前後でデジタルパワーアンプの電源を OFF/ON するかわりに、[コンピューター 入 / 切] スイッチを切 / 入して設定を更新することもできます。
  その場合、[コンピューター 入 / 切] スイッチを 2 秒以上 " 切 " にしてから " 入 " にしてください。
- ユーザー音源を作成される場合は、販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口までご相談ください。

ご注意 :

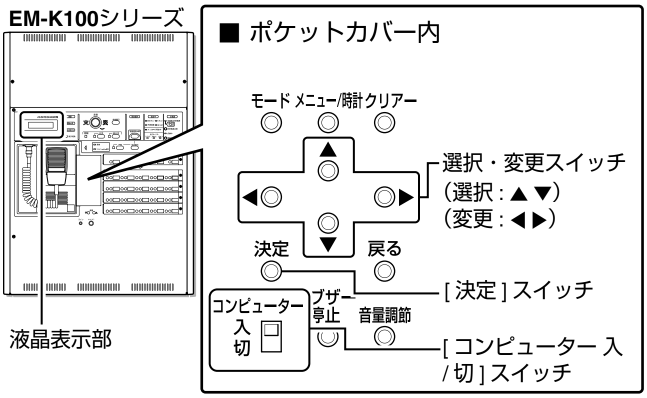
- CFカードのアップデート中に[CF電源]表示灯が点灯しますが、この状態で CF カードの抜き差しはしないでください。
- CF カードからアップデートを行なった場合、CF カードは紛失しないよう本体に挿したままにしてください。次回のアップデデート時、CF カードの内容が元データとして活用されます。

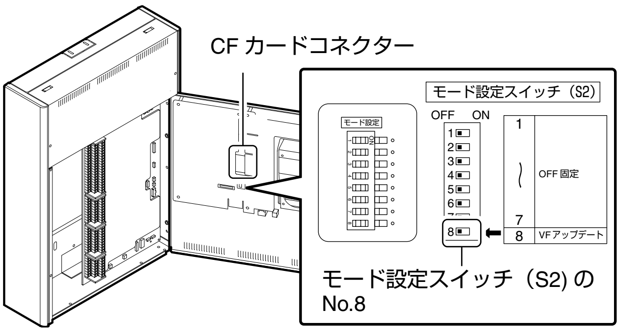
設定データ管理 (つづき)

CF カードから音源データをアップデートする (つづき)

■非常放送用メッセージ（音声）のアップデート

非常放送用メッセージ（音声）データを CF カードからアップデートすることができます。





メモ :
- 非常放送用メッセージ（音声）の内容は法律で定めれた内容となっておりますので、変更する場合はビクター営業窓口までご相談ください。

1 CF カードを CF スロットに差し込む

2 デジタルパワーアンプの電源を切る

3 EM-K100 シリーズ CPU 基板上のモード設定スイッチ (S2) の No.8 を "ON" にする

4 デジタルパワーアンプの電源を入れる

数秒経過すると [コンピューター異常] 表示灯が点灯しますが、異常ではありません。

5 液晶表示部に下記初期画面が表示

① 変更スイッチ（◀▶）で " ヒジョウ " を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
VF UPDATE MODE
ﾕｰｻﾞ/ｷﾞｮｳﾑ/ﾋｼﾞｮｳ
```

② 変更スイッチ（◀▶）で YES を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
VF UPDATE MODE
ﾋｼﾞｮｳ update? Y/N
```

③ アップデート開始（バックライト消灯）

```
VF UPDATE MODE
updating!
```

④ アップデート完了（バックライト点灯）

```
VF UPDATE MODE
complete!
```

メモ :
- CF カードが差し込まれていない場合は下記表示となりますので、CF カードを差し込んでください。

```
VF UPDATE MODE
Please insert CF
```

6 デジタルパワーアンプの電源を切る

7 EM-K100 シリーズ CPU 基板上のモード設定スイッチ (S2) の No.8 を "OFF" にする

8 デジタルパワーアンプの電源を入れる

メモ :
- アップデートの時間は 1 分～ 2 分です。
- CPU 基板上のモード設定スイッチのモード設定を切り換える前後でデジタルパワーアンプの電源を OFF/ON するかわりに、[コンピューター 入 / 切] スイッチを切 / 入して設定を更新することもできます。その場合、[コンピューター 入 / 切] スイッチを 2 秒以上 " 切 " にしてから " 入 " にしてください。

ご注意 :
- CFカードのアップデート中に[CF電源]表示灯が点灯しますが、この状態で CF カードの抜き差しはしないでください。
- CF カードからアップデートを行なった場合、CF カードは紛失しないよう本体に挿したままにしてください。次回のアップデデート時、CF カードの内容が元データとして活用されます。

確認

確認の概要 114
システム点検モードによる確認 114
システム動作の確認 - 非常放送動作の確認 122
システム動作の確認 - 業務放送の動作確認 129
動作点検モードによる確認 132
動作点検モードによる確認 - 動作点検を行う 133
履歴情報の確認 135
履歴情報コード一覧 137
消防用設備の検査準備 141

確認の概要

設置工事・システム設定後には、システム点検モードによる確認とシステム動作の確認を実施してください。

システム点検モードによる確認（☞ 114 ページ）

確認時、館内スピーカーから音がでます。（300 Hz の正弦波）十分考慮のうえ、確認してください。

■ 確認内容

- システム構成の確認
- スピーカー回線の短絡点検
- パワーアンプの点検
- 蓄電池の点検

システム動作の確認（☞ 122 ページ）

システム全体の動作を確認します。
館内スピーカーから実際に音を出して確認するので、必ず試験放送中ということを案内したうえで確認作業を実施してください。
特に非常放送動作の確認では、音声警報メッセージが放送されます。十分配慮のうえ、確認してください。

■ 確認内容

- 放送階選択スイッチとスピーカー回線の確認
- 非常放送の動作確認
  手動起動時の確認
  感知器起動時の確認
  発信機起動時の確認
  非常制御動作の確認
  停電動作の確認
- 業務放送の動作確認
  ブロックスイッチの確認
  起動入力の確認
  マルチ業務リモコンの確認
  停電動作の確認
- コンピュータスイッチ [切] 時の動作確認

システム点検モードによる確認

点検の概要

システム点検機能によって自動点検を開始し、動作の確認を行います。
自動点検を行うことで、システム変更工事の最終点検や、定期点検などを短時間で行えます。
自動点検で行える動作確認の内容は下記です。

点検項目	点検内容	検出項目
システム構成確認	接続されている主要ユニットの情報を自動収集し、表示します。※1	バージョン ※2 接続台数
SP 回線短絡点検	全回線の短絡試験を自動的に行います。短絡回線が検出された場合は履歴が残ります。 （☞ 135 ページ [履歴情報の確認]）	短絡回線
パワーアンプ点検	全スピーカー回線負荷でのパワーアンプの定格出力試験を自動的に行います。	パワーアンプ異常 (1) 出力異常 (2) 定格出力不足
蓄電池点検 ※3	各蓄電池の放電試験を自動的に行います。	蓄電池電圧異常
全項目点検	上記点検項目を自動的にすべて行います。	各項目ごとに表示

※1 ：主要ユニット ➔EM-K100 シリーズ、EM-C100 シリーズ、PA-C620、EM-KA シリーズ

※2 ：EM-K100 シリーズ本体では本体ソフトウェア、ハード（FPGA- メイン /FPGA-P/CPLD）および、メッセージファイル（VF ヒジョウ /VF ギョウム /VF ユーザ）のバージョンを検出・表示します。
他のユニットでは、ソフトウェアのバージョンを検出表示します。

※3 ：デジタルパワーアンプの電源が入っていること、また蓄電池が接続されていることを確認してから点検を行なってください。

ご注意 :

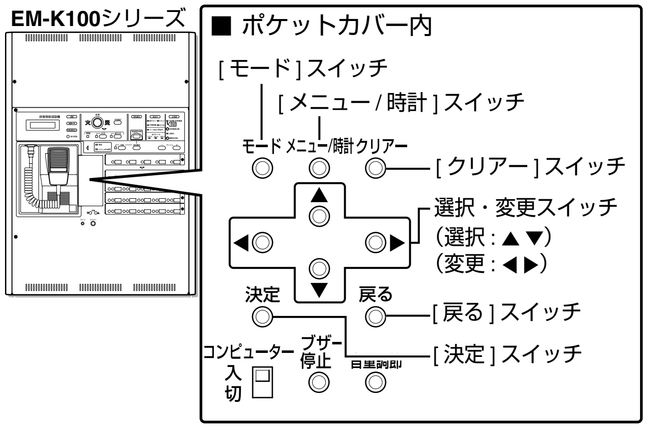
- パワーアンプの定格出力よりもスピーカー負荷の総和が大きい（過負荷）とき、パワーアンプ異常が検出されます。
- 工場出荷時、蓄電池はフル充電されていません。そのため、蓄電池電圧異常が検出されることがあります。

メモ :

- 音量調節や負荷の状態によって、SP 回線短絡点検やパワーアンプ点検で異常が検出できない場合があります。
- 日常の点検内容については、[取扱説明書] の [日常の点検について] の項目をご覧ください。

システム点検画面の表示

メインメニューからシステム点検画面を表示させせます。
システム点検画面から、システム構成の確認、スピーカー回線の短絡点検、パワーアンプ点検、蓄電池点検、全項目点検などを行います。



メモ :

- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押します。

1 メインメニュー画面を表示させせる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させせます。

メインメニュー 1.システムセッテイ

2 システム点検画面を表示させせる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“3. システムテンケン ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

3.システムテンケン 3-1.システムコウセイカクニン

3 点検項目を選択する

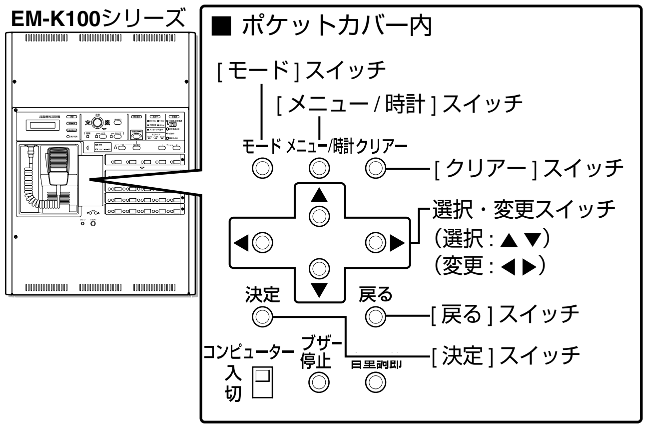
システム点検画面では、下記項目が選択できます。
点検項目を選択し、[決定] スイッチを押します。

- [システム構成の確認] (☞ 116 ページ)
- [スピーカー回線の短絡点検] (☞ 117 ページ)
- [パワーアンプ点検] (☞ 118 ページ)
- [蓄電池点検] (☞ 119 ページ)
- [全項目点検] (☞ 120 ページ)

システム点検モードによる確認 (つづき)

システム構成の確認

接続されている主要ユニットの情報を自動収集し、表示します。



1 システム点検画面を表示させる（☞ 115 ページ）

3 .システムテンケン
3−1 .システムコウセイカクニン

2 システム構成確認画面を表示させる

選択スイッチ（▲ ▼）で、“3-1. システムコウセイカクニン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、システム構成確認画面が表示されます。

3 .システムテンケン
3−1 .システムコウセイカクニン

▼

システムコウセイ←マエ／ツギ→
K100 v1−00

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

3 確認結果を表示する

変更スイッチ（◀ ▶）で接続されている機器の確認結果を表示します。

システムコウセイ←マエ／ツギ→
K100 v1−00

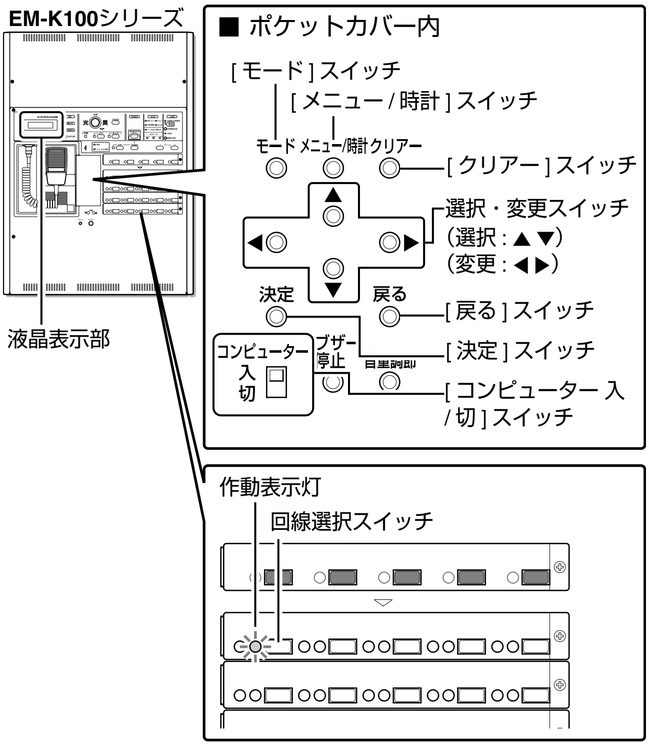
表示	内容
K100 v1-00	EM-K100 シリーズ本体のソフトウェアバージョンが表示されます。
アンプー KA※※※D v01	アンプのハードウェアバージョンが表示されます。（※※※ には接続されているアンプの型番 “80”、“160”、“240”、“380” が入ります。）
C100-1 ～ 4 v1-00	非常リモコン (EM-C100 シリーズ) のソフトウェアバージョンが表示されます。接続台数 4 台まで検出されます。
C620-1 ～ 8 v1-00	マルチ業務リモコン (PA-C620) のソフトウェアバージョンが表示されます。接続台数 8 台まで検出されます。
VF ヒジョウ v1-00	EM-K100 シリーズ本体の非常メッセージファイルのソフトウェアのバージョンが表示されます。
VF ギョウム 1-00	EM-K100 シリーズ本体の業務メッセージファイルのソフトウェアバージョンが表示されます。
VF ユーザ v1-00	EM-K100 シリーズ本体のユーザーメッセージファイルのソフトウェアバージョンが表示されます。
FPGA- メイン v01	EM-K100 シリーズ本体のハードウェアバージョンが表示されます。
FPGA-P v01	
CPLD v01	

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。
- 接続されている主要ユニットが正しく検出されないときは、システム点検を終了し、下記のことを確認してください。要因を修復後、再度システム構成の確認を実行し、正しく検出されることを確認してください。
  - ユニット接続
  - 各ユニットの設定スイッチ
  - システム設定
  - プログラムシートの確認

スピーカー回線の短絡点検

すべてのスピーカー回線の短絡点検を自動的に行います。



1 システム点検画面を表示させる（☞ 115 ページ）

3.システムテンケン
3-1.システムコウセイカクニン

2 スピーカー回線短絡点検を実行する

選択スイッチ（▲▼）で、“3-2. カイセンタンラクテンケン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、スピーカー回線短絡点検が実行されます。

まず緊急リレー OFF で 1 回線ずつ順番に点検を行い、次に緊急リレー ON で全回線を点検します。

3.システムテンケン
3-2.カイセンタンラクテンケン

▼

SPカイセンタンラクテンケン
ジッコウチュウ 00%

メモ：

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

3 点検結果の表示

下記のように点検結果が表示されます。

【正常な場合】

- 画面に、“ イジョウナシ ” と表示されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

SPカイセンタンラクテンケン
イジョウナシ

【短絡が検出された場合】

- 画面に、SP 回線番号が表示されます。
- 緊急リレー OFF で短絡検出した回線は緊急リレー ON での点検は行いません。
- 緊急リレー ON で短絡検出された場合は、回線番号の右に “r” が表示されます。
- 複数の短絡検出した場合は、変更スイッチ（◀▶）ですべての結果を表示します。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

カイセンタンラクNo
◀001r,002,003▶

回線番号

メモ：

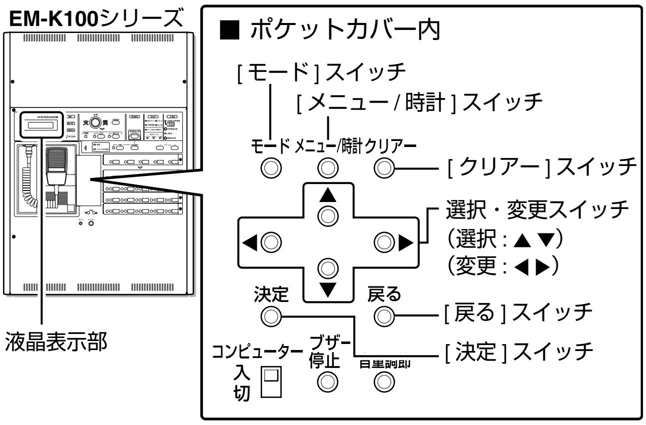
- 短絡が検出されたときはシステムを終了して、異常回線のケーブル接続などを再点検してください。
- 短絡箇所を修復後、[コンピューター 入 / 切] スイッチを 3 秒間 “ 切 ” にしたあと、“ 入 ” にして短絡回線の表示をクリアします。
- 短絡回線の表示をクリアしたら、再度スピーカー回線の短絡点検を実行してください。
- BGM などの音量が小さい場合、短絡検出が働かないことがあります。また、短絡検出が働く前にパワーアンプ異常が発生する場合があります。

SPカイセンタンラクテンケン
アンプイジョウハッセイ

システム点検モードによる確認 (つづき)

パワーアンプ点検

全スピーカー回線負荷でのパワーアンプの定格出力試験を行います。



1 システム点検画面を表示させる（☞ 115 ページ）

3.システムテンケン
3-1.システムコウセイカクニン

2 パワーアンプ点検を実行する

選択スイッチ（▲▼）で、“3-3. パワーアンプテンケン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、パワーアンプ点検が実行されます。

3.システムテンケン
3-3.パ゜ワーアンフ゜テンケン

▼

パ゜ワーアンフ゜テンケン
シ゛ッコウチュウ

メモ :
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

3 点検結果の表示

下記のように点検結果が表示されます。

【正常な場合】
- 画面に、“ イジョウナシ ” と表示されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

パ゜ワーアンフ゜テンケン
イシ゛ョウナシ

【異常が検出された場合】
- 画面に、“ イジョウハッセイ ※※” と表示されます。（※※ にはツウシン、02 ～ 0D のエラーコードが表示）
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

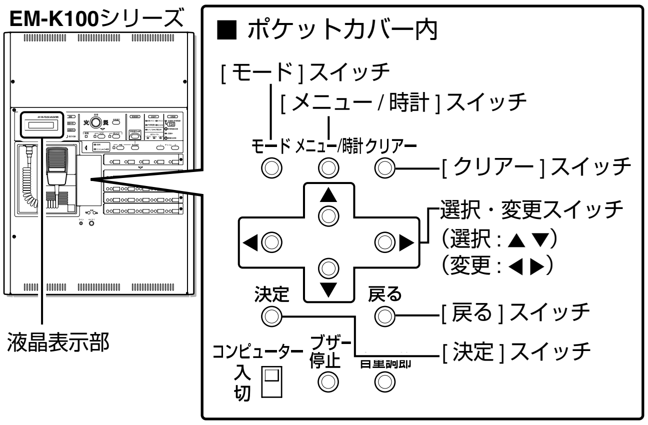
パ゜ワーアンフ゜テンケン
イシ゛ョウハッセイ 02

エラーコード

メモ :
- パワーアンプ動作異常が検出されたときはシステムを終了して、接続されているスピーカー回線負荷の総和などを再確認します。
  また、スピーカー回線の短絡が発生している可能性もありますので、スピーカー回線の短絡点検を実施してください。（☞ 143 ページ）
  修復後、再度パワーアンプ点検を実行してください。
- エラーコードの詳細は、[エラー表示一覧] (☞ 146 ページ) をご覧ください。

蓄電池点検

EM-K100 シリーズ本体に収納された非常用蓄電池および、追加電源ユニット (EM-N103) に収納された、業務放送用の蓄電池を各々に点検し、各々の結果を表示します。



1 システム点検画面を表示させる（☞ 115 ページ）

```
3.システムテンケン
3-1.システムコウセイカクニン
```

2 蓄電池点検を実行する

選択スイッチ（▲ ▼）で、“3-4. チクデンチテンケン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、蓄電池点検が実行されます。

```
3.システムテンケン
3-4.チクデ゛ンチテンケン
```

▼

```
チクデ゛ンチテンケン
シ゛ッコウチュウ
```

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

3 点検結果の表示

下記のように点検結果が表示されます。

【正常な場合】

- 画面に、“ イジョウナシ ” と表示されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

```
キ゛ョウム:イシ゛ョウナシ
ヒシ゛ョウ:イシ゛ョウナシ
```

メモ :

- “ ギョウム ” は追加電源ユニット (EM-N103) に収納された業務放送用の蓄電池の点検結果、“ ヒジョウ ” は EM-K100 シリーズ本体に収納された非常放送用の蓄電池の点検結果を表します。

【異常が検出された場合】

- 画面に、“ イジョウアリ ” と表示されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

```
キ゛ョウム:イシ゛ョウアリ
ヒシ゛ョウ:イシ゛ョウナシ
```

【蓄電池が接続されていない場合】

- 画面に、“ デンチアリマセン ” と表示されます。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

```
キ゛ョウム:テ゛ンチアリマセン
ヒシ゛ョウ:イシ゛ョウナシ
```

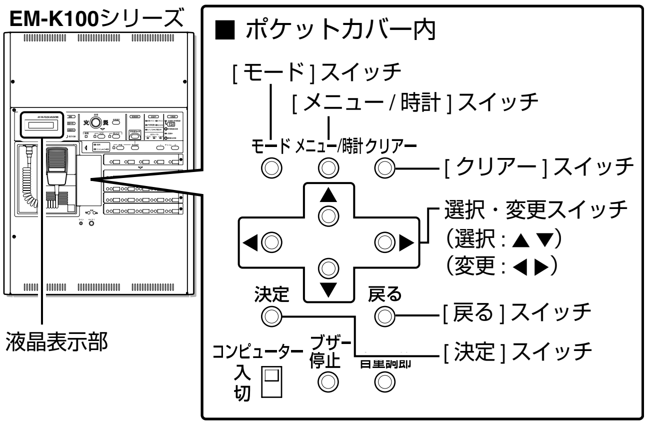
メモ :

- 追加電源ユニット (EM-N103) を使用していないシステムでは “ ギョウム : デンチアリマセン ” と表示されますが、異常ではありません。
- 蓄電池異常が検出されたときはシステムを終了して、下記の内容を再確認します。
  修復後、再度蓄電池点検を実行してください。
  - 電池接続
  - 充電電流切換スイッチ設定
  - 充電時間など

システム点検モードによる確認 (つづき)

全項目点検

全項目点検を実行すると、システム構成確認をのぞくすべての項目を自動的に点検します。



1 システム点検画面を表示させる（☞ 115 ページ）

3.ｼｽﾃﾑﾃﾝｹﾝ
3-1.ｼｽﾃﾑｺｳｾｲｶｸﾆﾝ

2 全項目点検を実行する

選択スイッチ（▲ ▼）で、“3-5. ゼンコウモクテンケン ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、各項目の点検が実行されます。

- [　] の中に点検中の項目が表示されます。

3.ｼｽﾃﾑﾃﾝｹﾝ
3-5.ｾﾞﾝｺｳﾓｸﾃﾝｹﾝ

▼

ｾﾞﾝｺｳﾓｸﾃﾝｹﾝ
[ｽﾋﾟｰｶｰｶｲｾﾝﾀﾝﾗｸ]

▼

ｾﾞﾝｺｳﾓｸﾃﾝｹﾝ
[ﾊﾟﾜｰｱﾝﾌﾟ]

▼

ｾﾞﾝｺｳﾓｸﾃﾝｹﾝ
[ﾁｸﾃﾞﾝﾁ]

メモ :

- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

3 点検結果の表示

- 点検が終了したら選択スイッチ（▲ ▼）で、各項目の結果を表示させます。
- 結果の見かたについては各項目の点検ページを参照してください。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[3. システムテンケン] 画面に戻ります。

■結果の表示例

【パワーアンプ点検結果】

ｹｯｶ:ﾊﾟﾜｰｱﾝﾌﾟ
ｲｼﾞｮｳﾅｼ

ｹｯｶ:ﾊﾟﾜｰｱﾝﾌﾟ
ｲｼﾞｮｳﾊｯｾｲ 02

【スピーカー回線短絡点検結果】

ｹｯｶ:SPｶｲｾﾝﾀﾝﾗｸ
ｲｼﾞｮｳﾅｼ

ｹｯｶ:SPｶｲｾﾝﾀﾝﾗｸ
←001r,002,003→

ｹｯｶ:SPｶｲｾﾝﾀﾝﾗｸ
ｱﾝﾌﾟｲｼﾞｮｳﾊｯｾｲ

【蓄電池点検結果】

ｹｯｶ:ﾋｼﾞｮｳ ﾁｸﾃﾞﾝﾁ
ｲｼﾞｮｳﾅｼ

ｹｯｶ:ｷﾞｮｳﾑ ﾁｸﾃﾞﾝﾁ
ｲｼﾞｮｳﾊｯｾｲ

ｹｯｶ:ｷﾞｮｳﾑ ﾁｸﾃﾞﾝﾁ
ﾁｸﾃﾞﾝﾁﾊｱﾘﾏｾﾝ

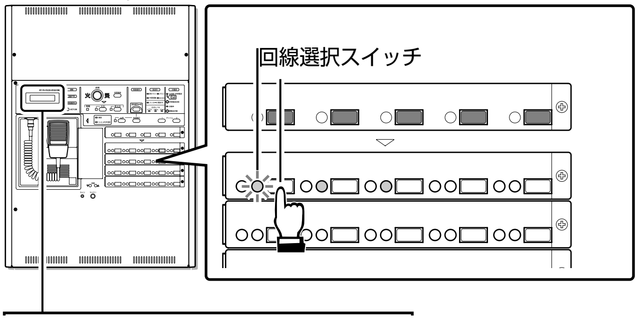
放送階選択・スピーカー回線の確認

放送階選択 - 同一階連動設定プログラムシートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

1 すべての放送階選択スイッチの放送場所の動作確認をする

- 放送階選択スイッチを押し、マイク放送をします。
- すべての放送階選択スイッチの放送場所の動作確認を行ないますので、順番に押してください。

EM-K100シリーズ

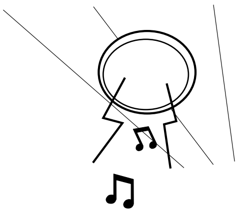


2 スピーカー回線・エリアの動作確認をする

放送階選択スイッチに設定したスピーカー回線・スピーカーエリアのスピーカーからマイク音が出力されていることを確認してください。

3 アッテネーターの動作確認をする

- アッテネーターが使用されているときは音量調節つまみを操作して、動作が正常であることを確認してください。
- 緊急指定されたブロックに接続されているスピーカー回線・スピーカーエリアのアッテネーターは、つまみを操作しても、音量調節ができないことを確認してください。音量調節に関係なく、最大音量での放送となります。



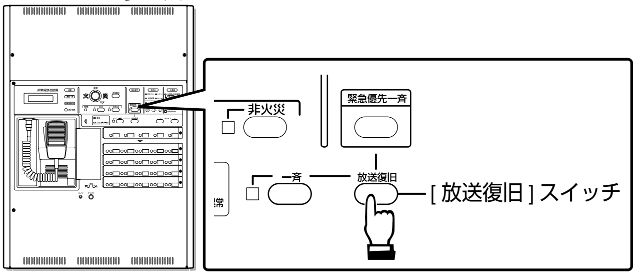
4 すべての放送階選択スイッチを確認する

すべての放送階選択スイッチごとに設定したスピーカー回線／スピーカーエリアのスピーカー、アッテネーターが正常に動作していることを確認してください。

5 通常状態へ戻す

動作確認が終了したら、放送復旧スイッチを押し、確認を終了します。

EM-K100シリーズ



システム動作の確認 - 非常放送動作の確認

手動起動時の確認

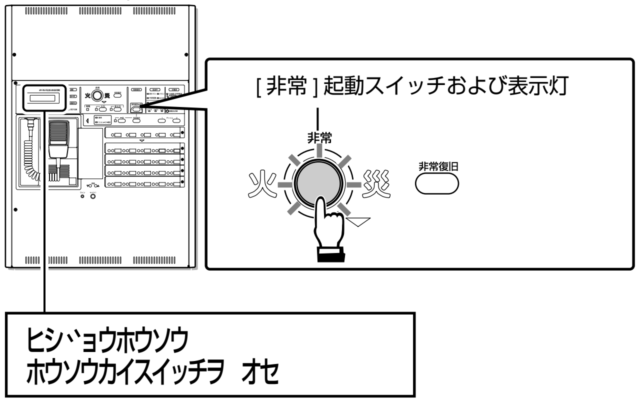
環境 / 非常放送動作設定プログラムシート、放送階選択同一階連動設定シートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

■ 放送階選択、同一階連動階の確認

1 [非常] 起動スイッチを押す

火災灯が点灯し、液晶表示部に、" ホウソウカイスイッチヲ　オセ " と表示されます。
また、音声ガイドにて、「出火階の放送選択スイッチを押してください。」とモニタースピーカーから音声ガイドが流れます。

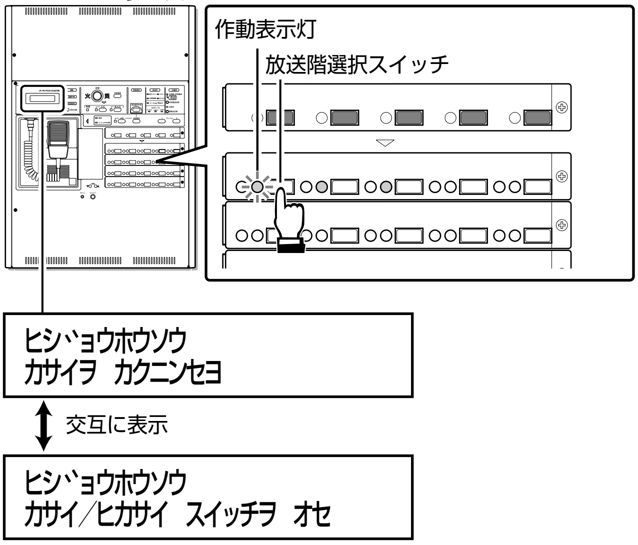
EM-K100シリーズ



2 出火階の放送階選択スイッチを押す

館内スピーカーから発報放送が行われ、液晶表示部に、" カサイヲ　カクニンセヨ " と " カサイ / ヒカサイ　スイッチヲ　オセ " が交互に表示されます。

EM-K100シリーズ

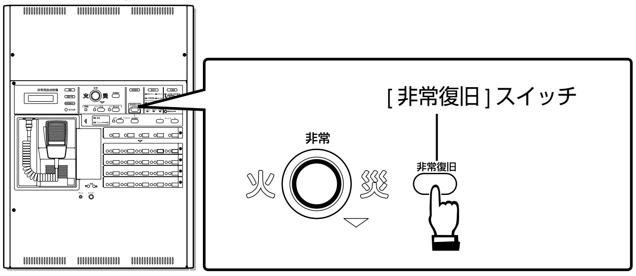


すべての放送階選択スイッチの動作確認を行ないます。
手順に従って操作してください。

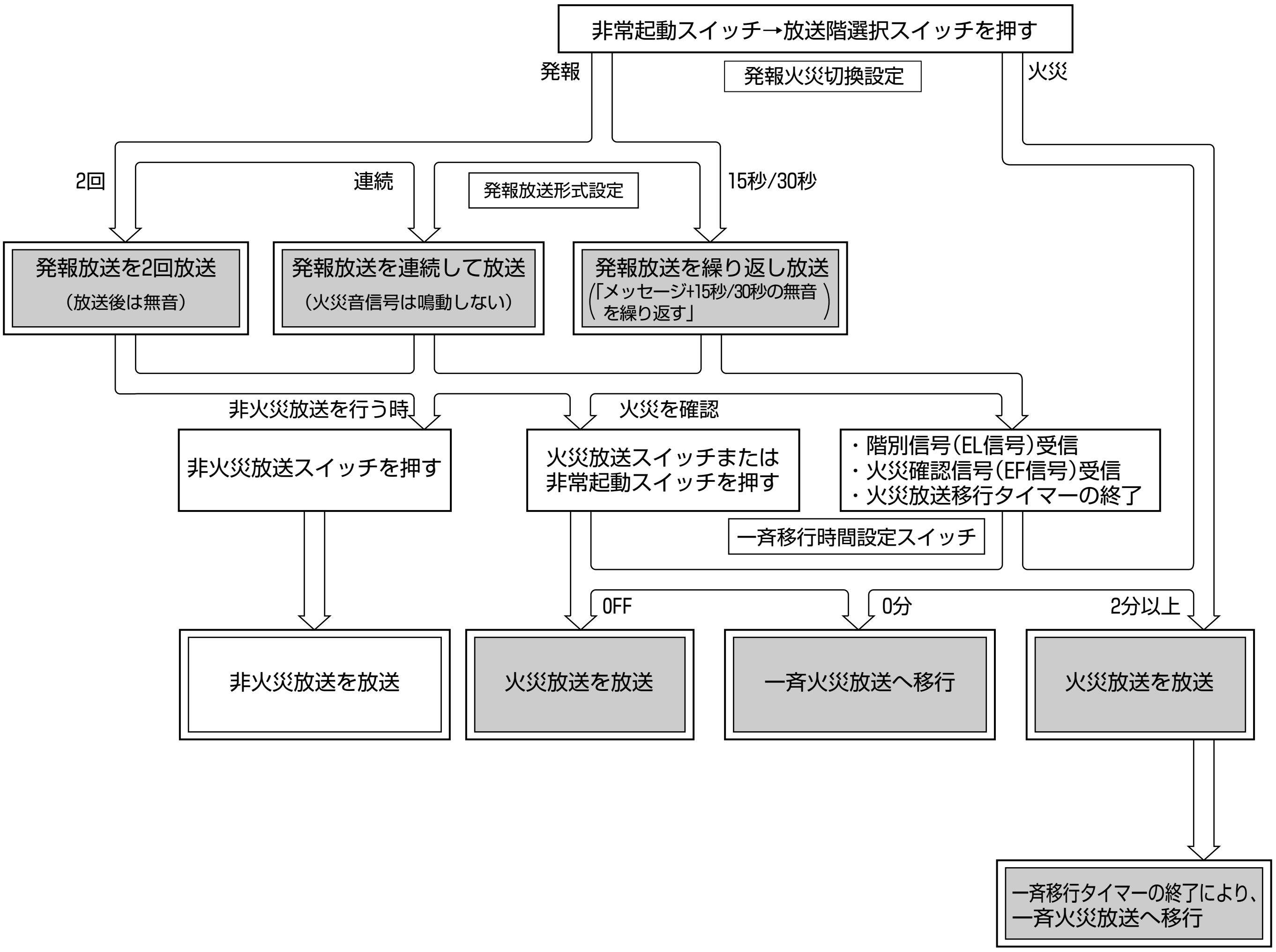
① 作動表示灯の点灯確認
同一階に存在する放送階選択スイッチの作動表示灯が点灯することを確認してください。
また、手動起動動作設定が「連動」の場合は、連動階の放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。あわせて確認してください。

② すべての「放送階選択スイッチ」についての確認
放送階選択スイッチに対応した階を出火階として動作確認を行なってください。
確定後、[非常復旧] スイッチを押して、次の階の動作確認を行なってください。

EM-K100シリーズ



■ 非常放送の動作設定（発報火災切換、発報放送形式、一斉移行時間など）によって、次のように動作することを確認する



メモ：

● ▢ の音声警報は、自動火災報知設備からの階別火災信号（EL）の受信がない場合には、出火階情報のないメッセージが放送されます。

発報放送　：「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」（女性の声）
火災放送　：「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」（男性の声）

システム動作の確認 - 非常放送動作の確認 (つづき)

感知器起動時の確認

環境 / 非常放送動作設定プログラムシート、放送階選択同一階連動設定シートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

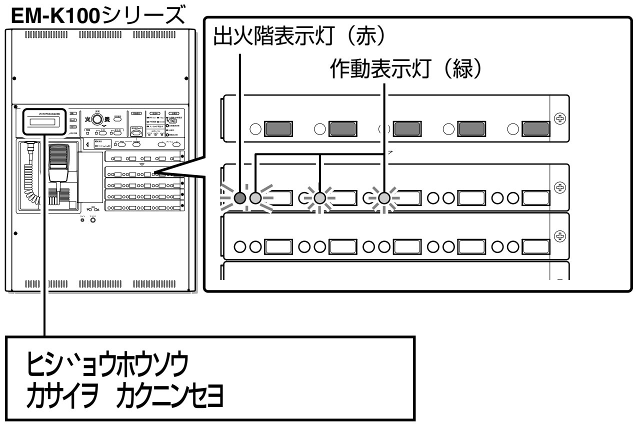
■ 放送階選択、同一階連動階の確認

1 自動火災報知設備の試験起動をする

階別火災信号（EL）を試験起動で発報させます。

2 階別火災信号（EL）受信時の動作確認をする

- 階別火災信号（EL）を受信すると、液晶表示部に下記のように表示されることを確認します。
- 受信した階別火災信号（EL）に対応する放送階選択スイッチの出火階表示灯の点灯（赤色）を確認してください。
- 出火階、連動階の作動表示灯の点灯（緑色）を確認してください。

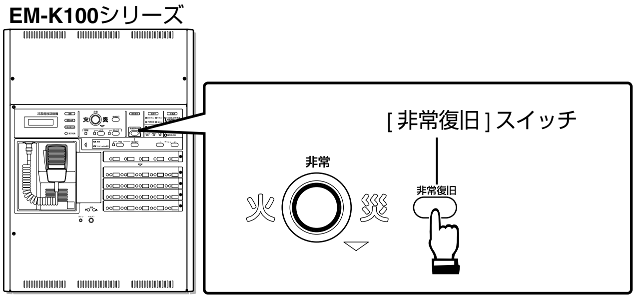


3 すべての階別火災信号（EL）受信時の動作確認をする

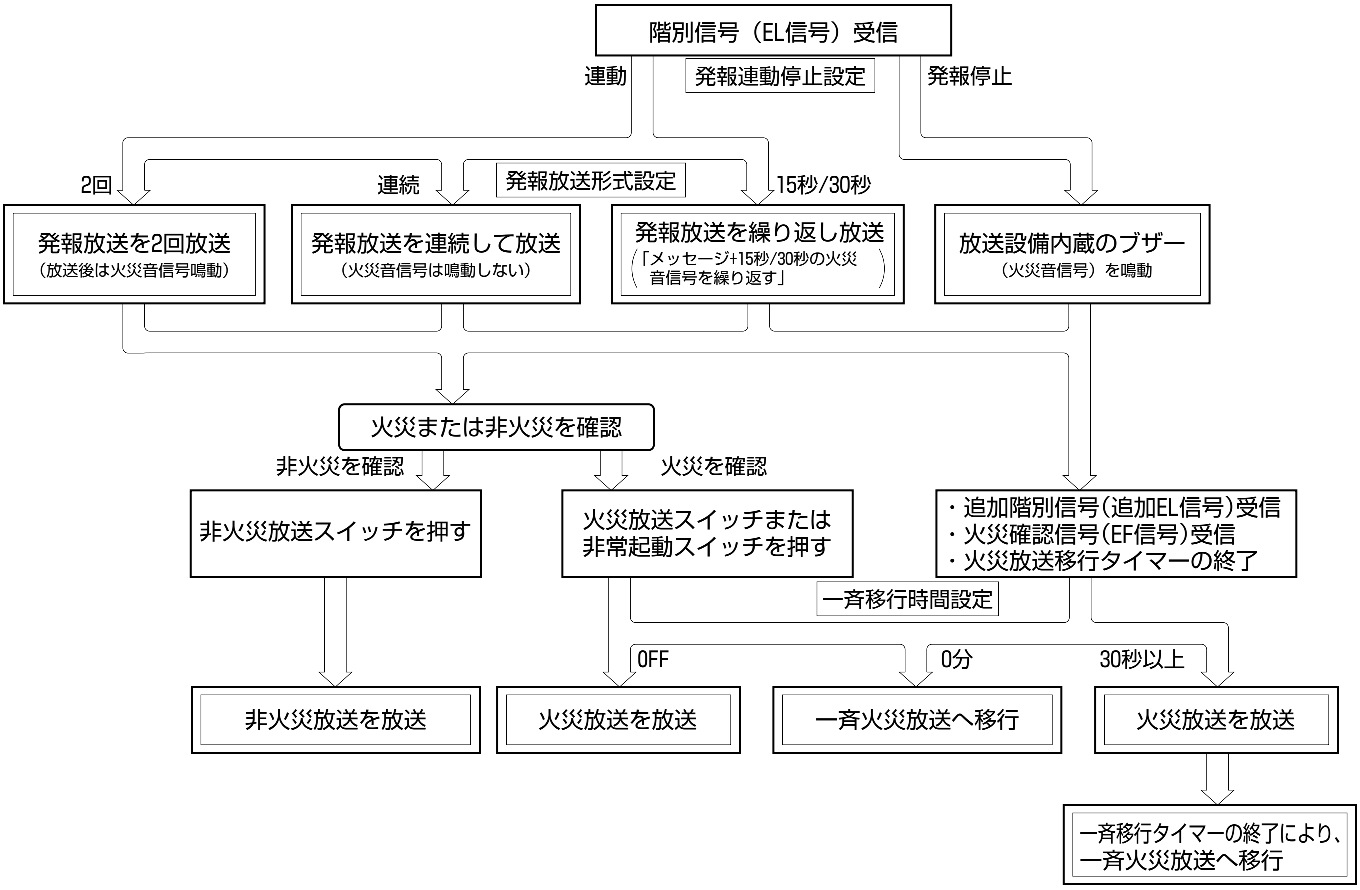
接続した階別火災信号（EL）すべてを順番に試験起動させ、出火階表示灯の点灯、出火階・連動階の作動表示灯が点灯することを確認してください。

メモ :

- 階別火災信号（EL）を受信すると、発報放送または火災音信号が鳴動します。
  動作確認後、[非常復旧] スイッチを押し非常放送復旧し、次の階の火災信号受信時の動作確認を行なってください。これを繰り返し、すべての階別火災信号（EL）受信時の動作を確認します。



■ 非常放送の動作設定（発報火災切換、発報放送形式、一斉移行時間など）によって、次のように動作することを確認する



システム動作の確認 - 非常放送動作の確認 (つづき)

発信機起動時の確認

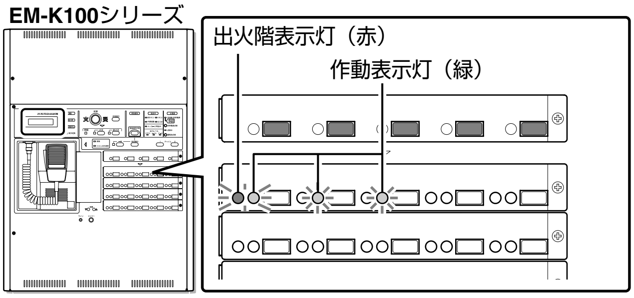
環境 / 非常放送動作設定プログラムシート、放送階選択同一階連動設定シートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

1 自動火災報知設備の試験起動をする（EL+EF）

任意の階別火災信号（EL）と火災確認信号（EF）を同時に発報させ、非常用放送設備の動作を確認してください。

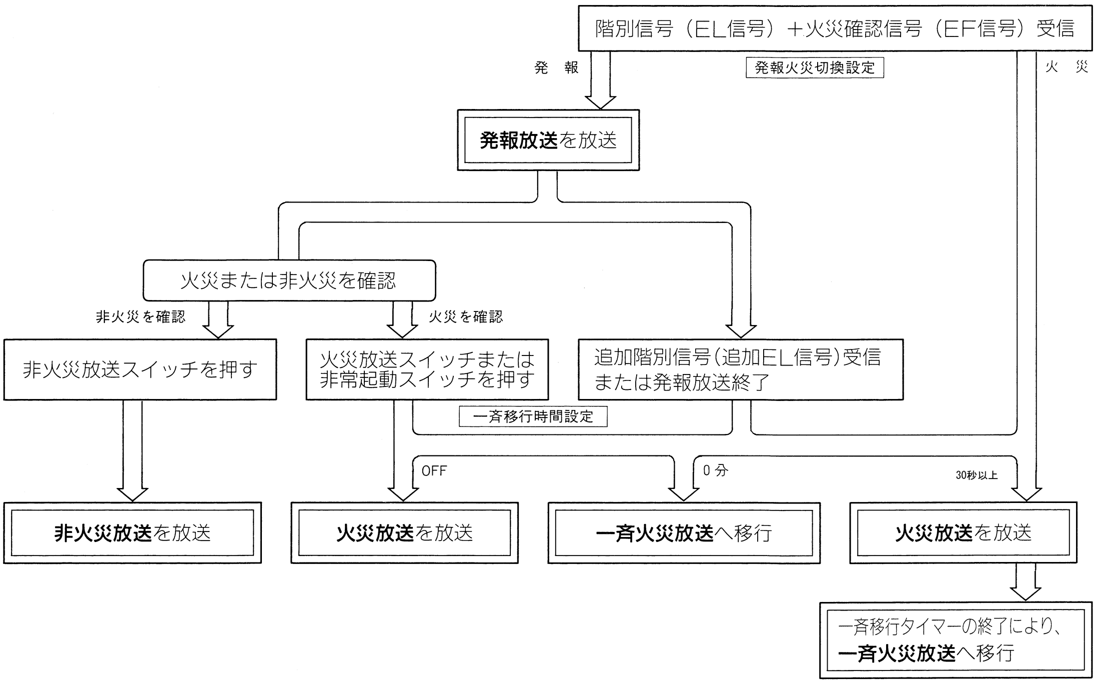
2 EL+EF 信号の同時受信動作を確認する

受信した EL 信号に対応する放送階選択スイッチの出火階表示灯の点灯（赤色）、および出火階・連動階の作動表示灯の点灯（緑色）を確認してください。



3 非常放送の動作設定を確認する

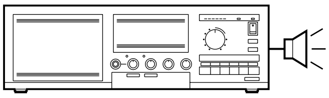
非常放送の動作設定（発報火災切換、発報放送形式、一斉移行時間など）によって、次のように動作することを確認します。



非常制御動作の確認

■ 非常制御される機器とは：
非常用放送設備が設置されている防火対象物（同一建物内）に、他の音響機器（カラオケ、テナント BGM アンプなど）が設置されているときは、非常放送が起動すると、これらの機器の音響出力を遮断する必要があります。
また、非常用放送設備と他設備のスピーカーを共用するシステムでは非常放送起動時、スピーカーを自動的に非常用放送設備へ切り換える必要があります。
この非常時の制御を行う非常制御信号（RB）の動作を確認します。

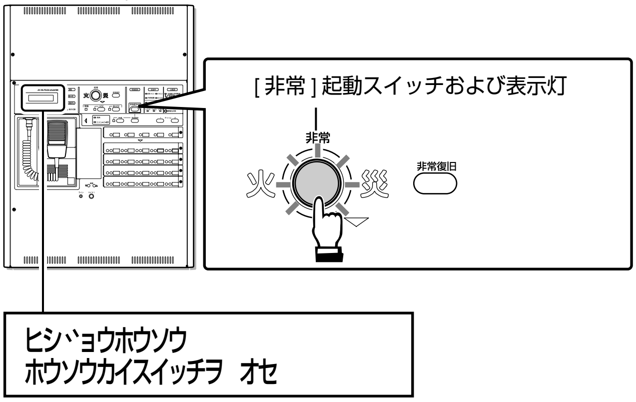
1 非常制御される設備・機器を通常動作状態にセットする



2 手動で非常起動する

[非常] 起動スイッチを押します。
起動時の各動作が行われますが、次の動作を確認してください。

EM-K100シリーズ



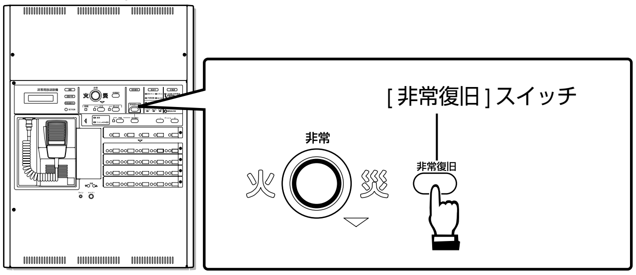
3 非常制御機器の動作確認をする

- 非常時遮断動作など（RB-1C など）
  非常起動により遮断されることを確認してください。
- 非常切換動作（RB-2C、PA-X13 など）
  非常起動により切り換え動作が行われることを確認してください。

4 非常放送の復旧をする

[非常復旧] スイッチを押します。

EM-K100シリーズ



確認

システム動作の確認 - 非常放送動作の確認 (つづき)

停電動作の確認

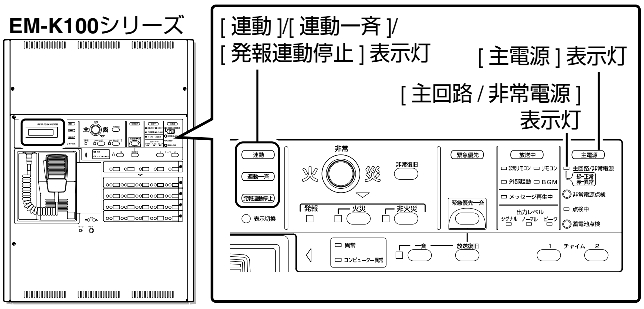
停電時の動作を確認してください。

1 非常用放送設備の専用電源ブレーカーを切る

2 EM-K100 シリーズ本体の表示を確認する

[主回路 / 非常電源] 表示灯が点灯、[主電源] 表示灯、[連動]/[連動一斉]/[発報連動停止] 表示灯がいずれも消灯していることを確認します。

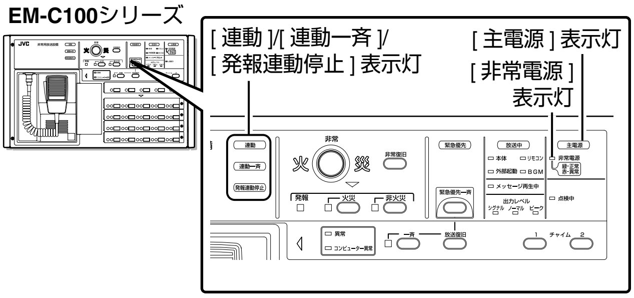
EM-K100シリーズ



3 非常リモコン (EM-C100 シリーズ) を接続時は、表示を確認する

[主電源]表示灯、[非常電源]表示灯が点灯、[連動]/[連動一斉]/[発報連動停止] 表示灯がいずれも消灯していることを確認します。

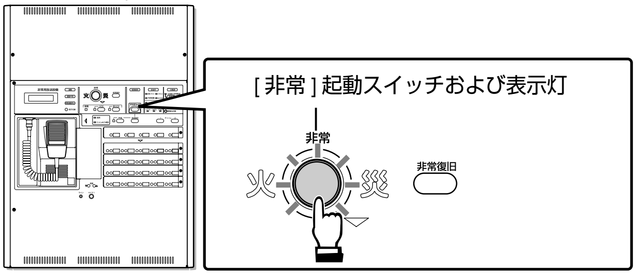
EM-C100シリーズ



4 手動起動時の非常放送動作を確認する

[非常] 起動スイッチを押し、手動起動時の非常放送動作が可能なことを確認します。

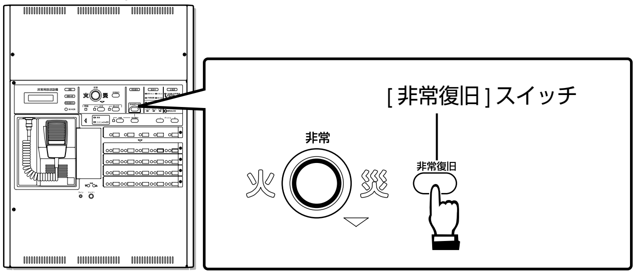
EM-K100シリーズ



5 停電時の動作を確認する

[非常復旧] スイッチを押し、停電時の動作（手順 **2**、**3**）に戻ることを確認します。

EM-K100シリーズ



6 感知器起動、発信機起動時の非常放送動作を確認する

自動火災放置設備から試験起動させ、感知器起動（EL）および発信機起動（EL+EF）時の非常放送動作が可能なことを確認します。

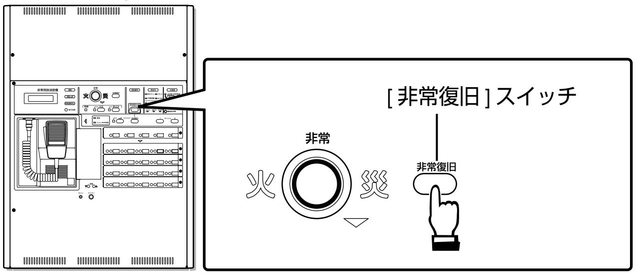
7 通電時に戻す

非常用放送設備用の専用電源ブレーカーを入れます。

8 非常放送の復旧をする

[非常復旧] スイッチを押します。

EM-K100シリーズ



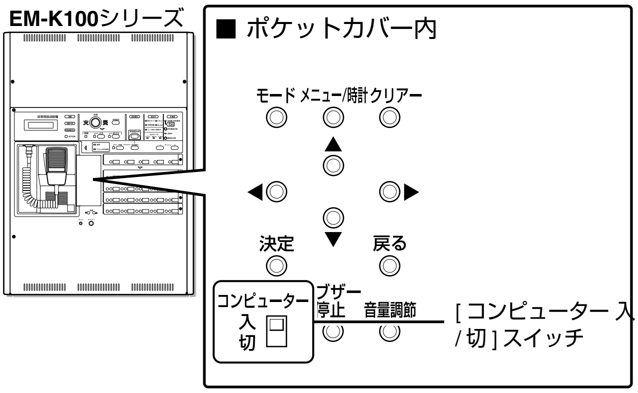
■ EM-K100 シリーズ本体の表示を確認する

- 主電源表示灯が点灯していること
- 連動／連動一斉／発報連動停止表示灯のいずれかが点灯していること。

■ 非常リモコン (EM-C100 シリーズ) の表示を確認する

連動／連動一斉／発報連動停止表示灯のいずれかが点灯していること。

EM-K100シリーズ



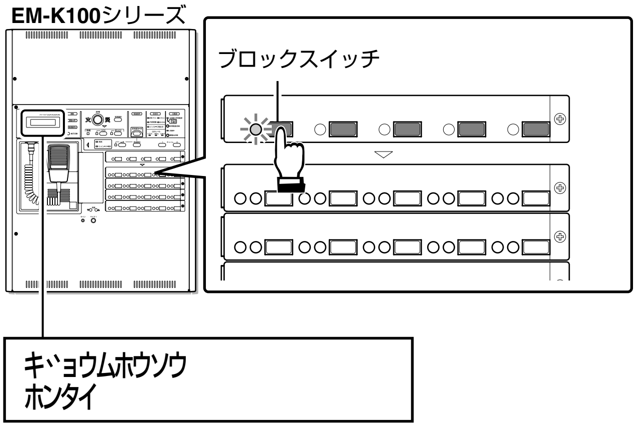
システム動作の確認 - 業務放送の動作確認

ブロックスイッチの確認

業務放送動作設定プログラムシート、ブロックスイッチ回線 No. 設定シートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

1 ブロックスイッチを押す

ブロックスイッチを押し、マイク放送または BGM 機器から放送します。
全ブロックスイッチの放送場所の動作確認を行ないますので、順に "ON" にしてください。

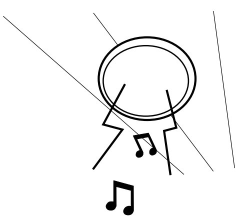


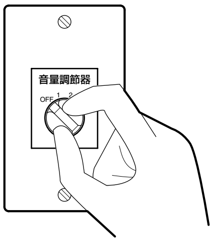
2 スピーカー回線 / エリアの動作確認をする

ブロックスイッチに設定したスピーカー回線 / スピーカーエリアのスピーカーから点検音声が出力されていることを確認してください。

3 アッテネーターの動作確認をする

- アッテネーターが使用されているときは音量調節つまみを操作して、動作が正常であることを確認してください。
- 緊急指定されたブロックに接続されているスピーカー回線・スピーカーエリアのアッテネーターは、つまみを操作しても、音量調節ができないことを確認してください。音量調節に関係なく、最大音量での放送となります。



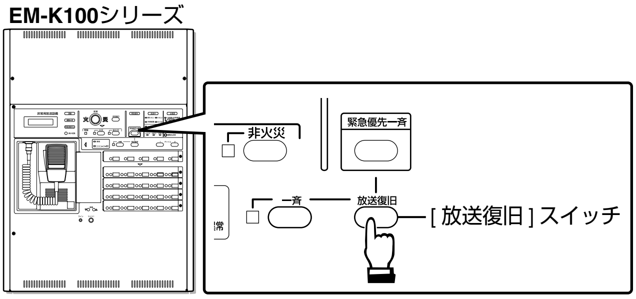


4 すべてのブロックスイッチを確認する

すべてのブロックスイッチごとに設定したスピーカー回線 / スピーカーエリアのスピーカー、アッテネーターが正常に動作していることを確認してください。

5 通常状態へ戻す

[放送復旧] スイッチ、または再度ブロックスイッチを押します。



確認

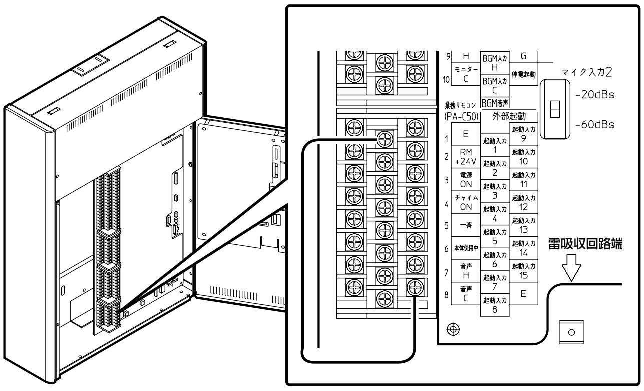
システム動作の確認 - 業務放送の動作確認 (つづき)

起動入力の確認

起動入力回線 No. 設定シートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

1 起動入力機器を起動する

起動入力 1 に接続した機器を起動します。
または図のように EM-K100 シリーズ本体、TB 基板上の起動入力端子を E 端子（GND）へ短絡して起動入力してください。



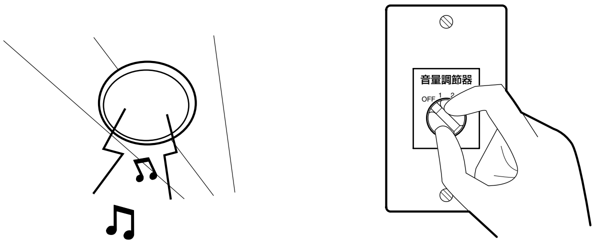
2 スピーカー回線 / エリアの動作確認をする

- 起動入力 1 に対応したスピーカー回線／スピーカーエリアのスピーカーからマイク音または放送機器の再生音などが出力されていることを確認してください。
- 起動時チャイムを設定している場合はチャイムが鳴動することを、放送機器をメッセージファイルに設定している場合は、指定したメッセージファイルが設定した再生モードで出力されていることを確認してください。

キ゛ョウムホウソウ ホウシ゛チャイム

3 アッテネーターの動作確認をする

- アッテネーターが使用されているときは音量調節つまみを操作して、動作が正常であることを確認してください。
- 緊急指定されたブロックに接続されているスピーカー回線・スピーカーエリアのアッテネーターは、つまみを操作しても、音量調節ができないことを確認してください。音量調節に関係なく、最大音量での放送となります。



4 すべての起動入力の動作を確認する

起動入力 2 から起動入力 15 まで、順にすべての外部起動入力の動作確認を手順 ***1*** ～ ***3*** と同様に行なってください。

5 通常状態へ戻す

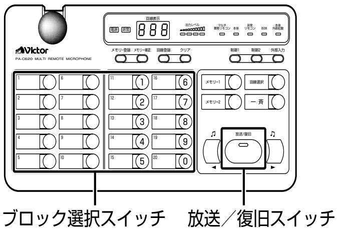
起動入力端子に接続した機器を停止します。
起動入力端子を短絡したときははずします。

マルチ業務リモコンの確認

マルチ業務リモコン回線 No. 設定シートを用意して、設定した内容と動作を確認してください。

1 マルチ業務リモコンのブロック選択スイッチを押し、放送を行う

ブロック選択スイッチ 1 を押し、ブロックを選択します。
放送／復旧スイッチを押し、マイク放送を行ないます。



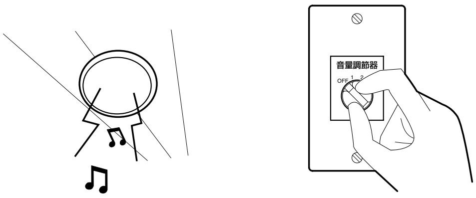
2 設定スピーカー回線 / エリアの鳴動を確認する

ブロック選択スイッチに設定されたスピーカー回線／スピーカーエリアのスピーカーからマイク音が放送されることを確認してください。

キ゛ョウムホウソウ
・マルチキ゛ョウムRM1

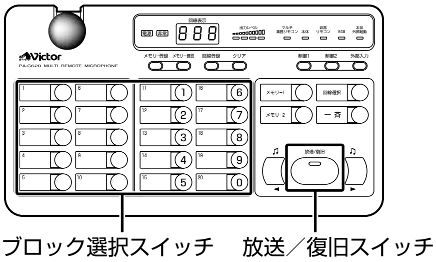
3 アッテネーターの動作確認をする（緊急指定時）

ブロックスイッチに「緊急指定」を設定しているスピーカー回線のアッテネーターは制御機能が解除され、スピーカーの出力が最大音量であることを確認してください。



4 放送を復旧する

放送 / 復旧スイッチを押します。



5 すべてのブロック選択スイッチの動作確認をする

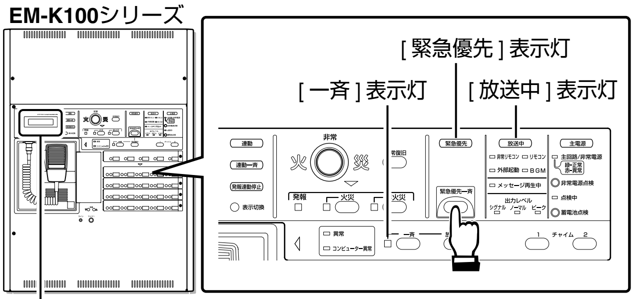
- ブロック選択スイッチ2 〜20についても手順*1*〜*4*の動作確認を行なってください。
- 複数台のマルチ業務リモコンを使用するときは、各機ごとに手順 *1* 〜 *4* の動作確認を行なってください。

停電時の緊急優先一斉放送の確認

追加電源ユニット (EM-N103) が接続してある場合、停電時に業務放送を行うことができます。
追加電源ユニット (EM-N103) の蓄電池点検スイッチを押し、電圧表示灯が緑色に点灯している場合、装置を起動して放送できます。
フロントパネルの緊急優先一斉スイッチを押すと、緊急優先一斉放送ができます。

1 [緊急優先一斉] スイッチを押す

[緊急優先] 表示灯、[一斉] 表示灯、[放送中] 表示灯が点灯し、液晶表示部に " キンキュウユウセン " と表示されます。
このとき、作動表示灯は点灯しません。

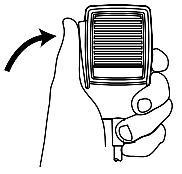


キンキュウユウセン

2 アナウンスマイクで放送をする

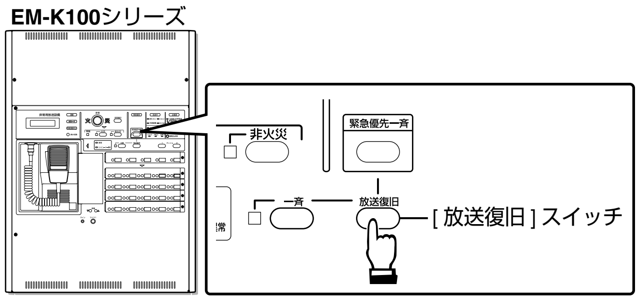
アナウンスマイクのスイッチを押し、放送をします。

- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、[チャイム 1]/ [チャイム 2] スイッチを押します。
- また、放送したいメッセージが登録されており、緊急優先に設定されたブロックスイッチを押すことでメッセージが再生できます。



3 放送を終了する

放送終了後、[放送復旧] スイッチを押し、停電状態に戻します。



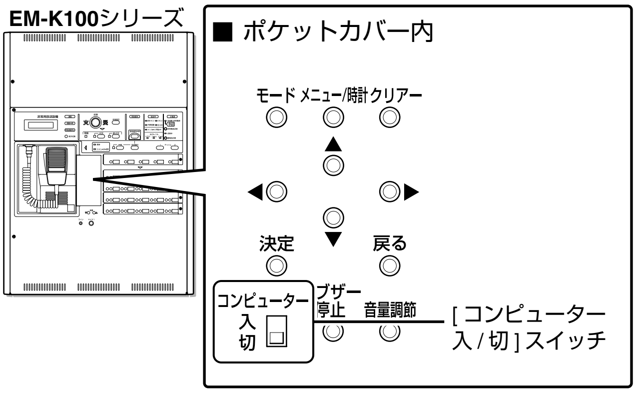
確認

システム動作の確認 - 業務放送の動作確認 (つづき)

[コンピューター 入 / 切] スイッチ “ 切 ” 時の確認

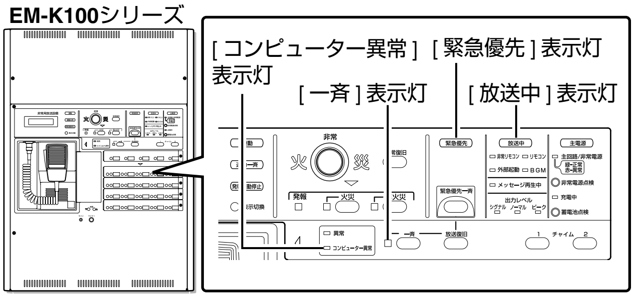
1 [コンピューター 入 / 切] スイッチを “ 切 ” にする

EM-K100 シリーズまたは、非常リモコン (EM-C100 シリーズ) のポケットカバー内、[コンピューター 入 / 切] スイッチを “ 切 ” にします。



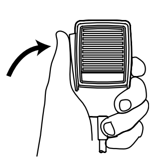
2 各表示灯が下記のように点灯する

- [コンピューター異常] 表示灯（赤）
- [一斉] 表示灯（緑）
- [緊急優先] 表示灯（オレンジ）
- [放送中] 表示灯（緑）



3 マイクスイッチを押す

アナウンスマイクのスイッチを押します。



4 放送動作を確認する

緊急一斉放送ができることを確認します。

5 [コンピューター 入 / 切] スイッチを “ 入 ” にする

通常状態に戻ります。

動作点検モードによる確認

動作点検モードの機能と設定方法

メニュー画面中の「動作点検モード」にシステムの動作確認を支援する機能が用意されています。本機能を使用し、動作確認・システム動作点検などを防火対象物を通常運用状態で実行することができます。
なお、システム設置工事、保守メンテナンス、アフターサービス以外では本機能を使用しないでください。

■「ＲＢ 制御」非常制御信号出力のあり（通常）／なし（制御停止）

非常起動時に、他の音響設備・システムを遮断・切り換えて非常放送を最優先とするための非常制御信号（ＲＢ）を、「制御停止」させて動作点検を行うことができます。
非常制御信号出力なし（制御停止）では非常放送の操作練習、火災避難訓練、自動火災報知設備と非常用放送設備の連動動作点検など行う際、非常制御信号を ON のままにしますので、通常業務中の音響機器（カラオケ、テナント独立 ＢＧＭ など）を遮断しません。

■「ＳＰ 回線」スピーカー回線制御リレー動作のあり（通常）／なし（停止）

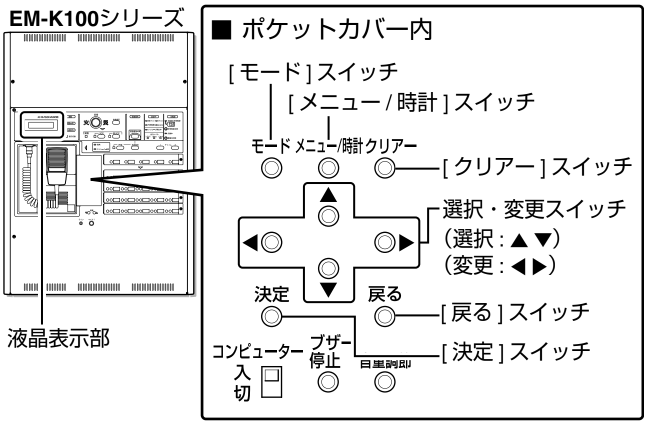
スピーカー回線制御リレーの動作を停止させるとスピーカー回線への信号供給のみを停止します。
他の放送機器は正常動作中ですから、作動表示灯、モニタースピーカー、液晶画面の表示等からシステムの動作を確認できます。
スピーカーから非常放送音を出力することなく、自動火災報知設備と非常用放送設備の点検・動作確認作業を行うことが可能です。

■「点検音」点検用デジタル音（３種類からの選択）の出力

スピーカーの鳴動を確認するため音声信号を内蔵しています。
音声アナウンス、音楽放送などは、病院、店舗など一般者に迷惑を与えることとなり、スピーカーの動作点検は困難です。
本システムに内蔵の点検音は、「小川のせせらぎ」「小鳥のさえずり」「やさしい電子音」の 3 種類から選択して出力することができますので、一般者に迷惑を掛けることなく、スピーカーの動作点検を行うことが可能です。
本体や非常リモコンを操作し、スピーカー回線の確認にご使用ください。
起動入力を使用した放送の確認にも使用できますが、チャイムを放送することや音声メッセージ放送の確認には使用できません。
また非常放送の確認にも使用できません。

動作点検モードによる確認 - 動作点検を行う

動作点検を行います。



1 メインメニュー画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させます。

```
メインメニュー
1.システムセッテイ
```

2 動作点検設定画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“4. ドウサテンケン ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
メインメニュー
4.ドウサテンケン
```

3 RB 制御の有無を設定する

① 変更スイッチ（◀▶）で、RB 制御の有無を設定します。

```
RBセイギョ
アリ/ナシ
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、[4. ドウサテンケン] 画面（手順 **2**）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、RB 制御の有無が確定され、SP 回線出力有無の選択画面（手順 **4**）に移ります。

4 SP 回線出力設定をする

① 変更スイッチ（◀▶）で、SP 回線出力の有無を設定します。

```
SPカイセンシュツリョク
アリ/ナシ
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、RB 制御設定画面（手順 **3**）に戻ります。

② [決定]スイッチを押すと、SP 回線出力の有無が確定され、点検音の選択画面（手順 **5**）に移ります。

5 点検音を選択する

① 変更スイッチ（◀▶）で、点検音を選択します。

```
テンケンオン
ナシ/1/2/3
```

設定値	内容
ナシ（無し）	点検音は、なし（無音）となります。
1	小川のせせらぎ
2	小鳥のさえずり
3	やさしい電子音（ピンポン）

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、SP 回線出力定画面（手順 **4**）に戻ります。

② [決定] スイッチを押すと、点検音が確定され、点検開始画面（手順 **6**）に移ります。

6 点検音を開始する

[決定] スイッチを押すと、動作点検が開始されます。

```
オワルトキハ、モドルキー
テンケンカイシ [ケッテイ]
```

▼

```
ドウサテンケン
・ホンタイ
```

メモ：
- 動作点検中に [戻る] スイッチを押すと、動作点検が終了し、再起動します。
- 点検音の出力がある場合、メッセージの出力はされません。
- 設定が変更されている場合、動作点検は実行できません。液晶表示部に “ ホゾンシテクダサイ ” と表示されます。

```
セッテイガヘンコウサレテイマス
ホゾンシテクダサイ
```

動作点検モードによる確認 - 動作点検を行う (つづき)

設定データの保存

メニューの設定が変更された場合、メニューから抜けるときにブザーが鳴り、変更保存画面が表示されます。

```
ヘンコウナイヨウホゾン
ハイ/イイエ
```

- 変更スイッチ（◀ ▶）で、“ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、設定データが保存され、再起動します。

```
ホゾンシテイマス・・・
```

- 変更スイッチ（◀ ▶）で、“ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、設定データを保存せず、再起動します。

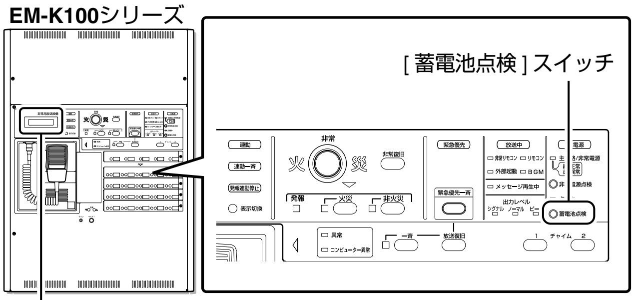
非常放送用蓄電池点検

EM-K100 シリーズ本体に収納されている非常放送用蓄電池の点検を行います。

1 [蓄電池点検] スイッチを押す

点検が開始されます。

EM-K100シリーズ




```
チクデンチテンケン
ジッコウチュウ・・・
```

▼

正常時

```
チクデンチテンケン
デンアツ:セイジョウ
```

異常時

```
チクデンチテンケン
デンアツ:イジョウ
```

メモ :

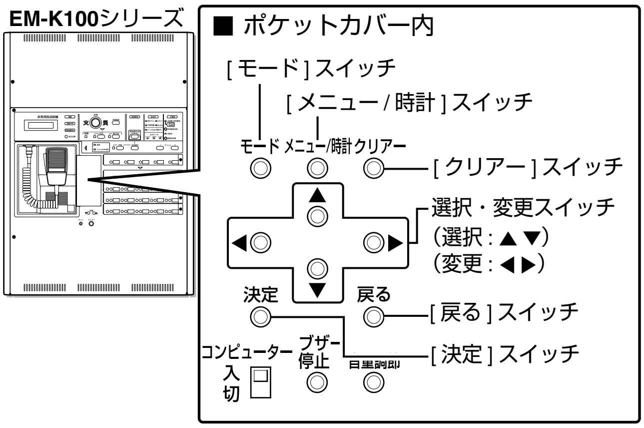
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、通常モードに戻ります。

履歴情報の確認

本システムは下記の履歴情報を保存しています。
下記の履歴情報を確認することでシステム異変の発生原因や異常動作入力などの解析が行えます。

- 「動作履歴」: 操作・起動・動作の履歴データを、最大 1 万件保存
- 「異常履歴」: 異常動作の履歴データを、最大 100 件保存

システム改善、メンテナンス、アフターサービスのための多くの情報を時系列で得ることができます。



メモ :
- 内容を変更せずに前の画面に戻るときは、[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを押します。

1 メインメニュー画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、メインメニュー画面を表示させます。

メインメニュー
1.システムセッテイ

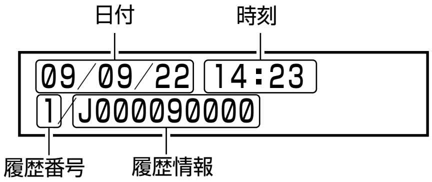
2 履歴確認画面を表示させる

選択スイッチ（▲▼）で、“2. リレキカクニン ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

2.リレキカクニン
2-1.ドウサリレキ

3 動作履歴または異常履歴を選択する

選択スイッチ（▲▼）で、“2-1. ドウサリレキ ” または “2-2. イジョウリレキ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと、履歴が表示されます。



メモ :
- 履歴情報はコード番号で表示されています。詳細は [履歴情報コード一覧] (☞ 137 ページ) をご覧ください。
- 選択スイッチ（▲▼）で 1 件ごと、変更スイッチ（◀▶）で 100 件ごとに表示を切り換えます。
- 履歴がない場合は下記の画面が表示されます。

動作履歴がない場合

ドウサリレキ
リレキハアリマセン

異常履歴がない場合

イジョウリレキ
リレキハアリマセン

4 履歴情報の確認を終了する

[メニュー / 時計] スイッチまたは [戻る] スイッチを、2度押してメインメニュー画面に戻ります。
[モード] スイッチを押すと、再起動して通常状態になります。

メモ :
- 履歴データは通常揮発性メモリーに保存しています。下記のタイミングで不揮発性メモリーに保存します。
  - メンテナンス時刻
  - 異常発生時
  - 停電検出時 : 蓄電池（EM-K100 シリーズ本体内蔵）が接続されている必要があります。
- 揮発性メモリーの容量がなくなった場合 (約 2000 回の放送動作）は、不揮発性メモリーに保存します。
- 通常時にコンピュータースイッチを”切”にすると、揮発性メモリーに保存した履歴データがなくなります。

確認

履歴情報の確認 (つづき)

履歴を CF カードに保存する

メモ：
- 保存した履歴は設置支援アプリケーションソフトウェア（EM-ZS100）の EM-ZS100 Log Viewer で確認することができます。

1 履歴保存画面を表示させる

手順 **2** の履歴確認画面から選択スイッチ（▲▼）で、“2-3. リレキホゾン ” を選択し、[決定] スイッチを押します。

```
2.リレキカクニン
2-3.リレキホゾン
```

▼

```
リレキ CFホゾン
カキコミマスカ? ハイ/イイエ
```

2 保存する

① 保存確認画面で“ ハイ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと CF カードへの書き込みが開始されます。

② 書き込みが完了すると書き込み完了の表示がされます。

```
リレキ CFホゾン
カキコミチュウ・・・
```

▼

```
リレキ CFホゾン
カキコミカンリョウ
```

メモ：
- “ イイエ ” を選択し、[決定] スイッチを押すと履歴確認画面（☞ 135 ページ、手順 **2**）に戻ります。
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、履歴確認画面（☞ 135 ページ、手順 **2**）に戻ります。
- EM-K100 シリーズ本体に接続されている主要ユニットの情報（☞ 116 ページ）が、履歴の保存と同時に CF カードに書き込まれます。ファイル名は “SYSCMP.CSV” となります。

エラー表示について

エラーが発生すると、液晶表示部に下記のようにエラーが表示されます。

- CF カードがない場合

```
CFガアリマセン
カードヲ イレテ クダサイ
```

- 正常に書き込めなかった場合

```
イジョウ ハッセイ
CFカクニン
```

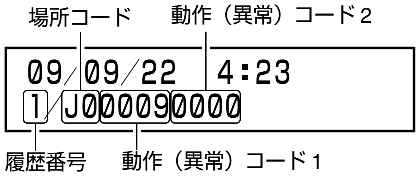
- CF カードがきちんと挿入されていない場合

```
CFマウントシッパイ
CFカクニン
```

メモ：
- [メニュー/時計]スイッチまたは[戻る]スイッチを押すと、履歴確認画面（☞ 135 ページ、手順 **2**）に戻ります。

履歴情報コード一覧

履歴コードの配置は下記のとおりです。



動作履歴

■ 本体関連の動作履歴

操作場所	動作		場所コード	動作コード 1	動作コード 2
本体操作部	[非常復旧] スイッチ	オン	E0	0351	0001
	火災放送スイッチ	オン		0352	0001
	非火災放送スイッチ	オン		0353	0001
	[一斉] スイッチ	オン		0355	0001
	[放送復旧] スイッチ	オン		0356	0001
	マイクスイッチ	オン		0357	0001
		オフ		0357	0000
	[メッセージ 1] スイッチ	オン		0359	0001
	[メッセージ 2] スイッチ	オン		0360	0001
	出力スイッチ No.001 ～ 020	オン		0001 ～ 0020	0001
		オフ		0001 ～ 0020	0000
	ブロックスイッチ№.001 ～ 005	オン		0321 ～ 0325	0001
		オフ		0321 ～ 0325	0000
	非常蓄電池点検	出力		0601	0001
	メイン CPU	プログラム開始		0901	0000
	停電	検出		0902	0001
	設定データ	更新		0903	0000
	動作履歴	バックアップ		0904	0000
	設定データファイル	書き込み		0910	0001
		読み込み		0910	0000
	履歴ファイル	書き込み		0911	0001
追加電源ユニット	業務用蓄電池点検	出力	N0	0602	0001
本体制御部	EL №.XXX	オン	Y0	0001 ～ 0020	0001
		オフ		0001 ～ 0020	0000
	EF	オン		0351	0001
		オフ		0351	0000
	非常起動	オン		0352	0001
	緊急優先一斉スイッチ	オン		0358	0001
	起動入力№.XX	オン		0501 ～ 0515	0001
		オフ		0501 ～ 0515	0000
	電源 ON	オン		0581	0001
		オフ		0581	0000
	一斉	オン		0582	0001
		オフ		0582	0000

確認

履歴情報コード一覧 (つづき)

■ 非常リモコン関連の動作履歴

操作場所	動作		場所コード	動作コード 1	動作コード 2
非常リモコンNo. XX	[非常復旧] スイッチ	オン	C1 ～ C4	0351	0001
	火災放送スイッチ	オン		0352	0001
	非火災放送スイッチ	オン		0353	0001
	[一斉] スイッチ	オン		0355	0001
	[放送復旧] スイッチ	オン		0356	0001
	マイクスイッチ	オン		0357	0001
		オフ		0357	0000
	[メッセージ 1] スイッチ	オン		0359	0001
	[メッセージ 2] スイッチ	オン		0360	0001
	出力スイッチ No.01 ～ 20	オン		0001 ～ 0020	0001
		オフ		0001 ～ 0020	0000
	ブロックスイッチNo. 001 ～ 005	オン		0321 ～ 0325	0001
		オフ		0321 ～ 0325	0000
	プログラム	開始		0901	0000

■ マルチ業務リモコン関連の動作履歴

操作場所	動作		場所コード	動作コード 1	動作コード 2
マルチ業務リモコン No. 1 ～ 8	ブロックスイッチNo. 1 ～ 20 ※	オン	M1 ～ M8	0821 ～ 0840	0001
		オフ		0821 ～ 0840	0000
	メモリースイッチNo. 1	オン		0851	0001
		オフ		0851	0000
	メモリースイッチNo. 2	オン		0852	0001
		オフ		0852	0000
	メモリーNo. 1	登録		0853	0001
		確認		0854	0001
	メモリーNo. 2	登録		0855	0001
		確認		0856	0001
	回線選択スイッチ	オン		0857	0001
		オフ		0857	0000
	放送 / 復旧	オン		0861	0001
		オフ		0861	0000
	制御スイッチNo. 1	オン		0871	0001
		オフ		0871	0000
	制御スイッチNo. 2	オン		0872	0001
		オフ		0872	0000
	プログラム	開始		0901	0000

※一斉スイッチはブロックスイッチ 20 個をオンしたときと同じです。

■ 拡張ユニット関連の動作履歴

操作場所	動作		場所コード	動作コード 1	動作コード 2
拡張ユニット	ブロックスイッチNo.1 ～ 20	オン	P0	0821 ～ 0840	0001
		オフ		0821 ～ 0840	0000
	メモリースイッチNo.1	オン		0851	0001
		オフ		0851	0000
	メモリースイッチNo.2	オン		0852	0001
		オフ		0852	0000
	メモリーNo.1	登録		0853	0001
		確認		0854	0001
	メモリーNo.2	登録		0855	0001
		確認		0856	0001
	回線選択スイッチ	オン		0857	0001
		オフ		0857	0000
	放送 / 復旧	オン		0861	0001
		オフ		0861	0000
	スピーカー回線データ	要求	P1	0503	0000
	時刻データ	要求		0504	0000
	時刻データ	更新		0505	0000
	緊急リレーデータ	要求		0506	0000
	EL データ	要求		0507	0000
	IPA 状態	要求		0508	0000
	起動入力No.XX	オン		0601 ～ 0615	0001
		オフ		0601 ～ 0615	0000
	設定データ	要求	P2	0502	0000
	履歴データ	要求		0503	0000

■ 状態の履歴

状態	動作		場所コード	動作コード 1	動作コード 2
状態	アイドリング	開始	J0	0000	0000
	業務放送	開始		0001	0000
	非常放送	開始		0002	0000
	発報放送	開始		0003	0000
	火災放送	開始		0004	0000
	一斉火災放送	開始		0005	0000
	非火災放送	開始		0006	0000
	通常モード	開始		0007	0000
	システム設定モード	開始		0008	0000
	履歴確認モード	開始		0009	0000
	システム点検モード	開始		0010	0000
	動作点検モード	開始		0012	0000

履歴情報コード一覧 (つづき)

異常履歴

異常場所	異常の内容	場所コード	異常コード 1	異常コード 2	備考
本体制御部	通信異常	y0	0001	0	—
	リモコン過電流		0002	0	
	RB 過電流		0003	0	
非常 RM №.XX	通信異常	c1 ～ c4	0001	0	
	アナウンスマイク断線		0002	0	
マルチ RM №.XX	通信異常	m1 ～ m8	0001	0	
音声合成	システム異常	v0	0001	0	
	データ異常		0002	0	
	プレイリスト異常		0003	0	
	IC 異常	v1	FFFF（固定）	0000 ～ FFFF	
本体操作部	アナウンスマイク断線	e0	0002	0	
	非常蓄電池異常		0003	0	
追加電源ユニット	業務蓄電池異常	n0	0002	0	
スピーカー回線№.XX	短絡異常	t0	0001 ～ 0020	0	
デジタルパワーアンプ	通信異常	d1	1101	0	液晶表示部に“アンプツウシン”と表示
	レベル差検出		1201	0	液晶表示部に“02”と表示
	高周波入力		1301	0	液晶表示部に“03”と表示
	過大入力		1401	0	液晶表示部に“04”と表示
	IC 電源 1 低下		1501	0	液晶表示部に“05”と表示
	IC 電源 2 低下		1601	0	液晶表示部に“06”と表示
	IC 過電流		1701	0	液晶表示部に“07”と表示
	DC12V 電圧異常		1901	0	液晶表示部に“09”と表示
	IC 温度警告		1A01	0	液晶表示部に“0A”と表示
	IC 温度注意		1B01	0	液晶表示部に“0B”と表示 異常表示灯点滅、ブザーは鳴らさない
	IC 温度上昇 ※		1C01	0	液晶表示なし、履歴登録のみ、状態出力「異常」を出力しない
	ファン停止		1D01	0	液晶表示部に“0D”と表示 異常表示灯点滅、ブザーは鳴らさない

※デジタルパワーアンプの内部が、ファン動作温度になると登録されます。異常ではありません。

消防用設備の検査準備

非常用放送設備認定型式表示

■ EM-K100 シリーズ（非常業務操作器）

EM-K100 シリーズ本体のフロントパネル左側の型式番号表示ラベルに、お使いのデジタルアンプの定格出力を記入してください。

型名	EM-K100 シリーズ	
型式番号	鑑認放第　○×△□　号	
製造年	２０※※　年	
製造者名	日本ビクター株式会社	
仕様	総回線数	回線
	定格出力	W

定格出力を記入する

■ EM-C100 シリーズ（非常業務遠隔操作器）

非常リモコン (EM-C100 シリーズ) 本体のフロントパネル左側の型式番号表示ラベルに、お使いのデジタルアンプの定格出力を記入してください。

型名	EM-C100 シリーズ	
型式番号	鑑認放第　○×△□　号	
製造年	２０※※　年	
製造者名	日本ビクター株式会社	
仕様	総回線数	回線
	定格出力	W

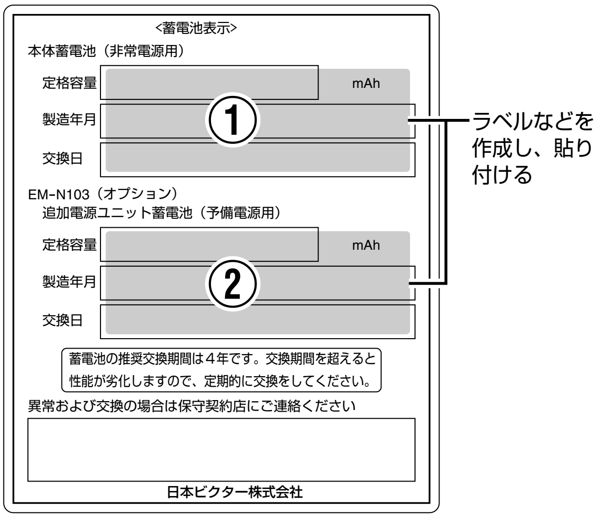
定格出力を記入する

蓄電池型式表示

EM-K100 シリーズ本体のフロントパネル下側の蓄電池表示ラベルに、下記の蓄電池についての [定格容量]、[製造年月]、[交換日] 情報のラベルを作成するなどして貼りつけてください。

① EM-K100 シリーズ本体収納の蓄電池（非常放送用）

② EM-N103（追加電源ユニット）収納の蓄電池（業務放送用）

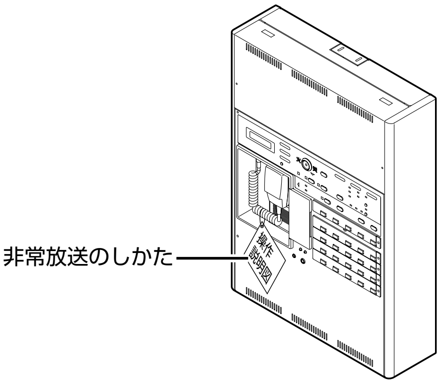


メモ :

● 蓄電池の定格容量および製造年月は、蓄電池本体に表示されています。

「非常放送のしかた」操作説明図の掲示

● EM-K100 シリーズに添付の「非常放送のしかた」を必ず EM-K100 シリーズ本体の近くに掲示してください。
● 非常リモコン (EM-C100 シリーズ) に添付の「非常放送のしかた」を、必ず非常リモコン (EM-C100 シリーズ) 本体の近くに掲示してください。



確認

消防用設備の検査準備 (つづき)

絶縁抵抗試験

絶縁抵抗試験は、以下の回路と大地（接地）間を測定します。
- スピーカー回線と大地（接地）間
- 非常リモコン (EM-C100 シリーズ) と大地（接地）間
- 起動装置回路と大地（接地）間

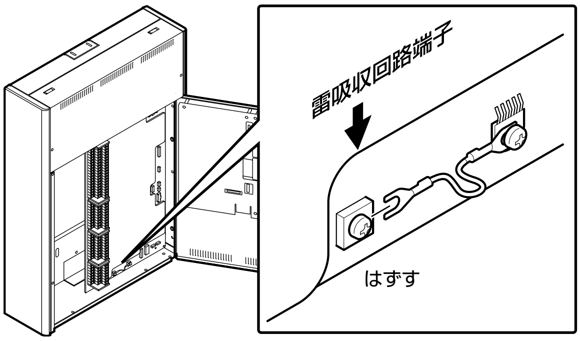
従って、絶縁抵抗試験時は、測定回路（外線）を放送装置回路から分離して測定します。

メモ :
- 250 V 絶縁抵抗計での測定値が、0.1 MΩ 以上であることを確認してください。

ご注意 :
- 本機は、雷保護用サージアブソーバーがスピーカー回線接続端子と筐体間に接続されています。このため、雷吸収回路端子をはずすことでサージアブソーバーおよび内部回路を切り離しますので、スピーカー回線ケーブルを端子に接続したまま絶縁抵抗試験を行えます。

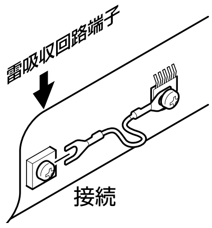
■スピーカー回線の絶縁抵抗試験

1 雷吸収回路端子に接続されているワイヤーをはずす



2 任意の SPN 端子（どれでもよい）と筐体間を試験する
- 試験の結果が規定値以上の場合、すべてのスピーカー回線の絶縁抵抗値は正常です。
- 規定値以下の場合、結線を端子からはずし、各線ごとに試験を行なってください。

メモ :
- 試験が終了したら必ず雷吸収回路端子にワイヤー（黒色）を接続してください。



ご注意 :
- ワイヤー（黒色）は筐体アースです。電源の端子や基板内に触れないよう取り扱いにご注意ください。

■起動装置回路の絶縁抵抗試験（EL 起動端子、EF 起動端子に接続する外線の試験）

1 EM-K100 シリーズ本体および起動装置回路の結線を端子からはずす

2 各線ごとに試験する

■非常リモコン(EM-C100シリーズ)の絶縁抵抗試験

1 EM-K100 シリーズ本体および非常リモコン (EM-C100 シリーズ) の結線を端子からはずす

2 各線ごとに試験する

スピーカー回線短絡検出 / 表示の確認

■回線短絡の検出方法

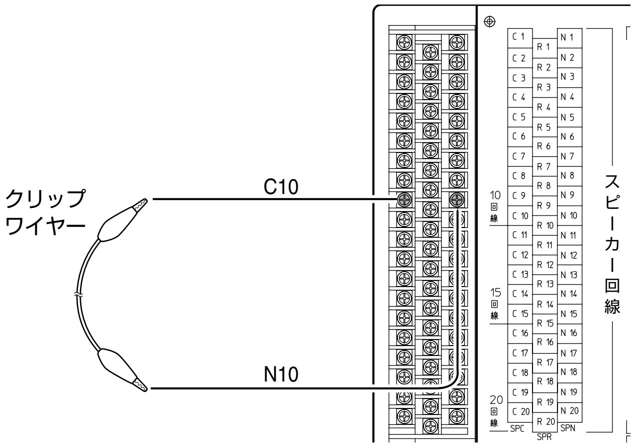
ご注意：

- 音声出力時にスピーカー端子に触れると感電の恐れがあります。
  スピーカーの接続は、必ず電源を切ってから行なってください。

1 スピーカー回線どうしを接続する

EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の、短絡検出動作を確認するスピーカー回線の C 端子と N 端子をクリップワイヤーなどで接続します。

例）スピーカー回線 No.10 を確認する場合



2 非常放送を手動起動する

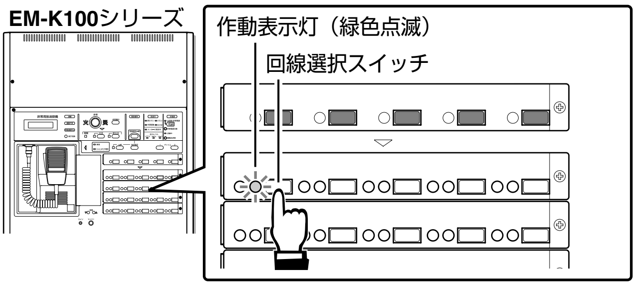
非常放送を手動起動し、「シグナル音 2」の放送状態にします。

3 非常放送を手動起動する

動作確認するスピーカー回線を含む回線選択スイッチを “ON” にします。

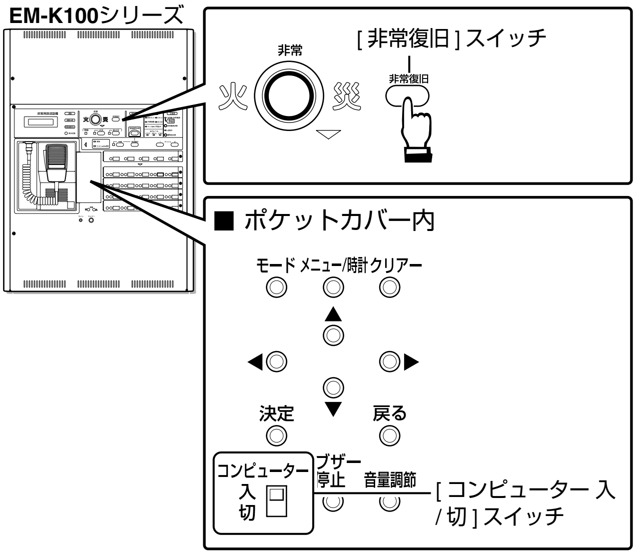
4 回線短絡表示を確認する

- 短絡が検出され、作動表示灯（緑色）が点滅し、回線短絡表示になることを確認してください。
- 他のスピーカー回線は正常放送動作を継続していることを確認してください。



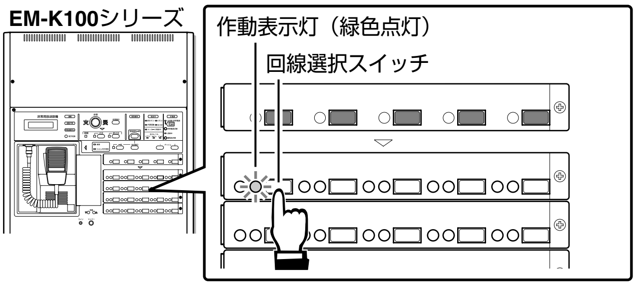
5 通常状態に戻す

① [非常復旧] スイッチを押し非常放送を停止したあと、ポケットカバー内の [コンピューター 入 / 切] スイッチを 3 秒間 “ 切 ” にします。



② スピーカー回線を短絡したクリップワイヤーをはずし、再度非常放送を手動起動し、短絡表示されている回線選択スイッチを押します。

③ 作動表示灯が点灯し、正常な放送出力であることを表示します。



6 確認終了

以上で、回線短絡検出動作が正常に機能していることが確認されます。

消防用設備の検査準備 (つづき)

スピーカー音圧レベルの測定

非常放送に使用するスピーカーは、日本消防検定協会の認定製品であり、認定マークが表示されている製品をご使用ください。
消防法施工規則、技術基準で規定されている警報音の出力音圧レベルを測定し、確認します。

■スピーカーの認定種別とスピーカー音圧レベル

認定種別	音圧レベル（スピーカーの中心から 1 m 離れた場所での音圧レベル）
L 級	92 dB 以上
M 級	87 dB 以上　92 dB 未満
S 級	84 dB 以上　87 dB 未

■スピーカーの種別と基本設置方法

放送区域（床、壁、または戸で区画された部分）ごとにスピーカーの設置数や種別（L 級・M 級・S 級）が指定されます。

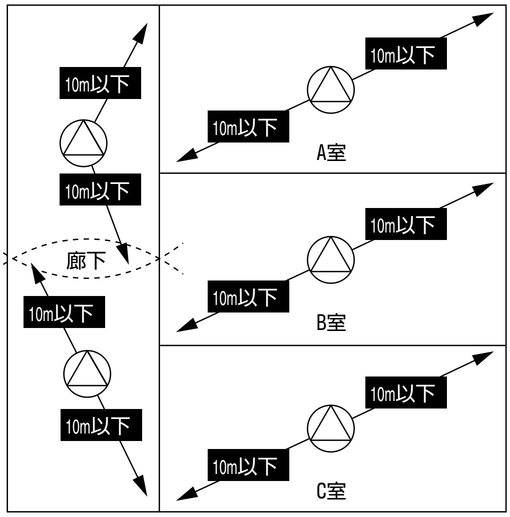
※放送区域ごとに設置範囲を判断

※10m 範囲内に 1 台設置
　L 級　：92 dB 以上
　M 級　：87 dB 以上
　S 級　：84 dB 以上

※基本的に L 級スピーカーを設置
　100 ㎡以下：M 級以上を設置
　50 ㎡以下　：S 級以上を設置

※階段は垂直距離 15m につき L 級を最低 1 台以上設置

※小規模放送区域（居室、居室から道路に通じる道路などにあっては 6 ㎡以下、30 ㎡以下の区域）については、当該放送区域の各部分から隣接する放送区域に設置されたスピーカーまでの水平距離が 8m 以下となるように設けられている場合は、スピーカーを設けなくてもよい。



■スピーカーの音圧測定

1 非常用放送設備を手動起動する

非常用放送設備を手動起動して、「シグナル音 2」を鳴動させます。

2 スピーカー音圧値を測定する

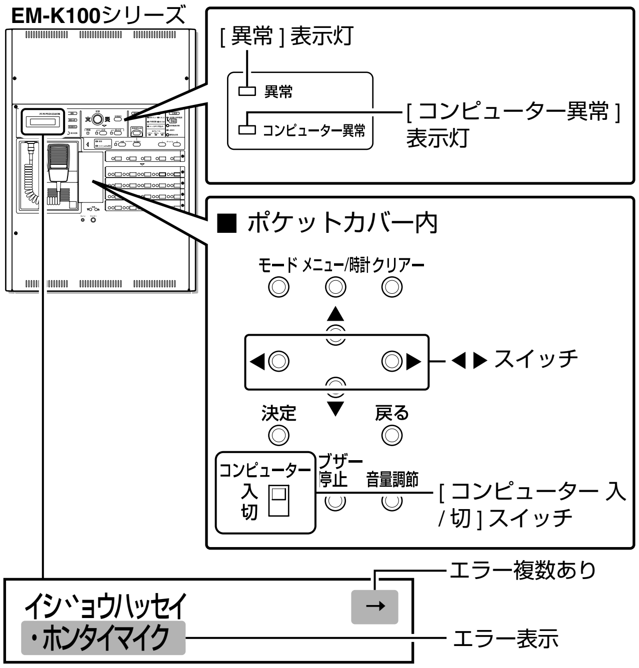
- 測定するスピーカーの中心軸 1m の位置で、正しく校正された騒音計（A 特性）により音圧値を測定します。
- 測定値が、各種別の規定音圧レベル以上であることを確認してください。

システム概要

エラー表示について 146
業務放送の優先関係について 148
停電時の業務放送について 149
状態出力について 149
非常放送用音声警報について 150
緊急時に機器が動作しなくなったときは 155
保守点検契約について 156

エラー表示について

本体の表示と動作



エラー表示画面

- 本システムで異常が発生すると、EM-K100 シリーズまたは非常リモコン (EM-C100 シリーズ) の [異常] 表示灯が点灯します。
- コンピューターに異常があった場合や、[コンピューター入 / 切] スイッチを " 切 " にした場合、[コンピューター異常] 表示灯が点灯します。
- 異常を検出すると、フロントパネルの [異常] 表示灯が点灯し、ブザー音で知らせます。EM-K100 シリーズ本体は、[表示切換] スイッチまたは右スイッチ（▶）を押すと液晶表示部に異常内容が表示されます。
  非常リモコンはフロントパネルおよびポケットカバー内の [異常] 表示灯が点灯し、ブザー音で知らせます。
  詳細は、[取扱説明書] の「自動診断機能について」の項目をご覧ください。
- 異常が複数ある場合は右上に "→" が表示されます。
  ◀ ▶ スイッチで表示を切り換えて確認してください。
- システム全体（本体および非常リモコン）のブザー音を停止するときは、[ブザー停止] スイッチを押してください。その他のスイッチを押した場合、システム全体のブザー音は停止しませんが、スイッチを押した機器のブザー音は停止します。

エラー表示一覧

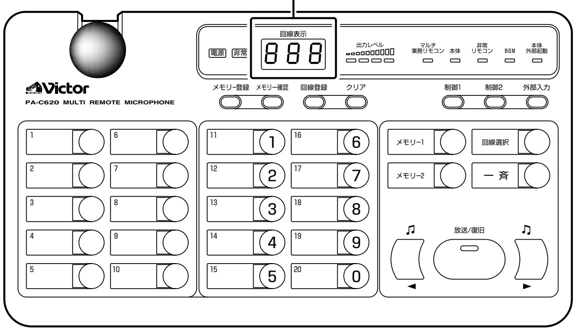
エラー表示	状態と対応
ギョウムデンチデンアツ	業務放送用蓄電池の異常です。 ➡ 通常動作はできますが、停電時の放送ができません。 電源を切って蓄電池の接続を確認し、蓄電池の交換を行なってください。
ヒジョウデンチデンアツ	非常放送用蓄電池の異常です。 ➡ 通常動作はできますが、停電時の放送ができません。 電源を切って蓄電池の接続を確認し、蓄電池の交換を行なってください。
ヒジョウリモコン※ツウシン（※：1 ～ 4）	EM-C100 シリーズとの通信異常です。 ➡ 異常が発生している EM-C100 シリーズの操作ができません。 電源を切って機器の接続、非常用リモコン (EM-C100 シリーズ) のアドレス No. 設定スイッチの確認を行なってください。
マルチギョウム RM※ツウシン（※：1 ～ 8）	PA-C620 との通信異常です。 ➡ 異常が発生している PA-C620 の操作ができません。 接続、アドレス No. 設定スイッチの確認後、[コンピューター 入 / 切] スイッチを " 切 "→" 入 " にしてください。
ホンタイマイク	EM-K100 シリーズ本体のマイクの異常です。 ➡ EM-K100 シリーズ本体のアナウンスマイクを使った放送ができません。 接続を確認してください。
ヒジョウリモコンマイク	EM-C100 シリーズのマイクの異常です。 ➡ EM-C100 シリーズ本体のアナウンスマイクを使った放送ができません。 接続を確認してください。
RB	RB 過電流です。 ➡ RB 端子に接続している機器の電流容量を確認してください。 （RB 端子の電流容量：最大 100 mA）
リモコンデンゲン	リモコン電源の過電流です。 ➡ マルチ業務リモコン、業務リモコンの電源端子に接続している機器、EM-R103 の機器の電流容量を確認してください。
ボイスファイル	再生するメッセージまたはハードウェアの異常です。 ➡ 非常放送などのメッセージが出力されません。
カイセンタンラク No※※※（※※※000 ～ 020）	スピーカー回線が短絡しています。 ➡ 短絡したスピーカー回線に放送できません。 ケーブルの接続などの確認後、[コンピューター 入 / 切] スイッチを " 切 "→" 入 " にしてください。
パワーアンプツウシン	EM-K100 シリーズ本体とデジタルパワーアンプとの通信異常です。 ➡ 接続を確認してください。
パワーアンプ 02	デジタルパワーアンプの異常です。 スピーカーの誤接続などにより、出力レベルが異常になりました。 ➡ 接続、負荷を確認してください。

エラー表示	状態と対応
パワーアンプ 03	デジタルパワーアンプの異常です。 超高音信号入力（15kHz 以上）が連続的にありました。 ➡ 入力を確認してください。（発振の場合もあります。）
パワーアンプ 04	デジタルパワーアンプの異常です。 過大入力（定格 +3 dB 以上）が連続的にありました。 ➡ 入力レベルをさげてください。
パワーアンプ 05	デジタルパワーアンプの異常です。 温度保護回路の動作などにより、内部 DC 電源 1 の電圧が低下しました。 ➡ 電源（AC100 V, DC24 V）入力、負荷、通風孔を確認し、電源を切ります。1 分以上経過してから再度電源を入れてください。
パワーアンプ 06	デジタルパワーアンプの異常です。 温度保護回路の動作などにより、内部 DC 電源 2 の電圧が低下しました。 ➡ 電源（AC100 V, DC24 V）入力、負荷、通風孔を確認し、電源を切ります。1 分以上経過してから再度電源を入れてください。
パワーアンプ 07	デジタルパワーアンプの異常です。 電力増幅 IC が過電流となり停止しました。 ➡ 入力、負荷、通風孔を確認し、電源を切ります。1 分以上経過してから再度電源を入れてください。
パワーアンプ 09	デジタルパワーアンプの異常です。 内部 DC12V 電源の電圧が低下しました。 ➡ 電源を入れ直してください。
パワーアンプ 0A	デジタルパワーアンプの異常です。 過大入力または過負荷などによって、電力増幅 IC が高温となり、自動的に停止しました。 ➡ 入力、負荷、通風孔を確認し、電源を切ります。1 分以上経過してから再度電源を入れてください。
パワーアンプ 0B	デジタルパワーアンプの異常です。 過大入力または過負荷などによって、電力増幅 IC が高温となりました。 ➡ 入力、負荷、通風孔を確認してください。
パワーアンプ 0D	デジタルパワーアンプの異常です。 ファン動作条件となってもファンが停止したままです。 ➡ 電源を入れ直してください。
CF カードガアリマセン カードヲイレテクダサイ	CF カードがありません。 ➡ CF カードを正しく挿入してください。
イジョウハッセイ CF カクニン	CF カードに書き込みできませんでした。 ➡ CF カードに異常がないか確認してください。
CF マウントシッパイ CF カクニン	CF カードが正しく挿入されていません。 ➡ CF カードを確認してください。
カイセンチガイ CF カクニン	回線が異なる機種のデータの CF カードが挿入されました。 ➡ CF カードを確認し、ご使用の機器に合った回線のデータを使用してください。

マルチ業務リモコンのエラー表示

マルチ業務リモコン (PA-C620) の [回線表示] ディスプレイには、接続機器間の通信不良や設定のミスなどによってエラーが表示される場合があります。

[回線表示] ディスプレイ



エラー表示	状態と対応
Er0（点滅）	電源投入直後の PA-C620 内部の RAM チェックでのエラーです。 ➡ 機器の故障です。最寄りのサービス窓口にご相談ください。
Er1（点滅）	PA-C620 と本体放送設備との通信エラーです。 ● PA-C620 のスイッチ操作が無効になります。 ● マイク放送中や、外部機器の放送中は、放送が中断されます。 ➡ 本体放送設備との接続を確認し、本体放送設備をリセットしてください。
	アドレス設定スイッチでアドレスを重複して設定しています。 ● PA-C620 のスイッチ操作が無効になります。 ➡ アドレス設定スイッチを正しく設定し、本体放送設備をリセットしてください。
Er2（点滅）	PA-C620 とパソコンを接続してシステムアップを行なっている場合にパソコン から設定外に速い間隔でデータが PA-C620 に送信されました。 ➡ パソコン接続のシステムアップについては、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
Er3（点滅）	PA-C620 とパソコンを接続してシステムアップを行なっている場合にパソコン との通信が切断したり、パソコンがシャットダウンしたりした場合の通信エラーです。 ➡ パソコン接続のシステムアップについては、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
Er4（点滅）	PA-C620 のアドレス設定スイッチを “0” または “9” にして電源を入れた場合に表示されます。 ● PA-C620 のスイッチ操作が無効になります。 ➡ アドレス設定スイッチを正しく設定し、本体放送設備をリセットしてください。

業務放送の優先関係について

■ 放送グループ一覧

- EM-K100 シリーズ本体放送
- 非常リモコン (EM-C100 シリーズ) 放送
- 業務リモコン (PA-C50 シリーズ) 放送
- 電話ページング放送
- 報時チャイム放送
- BGM 放送
- アナウンスユニット放送
- 音声ファイル放送
- パソコン放送
- マルチ業務リモコン (PA-C620)1 ～ 8 放送

優先順位が上位の放送中は、下位の放送の割り込みはできません。
優先順位が同じ場合は、つねにあとで押したスイッチや、あとから入った外部起動が優先します。ただし、緊急優先放送は最上位、BGM 放送は最下位（6 位）固定です。その他の放送は 2 位から 6 位になります。
なお、非常放送は業務放送に対して優先的に放送されます。

- 下記表は、EM-K100 シリーズ本体放送、業務リモコン (PA-C50 シリーズ) 放送、報時チャイム放送が同順位に設定されている場合を想定しています。

時間経過（ステップ）	放送操作 / スピーカーの放送内容	ＢＧＭ放送（優先順位６位(固定)）	本体放送（優先順位２位に設定）	業務リモコン放送（優先順位２位に設定）	報時チャイム放送（優先順位２位に設定）	緊急優先一斉放送（優先順位１位(固定)）
1	ＢＧＭ放送	起動				
2	本体放送		放送選択 マイク スイッチＯＮ			
3	業務用リモコン放送			起動 / 復旧		
4	本体放送		復旧			
5	ＢＧＭ放送					
6	本体放送		放送選択 マイク スイッチＯＮ			
7	報時チャイム放送				起動	
8	本体放送		再度 放送選択 / 復旧			
9	報時チャイム放送					
10	緊急優先一斉放送					起動 / 復旧
11	報時チャイム放送				復旧	
12	ＢＧＭ放送	復旧				

メモ :

- 優先関係の設定状態は変更可能です。上位の放送中は下位の放送の割り込みはできません。
- 優先関係の設定変更はお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

- ※ 　　　は他の放送の割り込みによる放送中断を表します。割り込んだ放送が復旧すると前に行われていた放送に戻ります。

停電時の業務放送について

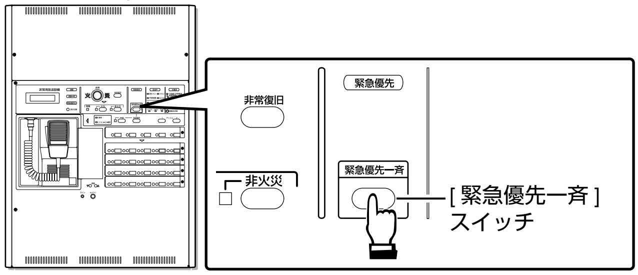
追加電源ユニット (EM-N103) と蓄電池（NB-35B/NB-60）を接続することによって、常用電源が停電した場合も、緊急優先一斉放送とその他の業務放送を行うことができます。

メモ :
- [蓄電池の組み込み] (☞ 54 ページ) 参考にして、電源ユニットおよび蓄電池の容量を決定してください。

■緊急優先一斉放送

EM-K100 シリーズ本体または非常リモコン (EM-C100 シリーズ) の [緊急優先一斉] スイッチを押すと放送できます。

EM-K100シリーズ



メモ :
- 追加電源ユニット (EM-N103) 以外のユニットや、回路の追加は必要ありません。
- 詳細につきましては、[取扱説明書] の「停電時の放送について」をご覧ください。

■その他の業務放送

停電時に緊急優先一斉放送以外の放送を行なう場合、EM-K100 シリーズ本体の TB 基板の [停電起動] 端子と [E] 端子のあいだに停電起動用のスイッチを接続します。

スイッチを ON にしているあいだのみ、電源が ON になります。

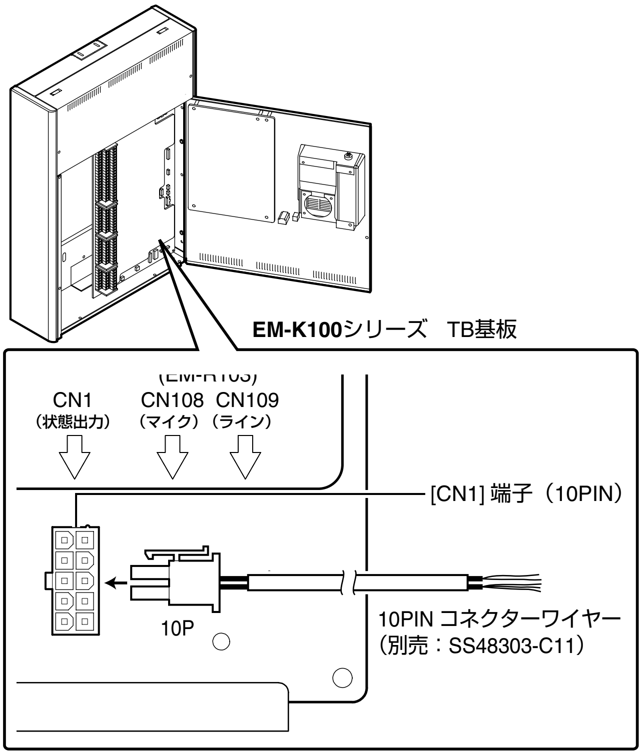
メモ :
- 停電起動用のスイッチは、定格 0.1A 35V DC 以上のロックスイッチを使用してください。

状態出力について

本システムでは、システムアップ用として本システムの状態を出力する状態出力を装備しています。

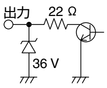
EM-K100 シリーズ本体の TB 基板上の [CN1] 端子（10PIN）から出力されます。

※10PIN コネクターワイヤー（別売：SS48303-C11）



ご注意 :
- CN1（状態出力）の信号はオープンコレクター（DC24V/100mA) 出力です。規定以上の電圧および電流の機器を接続すると、故障する場合があります。

■ SS48303-C11 からの出力について

ピン番号	出力内容	状態	出力仕様	ワイヤー色
1	火災放送中	火災放送中	オープンコレクター出力 DC24 V 100 mA	黒
2	一斉火災放送中	一斉火災放送中		灰
3	マイク放送中	本体、非常リモコンのマイクで放送中（非常放送、業務放送時)		青
4	警報メッセージ放送中	音声警報メッセージの出力中		黄
5	緊急優先放送中	本体および外部起動による緊急優先放送中		赤
6	業務放送中	本体と非常リモコンから業務放送中		白
7	発報放送中	発報放送中		紫
8	非火災放送中	非火災放送中		緑
9	異常発生中	システムが異常を検出した場合（通信異常、SP 回線短絡異常、蓄電池異常、パワーアンプ異常など）		オレンジ
10	メンテナンス中	通常モード以外の場合（システム設定、履歴確認、システム点検など）		茶

システム概要

非常放送用音声警報について

火災発生時、警報シグナルと音声情報メッセージによる音声警報で、的確な避難誘導放送を行います。

メモ：
- 平成 6 年の消防法施行規則改正にて、サイレン音から音声警報（警報シグナル＋音声情報メッセージ）に変わりました。

シグナル音とメッセージパターン

■ 発報放送

シグナル音 1 → メッセージ 1

「パポ、パポ、パポ」（擬音）

「ただいま※階の火災感知器が作動しました。
係員が確認しておりますので次の放送にご注意ください。」（女性の声）

■ 火災放送

シグナル音 1 → メッセージ 2 → シグナル音 2

「パポ、パポ、パポ」（擬音）

火事です。火事です。※階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」（男性の声）

「フイッ、フイッ、フイッ」（擬音）

■ 非火災放送

シグナル音 1 → メッセージ 3

「パポ、パポ、パポ」（擬音）

「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」（女性の声）

音声警報非常放送の動作

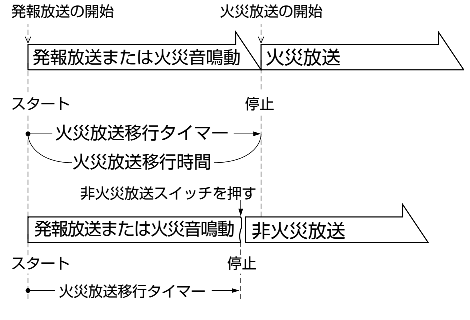
■非常放送の起動方法

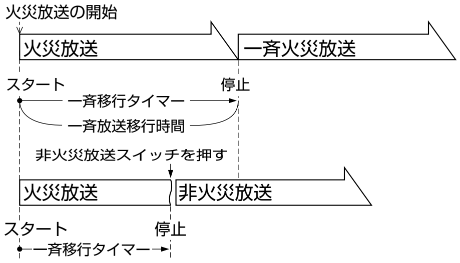
非常放送を起動させる方法は、下記です。

- 自動火災報知設備等から、階別火災信号（EL）を受信したとき。（感知器起動）
- 自動火災報知設備等から、階別火災信号（EL）と火災確認信号（EF）を同時に受信したとき。（発信機起動）
- EM-K100 シリーズまたは非常リモコン (EM-C100 シリーズ) の [非常] スイッチを押したとき（手動起動）

■目的別システム設定の選択

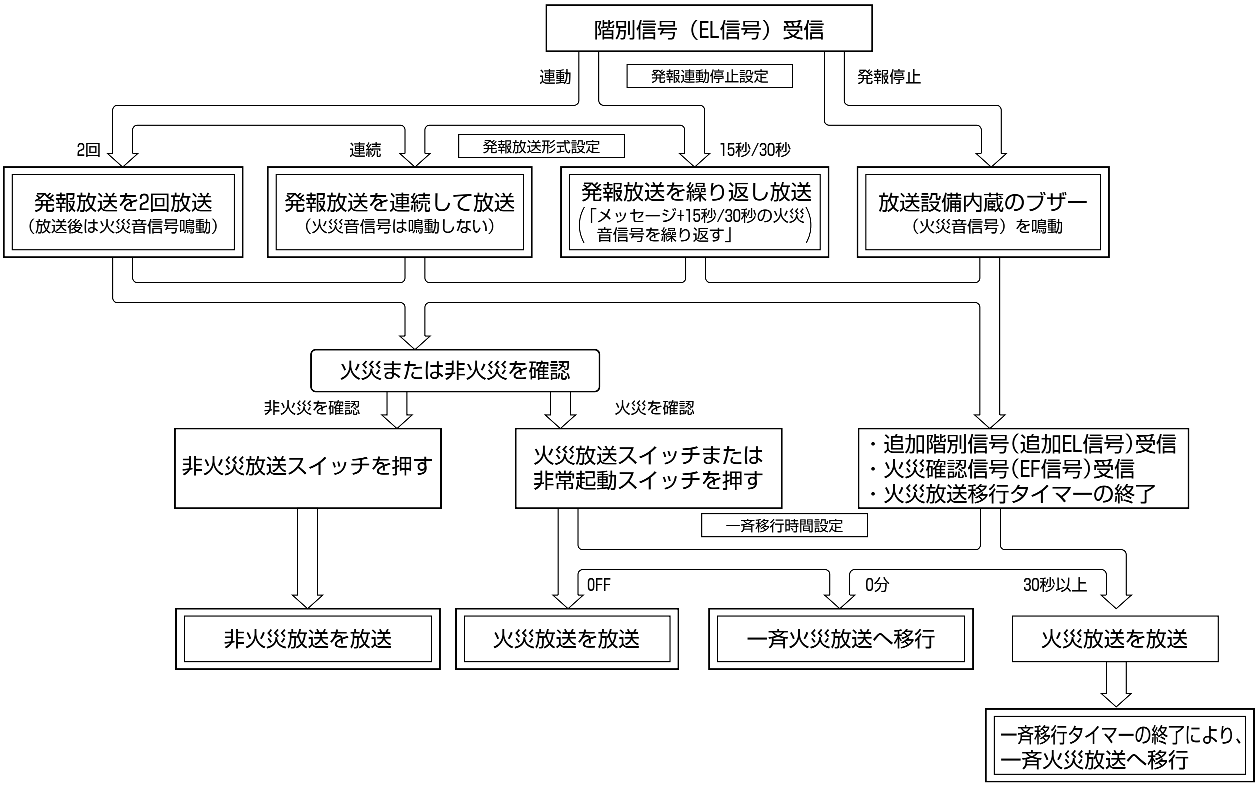
非常放送の起動は、下記のシステム設定を行うことで建物の用途、防火管理体制などに応じた非常放送の動作を選択することができます。

設定	内容
発報連動停止設定	「連動」と「発報停止」の 2 つのモードがあります。 自動火災報知設備から、階別火災信号（EL）を受信したときの動作になります。 どちらかを選択してください。 ● 「連動」モードは、火災感知器が作動したことをメッセージで知らせる発報放送が自動的に行われます。 ● 「発報停止」モードは、スピーカーからの放送は行われず、非常用放送設備内蔵のブザー音（火災音信号）が鳴動します。
発報火災切換設定	「発報放送」と「火災放送」の 2 つのモードがあります。 自動火災報知設備等から、階別火災信号（EL）と火災確認信号（EF）を同時に受信したとき、または手動起動が行われたときの動作になります。 どちらかを選択してください。 ● 「発報放送」モードは、発報放送を行なったあとに火災放送が自動的に行われます。 ● 「火災放送」モードは、直ちに火災放送が自動的に行われます。
発報放送形式設定	「2 回」、「連続」、「15 秒」、「30 秒」の 4 つのモードがあります。いずれかを選択してください。 ● 「2 回」モードは、発報放送を 2 回のみ自動的に放送します。 ● 「連続」モードは、発報放送を連続して放送します。 ● 「15 秒」モードは、約 15 秒間隔で 2 回の発報放送を繰り返し放送します。 ● 「30 秒」モードは、約 30 秒間隔で 2 回の発報放送を繰り返し放送します。
火災放送移行時間設定	火災放送へ移行する時間（火災放送移行タイマー）を設定します。 ● 火災放送移行タイマーは、発報放送の開始時、または火災音信号の鳴動開始時にスタートします。 ● 火災放送移行タイマースタート後、非火災放送操作が行われない場合は、火災放送移行タイマーの終了（タイムアップ）時に、自動的に火災放送を開始します。 ● 非火災放送操作が行われると、火災放送移行タイマーは停止しますので火災放送は行われません。 

設定	内容
一斉放送移行時間設定	階別火災放送から一斉火災放送へ移行する時間（一斉移行タイマー）を設定します。 ● 一斉移行タイマーは、火災放送の開始時、または火災放送移行タイマーの終了（タイムアップ）時にスタートします。 ● 一斉移行タイマースタート後、非火災放送操作が行われない場合は、一斉移行タイマーの終了（タイムアップ）時に自動的に一斉火災放送へ移行します。 ● 非火災放送操作が行われると、一斉移行タイマーは停止し火災放送も停止します。 
一斉火災放送	一斉移行タイマーのタイムアップによって開始された「一斉火災放送」は、放送復旧スイッチによる放送階の変更操作など、すべての変更を行うことはできません。

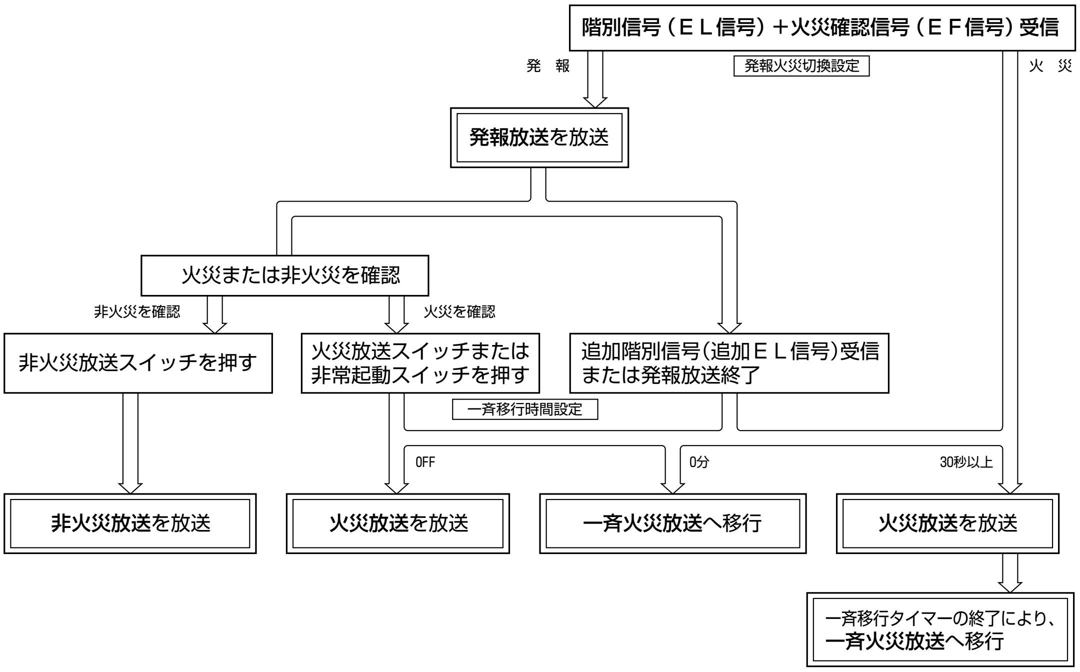
火災発生時の非常放送システム動作

■ 自動火災報知設備から階別火災信号（EL）を受信したとき

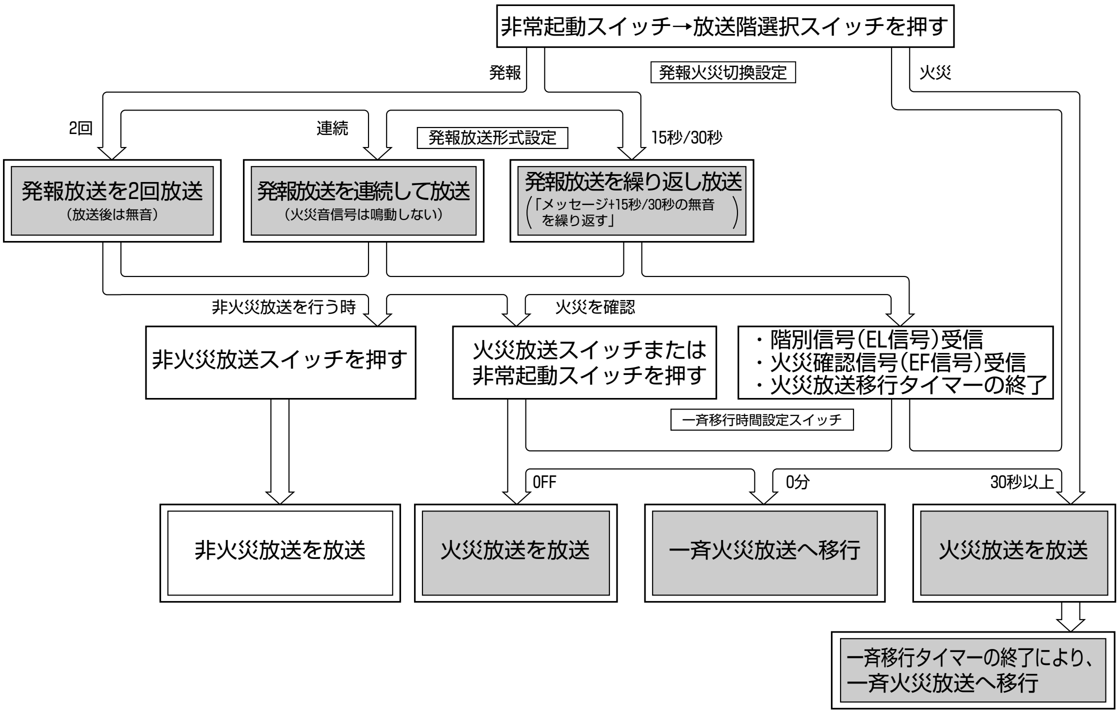


非常放送用音声警報について (つづき)

■ 自動火災報知設備から階別火災信号（EL）と火災確認信号（EF）を同時に受信したとき



■ 手動起動したとき



メモ：

- ▭ の音声警報は、自動火災報知設備からの階別火災信号（EL）の受信がない場合には、出火階情報のないメッセージが放送されます。
  発報放送　:「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」（女性の声）
  火災放送　:「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」（男性の声）

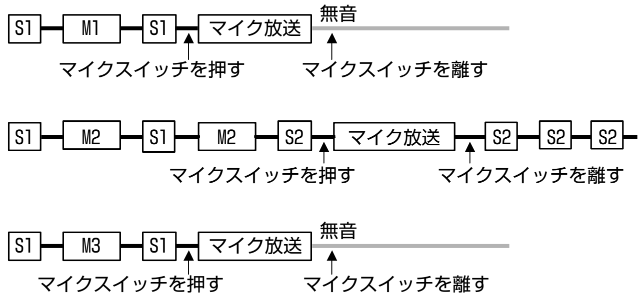
動作の流れの補足

以下の説明で図中記号はこのようになります。
S1：シグナル音１「パポ、パポ、パポ」（擬音）
M1：メッセージ１（発報放送メッセージ）
S2：シグナル音２「フイッ、フイッ、フイッ」（擬音）
M2：メッセージ２（火災放送メッセージ）
M3：メッセージ３（非火災放送メッセージ）

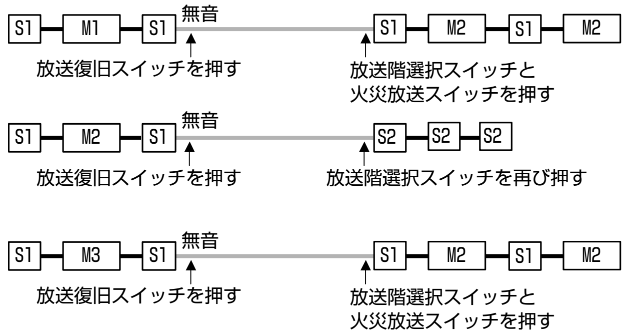
■シグナル音と音声メッセージについて

シグナル音と音声メッセージは各操作によって次のように動作します。

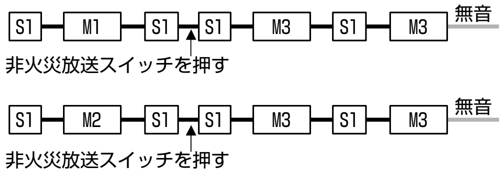
① マイク放送後の動作



② 放送復旧スイッチ（放送階選択スイッチ解除）後の動作



③ 非火災放送スイッチによる動作



④ ①～③の動作のあとに火災確認信号（EF 信号）および追加階別信号（追加 EL 信号）を受信した場合の動作

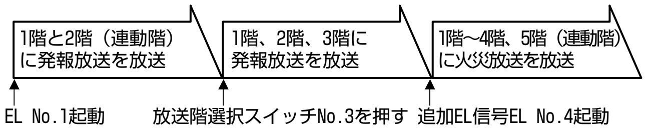
①～③の動作のあと、火災確認信号（EF 信号）および追加階別信号（追加 EL 信号）を受信した場合、出火階と連動階に「火災放送」を放送します。

※ ただし、出火階情報は最初の階別信号（EL 信号）となります。

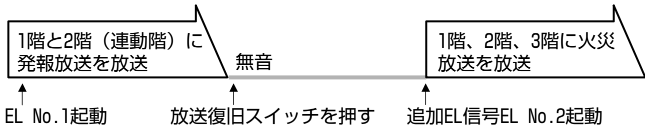
■放送階の追加操作について

階別信号の受信、放送階選択スイッチの操作によって放送階は次のように追加されます。

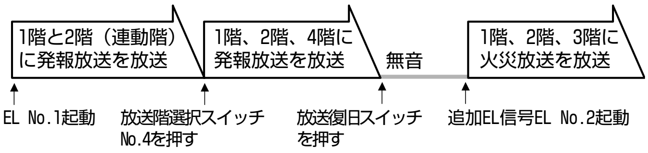
① 放送階選択スイッチの操作および、追加階別信号（追加 EL 信号）を受信した場合



② 放送復旧スイッチを押したあと、追加階別信号（追加 EL 信号）を受信した場合



③ 放送階を追加し、放送復旧スイッチを押したあと、追加階別信号（追加 EL 信号）を受信した場合
放送階選択スイッチを押して、放送階を追加したあと、放送復旧スイッチを押した場合は、受信した階別信号、追加階信号から出火階、連動階を選択して放送します。（放送階選択スイッチによって選択した放送階は復旧されたままとなります。）



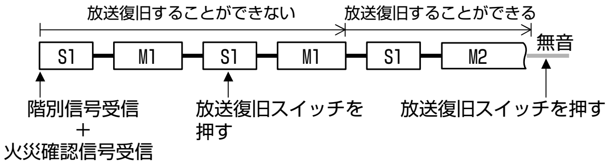
システム概要

非常放送用音声警報について (つづき)

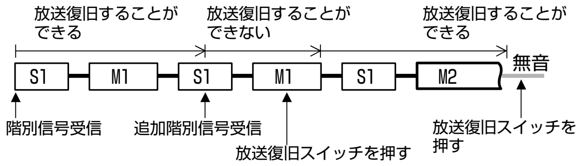
■放送復旧スイッチについて

発報放送から火災放送に移行するまでのあいだ、放送復旧スイッチを操作できない場合があります。

① 階別信号（EL 信号）と火災確認信号（EF 信号）を同時に受信した場合

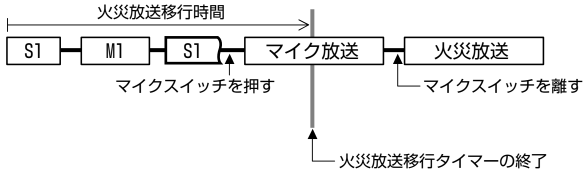


② 追加階別信号（追加 EL 信号）を受信した場合

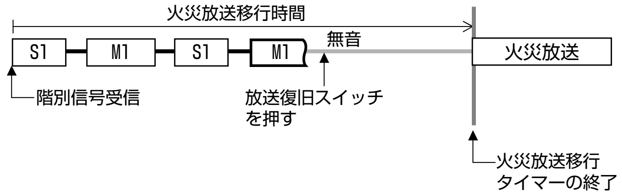


■火災放送移行タイマー終了後の動作

① マイクスイッチによる動作

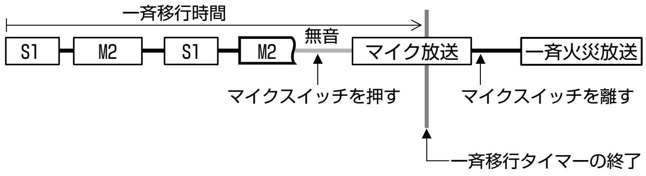


② 放送復旧による動作

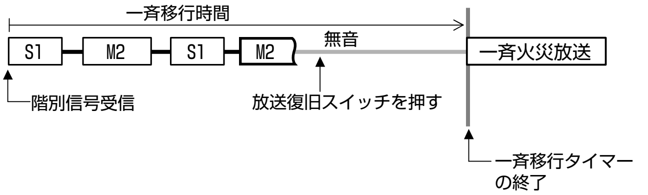


■一斉移行タイマー終了後の動作

① マイクスイッチによる動作

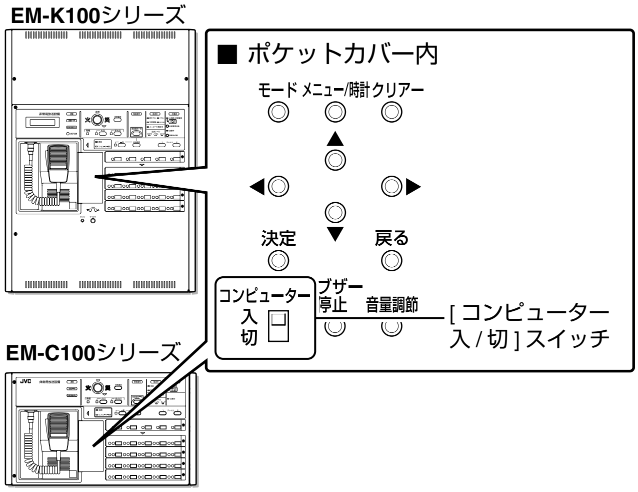


② 放送復旧による動作



緊急時に機器が動作しなくなったときは

万一、緊急時に機器が動作しなくなったとき、[コンピューター 入 / 切] スイッチを " 切 " にすることで、アナウンスマイクからの一斉放送を行うことができます。
機器が動作せず緊急に放送したいときには、この方法で対応できることをお客さまに説明してください。



ご注意 :

- [コンピューター 入/切]スイッチを" 切 "にした状態で、アナウンスマイク以外のスイッチ操作はしないでください。誤動作することがあります。
- 誤動作した状態から復旧させるには、一度 [コンピューター 入 / 切] スイッチを " 入 " にしたあと、約５秒後に再度 " 切 " → " 入 " 操作を行なってください。
- [コンピューター 入 / 切] スイッチを " 切 " にしたとき、[コンピューター異常] 表示灯が点灯します。ブザー音は鳴りません。

システム概要

保守点検契約について

非常用放送設備は消防法で定期点検が義務づけられています。

- 非常用放送設備を設置した防火対象物の関係者は、当該設備の定期点検を実施し、その結果を所轄消防長または消防署長に報告しなければならない。
- 点検者は、消防用放送設備を設置した防火対象物のうち法令で定めるものにあっては、消防設備士免状の交付を受けている者または、自治大臣が認める資格を有する者でなければならない。

消防法　第 17 条の 3 の 3 要約

このように資格および専門知識を必要とするため、外部に委託し、点検報告を代行させることが「保守契約制度」です。
保守点検業者またはビクターサービス窓口の有資格者が保守点検を申し受けしますので、お問い合わせの上保守点検契約を締結いただきますようおすすめください。

プログラムシート

付録シート 158
環境 / 非常放送設定プログラムシート 158
業務放送設定プログラムシート 159
放送階選択　同一階連動階設定シート 160
ブロックスイッチ回線 No. 設定シート 161
マルチ業務リモコン 回線 No. 設定シート 162
起動入力　回線 No. 設定シート 163

付録シート

> **コピーしてお使いください。**
> - プログラムシートを記入する方へ
>   プログラムシートの写しを必ずお客様へお渡しください。
> - お客様へ
>   プログラムシートは将来システムの変更・増設時に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

環境 / 非常放送設定プログラムシート

■ 環境設定

1 スピーカー回線数………□10回線 □15回線 □20回線
2 緊急優先放送 入力端子…□ユニットケース □アナウンスユニット □ユニットケース+アナウンスユニット □未使用
3 メンテナンス時刻………〔 〕時 〔 〕分
4 LCDバックライト………□点灯 □消灯 □キー連動
5 リモコン接続選択………□マルチ業務リモコン＋業務リモコン □マルチ業務リモコン（No.1〜No.8） □業務リモコン（No.1〜No.8）
6 時計表示………………□日付 □時刻 □表示なし

■ 非常放送動作設定

1 自火報起動時の動作……□連動 □連動一斉
2 手動起動時の動作………□階別 □連動
3 発報連動停止……………□連動 □発報停止
4 発報火災切換……………□発報 □火災
5 発報放送形式……………□2回 □連続して繰り返し
□15秒間隔で繰り返し □30秒間隔で繰り返し
6 火災放送移行時間………〔 〕分 〔 〕秒
7 一斉移行時間……………〔 〕分 〔 〕秒 □設定しない
8 音声警報の言語…………□日本語 □日本語＋英語
9 音声操作ガイド…………□あり □なし
10 音声操作ガイドの音量……大きさ〔 〕 0〜9

業務放送設定プログラムシート

1 チャイムの種類

①チャイム１	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□C01	□C02
②チャイム２	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□C01	□C02
③報時チャイム(起動時)	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□C01	□C02
④アナウンスユニット(起動時)	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□C01	□C02
⑤ページング(起動時)	□4音アップ早い	□4音ダウン早い	□4音アップ遅い	□4音ダウン遅い	□2音	□1音	□C01	□C02

2 チャイム音量　大きさ〔　　〕　0〜9

3 メッセージスイッチ

①メッセージ１　□4音アップ早い　□4音ダウン早い　□4音アップ遅い　□4音ダウン遅い　□2音　□1音　□C01　□C02
□サイレン　□Wミンスター　□M1 □M2 □M3 □M4 □M5 □M6 □M7 □M8 □M9 □M10 □M11 □M12

再生回数　□繰り返し　□1回

音量　大きさ〔　　〕　0〜9

②メッセージ２　□4音アップ早い　□4音ダウン早い　□4音アップ遅い　□4音ダウン遅い　□2音　□1音　□C01　□C02
□サイレン　□Wミンスター　□M1 □M2 □M3 □M4 □M5 □M6 □M7 □M8 □M9 □M10 □M11 □M12

再生回数　□繰り返し　□1回

音量　大きさ〔　　〕　0〜9

4 BGMミックス

①本体	□オフ	□ミューティング	□フル
マイク連動	□あり	□なし	
②非常リモコン	□オフ	□ミューティング	□フル
③マルチ業務リモコン １	□オフ	□ミューティング	□フル
④マルチ業務リモコン ２	□オフ	□ミューティング	□フル
⑤マルチ業務リモコン ３	□オフ	□ミューティング	□フル
⑥マルチ業務リモコン ４	□オフ	□ミューティング	□フル
⑦マルチ業務リモコン ５	□オフ	□ミューティング	□フル
⑧マルチ業務リモコン ６	□オフ	□ミューティング	□フル
⑨マルチ業務リモコン ７	□オフ	□ミューティング	□フル
⑩マルチ業務リモコン ８	□オフ	□ミューティング	□フル
⑪業務リモコン	□オフ	□ミューティング	□フル
⑫ページング	□オフ	□ミューティング	□フル
⑬報時チャイム	□オフ	□ミューティング	□フル
⑭アナウンスユニット	□オフ	□ミューティング	□フル
⑮メッセージ	□オフ	□ミューティング	□フル
⑯拡張ユニット	□オフ	□ミューティング	□フル

5 一斉放送スイッチ　□通常　□緊急

6 業務優先順位

緊急優先放送	1■（固定）				
①本体	2□	3□	4□	5□	6□
②非常リモコン	2□	3□	4□	5□	6□
③マルチ業務リモコン １	2□	3□	4□	5□	6□
④マルチ業務リモコン ２	2□	3□	4□	5□	6□
⑤マルチ業務リモコン ３	2□	3□	4□	5□	6□
⑥マルチ業務リモコン ４	2□	3□	4□	5□	6□
⑦マルチ業務リモコン ５	2□	3□	4□	5□	6□
⑧マルチ業務リモコン ６	2□	3□	4□	5□	6□
⑨マルチ業務リモコン ７	2□	3□	4□	5□	6□
⑩マルチ業務リモコン ８	2□	3□	4□	5□	6□
⑪業務リモコン	2□	3□	4□	5□	6□
⑫ページング	2□	3□	4□	5□	6□
⑬報時チャイム	2□	3□	4□	5□	6□
⑭アナウンスユニット	2□	3□	4□	5□	6□
⑮メッセージ	2□	3□	4□	5□	6□
⑯拡張ユニット	2□	3□	4□	5□	6□
BGM	6■（固定）				

7 緊急優先放送時のRB制御　□あり　□なし

付録シート(つづき)

コピーしてお使いください。
- プログラムシートを記入する方へ
  プログラムシートの写しを必ずお客様へお渡しください。
- お客様へ
  プログラムシートは将来システムの変更・増設時に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

放送階選択　同一階連動階設定シート

	20																				
	19																				
	18																				
	17																				
	16																				
	15																				
	14																				
	13																				
	12																				
	11																				
	10																				
	9																				
	8																				
	7																				
	6																				
	5																				
	4																				
	3																				
	2																				
	1																				
放送エリア / 自火報エリア	放送階選択スイッチNo. / EL No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
出火階情報																					
放送エリア / 自火報エリア																					

ブロックスイッチ回線 No. 設定シート

放送エリア	ブロックスイッチNo.	放送機器(放送グループ)	メッセージ	メッセージNo.	メッセージ再生回数	メッセージ音量	スピーカーエリア																				
							スピーカー回線No. / 緊急指定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	1																										
	2																										
	3																										
	4																										
	5																										

付録シート(つづき)

コピーしてお使いください。

- プログラムシートを記入する方へ
  プログラムシートの写しを必ずお客様へお渡しください。
- お客様へ
  プログラムシートは将来システムの変更・増設時に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

マルチ業務リモコン 回線 No. 設定シート

マルチ業務リモコンNo［　　］（1〜8）

ブロックスイッチNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
放送エリア																				
緊急指定																				
スピーカー回線No. / スピーカーエリア																				
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				

起動入力　回線 No. 設定シート

放送エリア	接続機器名	起動チャイム	放送機器(放送グループ)	メッセージ	メッセージNo.	メッセージ再生回数	メッセージ再生音量	起動入力No.	緊急指定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
								スピーカーエリア	スピーカー回線No.																				
								1																					
								2																					
								3																					
								4																					
								5																					
								6																					
								7																					
								8																					
								9																					
								10																					
								11																					
								12																					
								13																					
								14																					
								15																					

EM-K100 シリーズ　非常業務放送設備

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話(045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12　　電話（045）443-3152

© 2009 Victor Company of Japan, Limited

LST0962-001A